

2021 年度

授業大要（シラバス）

（第 4・5・6 学年）

松本歯科大学

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者

矢崎 泰

2021年度 授業科目履修基準表 学則 第8条 別表2

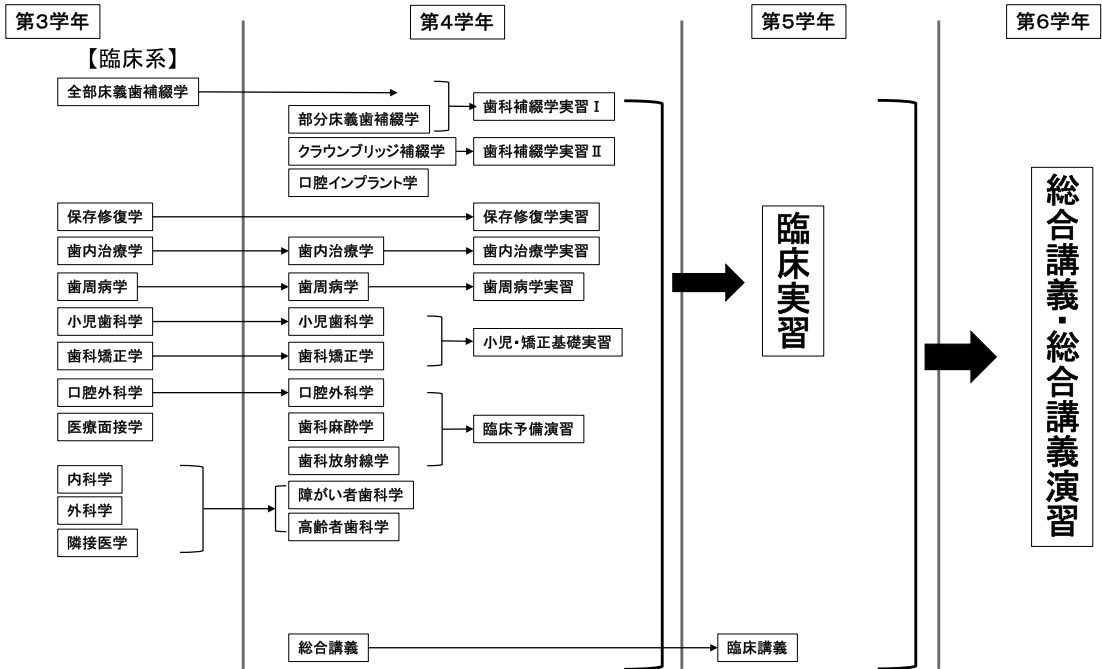
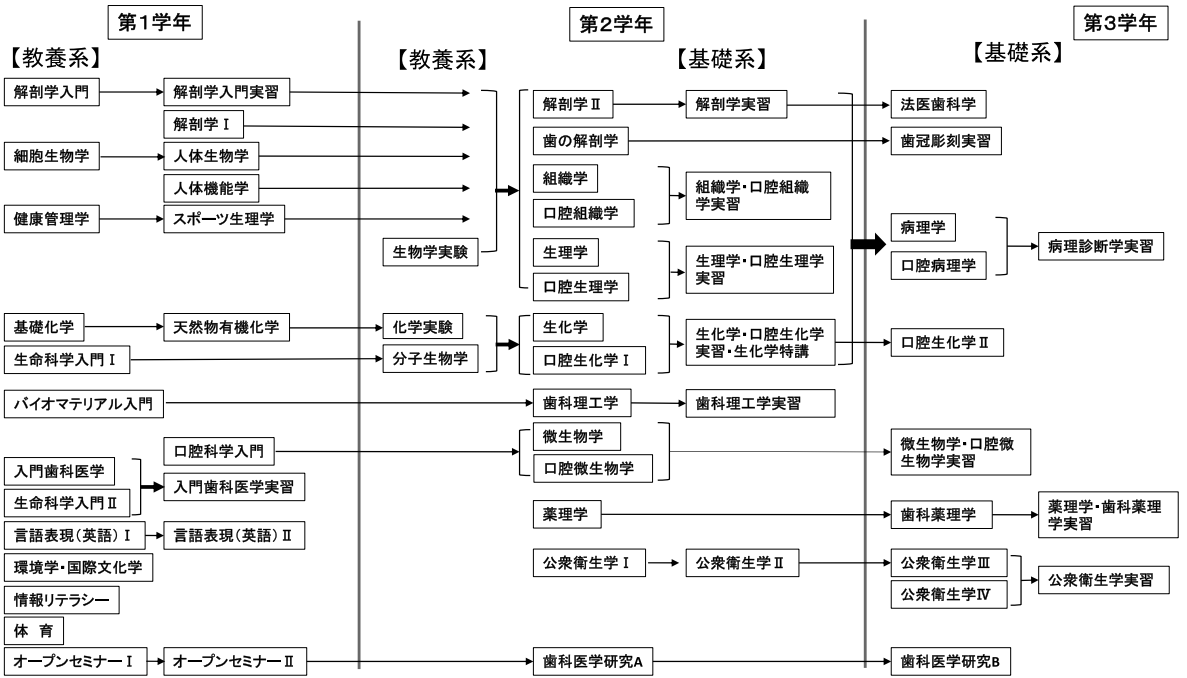
科目コード	学 科 目	授業形態	履修区分	履修数		履 修 学 年 及 び 履 修 期						備 考																																																														
				時間	単位	第1学年		第2学年		第3学年			第4学年		第5学年		第6学年																																																									
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期																																																								
教 養 教 育 科 目	A1010 入門歯科医学 講義 必修 30 1 1	A1020 生命科学入門Ⅰ 講義 必修 30 1 1	A1025 生命科学入門Ⅱ 講義 必修 30 1 1	A1030 入門歯科医学実習 実習 120 4 2 2	A1041 人体機能学 講義 必修 30 1 1	A1046 環境学・国際文化学 講義 必修 30 1 1	A1050 体育 実技 必修 60 2 1 1	A1060 情報リテラシー 講義 必修 30 1 1	A1070 口腔科学入門 講義 必修 30 1 1	A1080 解剖学入門 講義 必修 30 1 1	A1100 言語表現(英語)Ⅰ 講義 必修 60 2 2	A1110 言語表現(英語)Ⅱ 講義 必修 60 2 2	A1160 基礎有機化学 講義 必修 60 2 2	A1170 天然物有機化学 講義 必修 30 1 1	A1175 パイオマテリアル入門 講義 必修 30 1 1	A1180 健康管理学 講義 必修 30 1 1	A1185 スポーツ生理学 講義 必修 30 1 1	A1190 細胞生物学 講義 必修 30 1 1	A1195 人体生物学 講義 必修 30 1 1	A1200 オープンセミナーⅠ 講義・演習 選択 30 1 (1)	A1210 オープンセミナーⅡ 講義・演習 選択 30 1 (1)	A2010 化学実験 必修 30 1 1	A2020 生物学実験 実験 必修 30 1 1	A2030 分子生物学 講義 必修 30 1 1	小 計 930 31 28 単位 3 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位		() 選択必修科目																																															
	専 門 教 育 科 目	B1090 解剖学Ⅰ 講義 必修 30 1 1	B1120 解剖学入門実習 実習 必修 30 1 1	B2050 解剖学Ⅱ 講義 必修 30 1 1	B2060 歯の解剖学 講義 必修 30 1 1	B2070 解剖学実習 実習 120 4 1 3	B2080 組織学 講義 必修 30 1 1	B2090 口腔組織学 講義 必修 30 1 1	B2095 組織学・口腔組織学実習 実習 必修 90 3 3	B2100 生理学 講義 必修 60 2 2	B2110 口腔生理学 講義 必修 30 1 1	B2120 生理学・口腔生理学実習 実習 必修 60 2 2	B2130 生化学 講義 必修 60 2 2	B2140 口腔生化学Ⅰ 講義 必修 30 1 1	B3030 口腔生化学Ⅱ 講義 必修 30 1 1	B2150 生化学・口腔生化学実習 実習 60 2 2	B2160 微生物学 講義 必修 60 2 2	B2165 口腔微生物学 講義 必修 30 1 1	B3050 微生物学・口腔微生物学実習 実習 必修 60 2 2	B2170 薬理学 講義 必修 30 1 1	B3060 歯科薬理学 講義 必修 60 2 2	B3070 薬理学・歯科薬理学実習 実習 必修 60 2 2	B2175 公衆衛生学Ⅰ 講義 必修 30 1 1	B2176 公衆衛生学Ⅱ 講義 必修 30 1 1	B3090 公衆衛生学Ⅲ 講義 必修 30 1 1	C3095 公衆衛生学Ⅳ 講義 必修 30 1 1	B3100 公衆衛生学実習 実習 必修 60 2 2	B3110 病理学 講義 必修 60 2 2	B3130 口腔病理学 講義 必修 60 2 2	B3120 病理診断学実習 実習 必修 90 3 3	B2180 歯科理工学 講義 必修 60 2 2	B2190 歯科理工学実習 実習 必修 60 2 2	C3150 全部床義歯補綴学 講義 必修 60 2 2	C4010 歯科補綴学実習Ⅰ 実習 必修 90 3 3	C4020 部分床義歯補綴学 講義 必修 60 2 2	C4030 歯科補綴学実習Ⅱ 実習 必修 90 3 3	C4040 クラウンブリッジ補綴学 講義 必修 60 2 2	C3160 歯冠彫刻実習 実習 必修 60 2 2	C3170 保存修復学 講義 必修 60 2 2	C4060 保存修復学実習 実習 必修 90 3 3	C3180 小児歯科学 講義 必修 30 1 1	C4065 小児歯科学 講義 必修 30 1 1	C3190 歯科矯正学 講義 必修 30 1 1	C4080 歯科矯正学 講義 必修 30 1 1	C4095 小児・矯正基礎実習 実習 必修 60 2 2	C3200 口腔外科学 講義 必修 30 1 1	C4100 口腔外科学 講義 必修 60 2 2	C4110 歯科麻酔学 講義 必修 60 2 2	C4120 歯科放射線学 講義 必修 60 2 2	C3205 歯内治療学 講義 必修 30 1 1	C4130 歯内治療学 講義 必修 30 1 1	C4140 歯内治療学実習 実習 必修 60 2 2	C3210 歯周病学 講義 必修 30 1 1	C4150 歯周病学 講義 必修 30 1 1	C4160 歯周病学実習 実習 必修 60 2 2	C3220 内科学 講義 必修 60 2 2	C4105 口腔インプラント学 講義 必修 30 1 1	C3254 法歯科学 講義 必修 30 1 1	C4180 障がい者歯科学 講義 必修 30 1 1	C4185 高齢者歯科学 講義 必修 30 1 1	C4187 摂食嚥下療法 講義 必修 30 1 1	C3251 医療面接学 講義 必修 30 1 1	C3015 隣接医学 講義 必修 30 1 1	B2210 歯科医学研究A 演習 選択 30 (1)	B3260 歯科医学研究B 演習 選択 30 (1)	C4192 臨床予備演習 演習 60 2 2	C4200 総合講義4年 講義 必修 150 5 5	D5001 臨床講義 講義 285 9 9	E6010 総合講義6年 講義 必修 1125 36 36	E6050 総合講義演習 演習 225 5 5	D5000 臨床実習 実習 1575 35 35	小 計 6510 193 2 単位 32 [33] 単位 34 [35] 単位 40 単位 44 単位 41 単位		() 自由選択科目
		合 小 計	7440	224 [226]	30	単位	35 [36]	単位	34 [35]	単位	40	単位	44	単位	41	単位																																																										

2021年度卒業認定・学位授与の当該授業科目一覧表

ディプロマ・ポリシー

DP1	1. 歯科医師としての倫理観を身につける。
DP2	2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
DP3	3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
DP4	4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
DP5	5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
DP6	6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

	No	科目名	ディプロマ・ポリシー						
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
教 養 教 育 科 目	A1010	入門歯科医学	○	○	○				
	A1020	生命科学入門Ⅰ		○	○			○	
	A1025	生命科学入門Ⅱ		○	○			○	
	A1030	入門歯科医学実習		○	○	○			
	A1041	人体機能学		○	○		○		
	A1046	環境学・国際文化学		○	○			○	○
	A1050	体育		○	○				
	A1060	情報リテラシー		○	○		○		
	A1070	口腔科学入門		○	○				
	A1080	解剖学入門		○	○			○	
	A1100	言語表現(英語)Ⅰ		○	○				○
	A1110	言語表現(英語)Ⅱ		○	○				○
	A1160	基礎化学		○	○			○	
	A1170	天然物有機化学		○	○			○	
	A1175	バイオマテリアル入門		○	○			○	
	A1180	健康管理学		○	○			○	
	A1185	スポーツ生理学		○	○			○	
	A1190	細胞生物学		○	○			○	
	A1195	人体生物学		○	○			○	
A1200	オープンセミナーⅠ		○	○			○		
A1210	オープンセミナーⅡ		○	○			○		
A2010	化学実験		○	○			○		
A2020	生物学実験		○	○			○		
A2030	分子生物学		○	○			○		
専 門 教 育 科 目	B1090	解剖学Ⅰ		○	○				
	B1120	解剖学入門実習		○	○				
	B2050	解剖学Ⅱ		○	○				
	B2060	歯の解剖学		○	○				
	B2070	解剖学実習	○	○	○				
	B2080	組織学		○	○				
	B2090	口腔組織学		○	○				
	B2095	組織学・口腔組織学実習		○	○				
	B2100	生理学		○	○				
	B2110	口腔生理学		○	○				
	B2120	生理学・口腔生理学実習		○	○				
	B2130	生化学		○	○				
	B2140	口腔生化学Ⅰ		○	○				
	B3030	口腔生化学Ⅱ		○	○				
	B2150	生化学・口腔生化学実習、生化学特講		○	○				
	B2160	微生物学		○	○				
	B2165	口腔微生物学		○	○				
	B3050	微生物学・口腔微生物学実習		○	○				
	B2170	薬理学		○	○				
	B3060	歯科薬理学		○	○				
	B3070	薬理学・歯科薬理学実習		○	○				
	B2175	公衆衛生学Ⅰ		○	○				
	B2176	公衆衛生学Ⅱ		○	○				
	B3090	公衆衛生学Ⅲ		○	○				
	C3095	公衆衛生学Ⅳ	○	○	○				
	B3100	公衆衛生学実習	○	○	○				
	B3110	病理学		○	○				
	B3130	口腔病理学		○	○				
	B3120	病理診断学実習		○	○		○		
	B2180	歯科理工学		○	○				
	B2190	歯科理工学実習		○	○		○		
	C3150	全部床義歯補綴学		○	○				
	C4010	歯科補綴学実習Ⅰ		○	○		○		
	C4020	部分床義歯補綴学		○	○				
	C4030	歯科補綴学実習Ⅱ		○	○		○		
	C4040	クランプロリッジ補綴学		○	○				
	C3160	歯冠形成実習		○	○		○		
	C3170	保存修復学		○	○				
	C4060	保存修復学実習		○	○		○		
	C3180	小児歯科学		○	○				
	C4065	小児歯科学		○	○				
	C3190	歯科矯正学		○	○				
	C4080	歯科矯正学		○	○				
	C4095	小児・矯正基礎実習		○	○		○		
	C3200	口腔外科学		○	○				
	C4100	口腔外科学		○	○				
	C4110	歯科麻酔学		○	○				
	C4120	歯科放射線学		○	○				
	C3205	歯内治療学		○	○				
	C4130	歯内治療学		○	○				
C4140	歯内治療学実習		○	○		○			
C3210	歯周病学		○	○					
C4150	歯周病学		○	○					
C4160	歯周病学実習		○	○		○			
C3220	内科学		○	○			○		
C4105	口腔インプラント学		○	○			○		
C3254	法医学		○	○					
C4180	障がい者歯科学	○	○	○		○			
C4185	高齢者歯科学		○	○					
C4187	摂食嚥下療法		○	○					
C3251	医療面接学		○	○					
C3015	隣接医学		○	○		○			
B2210	歯科医学研究 A		○	○			○		
B3260	歯科医学研究 B		○	○			○		
C4192	臨床予備演習	○	○	○			○		
C4200	総合講義4年		○	○		○			
D5001	臨床講義		○	○					
E6010	総合講義6年		○	○					
E6050	総合講義演習		○	○				○	
D5500	臨床実習		○	○		○		○	
D5500	臨床実習		○	○		○		○	
合 計			8	91	91	14	23	3	



2021年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

	学 科 目	授業 形態	履修 区分	履修数 時間	履修数 単位	学年	実務経験 職種	主な担当者 (実務経験のある教員)	実務経験と教育内容の関連性
専 門	全部床義歯補綴学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	樋口大輔、笠原隼男、山口葉子、藤井政樹、吉田裕哉、藤股哲也	歯及び顎口腔系の喪失に伴う形態変化と機能喪失により低下したQOLを可撤性補綴装置により改善させる欠損補綴学の講義をする。
	歯科補綴学実習Ⅰ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原隼男、山口葉子、藤井政樹、吉田裕哉、霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、谷内秀寿、篠原聖武、川和忠治、秋山友里	可撤性補綴装置により改善させる有床義歯の基本的な臨床手技ならびに製法の実習を行う。
	部分床義歯補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原隼男、山口葉子、藤井政樹、吉田裕哉、霜野良介	部分欠損患者の機能回復の手段となる部分床義歯を中心に学理と技法の講義を行う。
	歯科補綴学実習Ⅱ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原隼男、山口葉子、藤井政樹、吉田裕哉、霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、谷内秀寿、篠原聖武、川和忠治、秋山友里	欠損歯列模型を用いて、部分欠損の補綴装置ならびに歯冠補綴装置を製作する術式について実習する。
	クラウンブリッジ補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原隼男、山口葉子、藤井政樹、吉田裕哉、霜野良介、倉澤郁文	クラウンブリッジによる機能回復法ならびにその術後管理に関する講義を行う。
	歯冠彫刻実習	実習	必修	60	2	3	歯科医師	金銅英二、亀山敦史、森啓、小町谷美帆、小松佐保	歯冠修復物の形態的具備要件を臨床上で適切、かつ効率的に適用するために必要な歯冠形態、咬合関係の回復に関する実習を行う。
	保存修復学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	亀山敦史、森啓、小町谷美帆、小松佐保、内川竜太郎	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する講義を行う。
	保存修復学実習	実習	必修	90	3	4	歯科医師	亀山敦史、山本昭夫、安西正明、森啓、小町谷美帆、尾崎友輝、中村卓、小松佐保、内川竜太郎、石岡康明、佐故竜介、三好弥志、中村圭吾、宮國西、岩崎拓也、奥瀬稔之、田井康寛、朝倉莉紗、水谷隆一、上原龍一、原美音、笠原悦男	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患の病態と罹患患者に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する実習を行う。
	小児歯科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志	小児期から成人に至る口腔機能について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯科矯正学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	岡藤純正、川原良美	矯正歯科治療の意義と目的及び不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	小児・矯正基礎実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	大須賀直人、岡藤純正、正村正仁、中村浩志、川原良美、中山聡、森山敬太、村岡理奈、西村恵子、深沢香葉子、中根隆、橋本達也、丸山歩美	乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法や歯内療法、小児のブラッシング方法、保険装置の作製法、矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法について実習を行う。
	口腔外科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	芳澤享子、中山洋子、藤森安奈	口腔外科領域の疾患（外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、嚢胞、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患、顎変形症）の原因・発生機序・症状および口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法について講義をする。
		講義	必修	60	2	4			
	歯科麻酔学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	澁谷徹、谷山貴一	歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の基本、救急処置の基本、口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺、および医療事故防止のための安全管理について講義をする。
	歯科放射線学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	田口明、黒岩博子、杉野紀幸	歯科放射線における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について講義をする。
	歯内治療学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	増田宣子	歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯内治療学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	増田宣子、安西正明、小町谷美帆、尾崎友輝、中村卓、小松佐保、石岡康明、内川竜太郎、三好弥志、佐故竜介、中村圭吾、宮國西、岩崎拓也、奥瀬稔之、田井康寛、朝倉莉紗、水谷隆一、甲田調子	髄栓を指摘し、臨床応用できる基本的な技術をマネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより実習する。
	歯周病学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分菜々衣、中村卓、石岡康明	歯周組織の形態的・機能的特性、歯周病の病因に基づいて歯周疾患の検査、診断、病態、分類、疫学について各種治療法と、予防法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯周病学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分菜々衣、中村卓、石岡康明、佐故竜介、田井康寛、水谷隆一、上原龍一、原美音	歯周病学の病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を模型により実習を行う。
	内科学	講義	必修	60	2	3	医師	前島信也、佐藤晶、川茂幸	医師として実務経験のある教員が、内科的疾患の病態と治療に関する身体の総合的かつ内科的な疾患を歯科医師としての関わりについて講義をする。
	口腔インプラント学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	各務秀明、吉成伸夫、小林泰浩、田所治、杉野紀幸、笠原隼男、藤森安奈、植田章夫、樋口大輔	インプラント治療を適切に説明し実践するために、インプラント治療の目的と意義、治療計画、埋入手術方法、装着後のメンテナンスまでの治療などについて講義を行う。
	障がい者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之、望月慎恭	スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	高齢者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之、望月慎恭	全身疾患を有する高齢者への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	摂食嚥下療法学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之、望月慎恭	摂食嚥下機能障害を有する障害者・者ならびに高齢者への講義を行う。
医療面接学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	森啓	歯科臨床における医療面接について、倫理的配慮より適切に患者症状を聴取することができるようになるよう講義をする。	
隣接医学	講義	必修	30	1	3	医師	皮膚科：林宏一、鈴木啓之 眼科：太田 浩一 耳鼻咽喉科：相馬啓子	それぞれの担当科で歯科口腔領域との関連疾患の診断、治療について講義をする。	
臨床実習	実習	必修	1575	35	5	歯科医師	吉成伸夫、山本昭夫、安西正明、亀山敦史、増田宣子、黒岩昭弘、倉澤郁文、川原一郎、芳澤享子、各務秀明、岡藤純正、大須賀直人、田口明、内田啓一、配島弘之、澁谷徹、樋口大輔	精巧なマネキンを使っているのシュミレーション実習、学生相互による診療行為、医師員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為を実施する。	
合 計				3015	83				
省令で定める基準単位数					19				

2021年度 前期 時間割表

曜日	学年	時間	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年	第5学年	第6学年
			A	B	C	D	A	B	C	D	A・B			
月	1	9:00~10:30	Weedy Test キャンパスイン:101			Weedy Test 本:多目的ホール			Weedy Test 講:106・107			総合講義6年 本:602		
	2	10:40~12:10	言語表現(英語) I (3クラス編成) (古坂) 講:101・102・104			生化学 (宇田川) 実:312			全部卒業補修学 (樋口) 講:201			臨床実習		
	3	13:10~14:40	環境学・国際文化学 (宇田川) 実:216			解剖学実習 (金剛) 本:解剖実習室 (安藤) 実:306			化学実験 (山下) 実:309			臨床実習 講義:202		
	4	14:50~16:20	人体機能学 (海野) 実:316			導入生化学実習 (金剛) 本:解剖実習室 (安藤) 実:309			生物学実験 (山下) 実:306			臨床実習		
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105			※化学実験・生化学実験は1クラス単位で交互に行う ※編入留學生は日本語演習を履修 講:101・102・105			細胞学 (中村) 実:312			臨床実習		
火	1	9:00~10:30	生命科学入門 I (宇田川) 実:216			細胞学 (中村) 実:312			薬理学 (十川) 講:201			総合講義6年 本:602		
	2	10:40~12:10	入門解剖医学 (中村) 実:216			生化学 (北山) 実:312			薬理学 (十川) 講:201			総合講義6年 本:602		
	3	13:10~14:40	生命科学入門 II (岡藤) 実:216			生物学実験 (山下) 実:309 (安藤) 実:306			解剖学実習 (金剛) 本:解剖実習室 (安藤) 実:309			臨床実習		
	4	14:50~16:20	生物学実験 (山下) 実:309 (安藤) 実:306			化学実験 (山下) 実:306			微生物学・口腔微生物学実習 (吉田) 講:201・実:212			臨床実習		
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105			※化学実験・生化学実験は1クラス単位で交互に行う ※編入留學生は日本語演習を履修 講:101・102・105			生理学 (村上) 講:201			臨床実習		
水	1	9:00~10:30	細胞生物学 (安藤) 実:216			生化学 (北山) 実:312			薬理学 (十川) 講:201			総合講義6年 本:602		
	2	10:40~12:10	基礎化学 (2クラス編成) (山下) 講:102・104・実:216			生化学 (宇田川) 実:312			薬理学 (村上) 講:201			総合講義6年 本:602		
	3	13:10~14:40	入門臨床医学実習 (8班編成) (谷内) 病院地			公衆衛生学 I (山賀) 実:312			法医学 (5/12~7/7・8コマ) (中村・山田) 講:201・実:307			臨床実習		
	4	14:50~16:20	日本語演習(留学生) 講:101・102・105			※編入留學生は日本語演習を履修 講:101・102・105			法医学 (5/19~7/7・7コマ) (中村・山田) 講:201・実:307			臨床実習		
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105			※編入留學生は日本語演習を履修 講:101・102・105			分子生物学 (中野) 実:312			臨床実習		
木	1	9:00~10:30	解剖学入門 (山賀) 実:216			分子生物学 (中野) 実:312			薬理学 (十川) 講:201			総合講義6年 本:602		
	2	10:40~12:10	言語表現(英語) I (3クラス編成) (古坂) 講:101・102・105			解剖学 II (金剛) 実:312			クラウンアップ補修学 (樋口) 講:202			総合講義6年 本:602		
	3	13:10~14:40	体育 (2クラス変則編成) (米津・安藤) 体育館・陸上競技場			微生物学 (吉田) 実:312			公衆衛生学 II (山賀) 講:201			臨床実習		
	4	14:50~16:20	日本語演習(留学生) 講:101・102・105			編入生は化学セミナーを履修 (山下) 実:312			5/7~7/8 実地、全10回3コマ ▽			臨床実習		
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105			※編入留學生は日本語演習を履修 講:101・102・105			植物学 (吉成) 講:202			臨床実習		
金	1	9:00~10:30	健康管理学 (安藤) 実:216			薬理工学 (黒岩) 実:312			薬理学 (十川) 講:201			総合講義6年 本:602		
	2	10:40~12:10	基礎化学 (2クラス編成) (山下) 講:102・104・実:216			薬理工学 (黒岩) 実:312			創薬実習 (亀山) 実:101			臨床講義		
	3	13:10~14:40	オーブンセミナー I (選抜) (中村)			微生物学 (吉田) 実:312			口腔生化学 II (小林) 講:201			臨床講義		
	4	14:50~16:20	体育 (2クラス変則編成) (米津・安藤) 体育館・陸上競技場			編入生は化学セミナーを履修 (山下) 実:312			内科学 (鶴島) 講:201			臨床講義		
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105			※編入留學生は日本語演習を履修 講:101・102・105			植物解剖学 (樋口) 講:202			臨床講義		
土	1	9:00~10:30	日本語演習(留学生) 講:101・102・105			※編入留學生は日本語演習を履修 講:101・102・105			植物解剖学 (樋口) 講:202			Weekly Test 本:601		
									植物解剖学実習 I (樋口) 実:101			Weekly Test 本:601		

2021年度 第4学年 年間授業予定表

《 前期 》

		月曜日			火曜日			水曜日			木曜日			金曜日						
		月	日	備考	月	日	備考	月	日	備考	月	日	備考	月	日	備考				
①		3	29		①	3	30		①	3	31		①	4	1		①	4	2	
②		4	5		②	4	6		②	4	7		②		15		②		9	
③			12		③		13		③		14		③		22		③		16	
④			19		④		20		④		21		④	5	6		④		23	
⑤			26		⑤		27		⑤		28		⑤		7 (金)		⑤		30	
⑥		5	10		⑥	5	11		⑥	5	12		⑥		13		⑥	5	14	
⑦			17		⑦		18		⑦		19		⑦		20		⑦		21	
⑧			24		⑧		25		⑧		26		⑧		27		⑧		28	
⑨			31		⑨	6	1		⑨	6	2		⑨	6	3		⑨	6	4	
⑩		6	7		⑩		8		⑩		9		⑩		10		⑩		11	
⑪			14		⑪		15		⑪		16		⑪		17		⑪		18	
⑫			21		⑫		22		⑫		23		⑫		24		⑫		25	
⑬			28		⑬		29		⑬		30		⑬	7	1		⑬	7	2	
⑭		7	5		⑭	7	6		⑭	7	7		⑭		8		⑭		9	
⑮			12		⑮		13		⑮		14		⑮		15		⑮		16	

- ※ オリエンテーション：3/26 (金)、健康診断：4/9 (金)
- ※ 前期定期試験：7/20 (火)～7/31 (土)
- ※ 前期補習期間 (対象者必須)：8/2 (月)～8/6 (金)
- ※ 前期追・再試験 (予定)：8月～11月

《 後期 》

		月曜日			火曜日			水曜日			木曜日			金曜日						
		月	日	備考	月	日	備考	月	日	備考	月	日	備考	月	日	備考				
①		8	23		①	8	17		①	8	18		①	8	19		①	8	20	
②			30		②		24		②		25		②		26		②		27	
③		9	6		③		31		③	9	1		③	9	2		③	9	3	
④			13		④	9	7		④		8		④		9		④		10	
⑤			24 (金)		⑤		14		⑤		15		⑤		16		⑤		17	
⑥			27		⑥		21		⑥		22		⑥		30		⑥	10	1	
⑦		10	4		⑦		28		⑦		29		⑦	10	7		⑦		8	
⑧			11		⑧	10	5		⑧	10	6		⑧		14		⑧		15	
⑨			18		⑨		12		⑨		13		⑨		21		⑨		22	
⑩			25		⑩		19		⑩		20		⑩		28		⑩		29	
⑪		11	1		⑪		26		⑪		27		⑪	11	4		⑪	11	5	
⑫			8		⑫	11	2		⑫	11	10		⑫		11		⑫		12	
⑬			15		⑬		9		⑬		17		⑬		18		⑬		19	
⑭			22		⑭		16		⑭		24		⑭		25		⑭		26	
⑮			29		⑮		30		⑮	12	1		⑮	12	2		⑮	12	3	

- ※ 後期定期試験：12/9 (木)～12/18 (土)
- ※ 後期追・再試験：1/6 (木)～1/17 (月)
- ※ 共用試験 (CBT)：2/1 (火)、再試験：2/25 (金) 共用試験 (CBT)：2/8 (金)
- ※ 共用試験 (OSCE)：2/19 (土)、再試験：2/28 (月)

総目次

第4学年	1
第5学年	161
第6学年	249
病院概要	317
施設概要図	320

第 4 学 年

第 4 学年目次

歯科補綴学実習Ⅰ	3
部分床義歯補綴学	16
歯科補綴学実習Ⅱ	19
クラウンブリッジ補綴学	33
保存修復学実習	37
小児歯科学	50
歯科矯正学	54
小児・矯正基礎実習(小児)	57
小児・矯正基礎実習(矯正)	62
口腔外科学	67
歯科麻酔学	71
歯科放射線学	75
歯内治療学	78
歯内治療学実習	82
歯周病学	93
歯周病学実習	96
口腔インプラント学	103
障がい者歯科学	106
高齢者歯科学	109
摂食嚥下療法学	112
臨床予備演習	114
総合講義	133
2021年度 4 学年 日程表	149
2021年度 第 4 学年 年間予定	158

歯科補綴学実習 I (C4010)

第4学年 (前期)
実習 必修

【担当者】

教授：樋口大輔

講師：笠原隼男、富士岳志、山口葉子、藤井政樹、吉田裕哉

助教：霜野良介

助手：平井博一郎、吉野旭宏、王 宜文、柴田幸成

特任教授：倉澤郁文

非常勤講師：伊比 篤、北澤富美、小澤謙太、篠原聖武、羽毛田匡、秋山友里

【一般目標 (GIO)】

歯科補綴学における部分床義歯および全部床義歯の臨床に必要な基本的手法と技術を習得する。

【行動目標 (SBOs)】

仮想患者による医療面接を実施し、必要な診査、検査法を選択し、診断を行うができる。(知、態、技)

部分床義歯および全部床義歯の臨床概略を説明できる。(知)

部分床義歯および全部床義歯が製作できる。(技)

【教科書・参考書】

〔教科書〕細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニク (第6版)」(医歯薬出版)

細井紀雄他編：「無歯顎補綴治療学 (第3版)」(医歯薬出版)

黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー (第5版)」(学建書院) (1年次購入済)

五十嵐順正他編：「パーシャルデンチャーテクニク (第5版)」(医歯薬出版)

赤川安正他編：「歯学生のパーシャルデンチャー (第6版)」(医歯薬出版)

【教育 (学習) 方略 (LS)】

ビデオ・教材を用いて製作手順を理解し、実際に可撤性義歯の製作を行う。製作物および定期試験等により理解を評価する。

【フィードバック方法】

講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法 (Evaluation)】

出席回数・実習態度 (10%)・製作物 (30%)・定期試験 (30%)・Weekly Test (30%) により評価する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。指定した準備品を持参のうえ、白衣を着用し、実習を行うこと。

【準備学習時間 (予習・復習)】

60分

予 習：実習書および参考書を事前に読み、実習内容を理解したうえで実習に臨むこと。(15分)

復 習：実習で実際に行った作業とその目的について、教科書、講義ノート、参考書を見直し復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

原則として木曜日 16:30~18:00

本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 歯科補綴学実習 I 第 4 学年 (前期) </div>					
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
1	4月2日(金) 3時限	全部床義歯① 器材準備 AB班：咬合採得 CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
2	4月2日(金) 4時限	全部床義歯① 器材準備 AB班：咬合採得 CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
3	4月2日(金) 5時限	全部床義歯① 器材準備 AB班：咬合採得 CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
4	4月9日(金) 3時限	全部床義歯② AB班：咬合調整用模型リマウント CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
5	4月9日(金) 4時限	全部床義歯② AB班：咬合調整用模型リマウント CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
6	4月9日(金) 5時限	全部床義歯② AB班：咬合調整用模型リマウント CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
7	4月16日(金) 3時限	全部床義歯③ 模型装着	咬合器の使用法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
8	4月16日(金) 4時限	全部床義歯③ 模型装着	咬合器の使用法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
9	4月16日(金) 5時限	全部床義歯③ 模型装着	咬合器の使用法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
10	4月23日(金) 3時限	全部床義歯④ 人工歯排列①	前歯部人工歯排列を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
11	4月23日(金) 4時限	全部床義歯④ 人工歯排列①	前歯部人工歯排列を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
12	4月23日(金) 5時限	全部床義菌④ 人工菌排列①	前菌部人工菌排列を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
13	4月30日(金) 3時限	全部床義菌⑤ 人工菌排列②	白菌部人工菌排列法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
14	4月30日(金) 4時限	全部床義菌⑤ 人工菌排列②	白菌部人工菌排列法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
15	4月30日(金) 5時限	全部床義菌⑤ 人工菌排列②	白菌部人工菌排列法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
16	5月14日(金) 3時限	全部床義歯⑥ 歯肉形成	義歯研磨面形態を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
17	5月14日(金) 4時限	全部床義歯⑥ 歯肉形成	義歯研磨面形態を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
18	5月14日(金) 5時限	全部床義歯⑥ 歯肉形成	義歯研磨面形態を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
19	5月21日(金) 3時限	全部床義歯⑦ 埋没重合①	埋没法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
20	5月21日(金) 4時限	全部床義歯⑦ 埋没重合①	埋没法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
21	5月21日(金) 5時限	全部床義歯⑦ 埋没重合①	埋没法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
22	5月28日(金) 3時限	全部床義歯⑧ 埋没重合②	埋没法を習得する。 流蠟・重合操作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
23	5月28日(金) 4時限	全部床義歯⑧ 埋没重合②	埋没法を習得する。 流蠟・重合操作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
24	5月28日(金) 5時限	全部床義歯⑧ 埋没重合②	埋没法を習得する。 流蠟・重合操作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
25	6月4日(金) 3時限	全部床義歯⑨ 掘り出し・研磨	重合後の取り扱いを理解する。 義歯の咬合器再装着を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
26	6月4日(金) 4時限	全部床義歯⑨ 掘り出し・研磨	重合後の取り扱いを理解する。 義歯の咬合器再装着を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
27	6月4日(金) 5時限	全部床義歯⑨ 掘り出し・研磨	重合後の取り扱いを理解する。 義歯の咬合器再装着を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
28	6月11日(金) 3時限	全部床義歯⑩ 咬合調整・個人トレー	削合法を習得する。 咬合調整を習得する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
29	6月11日(金) 4時限	全部床義歯⑩ 咬合調整・個人トレー	削合法を習得する。 咬合調整を習得する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
30	6月11日(金) 5時限	全部床義歯⑩ 咬合調整・個人トレー	削合法を習得する。 咬合調整を習得する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
31	6月18日(金) 3時限	部分床義歯① 器材整備 技工指示書	義歯治療に必要な器材について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
32	6月18日(金) 4時限	部分床義歯① 器材整備 技工指示書	義歯治療に必要な器材について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
33	6月18日(金) 5時限	部分床義歯① 器材整備 技工指示書	義歯治療に必要な器材について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
34	6月25日(金) 3時限	部分床義歯② 咬合採得① 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプ製作前の準備を理解する。 咬合器装着について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
35	6月25日(金) 4時限	部分床義歯② 咬合採得① 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプ製作前の準備を理解する。 咬合器装着について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
36	6月25日(金) 5時限	部分床義歯② 咬合採得① 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプ製作前の準備を理解する。 咬合器装着について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
37	7月2日(金) 3時限	部分床義歯③ 咬合採得② 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプを製作できる。 咬合器装着について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
38	7月2日(金) 4時限	部分床義歯③ 咬合採得② 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプを製作できる。 咬合器装着について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
39	7月2日(金) 5時限	部分床義歯③ 咬合採得② 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプを製作できる。 咬合器装着について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
40	7月9日(金) 3時限	部分床義歯④ 耐火模型製作 ワックスアップ準備	支台装置・フレームワーク製作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
41	7月9日(金) 4時限	部分床義歯④ 耐火模型製作 ワックスアップ準備	支台装置・フレームワーク製作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
42	7月9日(金) 5時限	部分床義歯④ 耐火模型製作 ワックスアップ準備	支台装置・フレームワーク製作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
43	7月16日(金) 3時限	部分床義歯⑤ ワックスアップ	フレームワークの製作手順を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
44	7月16日(金) 4時限	部分床義歯⑤ ワックスアップ	フレームワークの製作手順を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
45	7月16日(金) 5時限	部分床義歯⑤ ワックスアップ	フレームワークの製作手順を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

部分床義歯補綴学 (C4020)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：樋口大輔、黒岩昭弘
講師：笠原隼男
助教：霜野良介

【一般目標（GIO）】

有床義歯が、多数歯欠損に対し口腔内の形態、機能、審美性を回復してその状態を長く維持する補綴装置であることを認識するために、部分床義歯補綴の臨床術式と製作に必要な理論を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 部分欠損患者の診査・診断・治療計画の立案の基礎について理解する。
2. 部分床義歯の設計について理解する。
3. 部分床義歯の臨床手技について理解する。
4. 部分床義歯の技工操作について理解する。
5. 部分床義歯装着患者の義歯装着後の経過について理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 藍稔他編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）
 歯科医師国家試験対策研究会：「セレクト部分床義歯 縮刷版」（学建書院）
 五十嵐順正他編：「パーシャルデンチャーテクニック（第5版）」（医歯薬）
〔参考書〕 山下秀一郎編：有床義歯補綴学（永末書店）
 藍 稔：補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識（学研書院）

【教育（学習）方略（LS）】

授業は板書、スライド等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。
Weekly Test では1回の授業につき、3問の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

出席回数・授業態度（10%）、定期試験（60%）、Weekly Test（30%）により評価する。前期と後期はそれぞれ評価し、最終成績は両者を勘案して決定する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）
復 習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了時から当日18：30まで
樋口大輔、笠原隼男、霜野良介：本館4階東棟 歯科補綴学講座医局
黒岩昭弘：本館4階西棟 歯科理工学講座教授室

【授業日程】

部分床義歯補綴学				
第4学年（前期）				
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月31日(水) 1時限	部分床義歯補綴学概論	歯の欠損に伴う顎口腔系の形態的、機能的変化を列挙し、補綴装置による形態と機能の回復を説明できる。(知) 部分床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知)	樋口 大輔
2	3月31日(水) 2時限	部分的な歯の欠損 補綴装置	部分的な歯の欠損と欠損の治療、治療の意義を理解する。	黒岩 昭弘
3	4月7日(水) 1時限	歯の欠損に由来する顎口腔系の変化 歯の欠損様式と義歯の分類	歯の欠損に伴う病態・障害について理解する。 歯の欠損様式と義歯の分類について理解する。	笠原 隼男
4	4月7日(水) 2時限	RPDの構成要素	部分床義歯の構成要素を列挙し、その役割を説明できる。(知)	笠原 隼男
5	4月14日(水) 1時限	支台歯・欠損部顎堤の負担能力	支台歯・欠損部顎堤の負担能力について理解する。	黒岩 昭弘
6	4月14日(水) 2時限	支台装置の仕組み 支持・把持・維持	支台装置の仕組みを理解する。 支持・把持・維持について理解する。	笠原 隼男
7	4月21日(水) 1時限	支台装置(1)	支台装置について理解する。 クラスプの基本形態	笠原 隼男
8	4月21日(水) 2時限	支台装置(2)	クラスプの種類・特徴を理解する。 クラスプ以外の支台装置を理解する。	笠原 隼男
9	4月28日(水) 1時限	ガイドプレーン・プロキシマルプレート	義歯の動揺を防止する構成要素を学ぶ。	笠原 隼男
10	4月28日(水) 2時限	大連結子 小連結子 義歯床	大連結子、小連結子、義歯床の形態・要件を理解する。	笠原 隼男
11	5月12日(水) 1時限	総論範囲の総括 1-1	歯の欠損に伴う顎口腔系の形態的、機能的変化を列挙し、補綴装置による形態と機能の回復を説明できる。(知)	笠原 隼男
12	5月12日(水) 2時限	総論範囲の総括 1-2 小テスト	歯の欠損に伴う顎口腔系の形態的、機能的変化を列挙し、補綴装置による形態と機能の回復を説明できる。(知)	霜野 良介
13	5月19日(水) 1時限	部分床義歯による欠損補綴の治療立案 ここから先が臨床手技、技工	欠損歯列の治療について実際の治療方針の立案法を知る。	黒岩 昭弘
14	5月19日(水) 2時限	欠損歯列の補綴前処置 レスト、レストシート	補綴前に口腔内環境を改善しておくことの必要性を理解する。 義歯の沈下を防止する構成要素を学ぶ。	笠原 隼男
15	5月26日(水) 1時限	RPDの印象採得法	残存歯と欠損部顎堤といった異なった組織を再現すべき印象法について理解する。	笠原 隼男
16	5月26日(水) 2時限	RPDの設計(1) 欠損形態と設計	生物学的および機械的判断基準について理解する。 欠損形態と設計の関係について理解する。	笠原 隼男
17	6月2日(水) 1時限	RPDの設計(2) 支台歯の条件と設計	支台歯の条件と設計の関係について理解する。	黒岩 昭弘
18	6月2日(水) 2時限	部分欠損における咬合採得技法	咬合採得技法を理解する。	笠原 隼男
19	6月9日(水) 1時限	各論範囲の総括 2-1	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	笠原 隼男

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
20	6月9日(水) 2時限	総論範囲の総括 2-2 小テスト	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	霜野 良介
21	6月16日(水) 1時限	作業用模型の修正 フレームワークの製作・試適手順	作業用模型の修正について理解する。 フレームワークの製作、試適時の診査を理解する。	笠原 隼男
22	6月16日(水) 2時限	人工歯の選択・排列方法 辺縁部の形態、蝕義歯試適診査時の指導	人工歯の選択基準、人工歯の排列方法等を理解する。 辺縁部の形態、蝕義歯試適時の診査方法を理解する。	笠原 隼男
23	6月23日(水) 1時限	義歯の重合手順・研磨方法	義歯の埋没・重合操作の手順、研磨方法について理解する。	笠原 隼男
24	6月23日(水) 2時限	義歯の装着・義歯の装着時の調整・義歯装着時の指導	義歯の管理方法、義歯診査・調整法を共に理解する。	笠原 隼男
25	6月30日(水) 1時限	生体変化・義歯変化・リコール	義歯装着後の口腔内、義歯の変化、リコールを理解する。	笠原 隼男
26	6月30日(水) 2時限	リライン・リベースの手技、義歯修理	義歯装着後の変化と対応、リライン・リベースの目的、適応、義歯修理の方法について理解する。	笠原 隼男
27	7月7日(水) 1時限	テレスコプクラウン オーバーデンチャー (天然歯)	テレスコプクラウンについて理解する。	黒岩 昭弘
28	7月7日(水) 2時限	部分床義歯に付与する咬合	部分床義歯の設計について説明できる。(知)	黒岩 昭弘
29	7月14日(水) 1時限	補綴装置の種類ならびに適応症 顎補綴	各種補綴装置の利欠点を理解する。 適応症、種類、手順を理解する。	笠原 隼男
30	7月14日(水) 2時限	部分床義歯学総括 試験直前講義	歯の欠損に伴う顎口腔系の形態的、機能的変化を列挙し、補綴装置による形態と機能の回復を説明できる。(知) 部分床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知)	笠原 隼男

歯科補綴学実習Ⅱ (C4030)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：樋口大輔
講師：笠原隼男、富士岳志、山口葉子、藤井政樹、吉田裕哉、谷内秀寿
助教：霜野良介
助手：平井博一郎、吉野旭宏、王 宜文、柴田幸成
特任教授：倉澤郁文、川和忠治
非常勤講師：伊比 篤、北澤富美、小澤謙太、篠原聖武、羽毛田 匡、秋山 友里

【一般目標（GIO）】

歯科補綴学における部分床義歯およびクラウンブリッジの臨床に必要な基本的手法と技術を習得する。
歯科補綴学におけるインプラントの臨床に必要な基本的手法と技術を習得する。

【行動目標（SBOs）】

仮想患者による医療面接を実施し、必要な診査、検査法を選択し、診断を行うができる。（知、態、技）
部分床義歯およびクラウンブリッジの臨床概略を説明できる。（知）
部分床義歯およびクラウンブリッジが製作できる。（技）
インプラントの臨床概略を説明できる。（知）

【教科書・参考書】

【教科書】五十嵐順正他編：「パーシャルデンチャーテクニク（第5版）」（医歯薬出版）
赤川安正他編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）
古谷野潔他編：「プロソドンティクス 第I巻」（永末書店）
石橋寛二他編：「クラウンブリッジテクニク」（医歯薬出版）
公益社団法人日本口腔インプラント学会編：「口腔インプラント学実習書」（永末書店）
【参考書】矢谷博文他編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版）
石上 元他編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第3版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

ビデオ・教材を用いて製作手順を理解し、実際に部分床義歯とクラウンブリッジの製作を行う。製作物および定期試験により内容の理解を確認する。

【フィードバック方法】

講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

出席回数・実習態度（10%）・製作物（30%）・定期試験（30%）・Weekly Test（30%）により評価する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。指定した準備品を持参のうえ、白衣を着用し、実習を行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：実習書および参考書を事前に読み、実習内容を理解したうえで実習に臨むこと。（15分）

復 習：実習で実際に行った作業とその目的について、教科書、講義ノート、参考書を見直し復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

原則として木曜日 16:30~18:00

本館 4階東棟 歯科補綴学講座医局

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

歯科補綴学実習Ⅱ						第4学年（後期）	
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者		
1	8月20日(金) 3時限	部分床義歯⑥ ワックスアップ	フレームワーク製作のためのワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成		
2	8月20日(金) 4時限	部分床義歯⑥ ワックスアップ	フレームワーク製作のためのワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成		
3	8月20日(金) 5時限	部分床義歯⑥ ワックスアップ	フレームワーク製作のためのワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成		

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
4	8月27日(金) 3時限	部分床義歯⑦ 人工歯排列 歯肉形成	義歯研磨面形態の製作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
5	8月27日(金) 4時限	部分床義歯⑦ 人工歯排列 歯肉形成	義歯研磨面形態の製作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
6	8月27日(金) 5時限	部分床義歯⑦ 人工歯排列 歯肉形成	義歯研磨面形態の製作を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
7	9月3日(金) 3時限	部分床義歯⑧ 蠟義歯完成	蠟義歯の製作を理解する。 蠟義歯試適を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
8	9月3日(金) 4時限	部分床義歯⑧ 蝨義歯完成	蝨義歯の製作を理解する。 蝨義歯試適を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 聖武 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
9	9月3日(金) 5時限	部分床義歯⑧ 蝨義歯完成	蝨義歯の製作を理解する。 蝨義歯試適を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 聖武 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
10	9月10日(金) 3時限	クラウンブリッジ① 器材準備 #36 支台歯形成 概形印象	支台歯形成を理解する。 クラウンブリッジ製作時の概形印象 を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 川和 忠治 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 聖武 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
11	9月10日(金) 4時限	クラウンブリッジ① 器材準備 #37 支台歯形成 概形印象	支台歯形成を理解する。 クラウンブリッジ製作時の概形印象 を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 川和 忠治 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
12	9月10日(金) 5時限	クラウンブリッジ① 器材準備 #38 支台歯形成 概形印象	支台歯形成を理解する。 クラウンブリッジ製作時の概形印象 を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
13	9月17日(金) 3時限	クラウンブリッジ② 研究用模型製作 個人トレー製作	クラウンブリッジの個人トレーを理 解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
14	9月17日(金) 4時限	クラウンブリッジ② 研究用模型製作 個人トレー製作	クラウンブリッジの個人トレーを理 解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
15	9月17日(金) 5時限	クラウンブリッジ② 研究用模型製作 個人トレー製作	クラウンブリッジの個人トレーを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
16	10月1日(金) 3時限	クラウンブリッジ③ 最終印象 作業用模型製作	最終印象術式を理解する。 印象採得後の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
17	10月1日(金) 4時限	クラウンブリッジ③ 最終印象 作業用模型製作	最終印象術式を理解する。 印象採得後の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
18	10月1日(金) 5時限	クラウンブリッジ③ 最終印象 作業用模型製作	最終印象術式を理解する。 印象採得後の取り扱いを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	10月8日(金) 3時限	クラウンブリッジ④ ダウエルピン植立 フォーマー埋没 咬合器装着 (技工所介入)	冠架工義歯の製作模型の操作法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
20	10月8日(金) 4時限	クラウンブリッジ④ ダウエルピン植立 フォーマー埋没 咬合器装着 (技工所介入)	冠架工義歯の製作模型の操作法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
21	10月8日(金) 5時限	クラウンブリッジ④ ダウエルピン植立 フォーマー埋没 咬合器装着 (技工所介入)	冠架工義歯の製作模型の操作法を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
22	10月15日(金) 3時限	インプラント① 埋入術式	インプラントの埋入術式を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
23	10月15日(金) 4時限	インプラント① 埋入術式	インプラントの埋入術式を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
24	10月15日(金) 5時限	インプラント① 埋入術式	インプラントの埋入術式を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
25	10月22日(金) 3時限	クラウンブリッジ⑤ 歯型分割 ネックトリミング ハードナー・スパーサー塗布 ワックスアップ	ワックスアップ前準備を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
26	10月22日(金) 4時限	クラウンブリッジ⑤ 歯型分割 ネックトリミング ハードナー・スパーサー塗布 ワックスアップ	ワックスアップ前準備を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 圭 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
27	10月22日(金) 5 時限	クラウンブリッジ⑤ 歯型分割 ネックトリミング ハードナー・スパーサー塗布 ワックスアップ	ワックスアップ前準備を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
28	10月29日(金) 3 時限	クラウンブリッジ⑥ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
29	10月29日(金) 4 時限	クラウンブリッジ⑥ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
30	10月29日(金) 5 時限	クラウンブリッジ⑥ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
31	11月5日(金) 3時限	クラウンブリッジ⑦ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
32	11月5日(金) 4時限	クラウンブリッジ⑦ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
33	11月5日(金) 5時限	クラウンブリッジ⑦ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
34	11月12日(金) 3時限	クラウンブリッジ⑧ ポントニック設計 開窓 連結	架工義歯の設計を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
35	11月12日(金) 4時限	クラウンブリッジ⑧ ポントィック設計 開窓 連結	架工義歯の設計を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
36	11月12日(金) 5時限	クラウンブリッジ⑧ ポントィック設計 開窓 連結	架工義歯の設計を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
37	11月19日(金) 3時限	インプラント② 印象採得	印象採得を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
38	11月19日(金) 4時限	インプラント② 印象採得	印象採得を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
39	11月19日(金) 5時限	インプラント② 印象採得	印象採得を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
40	11月26日(金) 3時限	クラウンブリッジ⑨ CAD/CAM 冠形成 加工画像のビデオ上映	CAD/CAM 冠形成を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
41	11月26日(金) 4時限	クラウンブリッジ⑨ CAD/CAM 冠形成 加工画像のビデオ上映	CAD/CAM 冠形成を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
42	11月26日(金) 5時限	クラウンブリッジ⑨ CAD/CAM 冠形成 加工画像のビデオ上映	CAD/CAM 冠形成を理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
43	12月3日(金) 3時限	補綴学実習総括	補綴臨床術式について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
44	12月3日(金) 4時限	補綴学実習総括	補綴臨床術式について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成
45	12月3日(金) 5時限	補綴学実習総括	補綴臨床術式について理解する。	樋口 大輔 笠原 隼男 富士 岳志 山口 葉子 藤井 政樹 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 倉澤 郁文 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 篠原 聖武 羽毛田 匡 秋山 友里	平井博一郎 吉野 旭宏 王 宜文 柴田 幸成

クラウンブリッジ補綴学 (C4040)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：樋口大輔、黒岩昭弘

講師：山口葉子

特任教授：倉澤郁文

非常勤講師：羽毛田 匡

【一般目標（GIO）】

クラウン・ブリッジが、歯質および少数歯欠損に対し、口腔内の形態、機能、審美性を回復してその状態を長く維持する補綴装置であることを認識するために、これらの臨床術式と製作に必要な理論を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)
2. 歯冠補綴物の種類、特徴およびその適応について説明できる。(知)
3. 歯および少数歯欠損に伴う口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査および診断を説明できる。(知)
4. クラウンブリッジの治療に際し必要な前処置を列挙し説明できる。(知)
5. 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。(知)
6. 支台歯形成の意義と方法を説明できる。(知)
7. クラウンブリッジ製作のための印象材の種類、特徴および印象方法を説明できる。(知)
8. テンポラリークラウンブリッジの臨床的意義と製作法を説明できる。(知)
9. 作業用模型の種類と製作法を説明できる。(知)
10. 補綴治療に必要な下顎の基本運動と下顎位について説明できる。(知)
11. 咬合採得の材料、特徴および方法を説明できる。(知)
12. クラウンブリッジ製作に用いる咬合器の種類と特徴を説明できる。(知)
13. フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。(知)
14. クラウンブリッジの蠟型形成法を説明できる。(知)
15. 埋没、鑄造および研磨について説明できる。(知)
16. 陶材焼付冠の治療法と製作法を説明できる。(知)
17. レジン前装冠の治療法と製作法を説明できる。(知)
18. オールセラミッククラウンの治療法と製作法を説明できる。(知)
19. 歯冠補綴物の試適、調整および装着について説明できる。(知)
20. ブリッジの臨床的意義と構成を説明できる。(知)
21. ブリッジの種類と特徴を説明できる。(知)
22. 支台装置の種類と適応部位を説明できる。(知)
23. ポンティックの要件、基底面形態および適応部位を説明できる。(知)
24. ブリッジの治療と製作に必要な材料の特性と各基本操作を説明できる。(知)
25. クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明できる。(知)
26. インプラントによる補綴治療の概要を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】 矢谷博文・三浦宏之・細川隆司・小川匠編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版）

會田雅啓ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト」（第3版）（永末書店）

【参考書】 日本補綴歯科学会編：「歯科補綴学専門用語集（第3版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

授業は板書、スライド等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。

Weekly Test では1回の授業につき、3問の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法 (Evaluation)】

出席回数・授業態度 (10%)、定期試験 (60%)、Weekly Test (30%) により評価する。前期と後期はそれぞれ評価し、最終成績は両者を勘案して決定する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間 (予習・復習)】

60分

予 習：事前にシラバスに該当する内容を教科書で確認し、授業の目的を理解しておくこと。(15分)

復 習：講義終了後は講義内容についてノート、教科書、講義資料を復習し、理解できていないところがないか再確認すること。(45分)

【オフィスアワー】

講義終了時から当日18:30まで

樋口大輔、山口葉子、羽毛田 匡：本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

黒岩昭弘：本館4階西棟 歯科理工学教授室

倉澤郁文：本館4階東棟 共同教授室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

クラウンブリッジ補綴学				
第4学年（前期・後期）				
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月1日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学概論	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)	樋口 大輔
2	4月15日(木) 2時限	歯冠補綴装置の種類	歯冠補綴物の種類、特徴およびその適応について説明できる。(知)	樋口 大輔
3	4月22日(木) 2時限	クラウンブリッジの診査診断 初診から治療計画の立案まで 治療計画を左右する因子	歯および少数歯欠損に伴う口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査および診断を説明できる。(知)	倉澤 郁文
4	5月6日(木) 2時限	クラウンブリッジの要件 生物学的要件、機械的要件、力学的要件、審美的要件、材料学的要件	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)	倉澤 郁文
5	5月7日(金) 2時限	下顎位・下顎運動・咬合器 下顎運動と下顎位(1) 下顎の基本運動、限界運動、下顎位、咬合	補綴治療に必要な下顎の基本運動と下顎位について説明できる。(知)	黒岩 昭弘
6	5月13日(木) 2時限	クラウンと咬合 顎関節症	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)	羽毛田 匡
7	5月20日(木) 2時限	クラウンと咬合 顎関節症	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)	羽毛田 匡
8	5月27日(木) 2時限	クラウンの適合とクラウンの隣接接触 関係・頬舌面形態	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)	倉澤 郁文
9	6月3日(木) 2時限	クラウンブリッジの製作過程概要	歯冠補綴物の種類、特徴およびその適応について説明できる。(知) 歯冠補綴物の試適、調整および装着について説明できる。(知)	樋口 大輔
10	6月10日(木) 2時限	支台歯形成の要件と生活歯の支台歯形成	支台歯形成の意義と方法を説明できる。(知)	倉澤 郁文
11	6月17日(木) 2時限	支台築造・失活歯の支台歯形成	支台歯形成の意義と方法を説明できる。(知)	倉澤 郁文
12	6月24日(木) 2時限	前処置・プロビジョナルレストレーション 予防的処置、外科的処置、保存的処置、矯正の処置、補綴の処置 第5版で変わった(除去)	クラウンブリッジの治療に際し必要な前処置を列挙し説明できる。(知) テンポラリークラウンブリッジの臨床的意義と製作法を説明できる。(知)	倉澤 郁文
13	7月1日(木) 2時限	印象採得	クラウンブリッジ製作のための印象材の種類、特徴および印象方法を説明できる。(知)	倉澤 郁文
14	7月8日(木) 2時限	顎間関係記録	咬合採得の材料、特徴および方法を説明できる。(知)	倉澤 郁文
15	7月15日(木) 2時限	補綴問題演習(2) 直前講義	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)	樋口 大輔
16	8月19日(木) 1時限	作業用模型と咬合器装着	クラウンブリッジ製作に用いる咬合器の種類と特徴を説明できる。(知) フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。(知)	倉澤 郁文
17	8月26日(木) 1時限	ワックスパターン形成法と埋没・鋳造	クラウンブリッジの蝋型形成法を説明できる。(知) 埋没、鋳造および研磨について説明できる。(知)	倉澤 郁文

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
18	9月2日(木) 1時限	クラウンの試適と装着	歯冠補綴物の試適、調整および装着について説明できる。(知)	樋口 大輔
19	9月9日(木) 1時限	クラウンブリッジに関連する材料	クラウンブリッジの治療と製作に必要な材料特性を説明できる。(知)	黒岩 昭弘
20	9月16日(木) 1時限	補綴問題演習(3)	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)	樋口 大輔
21	9月30日(木) 1時限	レジン前装冠	レジン前装冠の治療法と製作法を説明できる。(知)	樋口 大輔
22	10月7日(木) 1時限	陶材焼付冠	陶材焼付冠の治療法と製作法を説明できる。(知)	樋口 大輔
23	10月14日(木) 1時限	CAD/CAMによる修復1：補綴における審美	オールセラミッククラウンの治療法と製作法を説明できる。(知)	樋口 大輔
24	10月21日(木) 1時限	CAD/CAMによる修復2：デジタルデンティストリー	オールセラミッククラウンの治療法と製作法を説明できる。(知)	樋口 大輔
25	10月28日(木) 1時限	欠損歯列の病態とブリッジの設計	ブリッジの臨床的意義と構成を説明できる。(知) ブリッジの種類と特徴を説明できる。(知)	樋口 大輔
26	11月4日(木) 1時限	ブリッジの支台装置・ボンティックの要件と基底面形態	ブリッジの臨床的意義と構成を説明できる。(知) 支台装置の種類と適応部位を説明できる。(知) ボンティックの要件、基底面形態および適応部位を説明できる。(知)	樋口 大輔
27	11月11日(木) 1時限	ブリッジの連結方法 接着ブリッジ	ブリッジの製作法を説明できる。(知) 接着ブリッジの特徴を説明できる。(知)	樋口 大輔
28	11月18日(木) 1時限	インプラント概論	インプラント治療の概略を説明できる。(知) インプラント治療に用いる材料を説明できる。(知)	山口 葉子
29	11月25日(木) 1時限	術後管理	クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明できる。(知)	樋口 大輔
30	12月2日(木) 1時限	補綴問題演習(4) 直前講義	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知)	樋口 大輔

保存修復学実習 (C4060)

第4学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：亀山敦史、山本昭夫、安西正明

准教授：森 啓、横井由紀子

講師：小町谷美帆

助教：小松佐保、石岡康明、甲田訓子、中村圭吾、宮國 茜

助手：佐故竜介、田井康寛、水谷隆一、上原隆一、原 美音

特任教授：笠原悦男

非常勤講師：石井敏裕、斎藤俊樹、春山亜貴子、英保裕和、小峯明子、松澤千恵、内川竜太郎、奥瀬稔之

【一般目標（GIO）】

歯の硬組織疾患の病因や病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理を理解し、その手法を身につけるために、必要な基本的知識、技能および態度を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 必要な診察・検査項目を説明し、診察・検査を実施できる。
2. 診察・検査結果をもとに診断できる。
3. 診断結果をもとに治療計画を立案できる。
4. 齶蝕治療について説明し、実施できる。
5. 修復に用いる器材を列挙し、準備できる。
6. 簡単な保存修復処置をマネキン上で実施できる。
7. 安全性や患者の不快感、清潔に配慮できる。
8. 修復処置の予後を推測できる。

【教科書・参考書】

【教科書】保存修復学実習マニュアル（歯科保存学講座）

田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「保存修復学 21 第5版」（永末書店）

千田彰・宮崎真至・林美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学 第7版」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

- ・受動的方法：講義
- ・能動的方法：トレーニング、ロールプレイ
- ・媒体：スライド、プリント、コンピューター画像、マネキン、顎模型など

【フィードバック方法】

Weekly Test については原則として翌週の講義で解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

- 1) プレテスト・ポストテスト（形成的評価）
講義内容、実習内容の理解度について穴埋め式試験で毎回評価する。
- 2) Weekly Test（形成的評価・総括的評価）：30%
前回の実習内容の理解度について多肢選択式試験で毎回評価する。
- 3) 実技による製作物（総括的評価）：10%
実習製作物（形成窩洞、修復物および技工物）から実習内容の習得度を評価する。
- 4) 実技試験（総括的評価）：30%
実習内容の修得度について態度・技能を評価する。
- 5) 客観試験（総括的評価）：30%
実習内容の理解度を多肢選択式試験で評価する。

【注意事項】

1. ネームプレートを付けた白衣を着用し、必要な器材をそろえて決められた時間に所定の場所に集合すること。
2. 学生証は必ず持参し、出席確認時には速やかに提示すること。
3. 白衣は清潔なものを着用すること。サンダル、ハイヒール等は不可とする。
4. 時間は厳守すること。欠席や遅刻は認めない。集合時間に指定の場所に着席していない場合は欠席とみなす。
5. 実習時間中は必要な器材の他に、保存修復学の教科書および本マニュアルを必ず持参すること。
6. 実習はマニュアルに記載された手順やチェックリストを確認しながら行い、ステップごとに検印を受けること。
7. 紛失の原因となるため、学生間での器材の貸し借りは原則として行わないこと。
8. 理解できない内容についてはインストラクターに随時相談し、疑問点を残さないようにすること。
9. 実習室から出て、売店等へ行く場合にはインストラクターステーションに申し出ること。
10. 実習中はマスクを装着すること。
11. マネキン実習の際はゴーグルおよびグローブを装着すること。
12. 実習で使用するマネキンは、実際の歯科臨床における患者を想定し、取り扱うこと。
13. 各種ゴミは分別の上で所定の場所に捨てること。
14. 実習終了後は実習机や使用器材等の片付け、清掃を行い、インストラクターの確認後は検印を受けること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の実習項目について事前に実習マニュアルと教科書の関連事項を一読する。(30分)

復 習：実習で行った内容、手順、使用した材料や器具について、実習マニュアルや教科書を用いて再確認する。(30分)

【オフィスアワー】

原則として火曜日（実習日）実習終了後
実習館101実習室

【授業日程】

		保存修復学実習			第4学年（前期）
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	3月30日(火) 3時限	【講義】 ・診療環境・設備 ・スタンダードプリコーション ・診療補助 ・診療姿勢 ・ハンドピースの把持・フィンガーレスト 【実習】 ・オリエンテーション ・実習器材の確認 ・齶蝕好発部位の設定と確認 ・修復前のトレーニング①：プレパレーションプレート実習	1. 医療人として適切な身だしなみに配慮できる。(態度) 2. 各歯種の解剖学的特徴と各部の名称を説明できる。(想起) 3. FDI式のTwo-digitシステムの呼称を用いて各歯種を分別できる。(想起) 4. 齶蝕の好発部位を列挙し説明できる。(想起) 5. 齶蝕の好発部位を図示できる。(解釈) 6. 歯科用ユニット各部の名称と機能を説明できる。(想起) 7. 実習で使用する器材の目的と使用法を説明できる。(想起) 8. 器具の把持法を列挙できる。(想起) 9. 器具使用時の手指固定について説明できる。(想起) 10. 診療設備を適切に使用できる。(技能：模倣) 11. 適切な診療姿勢を実践できる。(技能：模倣) 12. 器具を適切に把持できる。(技能：模倣) 13. フィンガーレストを確保できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太郎 奥瀬 稔之 齋藤 俊樹 笠原 悦男	
2	3月30日(火) 4時限		14. 指示された形にエナメル質を開拡できる。(技能：模倣) 15. 適切な深さでエナメル質を開拡できる。(技能：コントロール)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太郎 奥瀬 稔之 齋藤 俊樹 笠原 悦男	
3	3月30日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太郎 奥瀬 稔之 齋藤 俊樹 笠原 悦男	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
4	4月6日(火) 3時限	修復前のトレーニング②：ミラーテクニックによるエアタービンを用いた切削の練習 ・#16 十字模型 齶蝕象牙質の除去 ・齶蝕検知液可染人工歯	1. 4-hand technique の意義を説明できる。(知識：想起) 2. 歯科診療補助におけるバキューム(サクション)の役割を説明できる。(知識：想起) 3. バキュームの各部位の名称を説明できる。(知識：想起) 4. バキュームの挿入位置を説明できる。(知識：想起) 5. バキュームの挿入禁忌部位を列挙できる。(知識：想起) 6. 口腔内の各部位におけるバキュームの挿入法を説明できる。(知識：想起)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 石井 敏裕 小峯 明子 松澤 千恵 笠原 悦男	
5	4月6日(火) 4時限		7. インスツルメントの口腔内への挿入順序を説明できる。(知識：想起) 8. バキュームを適切に挿入できる。(技能：模倣) 9. ミラーテクニックを実践できる。(技能：模倣) 10. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(知識：想起)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 石井 敏裕 小峯 明子 松澤 千恵 笠原 悦男	
6	4月6日(火) 5時限		11. 患者や周囲への安全性に配慮できる。(態度) 12. 患者の不快感や痛みに配慮できる。(態度) 13. 指示された形と深さに切削できる。(技能) 14. 診療に適した姿勢を説明できる。(想起) 15. 診療姿勢に配慮できる。(態度) 16. 適切な診療姿勢をマネキン上で実践できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 石井 敏裕 小峯 明子 松澤 千恵 笠原 悦男	
7	4月13日(火) 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 ・ラバーダムによる術野隔離法(単歯露出) ・#11 5級窩洞に対する修復 ・サービカルマトリックスの使用法(デモ)	1. 模型に設定された歯の硬組織疾患の臨床症状を推測できる。(知識：解釈) 2. 模型に設定された歯の硬組織疾患の診察・検査法を列挙できる。(知識：想起) 3. 模型に設定された歯の硬組織疾患を診断できる。(知識：解釈) 4. 模型に設定された歯の硬組織疾患に対する治療法を列挙し、それらの特徴を説明できる。(知識：問題解決) 5. ミニマルインターベンションデンティストリーの概念に配慮できる。(態度) 6. 5級コンポジットレジン修復で具備すべき窩洞形態を説明できる。(知識：問題解決) 7. 5級コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、組成と使用法を説明できる。(知識：想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
8	4月13日火 4時限		<ul style="list-style-type: none"> 8. 5級コンポジットレジン修復に必要な器材を準備し、使用できる。(技能:コントロール) 9. 5級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 10. これから行うことを患者(マネキン)に伝達できる。(態度) 11. 模型上で修復前処置(隔壁・ラバーダム)を実施できる。(技能:模倣) 12. 模型上で齶蝕を除去し、窩洞を形成できる。(技能:コントロール) 13. 窩洞を接着処理できる。(知識:想起、技能:模倣) 14. 5級コンポジットレジン修復を实践できる。(技能:模倣、コントロール) 	亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	
9	4月13日火 5時限		<ul style="list-style-type: none"> 15. 術者の診療に合わせて補助できる。(態度) 16. 術者・介補者を通して他の学生の修復手順の不備を指摘できる。(知識:解釈) 17. 形成後の窩洞および修復後の模型の不備を指摘できる。(知識:解釈) 18. 充填・重合状態を確認できる。(態度) 19. 患者の不快感や痛みに配慮できる。(態度) 20. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 21. 診療姿勢とポジショニングに配慮できる。(態度) 22. 修復の予後を推測できる。(知識:解釈) 	亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	
10	4月20日火 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#14~ #24までの8歯連続露出) ・#21 3級窩洞に対する修復	<ul style="list-style-type: none"> 1. 3級コンポジットレジン修復で具備すべき窩洞形態を説明できる。(知識:問題解決) 2. 3級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 3. 3級コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 4. 3級コンポジットレジン修復に用いる器材を準備できる。(知識:問題解決) 5. 3級コンポジットレジン修復に用いる器材を適切に使用できる。(模倣) 6. 模型上で3級コンポジットレジン修復にあわせて前準備できる。(技能:模倣・コントロール) 7. 隣在歯や周囲組織の保護に配慮できる。(態度) 8. 3級コンポジットレジン修復窩洞を形成できる。(技能:コントロール) 9. 3級コンポジットレジン修復を实践できる。(技能:コントロール) 	亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 内川竜太朗 英保 裕和	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
11	4月20日(火) 4時限			亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 内川竜太郎 英保 裕和	
12	4月20日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 内川竜太郎 英保 裕和	
13	4月27日(火) 3時限	白歯へのコンポジットレジン修復 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#34～ #37の4歯連続露出) ・#35 1級窩洞に対する修復 ・#36 2級窩洞に対する修復	1. 白歯部1級コンポジットレジン 修復の手順を説明できる。(想起) 2. 白歯部2級コンポジットレジン 修復の手順を説明できる。(想起) 3. 白歯部コンポジットレジン修復 に必要な器材を列挙し、使用法 を説明できる。(想起) 4. 白歯部コンポジットレジン修復 に用いる器材を適切に使用でき る。(模倣) 5. 模型に設定された歯の硬組織疾 患の修復に具備すべき窩洞形態 を説明できる。(想起) 6. これから行うことを患者(マネ キン)に伝達できる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 春山亜貴子 奥瀬 稔之	
14	4月27日(火) 4時限		7. 模型上で修復前準備を行うこと ができる。(技能:模倣) 8. 模型上で齶蝕を除去できる。 (技能:模倣) 9. 模型上でコンポジットレジン修 復窩洞を形成できる。(技能: 模倣) 10. 模型上に形成した窩洞に接着処 理できる。(技能:模倣) 11. 白歯部コンポジットレジン修復 を実践できる。(技能:模倣・ コントロール) 12. 充填・重合状態を確認できる。 (態度) 13. 術者の診療に合わせて補助でき る。(態度) 14. 術者・介補者を通して他の学生 の修復手順の不備を指摘でき る。(知識:解釈)	亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 春山亜貴子 奥瀬 稔之	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
15	4月27日(火) 5時限		15. 形成後の窩洞および修復後の模型の不備を指摘できる。(知識：解釈) 16. 患者の不快感や痛みに配慮できる。(態度) 17. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 18. 診療姿勢とポジショニングに配慮できる。(態度) 19. 修復の予後を推測できる。(解釈)	亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 春山亜貴子 奥瀬 稔之	
16	5月11日(火) 3時限	1級、2級、3級、5級コンポジットレジン修復の最終研磨 #13 くさび状欠損窩洞に対するコンポジットレジン修復 (デモ) ・ストレートベベルの付与 ・歯肉排除 ・サービカルフェンスの装着 口腔内状態の検査と記録 齶蝕好発部位の設定と確認 (白歯) 基本的窩洞形態の形成 (エポキシ模型)	1. 填塞後のコンポジットレジンを研磨できる。(技能：模倣・コントロール) 2. くさび状欠損窩洞に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 3. くさび状欠損へのコンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 4. コンポジットレジン修復に用いる器材を適切に使用できる。(技能：模倣) 5. 模型に設定されたくさび状欠損の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	
17	5月11日(火) 4時限	・#46 2級メタルインレー修復窩洞 (MO ボックス) ・#46 2級メタルインレー修復窩洞 (MO スライスカット) ・#16 2級メタルインレー修復窩洞 (MO ボックス)	6. これから行うことを患者 (マネキン) に伝達できる。(技能：模倣) 7. 修復に必要な前準備を模型上で行うことができる。(技能：模倣) 8. 模型上で窩洞を形成できる。(技能：模倣) 9. 模型上に形成した窩洞に接着処理できる。(技能：模倣) 10. コンポジットレジンを填塞できる。(技能：模倣) 11. 充填・重合状態を確認できる。(解釈)	亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	
18	5月11日(火) 5時限		12. 修復の予後を推測できる。(解釈) 13. 口腔内の状態を確認できる。(解釈) 14. 口腔内の状態を診療録に記録できる。(技能) 15. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 16. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 17. 齶蝕好発部位を図示できる。(解釈) 18. 接着性修復窩洞と非接着性修復窩洞の特徴を比較できる。(想起) 19. 修復材料の理工学的性質や齶蝕好発部位を考慮した窩洞形態を設計できる。(問題解決)	亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	5月18日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・#46 隣接面を含む齶蝕に対する窩洞形成 (MO ボックス窩洞) (A26A-46N) ・裏層 (ガラスアイオノマーセメント)	1. 各種インレー修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 2. 模型上で齶蝕を除去できる。(技能: 模倣) 3. 齶蝕除去後の状態に応じて象牙質・歯髄複合体を保護できる。(技能: コントロール) 4. 模型上でメタルインレー修復窩洞を形成できる。(技能: 模倣) 5. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 6. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 7. 形成後の窩洞の不備を指摘し、説明できる。(解釈)	亀山 敦史 安西 正明 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹 奥瀬 稔之	
20	5月18日(火) 4時限			亀山 敦史 安西 正明 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹 奥瀬 稔之	
21	5月18日(火) 5時限			亀山 敦史 安西 正明 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹 奥瀬 稔之	
22	5月25日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・印象採得 ・咬合採得 ・形成窩洞の仮封 ・作業模型の製作 ・技工指示書の作成 ・咬合器付着	1. メタルインレー修復における印象採得の術式と使用できる材料を列挙し、説明できる。(想起) 2. メタルインレー修復における印象採得を顎模型上で実践できる。(技能: 模倣) 3. 咬合採得を顎模型上で実践できる。(技能: 模倣) 4. 形成窩洞に仮封できる。(技能: 模倣) 5. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 6. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 7. 技工指示書を作成できる。(技能: 模倣) 8. メタルインレー修復における技工操作の手順とその目的を説明できる。(想起) 9. メタルインレー修復における技工操作を実践できる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 春山亜貴子 小峯 明子 松澤 千恵	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
23	5月25日(火) 4時限			亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 春山亜貴子 小峯 明子 松澤 千恵	
24	5月25日(火) 5時限			亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 春山亜貴子 小峯 明子 松澤 千恵	
25	6月1日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・ワックスパターンの調製 ・埋没 ・鑄造 (デモ・動画)	1. ワックスパターン上で歯の解剖学的・機能的形態を付与できる。(技能：模倣) 2. 埋没材の種類と所要性質を説明できる。(想起) 3. 埋没操作を実践できる。(技能：模倣) 4. 鑄造法を説明できる。(想起) 5. 鑄造収縮とその補償法を説明できる。(想起) 6. 鑄造欠陥の成因とその対策を列挙し説明できる。(想起)	亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 英保 裕和 内川竜太郎	
26	6月1日(火) 4時限			亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 英保 裕和 内川竜太郎	
27	6月1日(火) 5時限			亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 英保 裕和 内川竜太郎	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
28	6月8日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・インレーの試適・調整 ・インレーの装着	1. メタルインレー修復における合着・接着のメカニズムを説明できる。(想起) 2. 被着面処理法を説明できる。(想起) 3. メタルインレー修復に用いる合着材・接着材の所要性質を説明できる。(想起) 4. インレー合着時の流れを説明できる。(想起) 5. インレー窩洞の仮封を除去できる。(技能：模倣) 6. メタルインレーを試適し、調整できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 奥瀬 稔之	
29	6月8日(火) 4時限		7. メタルインレーを研磨できる。(技能：模倣) 8. インレー合着時における誤飲・誤嚥の防止に配慮できる。(態度) 9. インレー体を窩洞に合着できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 奥瀬 稔之	
30	6月8日(火) 5時限			亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 奥瀬 稔之	
31	6月15日(火) 3時限	コンポジットレジンインレー修復 ・基本的窩洞形態の形成 (#46 2級MO窩洞・エポキシ模型) ・#46 隣接面を含む齶蝕に対する窩洞形成(2級MO窩洞) ・裏層(コンポジットレジン) ・レジンコーティング ・レジンコーティング後の仮封	1. コンポジットレジンインレー修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 2. 修復材料の理工学的性質や齶蝕好発部位、齶蝕罹患部位を考慮した窩洞形態を設計できる。(問題解決) 3. 模型上でコンポジットレジンインレー修復窩洞を形成できる。(技能：模倣) 4. 模型上で齶蝕を除去できる。(技能：模倣) 5. 齶蝕除去後の状態に応じて象牙質・歯髄複合体を保護できる。(技能：コントロール) 6. 模型上で窩洞を形成できる。(技能：模倣) 7. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 8. 清潔と安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 石井 敏裕 笠原 悦男	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
32	6月15日(火) 4時限			亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 石井 敏裕 笠原 悦男	
33	6月15日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 石井 敏裕 笠原 悦男	
34	6月22日(火) 3時限	コンポジットレジンインレー修復 ・ラバーダムによる術野隔離・防湿法 (#44～#47連続露出) ・インレーの装着 グラスアイオノマーセメント修復 (レジン添加型) ・#13 くさび状欠損への修復 (歯肉排除、簡易防湿)	1. コンポジットインレー修復における接着メカニズムを説明できる。(知識：想起) 2. コンポジットレジンインレー装着に必要な被着面処理法を説明できる。(知識：想起) 3. コンポジットレジンインレー修復に用いる接着材の所要性質を説明できる。(知識：想起) 4. コンポジットレジンインレー装着時の流れを説明できる。(知識：想起) 5. コンポジットレジンインレー窩洞の仮封を除去できる。(技能：模倣) 6. コンポジットレジンインレーを試適し、調整できる。(技能：模倣) 7. コンポジットレジンインレーを研磨できる。(技能：模倣) 8. コンポジットレジンインレー装着時における誤飲・誤嚥の防止に配慮できる。(態度) 9. 被着面処理を実践できる。(技能：模倣) 10. インレー体を窩洞に装着できる。(技能：模倣) 11. グラスアイオノマーセメントと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 12. グラスアイオノマーセメント修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 13. 模型に設定された歯の硬組織疾患の病態を説明できる。(解釈) 14. 模型に設定された歯の硬組織疾患の臨床症状を推測できる。(解釈) 15. 模型に設定された歯の硬組織疾患に対する治療法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。(想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
35	6月22日(火) 4時限	<ul style="list-style-type: none"> ・カプセル型ガラスアイオノマーセメントの練和 (デモ) ・従来型ガラスアイオノマーセメント修復 (デモ・動画) 	16. 模型に設定された歯の硬組織疾患の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 17. 模型上で窩洞を形成できる (技能: 模倣) 18. 修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 19. 模型上で修復前準備 (歯肉排除法、隔壁法) を実践できる。(技能: 模倣) 20. 窩洞に対して接着処理を実践できる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	
			21. グラスアイオノマーセメントを練和できる。(技能: 模倣) 22. グラスアイオノマーセメント修復を顎模型上で実践できる。(技能: 模倣) 23. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 24. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 25. コンポジットレジンインレーの装着時の術式と使用する器材を説明できる。(想起)		
36	6月22日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 斎藤 俊樹	
37	6月29日(火) 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 コンポジットレジンによる補修修復 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#14～#24) ・#11 4級コンポジットレジン修復 ・#21 コンポジットレジン修復周囲に発生した辺縁性二次齲蝕への補修修復 グラスアイオノマーセメント修復 ・#13 くさび状欠損修復 研磨	1. 4級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 2. 補修修復の手順を説明できる。(想起) 3. 4級コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 4. 模型に設定された歯の硬組織疾患の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 5. これから行うことを患者 (マネキン) に伝達できる。(技能: 模倣) 6. 模型上で修復前準備を行うことができる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜	
			7. 4級コンポジットレジン修復を正しい手順で実践できる。(技能: 模倣) 8. 補修修復を正しい手順で実践できる。(技能: 模倣) 9. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 10. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 11. 修復物の研磨を実践できる。(技能: 模倣)		
38	6月29日(火) 4時限			亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜	
39	6月29日(火) 5時限			亀山 敦史 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
40	7月6日(火) 3時限	【講義】 ・共用試験歯学系 OSCE について 【実習】 ロールプレイ 臨床実地問題演習 (グループ学習)	1. 共用試験歯学系 OSCE の目的を説明できる。(想起) 2. 共用試験歯学系 OSCE の保存修復系課題における学習目標を説明できる。(想起) 3. マネキンでの模擬体験を通じて臨床の流れや各ステップの留意点などを確認できる。(想起) 4. 他の学生が行った模擬実演の良かった点、不備な点をそれぞれ列挙し、指摘できる(解釈) 5. 他の学生が行った模擬実演の不備に対し、改善案を提示できる。(問題解決) 6. 改善案をもとに、正しい術式で模擬実演できる。(技能: コントロール)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 春山亜貴子 内川竜太郎 奥瀬 稔之	
41	7月6日(火) 4時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 春山亜貴子 内川竜太郎 奥瀬 稔之	
42	7月6日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 春山亜貴子 内川竜太郎 奥瀬 稔之	
43	7月13日(火) 3時限	ガラスアイオノマーセメント修復 ・最終研磨 コンポジットレジン修復 ・#11 4級修復の最終研磨 ・#21 補修修復の最終研磨	1. 修復物の研磨の目的を説明できる。(想起) 2. 修復物の研磨手順を説明できる。(想起) 3. 修復物の研磨を実践できる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	
44	7月13日(火) 4時限	※残った時間で OSCE の修復系4課題について、自由練習 ・ロールプレイの概要説明 ・ペーパー試験、実習試験の概要説明		亀山 敦史 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	
45	7月13日(火) 5時限			亀山 敦史 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	

小児歯科学 (C4065)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：大須賀直人
准教授：正村正仁、中村浩志
非常勤講師：西川康博

【一般目標（GIO）】

小児期から成人に至る口腔機能を理解する。
健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長・発育を理解する。
口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法を理解する。
口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した健康管理を理解、修得する。

【行動目標（SBOs）】

小児患者の歯科的対応を理解する。
小児の歯冠修復について理解する。
小児の歯内療法について理解する。
咬合誘導の意義と目的について理解する。
咬合誘導装置の種類と適応について理解する。
小児の外科処置について理解する。
小児外傷について理解する。
スポーツによる歯・口腔の外傷の予防について理解する。
小児疾患と歯科治療の留意点について理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）
【参考書】大須賀直人他：「歯科医のための小児科学入門」（MDU出版会）
大須賀直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版）
大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）
大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業にて教科書を用いて基本的知識の修得をはかるとともに必要に応じて黒板に板書する。また、スライドや映像を併用し、視覚的、触覚的知識の獲得を行う。なお、講義時間中に必要に応じてテストを行い講義修得度を確認することもある。

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験と Weekly Test の結果に、出欠席を加味し、評価する。
Weekly Test（30%）、定期試験（70%）とする。

【注意事項】

教科書は必ず持参すること。
講義の遅刻、欠席は評価に加味するので注意すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分)

復 習：配付された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

月曜日 17:00～18:00 本館2階東棟 小児歯科学講座医局 E-mail: info_ped@mdu.ac.jp で予約をすれば、他の時間でも可能

【授業日程】

小児歯科学				
				第4学年（前期）
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月29日(月) 3時限	小児患者の診療方針 1. 小児患者への歯科的対応	小児の歯科的対応に必要な心理について理解する。	中村 浩志
2	4月5日(月) 3時限	小児の歯冠修復 1. 乳歯の歯冠修復 2. 幼若永久歯の歯冠修復	乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的について理解する。 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の診察と診断について理解する。 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法について理解する。 乳歯の形成時における留意点を理解する。	大須賀直人
3	4月12日(月) 3時限	小児の歯内療法(1) 1. 乳歯の歯内療法	乳歯の歯内療法について理解する。 乳歯の歯髄炎の処置法を理解する。 乳歯の根尖性歯周炎の処置法を理解する。 乳歯の歯髄炎の感染根管治療について理解する。	正村 正仁
4	4月19日(月) 3時限	小児の歯内療法(2) 1. 幼若永久歯の歯内療法	幼若永久歯の歯内療法について理解する。 幼若永久歯の歯髄炎の処置法を理解する。 幼若永久歯の根尖性歯周炎の処置法を理解する。 幼若永久歯の歯髄炎の感染根管治療について理解する。	正村 正仁
5	4月26日(月) 3時限	咬合誘導(1) 1. 咬合誘導概論 2. 歯列・咬合の診察と分析法 3. 歯列・咬合を乱す異常	咬合誘導の意義と目的について理解する。 歯列・咬合の診察と分析法について理解する。 歯列・咬合を乱す異常について理解する。	大須賀直人
6	5月10日(月) 3時限	咬合誘導(2) 1. 保隙装置の種類と適応症 2. 動的な咬合誘導 3. 乳歯列期の咬合誘導	保隙装置の種類と適応症について理解する。 動的な咬合誘導について理解する。 乳歯列期の咬合誘導について理解する。	大須賀直人
7	5月17日(月) 3時限	咬合誘導(3) 1. 混合歯列期の咬合誘導 2. 外科的誘導法 3. 口腔習癖	混合歯列期の咬合誘導について理解する。 外科的誘導法について理解する。 口腔習癖について理解する。	大須賀直人
8	5月24日(月) 3時限	小児の外科処置(1) 1. 乳歯抜去の適応症、禁忌症 2. 局所麻酔法 3. 抜歯の術式 4. 後処置と留意点	乳歯抜去の適応症、禁忌症について理解する。 局所麻酔法について理解する。 乳歯の抜歯の術式について理解する。 抜歯の後処置と留意点について理解する。 過剰歯の抜歯について理解する。 小帯異常の処置について理解する。	大須賀直人
9	5月31日(月) 3時限	小児の外科処置(2) 1. 全身疾患と抜歯 2. 過剰歯の抜歯 3. 小帯異常の処置	抜歯時の留意点について理解する。	中村 浩志
10	6月7日(月) 3時限	小児の歯の外傷(1) 1. 外傷の疫学 2. 外傷の分類 3. 外傷の処置法 4. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響 5. 外傷の予後 6. 外傷の予防	歯の外傷の疫学について理解する。 小児の歯の外傷の分類について理解する。 小児の歯の外傷の処置法について理解する。 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について理解する。 歯の外傷の予後について理解する。 歯の外傷の予防について理解する。	大須賀直人

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	6月14日(月) 3時限	小児の歯の外傷(2) 1. 外傷の疫学 2. 外傷の分類 3. 外傷の処置法 4. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響 5. 外傷の予後 6. 外傷の予防	歯の外傷の疫学について理解する。 小児の歯の外傷の分類について理解する。 小児の歯の外傷の処置法について理解する。 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について理解する。 歯の外傷の予後について理解する。 歯の外傷の予防について理解する。	西川 康博
12	6月21日(月) 3時限	スポーツによる歯・口腔の外傷の予防	マウスガードの種類について理解する。 マウスガードに用いられる材料の種類、性質や特徴を理解する。	正村 正仁
13	6月28日(月) 3時限	小児疾患と歯科治療 1. 遺伝性疾患 2. 染色体異常 3. 感染症 4. ビタミン欠乏症 5. 内分泌異常 6. 血液、造血器疾患 7. 代謝異常 8. 腎疾患 9. 循環器疾患 10. 呼吸器疾患 11. 免疫性疾患	歯科治療上問題となる遺伝性疾患について理解する。 歯科治療上問題となる染色体異常について理解する。 歯科治療上問題となる感染症について理解する。 歯科治療上問題となるビタミン欠乏症について理解する。 歯科治療上問題となる内分泌異常について理解する。 歯科治療上問題となる血液、造血器疾患について理解する。 歯科治療上問題となる代謝異常について理解する。 歯科治療上問題となる腎疾患について理解する。 歯科治療上問題となる循環器疾患について理解する。 歯科治療上問題となる呼吸器疾患について理解する。 歯科治療上問題となる免疫性疾患について理解する。	正村 正仁
14	7月5日(月) 3時限	小児口腔の健康の維持・増進 1. 包括医療 2. 地域医療 3. 医療連携	小児歯科における包括医療について理解する。 小児歯科における地域医療について理解する。 小児歯科における医療連携について理解する。	中村 浩志
15	7月12日(月) 3時限	まとめ		大須賀直人

歯科矯正学 (C4080)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：岡藤範正
准教授：川原良美
非常勤講師：吉川仁育

【一般目標（GIO）】

1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期における矯正歯科治療の意義と目的を理解する。
2. 不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義を理解する。
3. 矯正歯科治療に用いる矯正装置・矯正材料の適応症、特性を正しく理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 矯正歯科治療に対する意義と目的を説明できる。
2. 不正咬合の原因と分類を理解し個々に応じた治療法について説明できる。
3. 不正咬合の治療における歯科矯正治療に用いる矯正装置について説明できる。
4. 矯正歯科治療に伴う偶発症を理解し口腔衛生管理の必要性について説明できる。
5. 再発防止について理解し保定の意義、目的、装置について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・楨宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学 第6版」（医歯薬出版）
（3年次購入済）
〔参考書〕 清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業にて教科書、授業プリントを用いて基本的知識の習得をはかる。講義内容はイントラに事前に掲載する。次週に予定されている Weekly Test において、1回の授業について5問程度の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

定期試験、Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に提示するので確認すること

【評価方法（Evaluation）】

授業内容の理解度を Weekly Test で確認する。評価は、Weekly Test（30%）、定期試験（70%）の採点結果より評価する。出席状況、提出物、授業態度を加味する場合がある。

【注意事項】

筆記用具と共に講義内容によっては分度器、定規等が必要となります。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分
復習：配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること

【オフィスアワー】

火曜（17：30～20：00）本館2階東棟 歯科矯正学講座教授室 オフィスアワー以外でも随時対応可能です。
連絡先 E-mail：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

【授業日程】

歯科矯正学				
第4学年（前期）				
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月30日火 2時限	歯科矯正治療における抜歯	1. 矯正歯科治療における抜歯の意義と目的を理解する。 2. 抜歯の判定基準を理解する。 3. 連続抜去法の意義と目的を理解する。	岡藤 範正
2	4月6日火 2時限	矯正歯科治療方針の立案 矯正歯科治療学概論	1. 矯正歯科診察および分析結果の総合評価について理解する。 2. 矯正歯科治療目標の設定の重要性を理解する。 3. 矯正歯科治療の種類について理解する。	岡藤 範正
3	4月13日火 2時限	矯正力	1. 矯正力の種類と大きさの分類について理解する。 2. 矯正力の作用様式について理解する。 3. 歯の移動様式について理解する。	岡藤 範正
4	4月20日火 2時限	矯正歯科治療における固定	1. 固定の定義と意義について理解する。 2. 部位による固定の分類について理解する。 3. 抵抗の性質による固定の分類について理解する。 4. 抜歯空隙利用のための固定の分類について理解する。	岡藤 範正
5	4月27日火 2時限	歯科矯正用材料の特性	1. 矯正用線材料の機械的特性を理解する。 2. 矯正用線材料の臨床的な要件を理解する。 3. 矯正用接着剤の材料特性について理解する。	岡藤 範正
6	5月11日火 2時限	歯科矯正装置①	1. 器械的矯正装置の特徴を理解する。 2. 顎外固定装置の特徴と使用目的を理解する。	岡藤 範正
7	5月18日火 2時限	歯科矯正装置②	1. マルチブラケット装置の特徴と使用目的を理解する。 2. 床矯正装置の構成と使用目的を理解する。 3. 機能的矯正装置の特徴を理解する。	岡藤 範正
8	5月25日火 2時限	乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療	1. 乳歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。 2. 混合歯列期の矯正歯科治療の目的を理解する。 3. 混合歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。	岡藤 範正
9	6月1日火 2時限	永久歯列期の矯正歯科治療①	1. 永久歯列期の不正咬合の特徴を理解する。 2. 混合歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。	岡藤 範正
10	6月8日火 2時限	永久歯列期の矯正歯科治療②	1. 顎変形症に起因する咬合異常を理解する。 2. 顎変形症に対する外科的矯正治療を理解する。	岡藤 範正
11	6月15日火 2時限	保定	1. 保定の概念と種類を理解する。 2. 保定装置の種類と機能を理解する。 3. 不正咬合の再発およびその防止策を理解する。	岡藤 範正
12	6月22日火 2時限	他科との協同による治療	1. 他科との共同を必要とする矯正歯科治療を理解する。 2. 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を理解する。 3. 顎関節症の矯正歯科治療を理解する。	吉川 仁育
13	6月29日火 2時限	矯正歯科治療に伴う偶発症	1. 矯正歯科治療に伴う偶発症の原因について理解する。 2. 矯正歯科治療に伴う偶発症の予防について理解する。 3. 矯正歯科治療に伴う偶発症の対処法について理解する。	岡藤 範正
14	7月6日火 2時限	総括	1. 矯正歯科治療の実際について理解する。 2. 矯正歯科治療に用いる材料について理解する。	岡藤 範正 川原 良美

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	7月13日(火) 2時限	他科との協同による治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他科との共同を必要とする矯正歯科治療を理解する。 2. 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を理解する。 3. 顎関節症の矯正歯科治療を理解する。 	岡藤 範正

小児・矯正基礎実習（小児） （C4095）

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：大須賀直人

准教授：正村正仁、中村浩志

講師：中山 聡、森山敬太

助手：西田優花

非常勤講師：原 昌伸、中野潤三郎、山川洋子、松田厚子、西川康博、林 牧、水島秀元、谷田幸代、薄井陽平、
紀田晃生、山川祐喜子、青木紗衣佳

【一般目標（GIO）】

1. 乳歯の形態的特徴を理解する。
2. 乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法を理解する。
3. 乳歯の歯内療法を理解する。
4. 小児のブラッシング方法について理解する。
5. フッ化物の局所応用について理解する。
6. 保隙装置について構造を理解し、作製法を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 乳歯の形態的特徴を説明できる。
2. 乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法を説明できる。
3. 乳歯歯内療法を説明できる。
4. 小児のブラッシング方法について説明できる。
5. フッ化物の局所応用について説明できる。
6. クラウンループについて説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】

松本歯科大学小児歯科学講座編：「小児歯科学基礎実習マニュアル」

大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）

大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）

【参考書】

大須賀直人他：「歯科医のための小児科学入門」（MDU 出版会）

大須賀直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

実習を通して小児の口腔疾患に対し臨床で行われている各種処置法の手技を修得する。

【フィードバック方法】

Weekly Test、レポート実施後、正解率が低い問題に対し解答例および解説を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

実習の進捗状況、実習態度、臨床的対応力（30%）、製作物（20%）筆記試験（50%）により総合的に評価する。

- ・定期試験、追、再試験は、構成科目（小児歯科学、歯科矯正学）毎に実施する。
- ・追、再試験受験手続きは、1教科として手続きを行う。
- ・最終評価は、小児歯科学：歯科矯正学を1：1の点数配分で評価する（小数点第1位四捨五入）

【注意事項】

実習器具機材は初回の講義前にすべて揃えること。

実習はマネキンを使用して行うが、患者に対する臨床実習を見据えて「生体に対して処置を行う」といった自覚を持って実習に望むこと。

身だしなみに気をつけること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分)

復 習：配布された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

火曜日 実習終了より1時間 実習室あるいは本館2階東棟 小児歯科学講座医局

【授業日程】

		小児・矯正基礎実習		第4学年（後期）	
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	8月17日(火) 3時限	1. オリエンテーション・器材検査 2. 歯牙の彫刻 (下顎右側第一乳臼歯) (上顎右側第一乳臼歯)	乳歯の形態的特徴について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 青木紗衣佳	西田 優花
2	8月17日(火) 4時限	1. オリエンテーション・器材検査 2. 歯牙の彫刻 (下顎右側第一乳臼歯) (上顎右側第一乳臼歯)	乳歯の形態的特徴について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 山川祐喜子 青木紗衣佳	西田 優花
3	8月24日(火) 3時限	1. III級 CRF（充填・研磨まで） (上顎左側乳中切歯) 2. CRCr（修復・研磨まで） (上顎右側乳中切歯)	乳歯の形態・齲蝕・歯冠修復の特徴を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 山川祐喜子	西田 優花
4	8月24日(火) 4時限	1. III級 CRF（充填・研磨まで） (上顎左側乳中切歯) 2. CRCr（修復・研磨まで） (上顎右側乳中切歯)	乳歯の形態・齲蝕・歯冠修復の特徴を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子	西田 優花
5	8月31日(火) 3時限	1. 生活歯髄切断法（水酸化カルシウム法） (下顎左側第二乳臼歯) 2. 乳歯既製金属冠の試適、合着	乳歯の形態・構造・歯髄炎・処置法の特徴と歯冠修復の重要性について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 林 牧 西川 康博 谷田 幸代 薄井 陽平	西田 優花

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
6	8月31日(火) 4時限	1. 生活歯髄切断法 (水酸化カルシウム法) (下顎左側第二乳臼歯) 2. 乳歯既製金属冠の試適、合着	乳歯の形態・構造・歯髄炎・処置法の特徴と歯冠修復の重要性について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 林 牧 西川 康博 谷田 幸代 薄井 陽平	西田 優花
7	9月7日(火) 3時限	1. ラバーダム防湿 2. F.S. (下顎左側第一大臼歯) 3. フッ化物による局所応用	小児歯科におけるラバーダム防湿の重要性について理解する。 第1大臼歯が齲蝕に罹患しやすい理由と予防填塞法について理解する。 フッ化物の作用機序、フッ化物歯面塗布の方法、塗布溶液の種類、塗布後の説明事項について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 紀田 晃生 水島 秀元 青木紗衣佳	西田 優花
8	9月7日(火) 4時限	1. ラバーダム防湿 2. F.S. (下顎左側第一大臼歯) 3. フッ化物による局所応用	小児歯科におけるラバーダム防湿の重要性について理解する。 第1大臼歯が齲蝕に罹患しやすい理由と予防填塞法について理解する。 フッ化物の作用機序、フッ化物歯面塗布の方法、塗布溶液の種類、塗布後の説明事項について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 紀田 晃生 水島 秀元 青木紗衣佳	西田 優花
9	9月14日(火) 3時限	保護者に対するブラッシング指導 (仕上げ磨きの指導)	小児の年齢、歯列状態に応じた仕上げ磨きの方法について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 西川 康博 谷田 幸代	西田 優花
10	9月14日(火) 4時限	保護者に対するブラッシング指導 (仕上げ磨きの指導)	小児の年齢、歯列状態に応じた仕上げ磨きの方法について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 西川 康博 谷田 幸代	西田 優花
11	9月21日(火) 3時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太	西田 優花
12	9月21日(火) 4時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太	西田 優花

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	9月28日(火) 3時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太	西田 優花
14	9月28日(火) 4時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太	西田 優花

小児・矯正基礎実習（矯正） (C4095)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：岡藤範正

准教授：川原良美

講師：村岡理奈

助教：西村恵子

助手：中根 隆、橋本達也、丸山歩美、深沢香菜子、平岡敬太

非常勤講師：薄井陽平、津村智信、駒崎佑介、富永憲俊、三原正志、小出大吾、村上剛一、名和孝行、
山木貴子、荒井 敦、徳田吉彦、宮本剛至

【一般目標（GIO）】

1. 成長期の患者の口腔・顎顔面の状態を把握し、不正咬合に対する治療の必要性とその意義を理解するため、不正咬合の治療に用いられる代表的な矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法を理解する。
2. 矯正治療に際し、使用する矯正装置について患者や保護者にわかりやすく説明するために必要な基本的知識・技能及び態度を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 不正咬合の原因、種類、診査、診断、治療および予防法を説明できる。
2. 矯正装置に用いられる器材の名称と使い方を説明できる。
3. 矯正装置の種類と用途を説明できる。
4. 指定された矯正装置を作製できる。
5. 矯正治療に必要な力学を説明できる。
6. 矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その処置と予防法を説明できる。

【教科書・参考書】

[教科書]

飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・横宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学 第6版」（医歯薬出版）

[参考書]

松本歯科大学歯科矯正学講座編：「歯科矯正学基礎実習マニュアル」

【教育（学習）方略（LS）】

実習デモ、教材を用いて製作手順を理解し、実際に製作を行う。製作物および定期試験により内容の理解を確認する。次週に予定されている Weekly Test において、1回の授業について5問程度の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test、レポート実施後、正解率が低い問題に対し解答例および解説を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

実習の進行状況、実習態度、臨床的対応力（20%）、製作物（20%）、筆記試験（60%）に Weekly Test を加味し総合的に評価する。

- ・定期試験、追、再試験は、構成科目（小児歯科学、歯科矯正学）毎に実施する。
- ・追、再試験受験手続きは、1教科として手続きを行う。
- ・最終評価は、小児歯科学：歯科矯正学を1：1の点数配分で評価する（小数点第1位四捨五入）

【注意事項】

遅刻、欠席は基本的に認めない。将来、医療従事者となる自覚を持って実習に望むこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分)

復 習：配布された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

実習日（18：00～19：00）本館2階東棟 歯科矯正学講座医局 予約をすれば他の時間でも可能

【授業日程】

小児・矯正基礎実習					
第4学年（後期）					
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
15	10月5日(火) 3時限	S.T. ロック 鑲着 脚部の屈曲 主線の屈曲 鑲着練習 主線と脚部の鑲着 研磨	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 津村 智信 三原 正志	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
16	10月5日(火) 4時限	S.T. ロック 鑲着 脚部の屈曲 主線の屈曲 鑲着練習 主線と脚部の鑲着 研磨	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 津村 智信 三原 正志	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
17	10月12日(火) 3時限	補助弾線の鑲着・屈曲ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 駒崎 佑介 津村 智信 村上 剛一 小出 大吾	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
18	10月12日(火) 4時限	補助弾線の鑲着・屈曲ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 駒崎 佑介 津村 智信 村上 剛一 小出 大吾	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
19	10月19日(火) 3時限	補助弾線の鑲着・屈曲ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 名和 孝行 津村 智信 徳田 吉彦	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
20	10月19日(火) 4時限	補助弾線の鑲着・屈曲ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 名和 孝行 津村 智信 徳田 吉彦	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
21	10月26日(火) 3時限	ダンキング 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 富永 憲俊 津村 智信 宮本 剛至	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
22	10月26日(火) 4時限	ダンキング 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 富永 憲俊 津村 智信 宮本 智剛	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
23	11月2日(火) 3時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 薄井 陽平 津村 智信 荒井 敦	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
24	11月2日(火) 4時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 薄井 陽平 津村 智信 荒井 敦	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
25	11月9日(火) 3時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 津村 智信 山木 貴子 小出 大吾	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
26	11月9日(火) 4時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 津村 智信 山木 貴子 小出 大吾	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
27	11月16日(火) 3時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 荒井 敦 津村 智信 宮本 智剛	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
28	11月16日(火) 4時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 荒井 敦 津村 智信 宮本 智剛	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太
29	11月30日(火) 3時限	臨床的対応	矯正歯科における診療の実際について理解する。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 名和 孝行 津村 智信 三原 正志	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
30	11月30日(火) 4時限	臨床的対応	矯正歯科における診療の実際について理解する。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 名和 孝行 津村 智信 三原 正志	中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子 平岡 敬太

口腔外科学 (C4100)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：芳澤享子

助教：佐藤 工、齋藤安奈

【一般目標（GIO）】

口腔外科疾患の原因、症状と診断法を理解し、診断および治療方針を立てるための基本的な知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、顎変性症、嚢胞、顎関節疾患、唾液腺疾患、血液疾患、神経疾患の原因、症状、診断、治療方法を理解する。
2. 口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】白砂 兼光・古郷 幹彦：「口腔外科学 第4版」(医歯薬出版)

榎本 昭二・道 健一・天笠 光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」(医歯薬出版)

山根 源之他編：「口腔内科学」(永末書店)

【参考書】道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」(永末書店)

栗田 賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」(永末書店)

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を主体に Power Point を用いて講義を行い、Weekly Test で知識を評価する。

【フィードバック方法】

本試験実施後、解答を掲示するので、疑問点等あればオフィスアワーに質問に来ること。

講義内容、Weekly Test、定期試験にて質問の多い内容については講義あるいは学生イントラにて解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test を30%、定期試験を70%の比率として100点満点に換算し、65点以上を合格とする。

【注意事項】

1. 医療従事者となる自覚をもって授業に臨むこと。
2. 事前に教科書を読んで、授業の内容を理解しておくこと。
3. 講義後は講義資料だけでなく、教科書、参考書を用いて内容を復習、整理し、理解すること。
4. Weekly Test は、授業の理解度を確認する資料となる。
5. 評価は、Weekly Test（30%）と定期試験の成績で行うので Weekly Test を欠席しないこと。欠席分は0点として評価する。

【準備学習時間（予習・復習）】

75分

予 習：事前に当日の講義範囲について教科書、参考書で予習を行うこと。(30分)

復 習：当日の講義内容を講義資料を中心に復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理すること。(45分)

【オフィスアワー】

月曜日・水曜日 17:30～18:30

本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室、医局

オフィスアワー以外で質問等ある場合は事前に日程を確認すること

【授業日程】

口腔外科学				
				第4学年（前期・後期）
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月2日(金) 2時限	外傷(1) 総論、顎顔面の外傷 「第4版 口腔外科学」p88-102	軟組織と骨・関節の損傷を説明できる。顎顔面外傷の原因、診断、救急・応急処置、軟組織処置、顎骨骨折の治療を説明することができる。	芳澤 享子
2	4月9日(金) 2時限	外傷(2) 歯の外傷および歯槽骨骨折、下顎骨骨折、中顔面骨折 「第4版 口腔外科学」p102-121	歯の外傷、歯槽骨骨折の診断と治療を説明することができる。顎骨骨折の診断と治療（下顎骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折、頬骨弓骨折、吹き抜け骨折、鼻骨骨折等）を説明することができる。	芳澤 享子
3	4月16日(金) 2時限	口腔粘膜疾患(1) 口腔粘膜の構造と機能、口腔粘膜疾患（口内炎、アフタおよびアフタ病変、水疱疾患、ウイルス性疾患） 「第4版 口腔外科学」p173-189 「口腔内科学」p337-386	口腔粘膜の構造と機能および疾患の分類について説明できる。口内炎、アフタおよびアフタ病変、水疱疾患、ウイルス性疾患の診療症状、診断と治療を説明することができる。	芳澤 享子
4	4月23日(金) 2時限	口腔粘膜疾患(2) 口腔扁平苔癬と口腔苔癬様病変、角化性疾患、色素沈着、膠原病、薬物による病変、舌・口唇炎 「第4版 口腔外科学」p190-212 「口腔内科学」p337-386	口腔扁平苔癬と口腔苔癬様病変、角化性疾患、色素沈着、膠原病、免疫関連病変、薬物による病変、舌・口唇炎の臨床症状、診断と治療を説明することができる。	芳澤 享子
5	4月30日(金) 2時限	口腔腫瘍：総論 「第4版 口腔外科学」p213-233 「最新口腔外科学」第3章 p292-312	口腔・顎・顔面に発症する良性及び悪性腫瘍の特徴および口腔がんの特性、発生メカニズム、口腔潜在的悪性疾患、口腔粘膜上皮の腫瘍について説明することができる。	芳澤 享子
6	5月14日(金) 2時限	歯源性腫瘍(1) 「第4版 口腔外科学」p233-251 「最新口腔外科学」p313-325	歯源性腫瘍の特徴、分類の変遷、良性上皮性歯源性腫瘍、良性上皮間葉混合性歯源性腫瘍の症状、診断、治療について説明することができる。	芳澤 享子
7	5月21日(金) 2時限	歯源性腫瘍(2) 「第4版 口腔外科学」p251-270 「最新口腔外科学」第3章 p325-326、341-342	良性間葉性歯源性腫瘍、悪性歯源性腫瘍、骨の良性腫瘍と腫瘍状病変、血液リンパ性腫瘍の症状、診断、治療について説明することができる。	芳澤 享子
8	5月28日(金) 2時限	良性腫瘍 軟組織の良性非上皮性腫瘍 「第4版 口腔外科学」p275-289 「最新口腔外科学」p329-335	良性非上皮性腫瘍について各々の腫瘍の症状、診断、治療について説明することができる。	芳澤 享子
9	6月4日(金) 2時限	悪性腫瘍(1) 口腔扁平上皮癌 「第4版 口腔外科学」p213-233 「最新口腔外科学」p292-312	悪性腫瘍の分類、転移様式、全身への影響、口腔扁平上皮癌のTNM分類、病期分類および診断について説明することができる。	芳澤 享子
10	6月11日(金) 2時限	悪性腫瘍(2) 1. 非上皮性悪性腫瘍（肉腫） 2. 悪性リンパ腫 3. 悪性黒色腫 「第4版 口腔外科学」P270-275、P289-304 「最新口腔外科学」p349-357	非上皮性悪性腫瘍（肉腫）、悪性リンパ腫、悪性黒色腫の診断、治療法について説明することができる。	芳澤 享子
11	6月18日(金) 2時限	悪性腫瘍(3) 腫瘍の治療法：総論 治療選択に関係する因子、治療法の概要、緩和医療（緩和ケア） 「第4版 口腔外科学」P634-647	治療選択に関係する因子、治療法の概要、医療安全対策と多職種連携、緩和医療（緩和ケア）について、臨床上に必要な知識を身につける。	芳澤 享子

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	6月25日(金) 2時限	悪性腫瘍(4) 腫瘍の治療法：外科療法： 切除範囲の決定、口腔癌の手術法、顎 部郭清術 「第4版 口腔外科学」p647-668 「最新口腔外科学」p776-803	腫瘍の切除範囲の決定法を含め、口腔癌の手術法、 顎部郭清術を説明することができる。	芳澤 享子
13	7月2日(金) 2時限	悪性腫瘍(5) 腫瘍の治療法：移植と再建外科 移植術による軟組織および骨の再建、 骨延長法による再建、生体材料による 顎骨再建 「第4版 口腔外科学」p528-573	組織移植法の種類と特徴、移植骨、仮骨延長法、生 体材料を用いた硬組織の再建方法を説明することが できる。	芳澤 享子
14	7月9日(金) 2時限	悪性腫瘍(6) 腫瘍の治療法：放射線治療、化学療法 およびその他の治療法（免疫療法、温 熱療法、分子標的両方、ホルモン療法 など） 「第4版 口腔外科学」p668-691	口腔癌に用いられる外科的治療以外の治療法（放射 線治療法、化学療法、免疫療法等）の特徴と合併症 について説明することができる。	芳澤 享子
15	7月16日(金) 2時限	顎変形症 誘因、分類、診断、治療法（上顎骨骨 切り術、下顎骨骨切り術、骨延長術） 「第4版 口腔外科学」p81-87、p596-633	顎変形症の誘因、顎変形症の分類について理解し、 診断ができる。 顎変形症に対する手術法とその適応を説明すること ができる。	佐藤 工
16	8月18日(水) 1時限	顎口腔の嚢胞(1) 定義と頻度、分類、診断法、治療法、 顎骨嚢胞（炎症性、発育性、非歯原 性、術後性上顎嚢胞、偽嚢胞） 「第4版 口腔外科学」p305-324	嚢胞について、その成因、症状、診断、治療方法を 説明することができる。 顎骨に生じる嚢胞について、その成因、症状、診 断、治療方法を説明することができる。	佐藤 工
17	8月25日(水) 1時限	顎口腔の嚢胞(2) 軟組織の嚢胞（粘液嚢胞、鼻歯槽嚢 胞、頬皮嚢胞と頬表皮嚢胞、腮嚢胞、 甲状舌管嚢胞） 「第4版 口腔外科学」p325-334	顎口腔に発生する軟組織嚢胞について、その成因、 症状、診断、治療方法を説明することができる。	佐藤 工
18	9月1日(水) 1時限	顎関節疾患(1) 顎関節部の構造と機能、顎関節疾患の 分類、顎関節の先天異常・発育異常、 顎関節脱臼、顎関節軟組織損傷 「第4版 口腔外科学」p335-349	顎関節部の構造と機能を理解し、顎関節疾患の分類 から診断ができる。 顎関節の先天異常、発育異常、脱臼や外傷の病態と 治療法を説明することができる。	芳澤 享子
19	9月8日(水) 1時限	顎関節疾患(2) 顎関節の炎症、顎関節の腫瘍、腫瘍類 似疾患、顎関節強直症、咀嚼筋疾患、 全身疾患に起因する顎関節障害 「第4版 口腔外科学」p349-355、372- 375	顎関節の炎症、顎関節の腫瘍、腫瘍類似疾患、顎関 節強直症、進行性下顎頭吸収、咀嚼筋疾患、全身疾 患に起因する顎関節障害の診断と治療法を説明す ることができる。	芳澤 享子
20	9月15日(水) 1時限	顎関節疾患(3)顎関節症： 総論、顎関節症の分類、顎関節症の診 断、顎関節症の治療 「第4版 口腔外科学」p356-372	顎関節症の症型分類を理解し、診断することができ る。 治療法について説明することができる。	芳澤 享子
21	9月22日(水) 1時限	唾液腺疾患(1) 総論：唾液腺の機能、構造、発生、疾 患の診断法 各論：発育異常、唾石症、唾液腺炎 「第4版 口腔外科学」p376-391	唾液腺の機能、構造、発生について説明できる。 唾石線疾患の診断法について説明できる。 唾液腺の発育異常、唾石症、唾液腺の炎症性疾患に ついて診断、治療法を説明することができる。	芳澤 享子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
22	9月29日(水) 1時限	唾液腺疾患(2) ウイルス性唾液腺炎、Sjögren 症候群、 IgG4 関連涙腺・唾液腺炎、腫瘍状病変 「第4版 口腔外科学」p391-402	Sjögren 症候群、IgG4 関連涙腺・唾液腺炎、唾液腺の腫瘍状病変について診断ができる。 治療法を説明することができる。	芳澤 享子
23	10月6日(水) 1時限	唾液腺疾患(3) 腫瘍発生、病理分類、TNM 分類、良性腫瘍、悪性腫瘍、唾石腺腫瘍の治療法 「第4版 口腔外科学」p402-430	唾液腺腫瘍に関する基礎的事項を理解する。 唾液腺良性、悪性腫瘍の診断、治療法について説明することができる。	芳澤 享子
24	10月13日(水) 1時限	血液疾患(1)総論： 血液疾患の基礎、貧血、白血病、白血球減少症 「第4版 口腔外科学」p431-449 最新口腔外科学 p254-262、口腔内科学 p198-211	血液疾患の分類と、その特徴を理解し、貧血、白血病、白血球減少症患者の診断法、罹患患者への口腔外科的対応について説明できる。	芳澤 享子
25	10月20日(水) 1時限	血液疾患(2)出血性素因1： 止血・凝固機序、検査、血管壁の異常、血小板の異常 「第4版 口腔外科学」p449-456 最新口腔外科学 p262-268、口腔内科学 p212-215	止血・凝固機構とその検査について説明できる。 出血性素因の分類とその特徴を理解し、血管壁の異常、血小板の異常による疾患と口腔外科的対応について説明できる。	芳澤 享子
26	10月27日(水) 1時限	血液疾患(3)出血性素因2： 凝固因子の異常、線溶系の異常 「第4版 口腔外科学」p456-463 最新口腔外科学 p268-271、口腔内科学 p215-216	臨床症状、検査結果から凝固因子および線溶系の異常による出血性素因の診断ができる。出血性素因を持つ患者の外科治療法について説明することができる。	芳澤 享子
27	11月10日(水) 1時限	神経疾患と心因性病態(1) 総論：神経分布と機能、疼痛、麻痺、けいれん 三叉神経痛、帯状疱疹痛、舌咽神経痛、茎状突起過長症 「第4版 口腔外科学」p464-477 「口腔内科学」第5章	顎顔面領域の神経分布と機能が説明できる。 疼痛、麻痺、けいれんの病態を説明できる。 末梢神経損傷の診断方法を説明できる 三叉神経痛および顎顔面領域における神経痛類似疾患の原因、症状を理解し、診断ができる。 治療方法を説明することができる。	芳澤 享子
28	11月17日(水) 1時限	神経疾患と心因性病態(2) 顔面神経麻痺、三叉神経麻痺、舌咽神経麻痺、けいれん、めまい、心因性病態、脳障害と認知障害 「第4版 口腔外科学」p477-486 「口腔内科学」第5章	顎顔面領域の神経麻痺の原因と神経障害部位による症状を理解し、診断ができる。 治療方法を説明することができる。 けいれんを呈する疾患について説明することができる。 心因性病態について説明することができる。 脳障害と認知障害について説明することができる。	芳澤 享子
29	11月24日(水) 1時限	口腔外科と関連する全身疾患 歯科医師に必要とされる医学的知識 「口腔内科学」第4章 「第4版 口腔外科学」第18章	口腔外科と関連する全身疾患の病態について理解することで、歯科口腔外科治療を行う上での注意点について説明することができる。	齋藤 安奈
30	12月1日(水) 1時限	有病者の歯科治療 有病者への対応、治療上の注意点、実際の治療手順、口腔ケア・周術期口腔管理 「第4版 口腔外科学」第18章 「最新口腔外科学」p644-648	有病者の特徴を理解し、それぞれの疾患に応じた対応を学ぶことで、歯科・口腔外科的治療するために必要な知識を身につける。 口腔ケア・周術期口腔管理を理解する。	齋藤 安奈

歯科麻酔学 (C4110)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：澁谷 徹
講師：谷山貴一
非常勤講師：林 直樹

【一般目標（GIO）】

1. 歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔の基本を理解する。
2. 救急処置の基本を修得する。
3. 口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺を理解する。
4. 医療事故防止のための安全管理を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. バイタルサインの意義とそのモニタリング方法を説明できる。
2. 血圧、脈拍、呼吸の測定方法と異常所見を説明できる。
3. 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。
4. 患者の全身状態の評価についてを説明できる。
5. 局所麻酔の目的を説明できる。
6. 局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。
7. 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。
8. 血管収縮薬の使用法、種類および臨床使用上の注意を説明できる。
9. 局所麻酔の実施法と合併症を説明できる。
10. 精神鎮静法の目的と種類を説明できる。
11. 吸入鎮静法と静脈内鎮静法に使用する薬剤、適応、禁忌および合併症を説明できる。
12. 全身麻酔の目的と概念を説明できる。
13. 全身麻酔に使用する薬物、機器、器具を説明できる。
14. 全身麻酔の合併症と周術期管理を説明できる。
15. 歯科治療時の全身合併症を説明できる。
16. 心肺蘇生法の手順を説明できる。
17. 救急処置に用いられる薬物を説明できる。
18. 三叉神経痛と神経麻痺を説明できる。
19. 医療事故防止のための安全管理体制を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】丹羽均・入船正浩・小長谷光・澁谷徹編：「第6版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）
【参考書】福島和昭監修・戸達也他編：「歯科麻酔学（第8版）」（医歯薬出版）
今井裕、岩淵博史監修・石垣佳希他編：「有病者歯科学」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を用いて黒板への板書と適宜スライドを使用して講義を行い、教科書に記載された内容のうち重要な事項につき解説を行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験を70点満点、Weekly Test の平均を30点満点に換算し、合計100点満点で前期と後期の評価を行う。前期・後期評価点を平均し、65点以上を合格とする。65点未満の者には後期に1回のみ再試験を行う。また、出席状況や受講態度

を評価に加味することがある。

【注意事項】

教科書を必ず持参し、板書内容や説明事項をノートに筆記すること。
講義内容の不明な点や理解できない箇所は、受講後に質問して解決する。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

教科書、講義ノートおよび Post Test の内容につき復習する。

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16:30～17:30

本館5階西棟 歯科麻酔学講座教授室または医局

他の曜日・時間も予約をすれば対応可能

【授業日程】

歯科麻酔学				
第4学年（前期・後期）				
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月29日(月) 2時限	麻酔の概念 歯科麻酔の役割	局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の目的を説明できる。 全身管理の必要性を説明できる。	澁谷 徹
2	4月5日(月) 2時限	呼吸生理	呼吸器系の構造と機能を説明できる。	澁谷 徹
3	4月12日(月) 2時限	血液による酸素と二酸化炭素の運搬	血液中の酸素と二酸化炭素運搬を説明できる。	澁谷 徹
4	4月19日(月) 2時限	循環生理	心臓の構造と機能を説明できる。 循環器系の構造と機能を説明できる。	澁谷 徹
5	4月26日(月) 2時限	神経生理 生体のストレス反応 酸塩基平衡	自律神経系の構造と機能を説明できる。 ストレスに対する自律神経系、内分泌系の反応を説明できる。 酸塩基平衡を説明できる。	澁谷 徹
6	5月10日(月) 2時限	全身状態評価法 1. 診察法 2. バイタルサイン 3. 臨床検査 4. 手術危険度	診察に必要な事項を説明できる。 バイタルサインを把握できる。 各種臨床検査の基準値を知り、異常値の意味を説明できる。	澁谷 徹
7	5月17日(月) 2時限	管理上問題となる疾患 1. 循環器系疾患－①	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
8	5月24日(月) 2時限	1. 循環器系疾患－② 2. 呼吸器系疾患	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
9	5月31日(月) 2時限	3. 内分泌系疾患 4. 腎疾患 5. その他の疾患	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
10	6月7日(月) 2時限	局所麻酔薬 1. 局所麻酔薬の分類 2. 作用機序 3. 局所麻酔作用に影響する因子	局所麻酔の目的を説明できる。 局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 局所麻酔作用に影響する因子を説明できる。	澁谷 徹
11	6月14日(月) 2時限	4. 局所麻酔薬の吸収、代謝、排泄 5. 各種局所麻酔薬の特徴	局所麻酔薬の代謝を説明できる。 各種局所麻酔薬の特徴を説明できる。	澁谷 徹
12	6月21日(月) 2時限	血管収縮薬 1. 血管収縮薬添加の目的 2. 血管収縮薬の種類	血管収縮薬を添加する目的を説明できる。 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 臨床使用上の注意を説明できる。	澁谷 徹
13	6月28日(月) 2時限	局所麻酔法 1. 表面麻酔法 2. 浸潤麻酔法 3. 周囲麻酔法	局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 浸潤麻酔法を説明できる。	澁谷 徹
14	7月5日(月) 2時限	4. 伝達麻酔法	伝達麻酔法と麻酔奏効範囲を説明できる。	澁谷 徹
15	7月12日(月) 2時限	局所麻酔の合併症	局所麻酔の合併症を説明できる。	澁谷 徹
16	8月23日(月) 2時限	医療事故防止のための安全管理体制	医療事故防止のための安全管理について説明できる。	澁谷 徹
17	8月30日(月) 2時限	モニタリング	呼吸器系、循環器系のモニタについて説明できる。	澁谷 徹

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
18	9月6日(月) 2時限	精神鎮静法の適応と禁忌 吸入鎮静法 静脈内鎮静法	精神鎮静法の目的を説明できる。 精神鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 精神鎮静法の種類を説明できる。	林 直樹
19	9月13日(月) 2時限	全身麻酔の理論 吸入麻酔法 1. 吸入麻酔薬 2. 麻酔薬の吸収と排泄	全身麻酔の目的を説明できる。 吸入麻酔薬の種類と特徴を説明できる。	澁谷 徹
20	9月24日(金) 2時限	3. 麻酔器、麻酔回路 4. 麻酔用器具 5. 気管挿管	麻酔器と麻酔回路について説明できる。 麻酔導入法を説明できる。	澁谷 徹
21	9月27日(月) 2時限	静脈麻酔法 静脈麻酔薬 筋弛緩薬	静脈麻酔薬の特徴を説明できる。 筋弛緩薬について説明できる。	澁谷 徹
22	10月4日(月) 2時限	術前管理 1. 麻酔前投薬 2. 術前経口摂取制限 術中管理 1. 呼吸、循環、代謝管理	麻酔前投薬の目的と種類を説明できる。 経口摂取の制限について説明できる。 呼吸、循環および代謝管理を説明できる。	澁谷 徹
23	10月11日(月) 2時限	術中管理 2. 輸液、輸血 3. 術中合併症	輸液と輸血の目的と種類を説明できる。 術中合併症を説明できる。	澁谷 徹
24	10月18日(月) 2時限	術後管理 1. 疼痛管理 2. 術後合併症 日帰り全身麻酔	術後の疼痛管理を説明できる。 術後合併症を説明できる。 日帰り全身麻酔の適応を説明できる。	澁谷 徹
25	10月25日(月) 2時限	小児麻酔 高齢者麻酔	小児の生理学的特徴を説明できる。 小児麻酔の特徴を説明できる。 高齢者の生理学的特徴を説明できる。 高齢者麻酔について説明できる。	澁谷 徹
26	11月1日(月) 2時限	歯科治療時の全身偶発症 1. 血管迷走神経反射 2. 過換気症候群 3. 異物の誤飲・誤嚥	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
27	11月8日(月) 2時限	4. 内科的基礎疾患の増悪 ①循環器系疾患	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
28	11月15日(月) 2時限	②その他の疾患	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
29	11月22日(月) 2時限	一次救命処置 (BLS) 二次救命処置 (ACLS)	意識レベル、呼吸および循環の状態を把握できる。 一次救命処置を説明できる。 二次救命処置を説明できる。	澁谷 徹
30	11月29日(月) 2時限	疼痛治療 1. 三叉神経痛 2. 非菌原性歯痛 3. 三叉神経麻痺 4. 顔面神経麻痺 5. 星状神経節ブロック 6. 癌性疼痛治療法	三叉神経痛の症状と治療法を説明できる。 非菌原性歯痛について説明できる。 顔面神経麻痺の症状と治療法を説明できる。 三叉神経麻痺の治療法を説明できる。 癌性疼痛の治療法を説明できる。	澁谷 徹

歯科放射線学 (C4120)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：田口 明

講師：黒岩博子、杉野紀幸

【一般目標（GIO）】

歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断について十分な知識、技能を習得するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 放射線の性質、影響および防護について説明する。
2. 各種画像検査法の画像形成原理を説明する。
3. 各種画像検査に用いられる装置の種類と特徴および撮影技術について説明する。
4. 歯・口腔顎顔面領域疾患の診断に適した画像検査法を選択する。
5. 歯・口腔顎顔面領域疾患の診断に必要な画像所見の特徴を説明する。
6. 口腔領域悪性腫瘍の放射線治療の基礎および治療患者の口腔管理について説明する。

【教科書・参考書】

【教科書】 田口明編：「新・基礎から始める歯科放射線学」（IDP 出版）

【参考書】 金田隆編：「Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業では、学習すべき内容を網羅した教科書及び印刷物を中心としてプロジェクターにより詳細な内容の説明を行う。

Weekly Test において1回の授業につき5問の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test や定期試験において正解率が低い問題に対して詳細な解答例と参考文献を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

前後定期試験および Weekly Test の成績で評価する。定期試験の成績の占める割合は全体の70%、Weekly Test の成績の占める割合は全体の30%とする。講義の出席状況を加味する。

【注意事項】

授業において説明する内容を必ず教科書に書きとめ、復習を行うこと。

授業では教科書を必ず持参すること。教科書では特に写真や図を参考にすること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書、参考書で予習を行うこと。(30分)

復 習：講義ノート・教科書を復習し、参考書を利用して各自知識をまとめること。(30分)

【オフィスアワー】

木曜日 18：00～19：00

本館5階西棟 歯科放射線学講座研究室

TELにて予約のこと。連絡先：TEL0263-51-2096

【授業日程】

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 歯科放射線学 第4学年（前期・後期） </div>				
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月2日(金) 1時限	電離放射線とエックス線 1. 電離放射線 2. エックス線の発生 3. エックス線の作用と性質	放射線の種類と性質を説明できる。	田口 明
2	4月5日(月) 1時限	電離放射線とエックス線 4. 放射線の線量と単位 5. 放射線の線質 6. エックス線の減弱	放射線の線量、単位、線質、エックス線の減弱について説明できる。	田口 明
3	4月16日(金) 1時限	放射線機器・器材と情報処理 1. 歯科用エックス線撮影装置 2. パノラマエックス線撮影装置	エックス線装置の種類、その構造について説明できる。	田口 明
4	4月23日(金) 1時限	放射線機器・器材と情報処理 3. エックス線フィルム 4. 特性曲線・粒状性 5. 増感紙 6. エックス線写真処理 7. 歯科用デジタルエックス線撮影装置 8. 医療画像システム< PACS >	画像記録系の種類と特性、その写真処理について説明できる。	田口 明
5	4月30日(金) 1時限	エックス線写真の基礎的事項 1. 画像形成とその原理 2. 画像形成・幾何学的条件	エックス線画像の形成原理と幾何学的条件について説明できる。	杉野 紀幸
6	5月14日(金) 1時限	エックス線写真の基礎的事項 3. コントラスト 4. 鮮鋭度と解像度 5. 画質に影響する因子	コントラストの概念とコントラストの特性について説明できる。 鮮鋭度と解像度について説明できる。	田口 明
7	5月21日(金) 1時限	画像検査法 1. 歯・歯周組織のエックス線検査	口内法エックス線撮影の種類と適応を説明できる。 水平的垂直的投影法の種類と特徴を説明できる。	杉野 紀幸
8	5月28日(金) 1時限	画像検査法 2. 顎・顔面領域のエックス線検査	パノラマエックス線撮影の特徴と適応を説明できる。 頭部単純エックス線撮影の種類、特徴、適応を説明できる。 特殊エックス線撮影の種類、特徴、適応を説明できる。	田口 明
9	6月4日(金) 1時限	画像検査法 3. 顎・顔面領域の画像検査	顎・顔面領域で利用する特殊画像検査法の種類、原理、適応を説明できる。	田口 明
10	6月11日(金) 1時限	画像検査：基礎 1. 画像検査の選択基準と限界	画像検査法の選択基準と画像検査の限界について説明できる。	杉野 紀幸
11	6月18日(金) 1時限	画像検査：基礎 2. 所見の表現と解釈	エックス線所見の解釈について観察項目を列挙し説明できる。	田口 明
12	6月25日(金) 1時限	画像検査：基礎 3. 正常エックス線像	口腔領域で利用されるエックス線撮影で描出される正常構造について説明できる。	杉野 紀幸
13	7月2日(金) 1時限	画像診断：歯・歯周組織 1. 歯の疾患	歯の疾患の種類とエックス線所見を説明できる	杉野 紀幸
14	7月9日(金) 1時限	画像診断：歯・歯周組織 2. 慢性歯周炎 3. 根尖性歯周疾患	歯髄・根尖歯周組織疾患および歯周疾患のエックス線所見を説明できる。	田口 明

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	7月16日(金) 1時限	放射線の必須事項 1. 放射線被曝 2. 口内法撮影装置 3. 口内法 4. パノラマエックス線撮影法 5. CT検査 6. 造影検査	放射線学に必須とされる項目について再度確認し、理解する。	田口 明
16	8月20日(金) 1時限	画像診断：顎骨 1. 顎骨の外傷 2. 顎骨の炎症	顎顔面領域の骨折における分類、画像検査法の種類、エックス線所見を説明できる。 顎骨炎の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
17	8月27日(金) 1時限	画像診断：顎骨 3. 顎骨の菌原性嚢胞	顎骨に発生する菌原性嚢胞の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
18	9月3日(金) 1時限	画像診断：顎骨 4. 顎骨の非菌原性嚢胞 5. 顎骨の嚢胞類似疾患 6. 軟組織に発生する嚢胞	顎骨に発生する非菌原性嚢胞の種類とエックス線所見を説明できる。 軟組織に発生する嚢胞の種類と画像所見を説明できる。	田口 明
19	9月10日(金) 1時限	画像診断：顎骨 7. 顎骨の菌原性腫瘍	顎骨に発生する菌原性腫瘍の種類とエックス線所見を説明できる。 腫瘍の診断に必要な画像検査法を説明できる。	田口 明
20	9月17日(金) 1時限	画像診断：顎骨 8. 顎骨の非菌原性腫瘍	顎骨に発生する非菌原性良性腫瘍、悪性腫瘍の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
21	10月1日(金) 1時限	画像診断：顎骨 9. 顎骨の腫瘍類似疾患 歯科放射線学における新たな情報	顎骨の腫瘍類似疾患の種類とエックス線所見を説明できる。新しい撮像法を学ぶ。	田口 明
22	10月8日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 1. 上顎洞疾患	上顎洞疾患の種類とエックス線所見を説明できる。	杉野 紀幸
23	10月15日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 2. 唾液腺疾患	唾液腺疾患の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
24	10月22日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 3. 顎関節疾患	顎関節疾患の種類と画像所見を説明できる。	田口 明
25	10月29日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 4. 症候性疾患	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類とエックス線所見を説明できる。	杉野 紀幸
26	11月5日(金) 1時限	放射線治療 1. 悪性腫瘍に対する放射線の作用	悪性腫瘍に対する放射線感受性とそれを修飾する生物学的因子を説明できる。	田口 明
27	11月12日(金) 1時限	放射線治療 2. 口腔領域の放射線治療 3. 照射の副作用と障害 4. 放射線治療と口腔管理	放射線治療の種類、特徴、適応を説明できる。 放射線治療に伴う副作用とその口腔管理を説明できる。	田口 明
28	11月19日(金) 1時限	放射線の影響と健康 1. 放射線の影響	放射線の人体への影響について身体的影響と遺伝的影響、早期影響と晩期影響、確率的影响と確定的影響に関し説明できる。	黒岩 博子
29	11月26日(金) 1時限	放射線の影響と健康 2. 放射線と健康 3. 放射線に関する法的規制	放射線被曝の種類と特徴を説明できる。 ICRPの勧告の基本について説明できる。 歯科エックス線検査における患者と術者の放射線防護方法を説明できる。 放射線に関する法的規制について説明できる。	田口 明
30	12月3日(金) 1時限	正当化と最適化に基づいた画像診断の実際 1. 正当化に基づく画像診断法の選択 2. 最適化に基づく画像診断法の調整 3. 単純エックス線画像および特殊画像検査の診断法	正当化と最適化に基づき各疾患に対する画像診断法の的確な選択ができるとともに、選択した画像から適切な診断が行える。	田口 明

歯内治療学 (C4130)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：増田宜子

【一般目標（GIO）】

歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 3年後期に修得した内容を説明できる。
2. 根管処置について説明できる。
3. 根管充填について説明できる。
4. 外科的歯内療法について説明できる。
5. 顕微鏡を応用した歯内療法について説明できる。
6. 歯内療法における安全対策について説明できる。
7. 根末完成歯や歯根の病的吸収とその治療法について説明できる。
8. 外傷歯に対する診断と処置について説明できる。
9. 変色歯に対する原因と治療法について説明できる。
10. 歯内-歯周病変を分類し治療方針を説明できる。
11. 高齢者の歯内療法について説明できる。
12. 根管処置後の歯冠修復について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 勝海一郎他編：「歯内治療学 第5版」（医歯薬出版）

〔参考書〕 興地隆史他編：「第5版エンドドンティックス」（永末書店）

須田英明他編：「エンドドンティックス21 改訂版」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）

河野 哲著：「新歯内治療学サイドリーダー第2版」（学建書院）

【教育（学習）方略（SL）】

教科書に沿って講義をおこなう。

主要項目および臨床事例はスライド・動画で提示して説明する。

【フィードバック方法】

講義のはじめに前回の講義内容についてのテストを行い解答と解説を行う。講義中は質問により理解度を確認する。講義終了後に講義内容についてテストを行い理解度を確認する。理解しにくかった点について学生に質問し、次回の講義で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験、Weekly Test（30％）出席回数、授業態度から総合的に評価する。

※評価方法は合計で100％になるよう記載すること

【注意事項】

3年後期に学習した内容を理解できていると考えて講義を進めるため、いつでも3年時の内容が見直せるよう、教科書を持参すること。途中でわからないことは遠慮なく質問すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して、教科書を読んで予習すること。(15分)

復 習：講義ノート、講義資料、教科書を復習し、理解すること。(45分)

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 18：00～19：00

本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 歯内治療学 第4学年（前期） </div>				
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月30日(火) 1時限	3年後期のまとめ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯内治療学の目的と意義、歴史を説明できる。 2. 歯・歯周組織の構造と機能を説明できる。 3. 歯の硬組織疾患を説明できる。 4. 歯内療法における基本術式の概要について説明できる。 5. 歯髄疾患について説明できる。 6. 根尖性歯周炎について説明できる。 	増田 宜子
2	4月6日(火) 1時限	根管処置(1) 髓室開拡 根管長測定と作業長の決定 根管形成	<ol style="list-style-type: none"> 1. 髓室開拡の要件・術式について説明できる。 2. 根管長測定法と作業長の決定について説明できる。 3. 根管拡大・形成の意義について説明できる。 	増田 宜子
3	4月13日(火) 1時限	根管処置(2) 髓室開拡 根管長測定と作業長の決定 根管形成	<ol style="list-style-type: none"> 1. 髓室開拡の要件・術式について説明できる。 2. 根管長測定法と作業長の決定について説明できる。 3. 根管拡大・形成の意義について説明できる。 	増田 宜子
4	4月20日(火) 1時限	根管処置(3) 根管の化学的清掃 根管の消毒 根管内容物の検査 根管治療の補助療法 再根管治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根管の化学的清掃について説明できる。 2. 根管の消毒の意義について説明できる。 3. 根管消毒薬の所要性質について説明できる。 4. 根管消毒薬の種類と使用方法について説明できる。 5. 根管内容物の検査について説明できる。 6. 根管治療の補助療法について説明できる。 7. 再根管治療について説明できる。 	増田 宜子
5	4月27日(火) 1時限	根管充填(1) 根管充填の目的と意義 根管充填の時期 根管充填材の所要性質 根管充填材の種類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根管充填の目的と意義について説明できる。 2. 根管充填の時期について説明できる。 3. 根管充填材の所要性質について説明できる。 4. 根管充填剤の種類について説明できる。 	増田 宜子
6	5月11日(火) 1時限	根管充填(2) 根管充填の術式 即時根管充填法 根管充填後の治療経過	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根管充填の術式について説明できる。 2. 即時根管充填法について説明できる。 3. 根管充填後の根尖部創傷の治療機転について説明できる。 4. 治療に影響を及ぼす因子について説明できる。 5. 予後の判定基準と時期について説明できる。 	増田 宜子
7	5月18日(火) 1時限	根管充填(3) 根管充填の術式 即時根管充填法 根管充填後の治療経過	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根管充填の術式について説明できる。 2. 即時根管充填法について説明できる。 3. 根管充填後の根尖部創傷の治療機転について説明できる。 4. 治療に影響を及ぼす因子について説明できる。 5. 予後の判定基準と時期について説明できる。 	増田 宜子
8	5月25日(火) 1時限	根管処置後の歯冠修復 緊急処置 根未完成歯の治療 歯内治療の将来	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナルリーケージについて説明できる。 2. 支台築造について説明できる。 3. 疼痛に対する緊急処置について説明できる。 4. 急性歯髄炎の緊急処置について説明できる。 5. 急性根尖性歯周炎の緊急処置について説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. アペキソゲネーシスについて説明できる。 2. アペキシフィケーションについて説明できる。 3. アペキソゲネーシスおよびアペキシフィケーションの適応症例について説明できる。 4. MTAを用いた根尖閉鎖療法について説明できる。 5. 歯髄再生療法について説明できる。 	増田 宜子

回数	授業日時 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
9	6月1日(火) 1時限	歯根の病的吸収 外傷歯の診断と処置	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯根の外部吸収について説明できる。 2. 歯髄の内部吸収について説明できる。 1. 外傷歯の分類について説明できる。 2. 外傷歯の診査と検査法について説明できる。 3. 外傷歯の治療法について説明できる。 	増田 宜子
10	6月8日(火) 1時限	外科的歯内治療(1)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外科的歯内治療の適応症について説明できる。 2. 外科的歯内療法術式の術式および治療機転と予後について説明できる。 	増田 宜子
11	6月15日(火) 1時限	外科的歯内治療(2)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外科的歯内治療の適応症について説明できる。 2. 外科的歯内療法術式の術式および治療機転と予後について説明できる。 	増田 宜子
12	6月22日(火) 1時限	歯科用実体顕微鏡を応用した歯内治療 レーザーを用いた歯内治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科用実体顕微鏡による検査について説明できる。 2. 歯科用実体顕微鏡による処置の特徴について説明できる。 3. 診療ポジションについて説明できる。 4. 適応症について説明できる。 5. レーザーの特徴を説明できる。 6. レーザーの種類を説明できる。 	増田 宜子
13	6月29日(火) 1時限	変色歯の漂白 歯内・歯周疾患	<ol style="list-style-type: none"> 1. 変色歯の漂白について説明できる。 1. 歯内疾患と歯周疾患の関連について説明できる。 2. 歯内・歯周疾患の分類と臨床症状について説明できる。 3. 歯内・歯周疾患の診断と治療方針について説明できる。 	増田 宜子
14	7月6日(火) 1時限	高齢者・有病者の歯内治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の心身における特徴について説明できる。 2. 全身疾患と歯内治療の留意点・影響について説明できる。 3. 高齢者・有病者と成人健常者との歯内治療の違いについて説明できる。 4. 高齢者の歯・歯髄・歯周組織と歯内治療について説明できる。 	増田 宜子
15	7月13日(火) 1時限	歯内治療における安全対策 まとめ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯内治療領域の安全対策について説明できる。 	増田 宜子

歯内治療学実習 (C4140)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：増田宜子、安西正明

助教：小町谷美帆、尾崎友輝、出分葉々衣、中村 卓、小松佐保、石岡康明、三好弥恵、中村圭吾、宮國 茜、
甲田訓子

助手：佐故竜介、岩崎拓也、田井康寛、朝倉莉紗、水谷隆一、上原龍一、原 美音、森川雅己

非常勤講師：窪川恵太、村瀬貴之、小林 卓、川尻勝彦、齋藤俊樹

【一般目標（GIO）】

歯内治療学について、講義で学んだ理論と基礎実習で修得した知識、手技を基にして、臨床実習においては診療参加型実習を行い知識と手技を向上する。そして患者とのコミュニケーションを図るとともに態度を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. ラバーダム防湿法の目的を説明できる（解釈）。
2. ラバーダム防湿ができる（技能）。
3. 患者にこれから行うことを伝達できる（態度）。
4. 必要な器材を準備できる（技能）。
5. 処置に応じたポジショニングができる（技能）。
6. 隔壁形成の目的を説明できる（解釈）。
7. 隔壁を形成できる（技能）。
8. 麻酔抜髄の目的を説明できる（解釈）。
9. 麻酔抜髄の各処置の目的を説明できる（解釈）。
10. 髄腔開拓ができる（技能）。
11. 根管長測定ができる（技能）。
12. 根管形成ができる（技能）。
13. 根管洗浄ができる（技能）。
14. 根管乾燥ができる（技能）。
15. 根管貼薬ができる（技能）。
16. 適切に仮封ができる（技能）。
17. 根管充填ができる（技能）。
18. 清潔に配慮できる（態度）。
19. 適切に器材を操作できる（技能）。
20. 適切な薬剤を貼薬できる（技能）。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 歯科保存学講座編：「歯内治療学実習マニュアル」

勝海一郎他：「歯内治療学（第5版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 浅井康弘他訳：「歯内療法マニュアル基礎編」（医歯薬出版）

興地隆史他編：「第5版エンドドンティクス」（永末書店）

須田英明他編：「エンドドンティクス21 改訂版」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）

河野 哲著：「新歯内療法学サイドローダー第2版」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

マネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより、まず代表的な臨床状況の設定下に、様々な歯種に対して基本的な術式を習得してから、それぞれの歯種について天然抜去歯を用いて同様の処置を行うことで細目が研鑽できる。個々の処置に先がけて、実習マニュアルを基にスライドによる講義により処置の目的や必要性を理解させ、加えて動画デモにより一連の術式の流れを把握させる。

【フィードバック方法】

実習前に実習内容に関するテストを行う。実習後、学生の質問を受け、解説する。
Weekly Test の解説を行う。

【評価方法 (Evaluation)】

実習項目の進捗と実習技術の評価 (100点満点)、実技試験 (100点満点) および Weekly Test の成績 (100点満点) を合計して195点以上に達したものを合格とする。(Weekly Test は30%)

【注意事項】

各項目の目的と処置内容との関連・必要性を認識把握すること。

【準備学習時間 (予習・復習)】

105分

予 習：マニュアルを事前に読んで予習し、必要な機材を再確認する。課題を事前に予習する (60分)

復 習：実習した項目について教科書・講義資料で復習する。実習でうまくいかなかった点についてはその原因を考察する。(45分)

【オフィスアワー】

実習日の実習終了後 実習館実習室101

【授業日程】

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 歯内治療学実習 第4学年（後期） </div>					
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	8月19日(木) 3時限	使用する器具の解説 上顎前歯、上顎小白歯、上顎大白歯、 下顎小白歯、下顎大白歯の根管形態を 確認・スケッチ	歯内治療に使用する器具の使用目的・方法を理解する。 歯根形態、歯冠軸・歯根軸を把握し、正確な歯内治療が行えるようにする。 器具を安全に操作できる。	増田 宜子 小町谷美帆 小松 佐保 三好 弥恵 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
2	8月19日(木) 4時限	使用する器具の解説 上顎前歯、上顎小白歯、上顎大白歯、 下顎小白歯、下顎大白歯の根管形態を 確認・スケッチ	歯内治療に使用する器具の使用目的・方法を理解する。 歯根形態、歯冠軸・歯根軸を把握し、正確な歯内治療が行えるようにする。 器具を安全に操作できる。	増田 宜子 小町谷美帆 小松 佐保 三好 弥恵 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
3	8月26日(木) 3時限	上顎中切歯（透明根管模型） 根管模型を用いた根管形成（麻酔抜髄を想定）	窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
4	8月26日(木) 4時限	上顎中切歯（透明根管模型） 根管模型を用いた根管形成	根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管乾燥ができる。（ペーパーポイント） 根管形態を確認できる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
5	9月2日(木) 3時限	第2回の続き	窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
6	9月2日(木) 4時限	電氣的根管長測定 (EMR) の解説 EMR 模型を用いた EMR 測定・拡大形成	電氣的根管長測定の理論を理解する。 電氣的根管長測定器の使用法を理解する。 模型歯と電氣的根管長測定器を使用して根管長を測定できる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
7	9月9日(木) 3時限	上顎中切歯 (透明根管模型) 根管模型を用いた根管充填	マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタパーチャを圧接できる。	増田 宜子 小町 谷美帆 小松 佐保 三好 弥恵 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
8	9月9日(木) 4時限	上顎中切歯 (透明根管模型) 根管模型を用いた根管充填	<p>マスターポイントの試適ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 <p>根管充填に必要な器械・材料を準備できる。</p> <p>根管長の確認ができる。</p> <p>側方加圧充填ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 <p>余剰なポイントを根管口部で除去できる。</p> <p>根管上部のガッタパーチャを圧接できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影で確認できる。 	増田 宜子 小町 谷美帆 小松 佐保 三好 弥恵 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
9	9月16日(木) 3時限	彎曲根管根管模型を用いた根管形成 (感染根管を想定)	<p>ファイルの操作法と点検法を理解する。</p> <p>ファイルを作業長に到達できる。</p> <p>ファイルを用いて根管拡大ができる。</p> <p>ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。</p> <p>根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。</p> <p>ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。</p> <p>根管形態に対応した根管充填が出来る。</p>	増田 宜子 小町 谷美帆 小松 佐保 三好 弥恵 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
10	9月16日(木) 4時限	彎曲根管模型を用いた根管形成 (感染根管を想定)	<p>ファイルの操作法と点検法を理解する。</p> <p>ファイルを作業長に到達できる。</p> <p>ファイルを用いて根管拡大ができる。</p> <p>ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。</p> <p>根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。</p> <p>ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。</p> <p>根管形態に対応した根管充填が出来る。</p>	増田 宜子 小町 谷美帆 小松 佐保 三好 弥恵 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
11	9月30日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (上顎右側中切歯)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼葉ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 小町谷美帆 小松 佐保 三好 弥恵 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
12	9月30日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (上顎右側中切歯)	ラバーダム防湿ができる。 ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼葉ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 小町谷美帆 小松 佐保 三好 弥恵 甲田 訓子 中村 圭吾 宮國 茜 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
13	10月7日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (上顎右側中切歯)	ラバーダム防湿ができる。 マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタパーチャを圧接できる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影で確認できる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
14	10月7日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (上顎右側中切歯)	ラバーダム防湿ができる。 マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタパーチャを圧接できる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影で確認できる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
15	10月14日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (下顎右側第1小臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
16	10月14日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (下顎右側第1小臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
17	10月21日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (下顎右側第1小臼歯)	<p>ラバーダム防湿ができる。 マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタパーチャを圧接できる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影で確認できる。</p>	<p>増田 宜子 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太朗 佐々 公太 木村 喜保 田中 敏寿 高橋 惇哉</p>	<p>岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己</p>
18	10月21日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (下顎右側第1小臼歯)	<p>ラバーダム防湿ができる。 マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタパーチャを圧接できる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影で確認できる。</p>	<p>増田 宜子 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太朗 佐々 公太 木村 喜保 田中 敏寿 高橋 惇哉</p>	<p>岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己</p>

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	10月28日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (上顎左側第1小臼歯・湾曲根管)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 出分業々衣 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
20	10月28日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成、根管充填 (上顎左側第1小臼歯・湾曲根管)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る 仮封ができる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 出分業々衣 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
21	11月4日(木) 3時限	Ni：Ti ファイル (根管模型) を用いた 髓室開拡・EMR・根管拡大形成、 根管充填	Ni：Ti ファイルを用いて根管口明 示・根管拡大形成までを行える。 根管充填を行える。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 出分業々衣 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
22	11月4日(木) 4時限	Ni：Ti ファイル (根管模型) を用いた 髓室開拡・EMR・根管拡大形成、 根管充填	Ni：Ti ファイルを用いて根管口明 示・根管拡大形成までを行える。 根管充填を行える。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 出分業々衣 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 恵太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
23	11月11日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (上顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
24	11月11日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (上顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
25	11月18日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (上顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
26	11月18日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (上顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
27	11月25日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (下顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
28	11月25日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成・根管充填 (下顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
29	12月2日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (下顎右側第1小臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己
30	12月2日(木) 4時限	総復習	これまで行った実習の知識・手技について説明できる。	増田 宜子 尾崎 友輝 中村 卓 石岡 康明 三好 弥恵 窪川 惠太 村瀬 貴之 川尻 勝彦 齋藤 俊樹 小林 卓	岩崎 拓也 田井 康寛 水谷 莉紗 水谷 隆一 森川 雅己

歯 周 病 学

(C4150)

第4学年 (前期)
講義 必修

【担当者】

教 授：吉成伸夫

助 教：尾崎友輝、出分菜々衣、中村 卓

【一般目標 (GIO)】

歯周疾患の各種治療法と、予防法について理解、説明できる。

【行動目標 (SBOs)】

1. 歯周疾患の検査、診断から治療計画に至る流れを説明できる。
2. 病因除去療法としての歯周基本治療を説明できる。
3. 各種歯周基本治療の術式を理解、説明できる。
4. 歯周外科療法の種類、適応症、禁忌症、術式ならびに治癒を説明できる。
5. 歯周組織再生療法の原理、適応症、術式を説明できる。
6. 咬合調整、固定の原則、時期、術式を説明できる。
7. 根分岐部病変の分類、処置法、歯周-歯内病変を説明できる。
8. 特殊な歯周疾患の診断と治療計画を説明できる。
9. 歯周疾患の予防法、SPT、メンテナンスを説明できる。
10. 歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基結編：「臨床歯周病学（第3版）」（医歯薬出版、2020）

【参考書】吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション、2018）

沼部幸博・梅田 誠・齋藤 淳・山本松男編：「ザ・ペリオドントロジー（第3版）」（永末書店 2019）

【教育（学習）方略 (LS)】

講義（プロジェクター、黒板）

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後、次回の講義にて全問解説する。

【評価方法 (Evaluation)】

1. 授業出席回数、聴講態度、理解度 20%
 2. Weekly Test 30%
 3. 記述試験 50%
- で評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。(15分)

復 習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。(45分)

【オフィスアワー】

月曜・火曜・水曜・金曜 18:00～19:00

本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

歯 周 病 学				
第 4 学年（前期）				
回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担 当 者
1	4月1日(木) 1時限	歯周基本治療 歯周基本治療の内容とそれらの関連性 再評価検査の意義と目的	歯周基本治療の意義や目的を説明できる。 再評価検査の意義と目的を説明できる。	吉成 伸夫
2	4月15日(木) 1時限	モチベーション モチベーションの重要性、影響する因子 ブラークコントロール ブラークコントロールの目的、意義 機械的、化学的ブラークコントロール 歯ブラシの種類 その他の口腔清掃用具 各種ブラッシング法 薬物療法 局所薬物配送システム（LDDS） Full mouth disinfection（FMD）	モチベーションの重要性について説明できる。 ブラークコントロールの目的を説明できる。 機械的、化学的ブラークコントロールについて説明できる。 縁上、縁下ブラークコントロールの意義について説明できる。 毛先、脇腹を用いるブラッシング方法について説明できる。 薬物療法の特徴を説明できる。 LDDS、FMDについて説明できる。 歯周病治療に用いる抗菌薬について説明できる。	出分菜々衣
3	4月22日(木) 1時限	スケーリング・ルートプレーニング スケーリング・ルートプレーニングの目的と意義 スケーラーの種類 手用スケーラー 超音波・音波スケーラー スケーリング・ルートプレーニングの方法 シャープニングの定義、方法	スケーリング・ルートプレーニングの目的・意義を説明できる。 スケーラーの種類、特徴について説明できる。 手用スケーラーの種類、特徴について説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの方法について説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの臨床効果について説明できる。	吉成 伸夫
4	5月6日(木) 1時限	歯周外科療法 1. 総論 各種歯周外科療法	歯周外科療法は、目的に応じて多くの術式が存在するが、これらの種類、意義を説明できる。	吉成 伸夫
5	5月7日(金) 1時限	歯周外科療法 2. 切除療法 3. 組織付着療法 各種切除、組織付着療法の術式、適応、創傷治療について	各種切除、組織付着療法の理論を説明できる。 各手術法の目的、適応、禁忌、術式相互の違いを説明できる。 歯周外科療法の実習と関連づけて説明できる。	吉成 伸夫
6	5月13日(木) 1時限	歯周外科療法 4. 歯周組織再生療法 歯周組織再生療法の原理、種類、適応、治療成績に対する解説	歯周組織再生療法の原理、目的、適応、術式について説明できる。	尾崎 友輝
7	5月20日(木) 1時限	歯周外科療法 5. 歯周形成外科手術 歯周形成外科手術の種類と目的、応用についての解説	歯肉、歯槽粘膜に問題のある場合の各種手術法について目的、適応、術式を理解し、説明できる。	尾崎 友輝
8	5月27日(木) 1時限	根分岐部病変の処置(1) 根分岐部病変の検査、診断の理解 グリックマン、リンデとニーマン（Glickman）、（Lindhe & Nyman）の分類による処置法の解説	根分岐部病変の検査、診断を説明できる。	吉成 伸夫
9	6月3日(木) 1時限	根分岐部病変の処置(2) 根分岐部病変の適応症、治療、術式の理解 歯周－歯内病変の処置 歯周－歯内病変の成因、治療法についての解説	根分岐部病変の適応症、治療、術式を説明できる。 歯根切除、ヘミセクション、歯根分割、トンネル形成、歯冠形態修正法を説明できる。 歯内、歯周病変と根分岐部病変との関連と両者からの治療法を説明できる。	尾崎 友輝

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
10	6月10日(木) 1時限	咬合性外傷の検査と処置 歯周組織と咬合 咬合性外傷の診断 咬合調整の適応、原則、時期 咬合調整の術式と方法 ブラキシズム、習癖 固定の原則と種類	咬合性外傷の症状、検査、咬合調整、固定の時期、各顎位での咬合調整、削合方法について説明できる。	中村 卓
11	6月17日(木) 1時限	口腔機能回復療法として、歯周疾患の咬合、補綴、矯正治療 1. 歯周補綴 2. 歯周矯正	歯周病治療は、歯周組織の炎症、病変の改善後に口腔機能回復療法として、咬合や咀嚼機能の回復も目的とする。したがって歯冠修復、欠損補綴、最終固定について、目的、適応、方法について説明できる。	吉成 伸夫
12	6月24日(木) 1時限	特殊な歯周疾患 1. ホルモン性歯肉疾患 2. 血液病 3. 薬物関連歯肉疾患 4. 栄養障害関連歯肉炎 5. ヘルペスウイルス、真菌由来歯肉疾患 6. 遺伝性歯肉病変 7. 全身疾患の徴候としての歯周炎	妊娠性、思春期性歯肉炎、フェニトイン歯肉増殖症、ニフェジピン歯肉増殖症、シクロスポリン歯肉増殖症、NUG、NUP、慢性剥離性歯肉炎、遺伝性歯肉線維腫症、白血病性歯肉炎、パピヨナルフェーブル症候群等の特別な歯周疾患について説明できる。	中村 卓
13	7月1日(木) 1時限	歯周病と全身疾患(1) 1. 歯周疾患と全身疾患との関連	歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。	吉成 伸夫
14	7月8日(木) 1時限	歯周病と全身疾患(2) 1. 歯周疾患と全身疾患との関連 2. 高齢者の歯周病治療	歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。 高齢者の歯周病治療を説明できる。	吉成 伸夫
15	7月15日(木) 1時限	歯周疾患の予防、メンテナンス、サポータティブペリオドンタルセラピー (SPT) 1. メンテナンス、SPTの意義 2. メンテナンス、SPTの方法	歯周病治療により改善された歯周組織、咬合を維持するために、メンテナンス、SPTが必要である。その意義、目的、方法、リコールについて説明できる。	出分業々衣

歯周病学実習 (C4160)

第4学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：吉成伸夫

助教：尾崎友輝、出分菜々衣、石岡康明、宮國 茜

助手：佐故竜介、田井康寛、水谷隆一、上原龍一、原 美音

非常勤講師：大野美知昭、海瀬聖仁、上條博之、河谷和彦、窪川惠太、小松 寿、川尻勝彦、阪中孝一郎、坂本 浩、
佐藤徳志、高橋淳哉、日垣孝一、天埜克彦、梅村昌孝、大口将弘、大野友三、河原 傳、川瀬仁史、
黒柳隆穂、小林 卓、真岡淳之、白水紀充、杉石 晋、杉 大介、西山佐枝子、牧英次郎、村瀬尚子、
吉成雅子、野本冬歌、武居道則

【一般目標（GIO）】

歯周病学の講義で修得した病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 各種歯周組織検査、歯周チャートより歯周組織の状態を把握、分析、整理、説明できる。
2. 検査結果から、診断、治療計画の立案、病状説明、ブラークコントロールの術式を修得、説明できる。
3. 各種歯周（基本、外科、暫間固定）治療法についてマネキンで体験し、各術式の基本的手技を実施、説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基喆編：「臨床歯周病学 第3版」（医歯薬出版、2020）

〔参考書〕野口俊英編：「知っておきたい知識・術式 歯周治療編」（第一歯科出版、2002）

【教育（学習）方略（LS）】

模型実習、相互実習（OSCE形式）

【フィードバック方法】

Weekly Test実施後、評価に対する疑問や質問等がある場合は、次回の実習時に担当インストラクターに質問、解説を受けること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 実習各ステップ達成度、実習態度、出欠席 30%
 2. Weekly Test 30%
 3. 実習試験 40%
- で評価する。

【注意事項】

実習要綱を必ず読み、事前に十分理解しておくこと。

進行状況によっては補講を行うことがある。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：実習帳および教科書の関連する章を読み、実習内容を十分に理解しておくこと。（40分）

復 習：実習内容の理解を図るため、必ず復習すること。理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。（20分）

【オフィスアワー】

月曜・火曜・水曜・金曜 18:00～19:00

本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

歯周病学実習					
第4学年（前期）					
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	5月7日(金) 3時限	実習全体説明(1) 天然歯植立 マニキュア塗布（人工歯） 歯周病学実習の進め方の説明 歯石沈着天然歯の植立と、模型人工歯へのマニキュア塗布	歯周病学実習の意義、および流れを説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの必要性を説明できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 高橋 淳哉	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
2	5月7日(金) 4時限	実習全体説明(2) 天然歯植立 マニキュア塗布（人工歯） 歯周病学実習の進め方の説明 歯石沈着天然歯の植立と、模型人工歯へのマニキュア塗布	歯周病学実習の意義、および流れを説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの必要性を説明できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 高橋 淳哉	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
3	5月7日(金) 5時限	歯周組織検査	歯周組織の正しい検査方法と、測定値に基づき、歯周疾患の病態を把握できる。 歯周組織検査時のミラー、およびプローブの正しい持ち方、各種測定法、姿勢を習得できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 窪川 恵太 小松 寿 川尻 勝彦 阪中 孝一郎	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
4	5月13日(木) 3時限	口腔内デンタルエックス線写真読影（軽度、中等度、重度）	口腔内デンタルエックス線写真より症例を読影、描写し、歯周病の病態を把握できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 窪川 恵太 小松 寿 川尻 勝彦 阪中 孝一郎	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
5	5月13日(木) 4時限	プラークコントロール	プラークコントロール歴の問診、プラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 坂本 浩 佐藤 徳志 高橋 淳哉 日垣 孝一	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
6	5月13日(木) 5時限	病状説明	菌周組織検査、O'Leary の Plaque Control Record (PCR)、口腔内写真をもとに病状を説明できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 坂本 浩 佐藤 徳志 高橋 淳哉 日垣 孝一	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
7	5月20日(木) 3時限	ブラッシング指導(1)	相互実習にて、ブラークコントロール歴の間診、ブラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 天埜 克彦 梅村 昌孝 大口 将弘 大野 友三	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
8	5月20日(木) 4時限	ブラッシング指導(2)	相互実習にて、ブラークコントロール歴の間診、ブラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 天埜 克彦 梅村 昌孝 大口 将弘 大野 友三	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
9	5月20日(木) 5時限	ブラッシング指導(3)	相互実習にて、ブラークコントロール歴の間診、ブラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 河原 傳 川瀬 仁史 黒柳 隆穂	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
10	5月27日(木) 3時限	スケーリング・ルートプレーニング(1) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、13~23に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 13~23のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 河原 傳 川瀬 仁史 黒柳 隆穂	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
11	5月27日(木) 4時限	スケーリング・ルートプレーニング(2) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、33~43に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 33~43のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小林 卓 真岡 淳之 白水 紀充 杉石 晋	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
12	5月27日(木) 5時限	スケーリング・ルートプレーニング(3) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、14~17に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 14~17のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小林 卓 真岡 淳之 白水 紀充 杉石 晋	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
13	6月3日(金) 3時限	スケーリング・ルートプレーニング(4) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、24~27に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 24~27のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 杉 大介 西山 佐枝子 牧 英次郎 村瀬 尚子 吉成 雅子 武居 道則	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
14	6月3日(金) 4時限	スケーリング・ルートプレーニング(5) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、34~37に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 34~37のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 杉 大介 西山 佐枝子 牧 英次郎 村瀬 尚子 吉成 雅子 武居 道則	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
15	6月3日(金) 5時限	スケーリング・ルートプレーニング(6) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、44~47に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 44~47のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 武居 道則	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
16	6月10日(木) 3時限	暫間固定(1) 暫間固定法(A-スプリント)を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定(A-スプリント)ができる。 暫間固定後の咬合調整ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
17	6月10日(木) 4時限	暫間固定(2) 暫間固定法(A-スプリント)を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定(A-スプリント)ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 窪川 恵太 小松 寿 川尻 勝彦 阪中 孝一郎	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
18	6月10日(木) 5時限	暫間固定(3) 暫間固定法(A-スプリント)を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定(A-スプリント)ができる。 暫間固定後の咬合調整ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 窪川 恵太 小松 寿 川尻 勝彦 阪中 孝一郎	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
19	6月17日(木) 3時限	歯周外科療法(1) 歯肉切除術 (31~43)	模型上の歯肉増殖部に対して、歯肉ポケット印記、正しいメスの持ち方、切開線を入れ、歯肉切除術ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 坂本 浩 佐藤 徳志 高橋 淳哉 日垣 孝一	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
20	6月17日(木) 4時限	歯周外科療法(2) 歯肉切除術 (31~43)	模型上の歯肉増殖部に対して、歯肉ポケット印記、正しいメスの持ち方、切開線を入れ、歯肉切除術ができる。 歯周バックができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 坂本 浩 佐藤 徳志 高橋 淳哉 日垣 孝一	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
21	6月17日(木) 5時限	歯周外科療法(3) 歯肉剥離搔爬術 (45~47)	模型上で歯肉剥離搔爬術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、翻転、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 天埜 克彦 梅村 昌孝 大口 将弘 大野 友三	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
22	6月24日(木) 3時限	歯周外科療法(4) 歯肉剥離搔爬術 (45~47)	模型上で歯肉剥離搔爬術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、翻転、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 天埜 克彦 梅村 昌孝 大口 将弘 大野 友三	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
23	6月24日(木) 4時限	歯周外科療法(5) 歯周組織再生療法 (24)	模型上で歯周組織再生療法の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯根の切除、歯肉弁の剥離、翻転、再生材料、薬剤の適応、縫合ができる。 再生療法に用いる薬剤の特性を理解できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 河原 傳 川瀬 仁史 黒柳 隆徳 野本 冬歌	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
24	6月24日(木) 5時限	歯周外科療法(6) 歯周組織再生療法 (24)	模型上で歯周組織再生療法の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯根の切除、歯肉弁の剥離、翻転、再生材料、薬剤の適応、縫合ができる。 再生療法に用いる薬剤の特性を理解できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 河原 傳 川瀬 仁史 黒柳 隆徳 野本 冬歌	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
25	7月1日(木) 3時限	歯周外科療法(7) トライセクション (16)	模型上で歯根切除術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、翻転、歯根切除、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小林 卓 真岡 淳之 白水 紀充 杉石 晋 吉成 雅子 野本 冬歌	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
26	7月1日(木) 4時限	スケーリング・ルートプレーニング (確認テスト1) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、スケーリング・ルートプレーニング術式の到達具合をチェックする。	スケーラーの種類と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者と患者の位置関係、および姿勢を確認、実施できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小林 卓 真岡 淳之 白水 紀充 杉石 晋 吉成 雅子 野本 冬歌	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
27	7月1日(木) 5時限	スケーリング・ルートプレーニング (確認テスト2) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、スケーリング・ルートプレーニング術式の到達具合をチェックする。	スケーラーの種類と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者と患者の位置関係、および姿勢を確認、実施できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 杉 大介 西山 佐枝子 牧 英次郎 村瀬 尚子 吉成 雅子	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
28	7月8日(木) 3時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 杉 大介 西山 佐枝子 牧 英次郎 村瀬 尚子 吉成 雅子	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
29	7月8日(木) 4時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
30	7月8日(木) 5時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

口腔インプラント学 (C4105)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：各務秀明、吉成伸夫、小林泰浩、樋口大輔
准教授：田所 治
講師：杉野紀幸、山口葉子、藤井政樹
助教：齋藤安奈
特任教授：植田章夫、矢島安朝

【一般目標（GIO）】

患者にインプラント治療を適切に説明し実践するために必要な基礎知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. インプラント治療の目的と意義を説明できる。
2. インプラント治療の利点と欠点を説明できる。
3. インプラントの種類と特徴を説明できる。
4. インプラントの基本構造と治療手順を説明できる。
5. インプラント治療の適応症と禁忌症を説明できる。
6. インプラント治療のリスクファクターと合併症を説明できる。
7. インプラント治療に必要な解剖について説明できる。
8. トップダウントリートメントの意義とその手順を説明できる。
9. エックス線 CT 撮影とシミュレーションについて説明できる。
10. インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。
11. インプラントの埋入手術方法を説明できる。
12. インプラント周囲の骨代謝を説明できる。
13. インプラントの補綴術式を説明できる。
14. インプラント上部構造の種類と特徴を説明できる。
15. インプラント上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。
16. インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
17. インプラント治療のメンテナンス方法とその重要性を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】赤川安正他編：「よく分かる口腔インプラント学 第3版」（医歯薬出版）
公益社団法人日本口腔インプラント学会編：「口腔インプラント 治療指針2020」
(http://www.shika-implant.org/publication/dl/2020_guide.pdf) 各自ダウンロードのこと（書籍版も使用可）

【教育（学習）方略（LS）】

授業は教科書の内容を中心にスライド、板書等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。
Weekly Test では1回の授業につき、3～4問の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test で正答率が低い問題があった場合には、解答とその理由を講義にて説明する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験、Weekly Test により評価する。（定期試験70%、Weekly Test 30%）

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。講義は出入り自由ではないので、講義中は特別な事情が無い限り出入りしないこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書のページを読み、予習すること。(15分)

復 習：講義スライドを中心に講義内容を復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

原則として木曜日 17：00～18：00

本館 5 階 口腔外科学講座教授室

連絡先：0263-51-2065

その他担当教官への個別の質問は、各教授室、教官室にて受ける。

【授業日程】

口腔インプラント学					第4学年（後期）
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	
1	8月19日(木) 2時限	口腔インプラント学総論 材料学	インプラントの種類（顎顔面補綴を含む）、特徴、基本構造、利点・欠点、目的および意義を理解する。	各務 秀明	
2	8月26日(木) 2時限	インプラント治療の適応症と禁忌症、 インプラント治療の流れ	インプラント治療が可能な症例、困難な症例について理解する。インプラント治療計画の立案と実際の治療の流れを理解する。	樋口 大輔	
3	9月2日(木) 2時限	インプラント治療に必要な解剖学	上下顎骨の形態や骨質の違い、注意すべき血管や神経など解剖学的構造を理解する。	田所 治	
4	9月9日(木) 2時限	インプラント治療の診断とリスクファクター	インプラント治療に必要な診察と検査、及び全身的・局所的リスクファクターについて理解する。	各務 秀明	
5	9月16日(木) 2時限	インプラント治療に必要な模型診査と 局所診査	トップダウンリートメントに必要な診査項目、診断用セットアップ、診断用ステントについて理解する。	藤井 政樹	
6	9月30日(木) 2時限	インプラント治療に必要な放射線学と シミュレーション	インプラント治療に必要な術前・術中・術後の画像検査とシミュレーションによるプランニング、インプラント体の選択について理解する。	杉野 紀幸	
7	10月7日(木) 2時限	インプラント埋入基本術式	埋入計画の立案、インプラント埋入に必要な器材と埋入基本術式、初期固定について理解する。	植田 章夫	
8	10月14日(木) 2時限	骨増生法および軟組織増大法	インプラント埋入の条件改善のための外科術式を理解する。	各務 秀明	
9	10月21日(木) 2時限	インプラント治療に伴う外科的偶発症 と合併症	インプラント埋入時の外科的偶発症、合併症とその対処法を理解する。	齋藤 安奈	
10	10月28日(木) 2時限	インプラント周囲の骨形成・骨代謝	インプラント埋入後に起こる周囲骨の変化について理解する。	小林 泰浩	
11	11月4日(木) 2時限	荷重開始時期、骨結合度検査および2 次手術	治療期間経過後の補綴開始時期の判定と2次手術について理解する。	各務 秀明	
12	11月11日(木) 2時限	インプラント上部構造の印象採得、咬 合採得、暫間補綴	補綴治療に必要な印象採得法と暫間補綴方法を理解する。	藤井 政樹	
13	11月18日(木) 2時限	インプラント上部構造の種類、製作方 法と装着	インプラント上部構造の種類（オーバーデンチャーを含む）、制作方法と装着方法を理解する。	山口 葉子	
14	11月25日(木) 2時限	メンテナンス、インプラント周囲 炎、CIST	インプラント周囲組織のメンテナンスの重要性和周囲炎への対応、患者情報の記録・伝達について理解する。	吉成 伸夫	
15	12月2日(木) 2時限	高齢者への対応、デジタルデンティス トリーと口腔インプラントの将来展望	インプラント治療の流れを復習するとともにこれからのインプラント治療を考える。	矢島 安朝	

障がい者歯科学 (C4180)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：靛島弘之

講師：望月慎恭、富士岳志

【一般目標（GIO）】

スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人へ歯科保健と歯科医療を提供するために基本的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. スペシャルニーズを説明する。
2. スペシャルニーズのある人のQOLとノーマライゼーションを説明する。
3. スペシャルニーズのある人およびその家族の心理を説明する。
4. スペシャルニーズのある人およびその家族との信頼関係の構築について説明する。
5. スペシャルニーズのある人のリハビリテーションを説明する。
6. 医療連携とチーム医療、関連職種を説明する。
7. スペシャルニーズのある人の社会環境を説明する。
8. スペシャルニーズのある人の口腔保健管理を説明する。
9. 障がい者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明する。
10. 障がい者の特性に配慮した歯科治療を説明する。
11. 障がい者の行動調整（行動管理）と歯科治療を説明する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. レジュメが配付されるが、補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。
2. 視覚素材（動画）などを使用し、障害や疾患をわかりやすく説明するので、理解力の向上を図る。
3. Weekly Testを受けた後に理解が不足している部分を確認し、補うように努める。

【フィードバック方法】

Weekly Testの結果を確認し、次回の講義で補足する。

【評価方法（Evaluation）】

筆記試験：筆記試験の評価は、定期試験を70%、Weekly Testの結果を30%として判定する。

【注意事項】

補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で確認しておくこと。（15分）

復習：配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

障がい者歯科学				
第4学年（前期）				
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月31日(水) 3時限	スペシャルニーズと障がい者歯科の背景	1. スペシャルニーズと障害を説明する。 2. 障害の概念を説明する。 3. QOLとノーマライゼーションを説明する。 4. 障がい者のおかれた社会環境を説明する。 5. 障がい者の社会福祉制度を説明する。 6. 障がい者の心理を説明する。	靛島 弘之
2	4月7日(水) 3時限	知的能力障がい者の歯科治療	知的能力障害、Down症候群の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	望月 慎恭
3	4月14日(水) 3時限	自閉スペクトラム症	自閉スペクトラム症を理解し、歯科治療上の配慮すべき点を説明する。	靛島 弘之
4	4月21日(水) 3時限	発達障害	発達障害を説明する。 発達障がい者における歯科治療上の配慮すべき点を説明する。	望月 慎恭
5	4月28日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(1)	脳性麻痺、重症心身障がい児者、超重症児の概要と歯科治療上の配慮すべき事柄を説明する。	靛島 弘之
6	5月12日(水) 3時限	精神障害と歯科治療	精神障がい者の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	靛島 弘之
7	5月19日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(2)	難病患者の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	靛島 弘之
8	5月26日(水) 3時限	症状から見た疾患(1)	1. 過成長の症候群を説明する。 2. 常染色体異常の症候群を説明する。 3. 性染色体異常の症候群を説明する。 4. 神経・皮膚症候群を説明する。 5. 色素沈着の症候群を説明する。	靛島 弘之
9	6月2日(水) 3時限	症状から見た疾患(2)	1. 反対咬合を呈する症候群を説明する。 2. 小下顎症の症候群を説明する。 3. 第1・2鰓弓症候群を説明する。 4. 骨形成不全症の症候群を説明する。 5. エナメル質形成不全の症候群を説明する。 6. 歯の脱落を起こす症候群を説明する。	望月 慎恭
10	6月9日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(3)	二分脊椎、筋ジストロフィー、脊髄損傷、関節リウマチの概要と歯科治療上の配慮すべき事柄を説明する。	富士 岳志
11	6月16日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(4)	感覚器障がい者の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	望月 慎恭
12	6月23日(水) 3時限	行動調整	基本的行動調整を説明する。 行動療法を説明する。	靛島 弘之
13	6月30日(水) 3時限	行動調整と危機管理	特殊な行動調整を説明する。 リクスマネージメントを説明する。 クライシスマネージメントを説明する。 誤嚥、誤飲を説明する。 誤嚥時の対応を説明する。 口腔内外傷の危険性について説明する。 歯科治療時の身体外傷の予防法を説明する。	望月 慎恭
14	7月7日(水) 3時限	障がい者への歯科治療	障がい者歯科における医療面接、歯周治療、歯冠修復、有床義歯、外傷、不正咬合への対応を説明する。	望月 慎恭

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	7月14日(水) 3時限	障がい者への健康支援	レディネスを説明する。 障害の特性に応じた保健指導を説明する。 介助磨きを説明する。 障がい者歯科における地域医療の役割を説明する。	龍島 弘之

高齢者歯科学 (C4180)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：靛島弘之

講師：望月慎恭、富士岳志

非常勤講師：小川浩樹、大野智久

【一般目標（GIO）】

全身疾患を有する高齢者へ歯科保健と歯科医療を提供するために、基本的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 高齢者の社会環境を説明できる。
2. 身体的、精神のおよび心理的加齢変化を説明できる。
3. 口腔・顎の構造と機能の加齢変化を説明できる。
4. 高齢者の歯科治療における一般状態評価と対応を説明できる。
5. 高齢者によくみられる疾患を説明できる。
6. 高齢者によくみられる疾患における歯科治療上の配慮する点を説明できる。
7. 終末期の心理を説明できる。
8. 訪問診療・緩和ケアを説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕佐藤裕二編：「よくわかる高齢者歯科学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

動画を用いて講義（Power Point）を行い、Weekly Test で習熟度を評価する。

【フィードバック方法】

Weekly Test の結果を確認し、次回の講義で補足する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test を30%、定期試験を70%で評価し、100点満点中65点以上を合格とする。

【注意事項】

補足や要点を講義中に説明するので、レジユメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で調べておくこと。（15分）

復習：補足や要点を講義中に説明するので、レジユメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

高 齢 者 歯 科 学				
				第 4 学 年 (後 期)
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担 当 者
1	8月17日(火) 2時限	高齢者歯科の背景と連携	人口構成の変化を説明できる。 受診患者の変化を説明できる。 歯科診療形態の変化を説明できる。	龍島 弘之
2	8月24日(火) 2時限	高齢者の医療・保健・福祉に関する法制度	医療・保健・福祉に関する法制度を説明できる。 連携する他職種を説明できる。	富士 岳志
3	8月31日(火) 2時限	高齢者の特徴	高齢者の特徴を説明できる。	龍島 弘之
4	9月7日(火) 2時限	高齢者の全身的な加齢変化 (心、精神機能、神経系、呼吸機能、 腎機能、心血管系、血液・体液、内分 泌・代謝系、筋・骨系の加齢変化)	老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。	望月 慎恭
5	9月14日(火) 2時限	高齢者の医学的評価と医療安全、法的責任	高齢者の特徴と歯科治療時の全身状態評価とリスクを説明できる。 危険予見義務と法的責任を説明できる。	龍島 弘之
6	9月21日(火) 2時限	高齢者の栄養評価と歯科疾患、口腔ケア	高齢者の栄養状態を評価できる。 栄養摂取の種類と特徴を説明できる。 低栄養と脱水の症状を説明できる。 高齢者の全身状態を踏まえた歯科疾患の特徴を説明できる。 要介護高齢者の口腔ケア法を説明できる。	大野 友久
7	9月28日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (1) 認知症	認知症の概要を説明できる。 認知症患者の歯科治療する際の配慮すべき事項を説明できる。	望月 慎恭
8	10月5日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (2) 呼吸器疾患	呼吸器疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明できる。 閉塞性無呼吸症候群を説明できる。	富士 岳志
9	10月12日(火) 2時限	高齢者歯科の現状と将来、そして地域医療	高齢者歯科の現状を説明できる。 高齢者歯科の将来を説明できる。 高齢者歯科における地域医療を説明できる。	小川 浩樹
10	10月19日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (3) 循環器疾患	循環器疾患患者の歯科治療上のリスクと対応を説明できる。	龍島 弘之
11	10月26日(火) 2時限	周術期の口腔機能管理	口腔ケアの効果が説明できる。 誤嚥性肺炎と創部感染を説明できる。 嚥下障害による窒息を説明できる。 周術期口腔機能管理を概説できる。 口腔機能向上について説明できる。	望月 慎恭
12	11月2日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (3) 脳・神経疾患	脳神経疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明できる。	龍島 弘之
13	11月9日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (5) 腎臓・泌尿器系、消化器系疾患他	腎臓・泌尿器系の概要と歯科診療上のリスクと留意点を説明できる。 結核患者の状態と歯科治療を説明できる。	龍島 弘之
14	11月16日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (4) 消化器系疾患 (肝、胃腸)、代謝・内分泌疾患	消化器系疾患 (肝、胃腸)、糖尿病、脂質異常症、骨粗鬆症の概要と歯科診療上のリスクと留意点を説明できる。	望月 慎恭

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	11月30日(火) 2時限	訪問診療・緩和ケア	訪問診療の目的を説明できる。 訪問診療の対象となる患者を説明できる。 訪問診療の安全性を説明できる。 緩和ケアの患者の口腔の特徴を説明できる。 緩和ケアの歯科の役割を説明できる。	龍島 弘之

摂食嚥下療法学 (C4187)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：靛島弘之
講師：望月慎恭、富士岳志
非常勤講師：小川浩樹、山本敏之、松尾寿美恵

【一般目標（GIO）】

摂食嚥下機能障害を有する障がい児・者ならびに高齢者に対する歯科保健と歯科医療を提供するために、基礎的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 正常な摂食機能とその発達を説明できる。
2. 摂食機能障害の原因を説明できる。
3. 摂食機能障害のスクリーニング検査が実施できる。
4. 摂食機能障害の精密検査を説明できる。
5. 摂食機能障害を呈する疾患とその特徴を説明できる。
6. 摂食機能障害の対応を説明できる。
7. 障がい児・者ならびに高齢者の栄養管理を説明できる。
8. 食事介助を説明できる。
9. 摂食機能障害のある患者への食環境指導が説明できる。
10. 摂食機能障害のある患者への食内容指導が説明できる。
11. 摂食機能障害のある患者への機能訓練が説明ができる。
12. 摂食機能療法におけるチームアプローチが説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕向井美恵他編：「歯科学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」

【教育（学習）方略（LS）】

1. 動画を用いて講義（power point）を行い、Weekly test で習熟度を評価する。
2. 機能療法の基本を相互実習する。
3. 動画を用いて診断の演習を行う。

【フィードバック方法】

Weekly test の結果を確認して、次回講義に補足する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly test30%、定期試験70%で評価し、65点以上を合格とする。

【注意事項】

レジュメに講義のポイントを書き込むなど理解を深めるようにすること。理解が不十分な点は講義担当者に質問するなど確認していくこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で確認すること（15分）

復習：講義内容ならびに教科書を利用して各自知識をまとめること（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

摂食嚥下療法学				
				第4学年（後期）
回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担 当 者
1	8月17日(火) 1時限	摂食機能療法の概略	摂食機能障害を説明できる。 摂食機能障害患者を取り巻く環境を説明できる。 摂食機能障害への歯科医療の貢献を説明できる。	靛島 弘之
2	8月24日(火) 1時限	摂食嚥下機能の解剖・生理	摂食嚥下機能に必要な解剖を説明できる。 摂食嚥下機能に必要な生理を説明できる。 命令嚥下と咀嚼嚥下を説明できる。	靛島 弘之
3	8月31日(火) 1時限	摂食嚥下障害を引き起こす疾患	摂食嚥下障害を呈することが多い疾患を挙げることができる。 摂食嚥下障害を呈する疾患とその特徴を説明できる。	山本 敏之
4	9月7日(火) 1時限	摂食嚥下機能の診察とスクリーニング検査	摂食嚥下障害を評価できる。	望月 慎恭
5	9月14日(火) 1時限	摂食嚥下機能の精密検査	嚥下内視鏡を説明できる。 嚥下造影検査を説明できる。 摂食機能障害の精密検査の適応を説明できる。	靛島 弘之
6	9月21日(火) 1時限	摂食機能の発達	正常な摂食嚥下の発達を説明できる。	靛島 弘之
7	9月28日(火) 1時限	摂食機能発達障害を呈する疾患	摂食嚥下障害を呈することが多い小児の疾患を挙げることができる。 摂食嚥下障害を呈する小児の疾患とその特徴を説明できる。	靛島 弘之
8	10月5日(火) 1時限	摂食機能発達障害への対応	摂食機能の発達を促すリハビリテーションを説明できる。	靛島 弘之
9	10月12日(火) 1時限	摂食機能障害への対応の基本	摂食機能療法の基本的対応を説明できる。 摂食嚥下療法の適応を説明できる。	靛島 弘之
10	10月19日(火) 1時限	摂食機能障害への食環境指導	摂食機能障害への食環境指導を説明できる。	望月 慎恭
11	10月26日(火) 1時限	摂食機能障害への食内容指導	摂食機能障害への食内容指導を説明できる。 摂食障害患者の栄養指導ができる。 摂食嚥下患者の食形態を選択できる。	富士 岳志
12	11月2日(火) 1時限	摂食嚥下障害への間接訓練	間接訓練の適応とその方法を説明できる。	靛島 弘之
13	11月9日(火) 1時限	摂食嚥下障害への直接訓練	直接訓練の適応とその方法を説明できる。	靛島 弘之
14	11月16日(火) 1時限	摂食機能療法の対応の基本（相互実習）	基本的な姿勢調節を実施できる。 基本的食形態の調節ができる。 基本的食事介助ができる。	靛島 弘之 小川 浩樹 松尾寿美恵
15	11月30日(火) 1時限	VE/VF画像を用いた診断演習	臨床画像から障害を診断できる。 診断に基づく機能療法を選択できる。	靛島 弘之 小川 浩樹 松尾寿美恵

臨床予備演習 (C4192)

第4学年（後期）
演習 必修

【担当者】

教授：芳澤享子、澁谷 徹、大須賀直人
准教授：森 啓、中山洋子、李 憲起、谷山貴一
講師：森山敬太
助 教：大木絵美、高谷達夫、喜多村洋幸、岩崎由紀子、小町谷美帆、小松佐保、中村圭吾、佐藤 工、齋藤安奈
長内 秀、山田真一郎、森こず恵
助 手：伊能利之、加藤華子、堀内竜太郎、上田敬介、友松 薫
特任教授：植田章夫
非常勤講師：脇本仁奈

【一般目標（GIO）】

講義で学んだ学理と知識を臨床応用できるようにするために、基本的な知識、技能、態度を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 臨床実習生として好ましい態度と習慣を身につける。
2. 患者との信頼関係を確立する。
3. 検査に必要な知識を習得する。
4. 歯科疾患に対する予防法を説明する。
5. 歯科疾患に対する治療法の基本的技術を習得する。
6. 口腔に関連した全身管理に対応できる知識を習得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕＜初診室（総合診断科・総合診療科）＞
伊藤孝訓：「改訂版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）
＜口腔顎顔面外科学講座＞
白砂 兼光・古郷 幹彦（編）：「第4版 口腔外科学」（医歯薬出版）
＜歯科麻酔学講座＞
丹羽均・入船正浩・小長谷光・澁谷徹・編：「第6版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）
＜歯科放射線学講座＞
田口明編：「新・基礎から始める歯科放射線学」（IDP 出版）

【教育（学習）方略（SL）】

10人程度を1グループとして、DVD、教材等を用いた説明あるいはデモンストレーションを行ったうえで、各自で実技演習、模型実習あるいは相互実習を行う。

1グループに一人のインストラクターがついて指導にあたりフィードバックを行う。

医療面接についてはロールプレイを行ったうえでシミュレーションを行う。

診療チェアにおけるシミュレーションを行う。

【フィードバック方法】

ロールプレイでは指導医あるいは評価者からフィードバックを行う。

シミュレーションについてはSP役の先生あるいは指導医よりフィードバックを行う。

実習の終了時、グループごとにフィードバックを行う。

【評価方法（Evaluation）】

初診室（総合診断科・総合診療科）、小児歯科学講座、歯科保存学講座（修復）、口腔顎顔面外科学講座、歯科麻酔学講座および歯科放射線学講座それぞれから、知識、技能、態度について評価する。

評価された点数を100点満点に換算して65点以上を合格とする。

【注意事項】

評価方法にあるように、6講座それぞれで評価するため、1回のみのところを欠席すると評価できないので、欠席しないこと。

＜初診室（総合診断科・総合診療科）＞

頭髪を整えた上での清潔な着衣・靴にすること。

＜小児歯科学講座＞

教科書、実習書で必ず予習を行うこと。

＜歯科保存学講座（修復）＞

臨床実習に準じた清潔な着衣・靴で実習に臨むこと。

第4学年前期に用いた保存修復学実習マニュアルを持参すること。

＜口腔顎顔面外科学講座＞

将来、医療従事者になる自覚をもって授業に臨むこと。

グローブ、オベスキンを各自で準備すること。

個人での準備品を忘れずに持参すること。

ラテックス、アルコールアレルギーがある場合は、必ず事前に申し出ること。

＜歯科麻酔学講座＞

マネキンをを用いた救急蘇生の実習を行うため、動きやすい服装を着用すること。

女性はパンツが望ましい。

ラテックスアレルギーがある場合は、必ず事前に申し出ること。

＜歯科放射線学講座＞

教科書で必ず予習を行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

復習：医療面接法についてのノート整理をしっかりと行うこと。

当日の実習内容を教科書・ノート等を参考に復習すること。

【オフィスアワー】

＜歯科保存学講座＞

18：00～19：00 本館3階東棟 歯科保存学講座修復系研究室

＜初診室（総合診断科・総合診療科）＞

18：00以降本館2階北棟 病院共同教員室

＜口腔顎顔面外科学講座＞

月曜、火曜、水曜、金曜 18：00～19：00 本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座医局

＜歯科麻酔学講座＞

月、火、水、金曜日 17：00～18：00 本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局・教授室

＜歯科放射線学講座＞

18：00～19：00 本館5階西棟 歯科放射線学講座医局

【授業日程】

臨床予備演習					
第4学年（後期）					
回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	8月18日(水) 3時限	概要説明 〈初診室（総合診断科・総合診療科）〉 初診時医療面接 口腔内状態の記録 〈口腔顎顔面外科学講座〉 頭頸部の診察、手洗い、拔牙、縫合 〈歯科麻酔学講座〉 バイタルサイン、浸潤麻酔、心肺蘇生 〈歯科放射線学講座〉 エックス線写真の読影、エックス線写真撮影 〈小児歯科学講座〉 診療チェアの使用法、フッ素塗布、部分充填、保護者へのブラッシング指導	〈初診室（総合診断科）〉 初診時医療面接に必要な知識、技能、態度を身につける。 基本的診察および検査能力に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈口腔顎顔面外科学講座〉 基本的技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 説明および指導に関して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科麻酔学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科放射線学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。	大須賀直人 芳澤 享子 森 啓 谷山 貴一 森山 敬太 大木 絵美 高谷 達夫 喜多村洋幸 岩崎由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 齋藤 安奈 長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵 脇本 仁奈	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎 上田 敬介
2	8月18日(水) 4時限	概要説明 〈初診室（総合診断科・総合診療科）〉 初診時医療面接 口腔内状態の記録 〈口腔顎顔面外科学講座〉 頭頸部の診察、手洗い、拔牙、縫合 〈歯科麻酔学講座〉 バイタルサイン、浸潤麻酔、心肺蘇生 〈歯科放射線学講座〉 エックス線写真の読影、エックス線写真撮影 〈小児歯科学講座〉 診療チェアの使用法、フッ素塗布、部分充填、保護者へのブラッシング指導	〈初診室（総合診断科）〉 初診時医療面接に必要な知識、技能、態度を身につける。 基本的診察および検査能力に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈口腔顎顔面外科学講座〉 基本的技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 説明および指導に関して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科麻酔学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科放射線学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。	大須賀直人 芳澤 享子 森 啓 谷山 貴一 森山 敬太 大木 絵美 高谷 達夫 喜多村洋幸 岩崎由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 齋藤 安奈 長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵 脇本 仁奈	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎 上田 敬介
A	8月25日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 植田 章夫	
B	8月25日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 8月25日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	D 8月25日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
4	A 8月25日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	B 8月25日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	C 8月25日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	D 8月25日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
5	A 9月1日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	B 9月1日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 9月1日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	D 9月1日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
6	A 9月1日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	B 9月1日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	C 9月1日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	D 9月1日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
7	A 9月8日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	B 9月8日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 9月8日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	D 9月8日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
8	A 9月8日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	B 9月8日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	C 9月8日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	D 9月8日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
9	A 9月15日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。 	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	B 9月15日(水) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。 	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	C 9月15日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	D 9月15日(水) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。 	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
10	A 9月15日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。 	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	B 9月15日(水) 4時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。 	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	C 9月15日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	D 9月15日(水) 4時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。 	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
11	A 9月22日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	B 9月22日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	C 9月22日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	D 9月22日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
12	A 9月22日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	B 9月22日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	C 9月22日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	D 9月22日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	A 9月29日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	B 9月29日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	C 9月29日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	D 9月29日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
14	A 9月29日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	B 9月29日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	C 9月29日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	D 9月29日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
15	A 10月6日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	B 10月6日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	C 10月6日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	D 10月6日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
16	A 10月6日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	B 10月6日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	C 10月6日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	D 10月6日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
17	A 10月13日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。 	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	B 10月13日(水) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。 	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	C 10月13日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	D 10月13日(水) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。 	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
18	A 10月13日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。 	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	B 10月13日(水) 4時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。 	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	C 10月13日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	D 10月13日(水) 4時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。 	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	A 10月20日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	B 10月20日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	C 10月20日(水) 3時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 訓子
	D 10月20日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防充填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
20	A 10月20日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
21	B 10月20日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	C 10月20日(水) 4時限	口腔内状態の記録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。 	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 調子
	D 10月20日(水) 4時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防充填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。 	大須賀直人 森山 敬太	
21	A 10月27日(水) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防充填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。 	大須賀直人 森山 敬太	
	B 10月27日(水) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。 	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 10月27日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	D 10月27日(水) 3時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 訓子
22	A 10月27日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防充填材を充填できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
	B 10月27日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	C 10月27日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	D 10月27日(水) 4時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 訓子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
23	A 11月10日(水) 3時限	口腔内状態の記録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。 	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 訓子
	B 11月10日(水) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を充填できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。 	大須賀直人 森山 敬太	
	C 11月10日(水) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。 	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	D 11月10日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
24	A 11月10日(水) 4時限	口腔内状態の記録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。 	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 訓子

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
25	B 11月10日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防充填材を充填できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
	C 11月10日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	D 11月10日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	A 11月17日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
B 11月17日(水) 3時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 訓子	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 11月17日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防充填塞材を充填できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
	D 11月17日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
26	A 11月17日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
	B 11月17日(水) 4時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 訓子
	C 11月17日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防充填塞材を充填できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
27	D 11月17日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	AB 11月24日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	CD 11月24日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。 OSCEのしくみを知る。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 6. 病気を持った患者に共感的態度がとれる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
28	AB 11月24日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	
	CD 11月24日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。 OSCEのしくみを知る。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 6. 病気を持った患者に共感的態度がとれる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
29	12月1日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。 OSCEのしくみを知る。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 6. 病気を持った患者に共感的態度がとれる。 	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 加藤 華子 堀内竜太郎
30	12月1日(水) 4時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。 	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 佐藤 工 齋藤 安奈 植田 章夫	

総合講義 (C4200)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

基礎講座
臨床講座

【一般目標（GIO）】

臨床実習を行うために必要な社会と歯学、生命科学、材料学および臨床歯学などの基本的知識を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 社会と歯学に関する事項を説明できる。
2. 生命科学に関する事項を説明できる。
3. 歯科生体材料と歯科材料に関する事項を説明できる。
4. 臨床歯学に関する事項を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】「CBTの辞典」（CBTの辞典の会発行）

各科目の教科書については各科目シラバスを参照すること。

【教育（学習）方略（LS）】

1. CBTコアカリキュラムの内容に従い、各科目の内容を復習する。
2. 各科目間で関連する内容の有機的な結び付けを行うことを学生に促す。

【フィードバック方法】

定期試験実施後、質問等がある場合は問合わせる。その後、学生イントラで解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（30%）、定期試験（70%）

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照のこと。

口腔解剖学

担当者	教 授：金銅英二
授業概要	身体の部位と方向の用語を説明する。身体を構成する器官系について器官系を構成する器官群および器官系の働きを説明し、さらに構成する個々の器官の位置、形、働きおよび器官相互の関係について説明する。器官系は運動器系、循環器系、感覚器系、神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系を説明する。
教科書	伊藤 隆他：「解剖学講義」（南山堂） 相磯貞和訳：「ネッター解剖学図譜」（南江堂） 山田英智監訳：「図解 解剖学事典」（医学書院）
参考書	石井治雄他：「これならわかる要点解剖学」（南山堂） 矢島俊彦他監訳：「リープゴッド歯科学のための解剖学」（西村書店） 山下靖雄監修：「口腔解剖学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test にて理解度をフィードバックする。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	90分 講義内容を確認し教科書・解剖学図譜の該当部位を熟読して受講すること。(60分) 講義内容を整理・確認する。(30分)
オフィスアワー	水曜日 16:30~17:30 本館地階 解剖実習室 場所は変更になる場合があるので、掲示をよく見ておくこと。

口腔組織学

担当者	教 授：中村浩彰
授業概要	組織学の復習を行う。 1. 組織学総論・各論 口腔組織学、口腔組織発生学の復習を行う。 2. エナメル質・象牙質・歯髄・セメント質・歯周組織・口腔粘膜 3. 歯の発生・顔面の発生・顎関節・唾液腺
教科書	2年次「組織学」「口腔組織学」の教科書を用いる。 牛木辰夫：「入門組織学」（南江堂） 脇田稔ほか編：「口腔組織・発生学（第2版）」（医歯薬出版）
参考書	岩永敏彦：「カラーアトラス組織・細胞学」（医歯薬出版） 川崎堅三他：「カラーアトラス口腔組織発生学」（わかば出版）
フィードバック方法	定期試験実施後、質問等がある場合は問合せること。その後学生イントラで解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(15分) 復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(45分)
オフィスアワー	金曜日 16:30~18:00 本館4階西棟 口腔解剖学講座教授室

口腔生理学

担当者	教授：北川純一
授業概要	人体を構成する器官の機能について復習を行う。特に、循環器系・神経系・感覚器系・分泌器系の重要なポイントを説明する。
教科書	和泉博之・浅沼直和編：「ビジュアル生理学・口腔生理学第3版」(学建書院)
参考書	森本俊文・山田好秋編：「基礎歯科生理学第6版」(医歯薬出版) 上羽隆夫編：「スタンダード口腔生理学」(学建書院)
フィードバック方法	定期試験後、正解率の低い問題を中心に補講またはイントラで解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 復習：講義ノートを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(60分)
オフィスアワー	月曜日 16:30~18:00 実習館3階口腔生理学講座教授室 左記以外でも適宜質問に応じます。

口腔生化学

担当者	教授：宇田川信之
授業概要	生体を構成する高分子化合物(タンパク質、核酸、糖質、脂質)の構造、代謝、生合成および機能についての基本的知識を理解する。また、口腔およびその関連組織に関する生化学的知識について理解する。生命の分子の基盤に関して、生命を構成する物質、遺伝子と遺伝、細胞の構造と機能、細胞間のコミュニケーションについて理解する。
教科書	金森孝雄：「口腔生化学サイドリーダー第6版」(学建書院)
参考書	宇田川信之他：「口腔生化学第6版」(医歯薬出版)
フィードバック方法	試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること(10分) 復習：当該講義のWeekly Testの復習ノートを必ず作成すること(80分)
オフィスアワー	要予約 (TEL 070-5014-3303または nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp) 実習館2階 総合歯科医学研究所

口腔微生物学

担当者	教 授：吉田明弘
授業概要	免疫学の復習を行う。
教科書	川端忠重他編：「口腔微生物学・免疫学（第4版）」（医歯薬出版） 全国歯科衛生士教育協議会監修「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」（医歯薬出版）
参考書	熊ノ郷淳他編：「免疫学コア講義」（南山堂） 山本一彦他編：「カラー図解 人体の正常構造と機能Ⅶ 血液・免疫・内分泌」（日本医事新報社） 石原和幸他編：「口腔微生物学（第6版）」（学建書院）
フィードバック方法	定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書等で予習を行うこと（受講前の予習を前提に講義を進める）。（45分） 復 習：講義ノート、配布資料を用いて復習し、教科書等で各自知識をまとめること。（45分）
オフィスアワー	木曜日 16：30～17：30 本館5階 口腔微生物学講座研究室 要予約（akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）

口腔病理学

担当者	准教授：村上聡
授業概要	1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症および腫瘍の総論を復習する。 2. 病理組織診断の基礎的知識を復習する。 3. 口腔領域の代表的な炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患の病理学的特徴を復習する。
教科書	下野正基・高田隆編：「第2版新口腔病理学」（医歯薬出版） 長谷川博雅・井上孝編：「第2版病理総論にもとづく口腔病理学」（永末書店） 高木實編：「口腔病変アトラス 第2版」（文光堂）
参考書	森亘・桶田理喜監訳：「ロビンス基礎病理学 第8版」（丸善）
フィードバック方法	Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。
注意事項	1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。 ①無断退出など 2. 講義に持参するもの ① 3年次の授業ノート ②講義レジュメ
準備学習時間 (予習・復習)	120分 予 習：シラバスを基に3年次の講義ノートを復習する。（60分） 復 習：講義でふれた病態の定義、疾患名、病因、病理組織像などをよく考えて理解する。（60分）
オフィスアワー	随時 本館東棟5階口腔病理学講座医局 予約の場合 1) 口腔病理学講座医局に来室のうえ日時を予約する。 2) メール予約の場合は必ず返信メールを確認して来室する。 村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

歯科薬理学

担当者	教授：十川紀夫
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 種々の方法で適用された薬物の生体内運命（薬物動態）を理解する。 2. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序）を理解する。 3. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。 4. 薬物の副作用・有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。
教科書	大谷啓一監修、鈴木邦明・戸苅彰史・青木和弘・兼松隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	渡邊裕司監訳：「ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学 原書3版」（丸善出版） 大浦清・兼松隆・戸刈彰史・二藤彰編集：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学（第2版）」（永末書店）
フィードバック方法	定期試験や演習課題実施後、正解率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。
注意事項	臨床科目と関連付けるように自ら努力すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。(15分) 1) 各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。 復習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書を利用して各自知識をまとめること。(45分) 1) 授業の理解を図るため、必ず復習すること。 2) ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。
オフィスアワー	随時 実習館3階 歯科薬理学講座教授室

歯科理工学

担当者	教授：黒岩昭弘 特任教授：永澤 栄
授業概要	材料の取り扱い方法、特性、化学反応についての詳細を理解するために行う。 各項目の基礎知識の再確認と専門用語の意味の理解度を再確認する。
教科書	中嶋裕・他：「スタンダード歯科理工学第7版」（学建書院）
参考書	「CBTの達人」（達人の会） 2年次のノート
フィードバック方法	各試験の結果から理解度の低い項目については講義中にフィードバックする。 また問題によっては学生イントラに掲示する。
注意事項	教科書を必ず持参すること。
準備学習時間 (予習・復習)	予習：シラバスを確認して事前に教科書、参考書、2年時ノートなどにより予習すること。20分 復習：配布されたプリント、ノートを用いて理解が足りない箇所が無いかが再確認すること。40分
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 不在の時もあるので、口頭あるいはメールにて予約するのが望ましい。 実習館1階 歯科理工学医局

公衆衛生学

担当者	教授：山賀孝之 助教：定岡直 特任教授：牧茂
授業概要	1. 2・3年次で学んだ衛生学・口腔衛生学を保健医療に結び付け、疾患予防の指導管理を実践できる段階まで進める。 2. 歯科医療関係者に必要な口腔保健に関する知識を共有する。
教科書	安井利一、宮崎秀夫他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版、2019年） 末高武彦編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院）
参考書	安井利一編：「口腔保健マニュアル」（南山堂） 石井拓男他編：「スタンダード社会歯科学第7版」（学建書院）
注意事項	
フィードバック方法	試験の正答、評価への疑問や質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。(45分) 復習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。(45分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 本館1階東棟 公衆衛生学講座医局

保存修復学

担当者	教授：亀山敦史
授業概要	第3学年の保存修復学講義および第4学年前期の保存修復学実習で修得した知識をより確実なものにし、かつ他の歯科領域（歯科理工学、口腔組織学、口腔病理学、クラウン・ブリッジ補綴学、歯内治療学など）で修得した知識との関連性を深く理解できるように、臨床術式と基礎理論について学習する。
教科書	田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「保存修復学 21（第5版）」（永末書店） 千田彰・宮崎真至・林美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版）
参考書	千田彰・寺下正道・田上順次・奈良陽一郎・宮崎真至・片山直編集：「保存修復クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 ・教科書、第3学年の講義で配付した資料、自分が作成した講義ノートおよび保存修復学実習マニュアルを必ず持参すること。 ・講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。 ・理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。 ・講義の撮影、録画は原則として認めない。
準備学習時間 (予習・復習)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前に講義内容を確認して教科書あるいは3年次の講義資料で復習をして講義を受ける。 2. 講義後は、自分のとったメモと本シラバスをもとに復習する。 3. 自分のメモは第5学年の臨床実習や CBT、第6学年の国家試験対策総合講義で役立つはずである。
オフィスアワー	基本的に講義を行った日 17:30～18:30 本館3階東棟 歯科保存学講座 教授室

全部床義歯補綴学

担当者	教授：樋口大輔 講師：吉田裕哉
授業概要	有歯顎者の生理的な機能と無歯顎者の生理的な機能を学びながら全部床義歯による欠損補綴の意義を教授する。 全部床義歯を用いた欠損補綴について臨床手技、技工操作の概要を理解する。
教科書	山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無歯顎補綴学」(学建書院) 黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー (第5版)」(学建書院) 細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニック (第6版)」(医歯薬出版)
参考書	細井紀雄他編「無歯顎補綴治療学 (第3版)」(医歯薬出版) 山下秀一郎編：有床義歯補綴学 (永末書店) 藍 稔：補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識 (学研書院)
フィードバック方法	講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	欠席は特別な理由がない限り認めない。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復 習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日18:30まで 本館4階東棟 歯科補綴学講座医局 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

歯科矯正学

担当者	教授：岡藤範正 准教授：川原良美
授業概要	乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療の特徴を理解し、適切な治療方針、治療装置を選択する。 成長発育、咬合、不正咬合の種類、原因、生体反応を理解する。
教科書	飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・横宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学 第6版」(医歯薬出版) 3、4年次歯科矯正学(講義)配付のプリント 歯科矯正学実習 実習書
参考書	清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」(医歯薬出版)
フィードバック方法	Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に掲示するので確認すること
注意事項	3、4年次までに学んだ歯科矯正学の内容を総復習するため、演習と解説を行う。 出席を重視する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 復 習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(60分)
オフィスアワー	授業日(18:00~20:00) 本館2階東棟 歯科矯正学講座教授室オフィスアワー以外の時間帯でも在室時は随時可能 連絡先 E-mail: norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

医療面接学

担当者	准教授：森 啓
授業概要	1. 医療倫理と生命倫理を知り、患者中心の視点（患者の権利、自己決定権、インフォームドコンセント）を説明できる。 2. 医療面接の目的と理論モデルを理解し、コミュニケーションの目的と技法を説明できる。 3. 一般歯科診療の基本を説明できる。
教科書	伊藤孝訓：「第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）
参考書	斎藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）
フィードバック方法	試験（Weekly Test 等）の低正答率問題について解説の資料を配布する。
注意事項	講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 教科書を必ず持参すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：3年次のノートを参考にすること
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17：30以降～ 本館2階北棟病院共同教員室

歯周病学

担当者	助 教：中村 卓
授業概要	歯周疾患の病因、基本治療、歯周外科治療について、理解し説明できる。
教科書	吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基結編：「臨床歯周病学（第3版）」（医歯薬出版 2020）
参考書	吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション 2018） 沼部幸博・梅田 誠・齋藤 淳・山本松男編：「ザ・ペリオドントロジー（第3版）」（永末書店 2019）
フィードバック方法	講義に対する疑問や質問等がある場合は講義後オフィスアワーに担当教員に質問に来ること。
注意事項	
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。（15分） 復 習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（45分）
オフィスアワー	月曜・火曜・水曜・金曜 18：00～19：00 本館5階西棟 歯科保存学講座医局

歯内治療学

担当者	教授：増田宜子 助教：三好弥恵
授業概要	第3学年時第4学年時での歯内治療学講義で修得した知識をより確実なものにし、根管処置の意義を理解する。 第4学年時の歯内治療学実習で修得した知識をより確実なものにし、適切な治療方針、臨床手技を理解する。
教科書	勝海一郎他編：「歯内治療学 第5版」(医歯薬出版)
参考書	興地隆史他編：「第5版エンドドンティックス」(永末書店) 須田英明他編：「エンドドンティックス21 改訂版」(永末書店) S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」(Mosby) 河野 哲著：「新歯内療法学サイドリーダー第2版」(学建書院)
フィードバック方法	Weekly Test にて正解率が低い問題に関して解答例を学生イントラに掲載するので確認すること。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	60分 復習：配布されたプリントを復習、教科書でわからないことを確認すること。(60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 18:00～19:00 本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

小児歯科学

担当者	教授：大須賀直人 准教授：正村正仁
授業概要	小児歯科臨床 小児期から成人に至る口腔機能を理解する。 健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長・発育を理解する。 口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法を理解する。 口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した健康管理を理解する。
教科書	[教科書] 大須賀直人他：「小児の口腔科学 (第5版)」(学建書院) 大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習 (第2版)」(医歯薬出版)
参考書	[参考書] 大須賀直人他：「歯科医のための小児科学入門」(MDU 出版会) 大須賀直人他：「小児歯科学 (第4版)」(医歯薬出版) 大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療 (第2版)」(クイッテセンス出版) 大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」(医歯薬出版)
フィードバック方法	配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。
注意事項	教科書は必ず持参すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分) 復習：配付された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)
オフィスアワー	月曜日 17:00～18:00 本館2階東棟 小児歯科学講座医局 E-mail: info_ped@mdu.ac.jp で予約をすれば、他の時間でも可能

【授業日程】

総 合 講 義				
第 4 学 年 (後 期)				
回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担 当 者
1	3月26日(金) 1時限	オリエンテーション		中村 浩彰
2	8月18日(水) 2時限	口腔組織学① 1. エナメル質 2. 象牙質 3. 歯髄 4. 歯周組織 5. 口腔粘膜	1. エナメル質、象牙質、歯髄および歯周組織の組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。	中村 浩彰
3	8月20日(金) 2時限	口腔生化学① 歯と歯周組織の生化学 生命を構成する基本物質	骨、象牙質、エナメル質の特有なタンパク質について説明できる。 線維性コラーゲンの特徴を説明できる。 プロテオグリカンの構造と役割を説明できる。 接着性タンパク質について説明できる。 生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 酵素の働きと主な代謝異常を説明できる。	宇田川信之
4	8月23日(月) 3時限	口腔解剖学① 身体の部位および方向用語について 運動器系(骨格系と筋系)について 歯種別の形態と特徴について	1. 身体の方角用語を正確に用いることができる 2. 身体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 3. 骨の結合様式を説明できる。 4. 歯種別の形態と特徴を説明できる。	金銅 英二
5	8月23日(月) 4時限	口腔生理学① 1. 血液の成分と作用 2. 心臓の働き 3. 血液循環	1. 血液成分とその作用を列挙できる。 2. 浮腫を起こす原因を説明できる。 3. 心筋の特徴や刺激伝導系を説明できる。 4. 循環系の特徴を説明できる。	北川 純一
6	8月25日(水) 2時限	口腔微生物学① 自然免疫	1. 上皮のバリア機構について説明できる。 2. 貪食細胞の機能について説明できる。 3. 補体について説明できる。 4. NK細胞について説明できる。 5. パターン認識について説明できる。	吉田 明弘
7	8月27日(金) 2時限	歯科理工学① 歯科材料に使用される素材とその性質	歯科材料に使用される素材とその性質および所要性質について説明できる。	黒岩 昭弘 永澤 栄
8	8月30日(月) 3時限	歯科薬理学① 薬物の作用機序、薬理作用	1. 薬理作用の基本形式および分類を理解する。 2. 薬物の作用機序および薬理作用を理解する。	十川 紀夫
9	8月30日(月) 4時限	口腔病理学① 細胞損傷と修復 1. 細胞損傷の機構と細胞内小器官の形態変化 2. 細胞増殖と分化の調節機構 3. 肉芽組織 4. 創傷の治癒	1. 細胞傷害と組織傷害について説明できる。 2. 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 3. 壊死とアポトーシスについて説明できる。 4. 萎縮と仮性肥大を説明できる。 5. 修復と再生について説明できる。 6. 化生を説明できる。 7. 肉芽組織の構成成分と意義を説明できる。 8. 創傷治癒に関する細胞とその過程を説明できる。 9. 異物の種類と処理反応を説明できる。 10. 器質化を説明できる。	村上 聡
10	9月1日(水) 2時限	口腔組織学② 1. 歯の発生 2. 顔面の発生 3. 顎関節 4. 唾液腺	1. 歯の発生について説明できる。 2. エナメル質形成について説明できる。 3. 象牙質形成について説明できる。 4. 鰓弓について説明できる。 5. 口蓋の発生について説明できる。 6. 顎関節の構造について説明できる。 7. 唾液腺の組織構造について説明できる。	中村 浩彰

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	9月3日(金) 2時限	口腔生化学② 軟骨・骨の形成と吸収機構 細胞のコミュニケーション	軟骨芽細胞による軟骨形成と骨芽細胞による骨形成機構および破骨細胞による骨吸収機構を説明できる。 膜内骨化と軟骨内骨化の違いが説明できる。 細胞の接着装置、接着分子、受容体および細胞内シグナル伝達機構を説明できる。	宇田川信之
12	9月6日(月) 3時限	口腔解剖学②	1. 骨格系を説明できる。 2. 筋系を説明できる。 3. 消化器系を説明できる。	金銅 英二
13	9月6日(月) 4時限	公衆衛生学① 1. 健康の概念、口腔と全身の健康 2. 疾病の概念、種類及び予防 3. 予防の概念 (Leavell&Clark のモデル) 4. プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケア 5. プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション	1. 健康の概念、口腔と全身の健康について説明できる。 2. 疾病の概念、種類及び予防について説明できる。 3. 予防の概念 (Leavell&Clark のモデル) について説明できる。 4. プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアについて説明できる。 5. プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションについて説明できる。	山賀 孝之
14	9月8日(水) 2時限	口腔微生物学② 主要組織適合遺伝子複合体と抗原提示	1. 主要組織適合遺伝子複合体について説明できる。 2. 主要組織適合遺伝子複合体による T 細胞への抗原提示について説明できる。 3. クロスプレゼンテーションについて説明できる。	吉田 明弘
15	9月10日(金) 2時限	歯科理工学② 印象採得に用いる印象材と器具の種類と特性 模型材料の種類と特性	印象材と模型材の種類とそれぞれの特性について説明できる。	永澤 栄
16	9月13日(月) 3時限	歯科薬理学② 薬物の作用機序、薬理作用	1. 薬理作用の基本形式および分類を理解する。 2. 薬物の作用機序および薬理作用を理解する。	十川 紀夫
17	9月13日(月) 4時限	口腔生理学② 1. 中枢神経 2. 末梢神経 3. 自律神経	1. 脳の機能局在を説明できる。 2. 脳幹の機能を説明できる。 3. 脳神経の機能を説明できる。 4. 自律神経の作用を説明できる。	北川 純一
18	9月15日(水) 2時限	公衆衛生学② 1. 主な口腔疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防 2. 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法 3. ライフステージにおける予防	1. 主な口腔疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防について説明できる。 2. 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法について説明できる。 3. ライフステージにおける予防について説明できる。	定岡 直
19	9月17日(金) 2時限	口腔病理学② 循環障害総論 1. 局所の血液分布異常 2. 全身の循環障害 3. 閉塞性循環障害	1. 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 2. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 3. 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 4. 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる。 5. 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。 6. 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 7. ショックの原因と成因を説明できる。	嶋田 勝光
20	9月22日(水) 2時限	医療面接法① 求められる歯科医師像 医療倫理 生命倫理 患者中心の医療	医療倫理の基本を説明できる。 患者中心の医療を実践するにあたり必要な知識を説明できる。 生命倫理観が必要な事例を説明できる。 インフォームドコンセントの意義を説明できる。	森 啓

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
21	9月24日(金) 3時限	保存修復学① 1. 歯の硬組織疾患 2. 検査法・診断法 3. 齲蝕の処置	1. 歯の硬組織疾患を列挙し、分類できる。(想起) 2. 歯の硬組織疾患の発生原因とメカニズムを説明できる。(想起) 3. 歯の硬組織疾患の病態と考えられる症状を説明できる。(想起・解釈) 4. 齲蝕のリスクファクターを列挙できる。(想起) 5. 歯の硬組織疾患の検査法の種類を列挙できる。(想起) 6. 歯の硬組織疾患にあわせた検査法を選択できる。(問題解決) 7. 得られた検査結果から病態を推測する。(解釈)	亀山 敦史
22	9月24日(金) 4時限	歯科薬理学③ 薬物動態	1. 薬物動態 (吸収から排泄までの過程) を理解する。 2. 種々の要因による薬物動態の変化を理解する。	十川 紀夫
23	9月27日(月) 3時限	公衆衛生学③ 1. 疫学との EBM 概念 2. スクリーニング検査 3. 口腔疾患の疫学的指標	1. 疫学と EBM の概念を説明できる。 2. スクリーニング検査を説明できる。 3. 口腔疾患の疫学的指標を説明できる	定岡 直
24	9月27日(月) 4時限	口腔組織学③ 1. 上皮組織 2. 結合組織 3. 軟骨・骨組織 4. 血液 5. 筋組織 6. 神経組織 7. 組織学各論 (脈管系、リンパ性器 官、消化器系、呼吸器系、泌尿器 系、内分泌系)	1. 上皮を形態学的に分類できる。 2. 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 3. 軟骨を分類し、その特徴を説明できる。 4. 骨組織の細胞について説明できる。 5. 赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 6. 筋組織の構造と機能を説明できる。 7. 神経細胞の構造を説明できる。 8. 消化器系の基本構造と機能を説明できる。 9. 呼吸器系の基本構造と機能を説明できる。 10. 泌尿器系の基本構造と機能を説明できる。	中村 浩彰
25	9月29日(水) 2時限	口腔生化学③ 細胞の構造と機能 歯と骨の石灰化機構	細胞膜、核、細胞内小器官、細胞骨格、細胞周期および細胞死について説明できる。 アルカリホスファターゼ説とエピタキシー説および基質小胞説が説明できる。 エナメル質の石灰化の特異性を説明できる。	宇田川信之
26	10月1日(金) 2時限	口腔解剖学③ 感覚器系について 呼吸器系について 泌尿器系について 生殖器系について 三叉神経・顔面神経について	1. 皮膚・感覚器の形態、構造を説明できる。 2. 視覚器、聴覚器、平衡感覚器の形態と構造を説明できる。 3. 嗅覚器、味覚器の形態と構造を説明できる。 4. 気道系の構造と機能を説明できる。 5. 腎臓、尿路の分類、形態および構造を説明できる。 6. 男性生殖器、女性生殖器の分類と形態および構造を説明できる。 7. 三叉神経と顔面神経の走行、分布および構成線維を説明できる。	金銅 英二
27	10月4日(月) 3時限	口腔生理学③ 1. 唾液 2. 嚥下 3. 顎反射	1. 唾液の生成機序を説明できる。 2. 嚥下反射の機序を説明できる。 3. 顎反射のメカニズムが明確に説明できる。	北川 純一
28	10月4日(月) 4時限	口腔微生物学③ 獲得免疫(I)液性免疫	1. 抗体の構造について説明できる。 2. 抗体のクラスと機能について説明できる。 3. クラススイッチについて説明できる。 4. 遺伝子再構成について説明できる。 5. 抗原抗体反応とその応用について説明できる。 6. 親和性成熟について説明できる。	吉田 明弘
29	10月6日(水) 2時限	歯科理工学③ レジン系材料の種類と特性	レジン系材料とそれぞれの特性について説明できる。	永澤 栄

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
30	10月8日(金) 2時限	歯科薬理学④ 薬物相互作用	1. 薬理作用に影響する要因を理解する。 2. 薬物相互作用を理解する。	十川 紀夫
31	10月12日(火) 3時限	口腔病理学③ 炎症総論 1. 炎症の形態学的変化 2. 急性炎症と慢性炎症 3. 増殖性炎と肉芽腫性炎	1. 炎症の定義と発生機序を説明できる。 2. 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 3. 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 4. 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 5. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。	嶋田 勝光
32	10月12日(火) 4時限	医療面接法② 医療面接の基本	1. 医療面接における意義と目的を説明できる。 2. 医療面接の基本を説明できる。 3. 病歴聴取項目を説明できる。 4. 急性症状と慢性症状の聴取の違いを説明できる。	森 啓
33	10月13日(水) 2時限	保存修復学② 1. エナメル質齲蝕の処置法 2. 象牙質齲蝕の処置法 3. 根面齲蝕の処置法 4. 非齲蝕性硬組織疾患の処置法 5. 修復時の前処置	1. エナメル質齲蝕への再石灰化療法を説明できる。(想起) 2. エナメル質齲蝕病巣の除去法と使用する器具を説明できる。(想起) 3. 象牙質齲蝕の臨床的所見を説明できる。(想起) 4. 齲蝕象牙質の識別法と使用する器材を説明記できる。(想起) 5. 象牙質齲蝕病巣の除去法と使用する器具を説明できる。(想起) 6. 根面齲蝕を分類できる。(想起) 7. 根面齲蝕の非侵襲的治療法を説明できる。(想起・問題解決) 8. 根面齲蝕の修復方法を列挙し、その使い分けを説明できる。(想起・問題解決) 9. 非齲蝕性硬組織疾患の処置法を説明できる。(想起、問題解決) 10. 修復処置に必要な前処置の種類とそれぞれの目的を列挙できる。(想起) 11. 修復処置に応じた前処置法を選択できる。(問題解決)	亀山 敦史
34	10月15日(金) 2時限	口腔解剖学④ 永久歯の特徴 乳歯の特徴 歯の異常 口腔の構造 咽頭の構造 喉頭の構造	永久歯と乳歯について説明できる。 歯の異常について説明できる。 口腔の構造について説明できる。 咽頭の構造について説明できる。 喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
35	10月18日(月) 3時限	公衆衛生学④ 医の倫理 医療関連法規	1. 医の倫理を理解する。 2. 医療関連法規を理解する。	牧 茂
36	10月18日(月) 4時限	口腔組織学④ 組織学 口腔組織学 口腔組織発生学	1. 組織学の要点を理解する。 2. 口腔組織の構造の要点を理解する。 3. 口腔組織発生の要点を理解する。	中村 浩彰
37	10月20日(水) 2時限	口腔生化学④ カルシウム代謝調節機構	血清カルシウムを調節するカルシトニン、副甲状腺ホルモン、ビタミンDの性質と機能を説明できる。	宇田川信之
38	10月22日(金) 2時限	歯科薬理学⑤ 薬物の副作用・有害作用	薬物による副作用・有害作用およびその発生機序を理解する。	十川 紀夫
39	10月25日(月) 3時限	口腔生理学④ 生理学・口腔生理学の総復習	視覚素材に慣れる。	北川 純一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
40	10月25日(月) 4時限	口腔微生物学④ 獲得免疫(2)細胞性免疫	<ol style="list-style-type: none"> 1. T細胞の種類と性状について説明できる。 2. 細胞性免疫の制御機構について説明できる。 3. T細胞の分化・成熟とメモリー機能について説明できる。 4. ウイルス感染細胞の排除について説明できる。 5. 細胞内寄生細菌に対する感染防御について説明できる。 6. 腫瘍免疫について説明できる。 7. 移植と拒絶反応について説明できる。 	吉田 明弘
41	10月27日(水) 2時限	歯科理工学④ 金属材料を用いた鑄造および熱処理 陶材の特性	<p>歯科用金属材料の種類と用途について説明できる。 金属材料の加工方法について説明できる。 セラミック材料について加工方法と特性について説明できる。</p>	永澤 栄
42	10月29日(金) 2時限	口腔病理学④ 腫瘍総論 <ol style="list-style-type: none"> 1. 腫瘍の疫学 2. 腫瘍の組織学的特徴 3. 腫瘍の増殖と転移 4. 癌関連遺伝子の役割とその異常 5. 多段階発癌の分子機構 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腫瘍の定義と原因を説明できる。 2. 腫瘍の組織発生を説明できる。 3. 異型性、退形成および分化を説明できる。 4. 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 5. 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 6. 発癌機構を概説できる。 	嶋田 勝光
43	11月1日(月) 3時限	歯科矯正学① <ol style="list-style-type: none"> 1. 顎顔面頭蓋の成長発育 2. 正常咬合と不正咬合 3. 側面頭部エックス線規格写真・模型分析 4. 矯正力と顎整形力 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎顔面頭蓋の成長発育を理解する。 2. 正常咬合と不正咬合について説明できる。 3. 口腔習癖とそれが及ぼす影響について説明できる。 4. 側面頭部エックス線規格写真と模型分析を説明できる。 5. 矯正力と顎整形力について説明できる。 	岡藤 範正 川原 良美
44	11月1日(月) 4時限	口腔生化学⑤ 唾液と唾液腺 歯面への付着物 遺伝子と遺伝	<p>唾液タンパク質の生化学的組成と分泌機構を説明できる。 歯面への付着物の生化学的組成を説明できる。 遺伝子の構造とセントラルドグマを説明できる。</p>	宇田川信之
45	11月5日(金) 2時限	歯科薬理学⑥ 薬物と医薬品	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の分類を理解する。 2. 医薬品の表示および保管方法を理解する。 3. 医薬品開発の流れを理解する。 	十川 紀夫
46	11月8日(月) 3時限	公衆衛生学⑤ <ol style="list-style-type: none"> 1. 主な保健医療統計 2. 主な健康指標 3. 調査方法と統計的分析 4. 保健医療情報の取り扱いと情報セキュリティ 5. 医療情報の開示に関する注意点 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な保健医療統計を説明できる。 2. 主な健康指標を説明できる。 3. 調査方法と統計的分析を説明できる。 4. 保健医療情報の取り扱いと情報セキュリティを説明できる。 5. 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。 	定岡 直
47	11月8日(月) 4時限	医療面接法③ 医療面接法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療の流れを説明できる。 2. 医療面接の環境を説明できる。 3. 医療面接の手順を説明できる。 4. 医療情報の記載方法を説明できる。 5. 急性と慢性症状の対応を説明できる。 6. 基本的なコミュニケーション手法を説明できる。 7. 臨床推論を説明できる。 	森 啓

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
48	11月10日(水) 2時限	保存修復学③ 1. 直接修復 2. 間接修復 3. 修復治療の術後管理	1. 直接修復の種類を列挙し、それぞれについて特徴と適応症を説明できる。(想起・解釈) 2. 間接修復の種類を列挙し、それぞれについて特徴と適応症を説明できる。(想起・解釈) 3. 各修復法に適した窩洞形成法を説明できる。(解釈・問題解決) 4. 症例に応じた象牙質・歯髄複合体の保護法を選択できる。(問題解決) 5. 各種修復法の術式と使用する器具・材料を説明できる。(想起) 6. 修復治療後の術後管理の必要性について説明できる。(想起) 7. 補修の方法について列挙し、術式と必要な器材を説明できる。(想起) 8. メンテナンスの実際について説明できる。(想起)	亀山 敦史
49	11月12日(金) 2時限	全部床義歯補綴学① 印象採得	概形印象採得、個人トレーを用いた精密印象採得について理解する。	吉田 裕哉
50	11月15日(月) 3時限	歯科矯正学② 1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療 2. 顎変形症の矯正歯科治療 3. 保定の意義とその種類	1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療について説明できる。 2. 顎変形症の矯正歯科治療について説明できる。 3. 保定の意義とその種類について説明できる。	岡藤 範正 川原 良美
51	11月15日(月) 4時限	口腔生化学⑥ 齲蝕の生化学	齲蝕の発症メカニズムと代用糖(非齲蝕性甘味料)の種類とその性質を説明できる。	宇田川信之
52	11月17日(水) 2時限	口腔病理学⑤ 病理診断	1. 代表的な菌原性腫瘍の病理像を説明できる。 2. 代表的な粘膜腫瘍の病理像を説明できる。 3. 代表的な唾液腺腫瘍の病理像を説明できる。 4. 代表的な嚢胞の病理像を説明できる。 5. 代表的な粘膜疾患の病理像を説明できる。	村上 聡
53	11月19日(金) 2時限	全部床義歯補綴学② 咬合採得	咬合採得を理解する。	吉田 裕哉
54	11月22日(月) 3時限	公衆衛生学⑥ 社会保障制度 医療経済	1. 医療保険制度を理解する。 2. 介護保険制度が説明できる。 3. 医療経済を理解する。	牧 茂
55	11月22日(月) 4時限	小児歯科学① 小児歯科臨床	児患者の歯科的対応を理解する。 小児の歯冠修復について理解する。 小児の歯内療法について理解する。 咬合誘導の意義と目的について理解する。 咬合誘導装置の種類と適応について理解する。	大須賀直人
56	11月24日(水) 2時限	公衆衛生学⑦ 健康日本21 国際保健	1. 健康日本21を理解する。 2. 国際保健に関与する機関を理解する。	定岡 直
57	11月26日(金) 2時限	全部床義歯補綴学③ 咬合器 蠟義歯試適	咬合器について理解する。 蠟義歯試適の目的について理解する。	吉田 裕哉
58	11月29日(月) 3時限	公衆衛生学⑦ 健康日本21 国際保健	1. 健康日本21を理解する。 2. 国際保健に関与する機関を理解する。	定岡 直
59	11月29日(月) 4時限	小児歯科学② 小児歯科臨床	小児の外科処置について理解する。 小児外傷について理解する。 スポーツによる歯・口腔の外傷の予防について理解する。 小児疾患と歯科治療の留意点について理解する。	正村 正仁

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
60	12月1日(水) 2時限	歯内治療学②	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯髄疾患を分類できる。 2. 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎を説明できる。 3. 歯髄保存療法と除去療法を説明できる。 4. 歯髄疾患の治療法を説明できる。 5. 根尖性歯周疾患を分類できる。 6. 根尖性歯周疾患の治療法を説明できる。 7. 根管処置を説明できる。 	三好 弥恵
61	12月3日(金) 2時限	歯周病学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周疾患の病因について説明できる。 2. 病因除去療法としての歯周基本治療を説明できる。 3. 歯周外科療法の種類、目的を説明できる。 	中村 卓
62	12月22日(水) 1時限	総合講義予備日①		中村 浩彰
63	12月22日(水) 2時限	総合講義予備日②		中村 浩彰
64	12月22日(水) 3時限	総合講義予備日③		中村 浩彰
65	12月22日(水) 4時限	総合講義予備日④		中村 浩彰
66	12月23日(木) 1時限	総合講義予備日⑤		中村 浩彰
67	12月23日(木) 2時限	総合講義予備日⑥		中村 浩彰
68	12月23日(木) 3時限	総合講義予備日⑦		中村 浩彰
69	12月23日(木) 4時限	総合講義予備日⑧		中村 浩彰
70	12月24日(金) 1時限	総合講義予備日⑨		中村 浩彰
71	12月24日(金) 2時限	総合講義予備日⑩		中村 浩彰
72	12月24日(金) 3時限	総合講義予備日⑪		中村 浩彰
73	12月24日(金) 4時限	総合講義予備日⑫		中村 浩彰
74	12月25日(土) 1時限	総合講義予備日⑬		中村 浩彰
75	12月25日(土) 2時限	総合講義予備日⑭		中村 浩彰
76	12月25日(土) 3時限	総合講義予備日⑮		中村 浩彰
77	12月25日(土) 4時限	総合講義予備日⑯		中村 浩彰

2021年度 4 学年 日程表

曜		月	火	水	木	金	土	日
		3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28
1	1	9:00～ 10:30				オリエンテーション		
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4
2	1	9:00～ 10:30	歯内治療学-1	部分床義歯補綴学-1	歯周病学-1	歯科放射線学-1		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-1	歯科矯正学-1	部分床義歯補綴学-2	クラウンブリッジ補綴学-1	口腔外科学-1	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-1	保存修復学実習-1	障害者歯科学-1	歯周病学実習-1	歯科補綴学実習Ⅰ-1	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
3	1	9:00～ 10:30	歯科放射線学-2	歯内治療学-2	部分床義歯補綴学-3	入学式	健康診断	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-2	歯科矯正学-2	部分床義歯補綴学-4		口腔外科学-2	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-2	保存修復学実習-2	障害者歯科学-2	文連・体連部活紹介	歯科補綴学実習Ⅰ-2	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18
4	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 1	歯内治療学-3	部分床義歯補綴学-5	歯周病学-2	歯科放射線学-3	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-3	歯科矯正学-3	部分床義歯補綴学-6	クラウンブリッジ補綴学-2	口腔外科学-3	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-3	保存修復学実習-3	障害者歯科学-3	歯周病学実習-2	歯科補綴学実習Ⅰ-3	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25
5	1	9:00～ 10:30	歯内治療学-4	部分床義歯補綴学-7	歯周病学-3	歯科放射線学-4		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-4	歯科矯正学-4	部分床義歯補綴学-8	クラウンブリッジ補綴学-3	口腔外科学-4	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-4	保存修復学実習-4	障害者歯科学-4	歯周病学実習-3	歯科補綴学実習Ⅰ-4	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2
6	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 2	歯内治療学-5	部分床義歯補綴学-9	歯科放射線学-5		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-5	歯科矯正学-5	部分床義歯補綴学-10		口腔外科学-5	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-5	保存修復学実習-5	障害者歯科学-5	昭和の日	歯科補綴学実習Ⅰ-5	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日
		5/3	5/4	5/5	5/6	5/7 (木曜授業)	5/8	5/9
7	1	9:00~ 10:30	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	歯周病学-4	歯周病学-5	
	2	10:40~ 12:10				クラウンブリッジ 補綴学-4	クラウンブリッジ 補綴学-5	
	3	13:10~ 14:40				歯周病学実習-4	歯周病学実習-5	
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	
8	1	9:00~ 10:30	歯内治療学-6	部分床義歯補綴学-11	歯周病学-6	歯科放射線学-6			
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-6	歯科矯正学-6	部分床義歯補綴学-12	クラウンブリッジ 補綴学-6			口腔外科学-6
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-6	保存修復学実習-6	障害者歯科学-6	歯周病学実習-6			歯科補綴学実習 I-6
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							

		5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23
9	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 3	歯内治療学-7	部分床義歯補綴学-13	歯周病学-7	歯科放射線学-7	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-7	歯科矯正学-7	部分床義歯補綴学-14	クラウンブリッジ 補綴学-7	口腔外科学-7	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-7	保存修復学実習-7	障害者歯科学-7	歯周病学実習-7	歯科補綴学実習 I-7	
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	
10	1	9:00~ 10:30	歯内治療学-8	部分床義歯補綴学-15	歯周病学-8	歯科放射線学-8			
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-8	歯科矯正学-8	部分床義歯補綴学-16	クラウンブリッジ 補綴学-8			口腔外科学-8
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-8	保存修復学実習-8	障害者歯科学-8	歯周病学実習-8			歯科補綴学実習 I-8
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							

		5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6
11	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 4	歯内治療学-9	部分床義歯補綴学-17	歯周病学-9	歯科放射線学-9	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-9	歯科矯正学-9	部分床義歯補綴学-18	クラウンブリッジ 補綴学-9	口腔外科学-9	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-9	保存修復学実習-9	障害者歯科学-9	歯周病学実習-9	歯科補綴学実習 I-9	
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	
12	1	9:00~ 10:30	歯内治療学-10	部分床義歯補綴学-19	歯周病学-10	歯科放射線学-10			
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-10	歯科矯正学-10	部分床義歯補綴学-20	クラウンブリッジ 補綴学-10			口腔外科学-10
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-10	保存修復学実習-10	障害者歯科学-10	歯周病学実習-10			歯科補綴学実習 I-10
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							

曜		月	火	水	木	金	土	日
		6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20
13	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 5	歯内治療学-11	部分床義歯補綴学-21	歯周病学-11	歯科放射線学-11	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-11	歯科矯正学-11	部分床義歯補綴学-22	クラウンブリッジ補綴学-11	口腔外科学-11	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-11	保存修復学実習-11	障害者歯科学-11	歯周病学実習-11	歯科補綴学実習 I -11	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27
14	1	9:00～ 10:30	歯内治療学-12	部分床義歯補綴学-23	歯周病学-12	歯科放射線学-12		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-12	歯科矯正学-12	部分床義歯補綴学-24	クラウンブリッジ補綴学-12		口腔外科学-12
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-12	保存修復学実習-12	障害者歯科学-12	歯周病学実習-12		歯科補綴学実習 I -12
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4
15	1	9:00～ 10:30	Weekly test 6	歯内治療学-13	部分床義歯補綴学-25	歯周病学-13	歯科放射線学-13	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-13	歯科矯正学-13	部分床義歯補綴学-26	クラウンブリッジ補綴学-13	口腔外科学-13	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-13	保存修復学実習-13	障害者歯科学-13	歯周病学実習-13	歯科補綴学実習 I -13	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11
16	1	9:00～ 10:30	歯内治療学-14	部分床義歯補綴学-27	歯周病学-14	歯科放射線学-14		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-14	歯科矯正学-14	部分床義歯補綴学-28	クラウンブリッジ補綴学-14		口腔外科学-14
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-14	保存修復学実習-14	障害者歯科学-14	歯周病学実習-14		歯科補綴学実習 I -14
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18
17	1	9:00～ 10:30	Weekly test 7	歯内治療学-15	部分床義歯補綴学-29	歯周病学-15	歯科放射線学-15	Weekly Test 8
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-15	歯科矯正学-15	部分床義歯補綴学-30	クラウンブリッジ補綴学-15	口腔外科学-15	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-15	保存修復学実習-15	障害者歯科学-15	歯周病学実習-15	歯科補綴学実習 I -15	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25
18	1	9:00～ 10:30	授業なし	定期試験 1	定期試験 2	海の日	スポーツの日	定期試験 3
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日	
		7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	
19	1	9:00~ 10:30	定期試験 4	定期試験 5	定期試験 6	定期試験 7	定期試験 8	定期試験 9	夏季休業
	2	10:40~ 12:10							
	3	13:10~ 14:40							
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							

		8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
20	1	9:00~ 10:30	補習 (対象者必須) 夏季休業	補習 (対象者必須) 夏季休業	補習 (対象者必須) 夏季休業	補習 (対象者必須) 夏季休業	夏季休業	山の日 夏季休業
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
21	1	9:00~ 10:30	振替休日 夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
22	1	9:00~ 10:30	夏季休業	摂食嚥下療法学-1	口腔外科学-1	クラウンブリッジ 補綴学-1	歯科放射線学-1	
	2	10:40~ 12:10		高齢者歯科学-1	総合講義 口腔組織学①	口腔インプラント 学-1	総合講義 口腔生化学①	
	3	13:10~ 14:40		小児・矯正基礎実習-1	臨床予備演習-1	歯内治療学実習-1	歯科補綴学実習Ⅱ-1	
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	
23	1	9:00~ 10:30	歯科麻酔学-1	摂食嚥下療法学-2	口腔外科学-2	クラウンブリッジ 補綴学-2	歯科放射線学-2		
	2	10:40~ 12:10		高齢者歯科学-2	総合講義 口腔微生物学①	口腔インプラント 学-2	総合講義 歯科理工学①		
	3	13:10~ 14:40		総合講義 口腔解剖学①	小児・矯正基礎実習-2	臨床予備演習-2	歯内治療学実習-2		歯科補綴学実習Ⅱ-2
	4	14:50~ 16:20		総合講義 口腔生理学①					
	5	16:30~ 18:00							

		8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
24	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 9	摂食嚥下療法学-3	口腔外科学-3	クラウンブリッジ 補綴学-3	歯科放射線学-3	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-2	高齢者歯科学-3	総合講義 口腔組織学②	口腔インプラント 学-3	総合講義 口腔生化学②	
	3	13:10~ 14:40	総合講義 歯科薬理学①	小児・矯正基礎実習-3	臨床予備演習-3	歯内治療学実習-3	歯科補綴学実習Ⅱ-3	
	4	14:50~ 16:20	総合講義 口腔病理学①					
	5	16:30~ 18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日
		9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12
25	1	9:00～ 10:30	摂食嚥下療法学 -4	口腔外科学 -4	クラウンブリッジ 補綴学 -4	歯科放射線学 -4		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学 -3	高齢者歯科学 -4	総合講義 口腔微生物学②	口腔インプラント 学 -4	総合講義 歯科理工学②	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔解剖学②	小児・矯正基礎実習 -4	臨床予備演習 -4	歯内治療学実習 -4	歯科補綴学実習Ⅱ -4	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 公衆衛生学①					
	5	16:30～ 18:00						

曜		9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19
26	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 10	摂食嚥下療法学 -5	口腔外科学 -5	クラウンブリッジ 補綴学 -5	歯科放射線学 -5	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学 -4	高齢者歯科学 -5	総合講義 公衆衛生学②	口腔インプラント 学 -5	総合講義 口腔病理学②	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 歯科薬理学②	小児・矯正基礎実習 -5	臨床予備演習 -5	歯内治療学実習 -5	歯科補綴学実習Ⅱ -5	体育祭
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生理学②					
	5	16:30～ 18:00						

曜		9/20	9/21	9/22	9/23	9/24 (月曜授業)	9/25	9/26	
27	1	9:00～ 10:30	敬老の日	摂食嚥下療法学 -6	口腔外科学 -6	秋分の日	歯科麻酔学 -5		
	2	10:40～ 12:10		高齢者歯科学 -6	総合講義 医療面接学①				
	3	13:10～ 14:40		小児・矯正基礎実習 -6	臨床予備演習 -6				総合講義 口腔生化学③
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜		9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3
28	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 11	摂食嚥下療法学 -7	口腔外科学 -7	クラウンブリッジ 補綴学 -6	歯科放射線学 -6	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学 -6	高齢者歯科学 -7	総合講義 保存修復学①	口腔インプラント 学 -6	総合講義 口腔解剖学③	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 公衆衛生学③	小児・矯正基礎実習 -7	臨床予備演習 -7	歯内治療学実習 -6	歯科補綴学実習Ⅱ -6	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔組織学③					
	5	16:30～ 18:00						

曜		10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10
29	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学 -8	口腔外科学 -8	クラウンブリッジ 補綴学 -7	歯科放射線学 -7	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学 -7	高齢者歯科学 -8	総合講義 歯科理工学③	口腔インプラント 学 -7	総合講義 歯科薬理学④	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔生理学③	小児・矯正基礎実習 -8	臨床予備演習 -8	歯内治療学実習 -7	歯科補綴学実習Ⅱ -7	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔微生物学③					
	5	16:30～ 18:00						

曜		10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17
30	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 12	摂食嚥下療法学 -9	口腔外科学 -9	クラウンブリッジ 補綴学 -8	歯科放射線学 -8	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学 -8	高齢者歯科学 -9	総合講義 保存修復学②	口腔インプラント 学 -8	総合講義 口腔解剖学④	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔病理学③	小児・矯正基礎実習 -9	臨床予備演習 -9	歯内治療学実習 -8	歯科補綴学実習Ⅱ -8	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 医療面接学②					
	5	16:30～ 18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日
		10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24
31	1	9:00~ 10:30		摂食嚥下療法学-10	口腔外科学-10	クラウンブリッジ 補綴学-9	歯科放射線学-9	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-9	高齢者歯科学-10	総合講義 口腔生化学④	口腔インプラント 学-9	総合講義 歯科薬理学⑤	
	3	13:10~ 14:40	総合講義 公衆衛生学④	小児・矯正基礎実 習-10	臨床予備演習-10	歯内治療学実習-9	歯科補綴学実習Ⅱ-9	
	4	14:50~ 16:20	総合講義 口腔組織学④					
	5	16:30~ 18:00						

		10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31
32	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 13	摂食嚥下療法学-11	口腔外科学-11	クラウンブリッジ 補綴学-10	歯科放射線学-10	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-10	高齢者歯科学-11	総合講義 歯科理工学④	口腔インプラント 学-10	総合講義 口腔病理学④	
	3	13:10~ 14:40	総合講義 口腔生理学④	小児・矯正基礎実習-11	臨床予備演習-11	歯内治療学実習-10	歯科補綴学実習Ⅱ-10	
	4	14:50~ 16:20	総合講義 口腔微生物学④					
	5	16:30~ 18:00						

		11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7
33	1	9:00~ 10:30		摂食嚥下療法学-12	文化の日	クラウンブリッジ 補綴学-11	歯科放射線学-11	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-11	高齢者歯科学-12		口腔インプラント 学-11	総合講義 歯科薬理学⑥	
	3	13:10~ 14:40	総合講義 歯科矯正学①	小児・矯正基礎実習-12		歯内治療学実習-11	歯科補綴学実習Ⅱ-11	
	4	14:50~ 16:20	総合講義 口腔生化学⑤					
	5	16:30~ 18:00						

		11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14
34	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 14	摂食嚥下療法学-13	口腔外科学-12	クラウンブリッジ 補綴学-12	歯科放射線学-12	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-12	高齢者歯科学-13	総合講義 保存修復学③	口腔インプラント 学-12	総合講義 全部床義歯補綴学①	
	3	13:10~ 14:40	総合講義 公衆衛生学⑤	小児・矯正基礎実習-13	臨床予備演習-12	歯内治療学実習-12	歯科補綴学実習Ⅱ-12	
	4	14:50~ 16:20	総合講義 医療面接学③					
	5	16:30~ 18:00						

		11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21
35	1	9:00~ 10:30		摂食嚥下療法学-14	口腔外科学-13	クラウンブリッジ 補綴学-13	歯科放射線学-13	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-13	高齢者歯科学-14	総合講義 口腔生化学⑥	口腔インプラント 学-13	総合講義 全部床義歯補綴学②	
	3	13:10~ 14:40	総合講義 歯科矯正学②	小児・矯正基礎実 習-14	臨床予備演習-13	歯内治療学実習-13	歯科補綴学実習Ⅱ-13	
	4	14:50~ 16:20	総合講義 口腔病理学⑤					
	5	16:30~ 18:00						

		11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28
36	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 15	勤労感謝の日	口腔外科学-14	クラウンブリッジ 補綴学-14	歯科放射線学-14	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-14		総合講義 歯内治療学①	口腔インプラント 学-14	総合講義 全部床義歯補綴学③	
	3	13:10~ 14:40	総合講義 公衆衛生学⑥		臨床予備演習-14	歯内治療学実習-14	歯科補綴学実習Ⅱ-14	
	4	14:50~ 16:20	総合講義 小児歯科学①					
	5	16:30~ 18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日
		11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5
37	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学-15	口腔外科学-15	クラウンブリッジ 補綴学-15	歯科放射線学-15	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-15	高齢者歯科学-15	総合講義 歯内治療学②	口腔インプラント 学-15	総合講義 歯周病学①	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 公衆衛生学⑦	小児・矯正基礎実習-15	臨床予備演習-15	歯内治療学実習-15	歯科補綴学実習Ⅱ-15	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 小児歯科学②					
	5	16:30～ 18:00						

		12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12
38	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 16					
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40		授業なし	授業なし	定期試験 1	定期試験 2	定期試験 3
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19
39	1	9:00～ 10:30						
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	定期試験 4	定期試験 5	定期試験 6	定期試験 7	定期試験 8	定期試験 9
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26
40	1	9:00～ 10:30						
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40			総合講義①	総合講義②	総合講義③	総合講義④
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						冬季休業

		12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2
41	1	9:00～ 10:30						
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	冬季休業	冬季休業	元 旦	冬季休業	冬季休業	冬季休業
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9
42	1	9:00～ 10:30						
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	冬季休業	冬季休業	冬季休業	追・再試験 1	追・再試験 2	追・再試験 3
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日	
43		1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	
	1	9:00~ 10:30	成人の日	追・再試験 4	追・再試験 5	追・再試験 6	ファウンダーズデイ	追・再試験 7	
	2	10:40~ 12:10							
	3	13:10~ 14:40							
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							

44		1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23
	1	9:00~ 10:30	追・再試験 8					
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

45		1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30
	1	9:00~ 10:30					創立記念日	
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

46		1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6
	1	9:00~ 10:30	C B T 実施説明 共用試験 (CBT 本試験)					
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

47		2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13
	1	9:00~ 10:30			卒業式 (予定)	建国記念日		
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

48		2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20
	1	9:00~ 10:30				テストラン	共用試験 (OSCE 本試験)	
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日
		2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27
49	1	9:00~ 10:30		天皇誕生日		共用試験 (CBT 追再試験)		
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		2/28	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6
50	1	9:00~ 10:30	共用試験 (OSCE 再試験)					
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

2021年度 第4学年 年間予定

2021年

3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 月		1 木 ①		1 土		1 火 ⑨		1 木 ⑬		1 日 夏季休業(～8/16)		1 水 ③	
2 火		2 金 ①		2 日		2 水 ⑨		2 金 ⑬		2 月 補習(対象者必須)		2 木 ③	
3 水		3 土		3 月 憲法記念日		3 木 ⑨		3 土		3 火 補習(対象者必須)		3 金 ③	
4 木		4 日		4 火 みどりの日		4 金 ⑨		4 日		4 水 補習(対象者必須)		4 土	
5 金		5 月 ②		5 水 こどもの日		5 土		5 月 ⑭		5 木 補習(対象者必須)		5 日	
6 土		6 火 ②		6 木 ④		6 日		6 火 ⑭		6 金 補習(対象者必須)		6 月 ③	
7 日		7 水 ②		7 金 ⑤木曜授業		7 月 ⑩		7 水 ⑭		7 土		7 火 ④	
8 月		8 木 入学式 文連・体連部活紹介		8 土		8 火 ⑩		8 木 ⑭		8 日 山の日		8 水 ④	
9 火		9 金 健康診断 ②		9 日		9 水 ⑩		9 金 ⑭		9 月 振替休日		9 木 ④	
10 水		10 土		10 月 ⑥		10 木 ⑩		10 土		10 火		10 金 ④	
11 木		11 日		11 火 ⑥		11 金 ⑩		11 日		11 水		11 土	
12 金		12 月 Weekly Test 1 ③		12 水 ⑥		12 土		12 月 Weekly Test 7 ⑮		12 木		12 日	
13 土		13 火 ③		13 木 ⑥		13 日		13 火 ⑮		13 金		13 月 Weekly Test 10 ④	
14 日		14 水 交通安全講習会 ③		14 金 ⑥		14 月 Weekly Test 5 ⑪		14 水 ⑮		14 土		14 火 ⑤	
15 月		15 木 ②		15 土		15 火 ⑪		15 木 ⑮		15 日		15 水 ⑤	
16 火		16 金 ③		16 日		16 水 ⑪		16 金 ⑮		16 月 夏季休業終了		16 木 ⑤	
17 水		17 土		17 月 Weekly Test 3 ⑦		17 木 ⑪		17 土 Weekly Test 8		17 火 後期授業開始 ①		17 金 ⑤	
18 木		18 日		18 火 ⑦		18 金 ⑪		18 日		18 水 ①		18 土 体育祭	
19 金		19 月 ④		19 水 ⑦		19 土		19 月 授業なし		19 木 ①		19 日	
20 土 春分の日		20 火 ④		20 木 ⑦		20 日		20 火 定期試験 1		20 金 ①		20 月 敬老の日	
21 日		21 水 ④		21 金 ⑦		21 月 ⑫		21 水 定期試験 2		21 土		21 火 ⑥	
22 月		22 木 ③		22 土		22 火 ⑫		22 木 海の日		22 日		22 水 ⑥	
23 火		23 金 ④		23 日		23 水 ⑫		23 金 スポーツの日		23 月 ①		23 木 秋分の日	
24 水		24 土		24 月 ⑧		24 木 ⑫		24 土 定期試験 3		24 火 ②		24 金 ⑤月曜授業	
25 木		25 日		25 火 ⑧		25 金 ⑫		25 日		25 水 ②		25 土	
26 金 オリエンテーション		26 月 Weekly Test 2 ⑤		26 水 ⑧		26 土		26 月 定期試験 4		26 木 ②		26 日	
27 土		27 火 ⑤		27 木 ⑧		27 日		27 火 定期試験 5		27 金 ②		27 月 Weekly Test 11 ⑥	
28 日		28 水 ⑤		28 金 ⑧		28 月 Weekly Test 6 ⑬		28 水 定期試験 6		28 土		28 火 ⑦	
29 月 前期授業開始 ①		29 木 昭和の日		29 土		29 火 ⑬		29 木 定期試験 7		29 日		29 水 ⑦	
30 火 ①		30 金 ⑤		30 日		30 水 ⑬		30 金 定期試験 8		30 月 Weekly Test 9 ②		30 木 ⑥	
31 水 ①				31 月 Weekly Test 4 ⑨				31 土 定期試験 9		31 火 ③			

2022年

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 金 ⑥		1 月 ⑪		1 水 ⑮		1 土 元日		1 火 共用試験CBT本試験		1 火	
2 土		2 火 ⑫		2 木 ⑮		2 日		2 水		2 水	
3 日		3 水 文化の日		3 金 ⑮		3 月		3 木		3 木	
4 月 ⑦		4 木 ⑪		4 土		4 火		4 金		4 金	
5 火 ⑧		5 金 ⑪		5 日		5 水 冬季休業終了		5 土		5 土	
6 水 ⑧		6 土		6 月 Weekly Test 16		6 木 追・再試験 1		6 日		6 日	
7 木 ⑦		7 日		7 火 授業なし		7 金 追・再試験 2		7 月		7 月	
8 金 ⑦		8 月 Weekly Test 14 ⑫		8 水 授業なし		8 土 追・再試験 3		8 火		8 火	
9 土		9 火 ⑬		9 木 定期試験 1		9 日		9 水		9 水	
10 日		10 水 ⑫		10 金 定期試験 2		10 月 成人の日		10 木 卒業式(予定)		10 木	
11 月 Weekly Test 12 ⑧		11 木 ⑫		11 土 定期試験 3		11 火 追・再試験 4		11 金 建国記念の日		11 金	
12 火 ⑨		12 金 ⑫		12 日		12 水 追・再試験 5		12 土		12 土	
13 水 ⑨		13 土		13 月 定期試験 4		13 木 追・再試験 6		13 日		13 日	
14 木 ⑧		14 日		14 火 定期試験 5		14 金 ファウンダーズデイ		14 月		14 月	
15 金 ⑧		15 月 ⑬		15 水 定期試験 6		15 土 追・再試験 7		15 火		15 火	
16 土		16 火 ⑭		16 木 定期試験 7		16 日		16 水		16 水	
17 日		17 水 ⑬		17 金 定期試験 8		17 月 追・再試験 8		17 木		17 木	
18 月 ⑨		18 木 ⑬		18 土 定期試験 9		18 火		18 金 OSCEテストラン		18 金	
19 火 ⑩		19 金 ⑬		19 日		19 水		19 土 共用試験 OSCE本試験		19 土	
20 水 ⑩		20 土		20 月		20 木		20 日		20 日	
21 木 ⑨		21 日		21 火		21 金		21 月		21 月 春分の日	
22 金 ⑨		22 月 Weekly Test 15 ⑭		22 水 総合講義①		22 土		22 火		22 火	
23 土		23 火 勤労感謝の日		23 木 総合講義②		23 日		23 水 天皇誕生日		23 水	
24 日		24 水 ⑭		24 金 総合講義③		24 月		24 木		24 木	
25 月 Weekly Test 13 ⑩		25 木 ⑭		25 土 総合講義④		25 火		25 金 共用試験 CBT再試験		25 金	
26 火 ⑪		26 金 ⑭		26 日 冬季休業(～1/5)		26 水		26 土		26 土	
27 水 ⑪		27 土		27 月		27 木		27 日		27 日	
28 木 ⑩		28 日		28 火		28 金 一斉技能試験(5年)		28 月 共用試験 OSCE再試験		28 月	
29 金 ⑩		29 月 ⑮		29 水		29 土 創立記念日				29 火	
30 土		30 火 ⑮		30 木		30 日				30 水	
31 日				31 金		31 月 CBT実施説明会				31 木	

第 5 学 年

第 5 学年目次

臨	床	講	義		163
	口	腔	解	剖	165
	口	腔	組	織	167
	口	腔	生	理	168
	口	腔	生	化	170
	口	腔	微	生	172
	口	腔	病	理	174
	歯	科	薬	理	176
	歯	科	理	工	178
	公	衆	衛	生	180
	保	存	修	復	182
	歯	周	病	学	184
	歯	内	治	療	186
	全	部	床	義	188
	部	分	床	義	190
	ク	ラ	ウ	ン	192
	ク	ラ	ウ	ン	194
	口	腔	外	科	196
	歯	科	矯	正	198
	歯	科	放	射	200
	小	児	歯	科	202
	障	が	い	者	204
	摂	食	嚥	下	206
	歯	科	麻	酔	208
	医	療	面	接	210
臨	床	実	習		212
	保	存	修	復	215
	補	綴	学	(有床義歯学)	217
	補	綴	学	(クラウンブリッジ補綴学)	219
	医	療	面	接	221
	口	腔	外	科	223
	歯	科	矯	正	225
	小	児	歯	科	227
	歯	科	放	射	228
	連	携	型	口	230
	歯	科	麻	酔	232
	歯	科	麻	酔	235
	歯	内	治	療	237
	歯	周	病	学	246
2021年度 5 学年 日程表					237
2021年度 第 5 学年 年間予定					246

臨床講義 (D5001)

第5学年
講義 必修

【担当者】

基礎系・臨床系各講座の教員

【一般目標 (GIO)】

临床上必要な歯科医学および口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識および技能を復習・修得する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 必修の基本的事項に関する知識を修得する。
2. 人体の正常構造と機能を理解する。
3. 発生、成長、発達、加齢に関する知識を修得する。
4. 咬合と咀嚼に関する知識を修得する。
5. 病因、病態に関する知識を修得する。
6. 疫学に関する知識を修得する。
7. 主要症候に関する知識を修得する。
8. 医療面接と診察に関する知識を修得する。
9. 検査に関する知識を修得する。
10. 治療に関する知識を修得する。
11. 予防と健康管理・増進に関する知識を修得する。
12. 社会と保健医療福祉に関する知識を修得する。
13. 歯顎口腔の発育異常・加齢に伴う疾患について理解する。
14. 歯・歯髄・歯周組織の疾患について理解する。
15. 咬合・咀嚼障害について理解する。
16. 顎・口腔領域の疾患について理解する。
17. 歯科疾患の予防・管理について理解する。
18. 歯科材料と生体材料について理解する。

【教科書・参考書】

【教育 (学習) 方略 (LS)】

1. 歯科医師国家試験の出題基準に従い、各教科の内容を復習する。
2. 各教科間で関連する内容の有機的な結び付けを行うことを学生に促す。
3. 第105回～第114回の過去10年分の歯科医師国家試験問題につき各自学習する。

【フィードバック方法】

定期試験後に解説を行う。

【評価方法 (Evaluation)】

1. I期、II期の各定期試験を行う。
歯科医師国家試験の改編問題を出題範囲に加える。
2. I、IIの評価は Weekly Test を30%、定期試験を70%とする。
3. 各期の評価を I : II = 1 : 2 として算出した総合評価を臨床講義の評価とし、65点以上を合格とする。

【注意事項】

【準備学習時間 (予習・復習)】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(15分)

復習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照のこと。

口腔解剖学

第5学年

【担当者】

准教授：田所 治

【授業概要】

頭頸部の形態と構造
口腔の形態と構造
咽頭・喉頭の形態と構造
歯の形態と異常

【教科書・参考書】

〔教科書〕 脇田 稔・井出 吉信監修：「口腔解剖学 第2版」（医歯薬出版）
藤田 恒太郎原著：「歯の解剖学 第22版」（金原出版）
前田 健康監訳：「ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス 第3版」（医歯薬出版）
〔参考書〕 秋田 恵一・大川 淳監訳「体表からわかる人体解剖学」（南江堂）
山田 英智訳：「図解解剖学事典」（医学書院）

【フィードバック方法】

Weekly Test 後の講義にて問題の解説をおこなう。

【注意事項】

教科書を必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の該当範囲を読んでおくこと。（20分）

復 習：講義資料をもとに講義内容を整理し、理解したうえで必要な内容を憶える。不明な点は教員に聞いて明らかにする。（40分）

【オフィスアワー】

随時

本館4階西棟 口腔解剖学講座医局、本館地下 解剖学実習室
事前に e-mail にて確認すること。osamu.tadokoro@mdu.ac.jp

【授業日程】

口腔解剖学			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	3月26日(金) 3時限	口腔解剖学① 加齢と歯の喪失に伴う顎骨の変化 義歯と筋 歯の形態(1) 前歯	田所 治
2	6月4日(金) 1時限	口腔解剖学② 咀嚼と嚥下 歯の形態(2) 小臼歯	田所 治
3	7月16日(金) 4時限	口腔解剖学③ 感染・炎症と隙 歯の形態(3) 上顎大白歯	田所 治
4	9月17日(金) 2時限	口腔解剖学④ 咽頭・喉頭 歯の形態(4) 下顎大白歯	田所 治
5	10月22日(金) 3時限	口腔解剖学⑤ 上顎と下顎に分布する血管と神経 歯の形態(5) 乳歯全般	田所 治

口腔組織学

第5学年

【担当者】

教授：平賀 徹

【授業概要】

口腔の組織構造を再確認するとともに、臨床医学との関連性を理解する。

【教科書・参考書】

- 【教科書】牛木辰夫：「入門組織学（改訂第2版）」（南江堂）
脇田稔ほか編：「口腔組織・発生学（第2版）」（医歯薬出版）
【参考書】下野正基ほか編：「新口腔病理学（第2版）」（医歯薬出版）
田畑純：「口腔の発生と組織（改訂4版）」（南山堂）

【フィードバック方法】

定期試験後に解説を行う。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行う。（15分）

復習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時 実習館2階 総合歯科医学研究所教授室
（事前予約が望ましい。e-mail：toru.hiraga@mdu.ac.jp）

【授業日程】

		口腔組織学	第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	3月26日(金) 4時限	口腔組織学① 歯の組織構造と蝕	平賀 徹
2	6月4日(金) 2時限	口腔組織学② 歯周組織の構造と歯周疾患	平賀 徹
3	7月30日(金) 1時限	口腔組織学③ 骨の組織構造と疾患	平賀 徹
4	9月17日(金) 3時限	口腔組織学④ 口腔・顔面の発生と先天異常	平賀 徹
5	10月22日(金) 4時限	口腔組織学⑤ 歯の発生と歯原性病変	平賀 徹

口腔生理学

第5学年

【担当者】

准教授：安藤 宏

講師：海野俊平

【授業概要】

生理学・口腔生理学における重要項目を再確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 プリントを配付する。

〔参考書〕 和泉 博之・浅沼 直和編：「ビジュアル生理学・口腔生理学」(学建書院)

【フィードバック方法】

定期試験後、正解率が低い問題を中心に補講またはイントラで解説する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して参考書の該当ページを読み、予習すること。(15分)

復 習：配付されたプリントを復習し、参考書を利用して各自知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

木曜日 16：30～18：00

実習館3階 口腔生理学講座研究室

【授業日程】

口腔生理学				第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者	
1	4月2日(金) 1時限	口腔生理学① 神経、運動、感覚	海野 俊平	
2	6月4日(金) 3時限	口腔生理学② 体液、呼吸、循環	海野 俊平	
3	7月30日(金) 2時限	口腔生理学③ 消化、排泄、内分泌	海野 俊平	
4	9月17日(金) 4時限	口腔生理学④ 口腔の感覚、顎運動、顎反射	安藤 宏	
5	10月29日(金) 1時限	口腔生理学⑤ 咀嚼、嚥下、味覚	安藤 宏	

口腔生化学

第5学年

【担当者】

教授：宇田川信之

【授業概要】

第1学年から3学年までの「生化学・口腔生化学」関係の網羅的な講義内容全般の理解に立脚した上、第4学年におけるCBTに対する知識の補充を基盤として、「生化学・口腔生化学」の知識と臨床医学との関連性を理解することを最終目的とする。

また、歯科医師国家試験に向けての知識の総まとめのため、過去国家試験出題問題（少なくとも10年間分）すべての出題問題を解いてみる（内容を理解することが最も重要）ことがこの1年間の必須事項である。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 宇田川信之他：「口腔生化学 第6版」（医歯薬出版）

金森孝雄：「口腔生化学サイドリーダー 第6版」（学建書院）

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。

【注意事項】

遅刻・欠席は認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること（10分）

復習：当該講義のWeekly Testの復習ノートを必ず作成すること（80分）

【オフィスアワー】

実習館2階 総合歯科医学研究所研究室

要予約 e-mail：nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp または tel：070-5014-3303

【授業日程】

口腔生化学				第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者	
1	4月2日(金) 2時限	口腔生化学① 骨の形成と吸収に関する細胞とその役割	宇田川信之	
2	6月4日(金) 4時限	口腔生化学② 骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム 血清カルシウム代謝調節ホルモン（副甲状腺ホルモン・ビタミンD・カルシトニン）の作用 機序 ビタミン欠乏症の原因と症状 骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム ビタミン欠乏症の原因と症状	宇田川信之	
3	7月30日(金) 3時限	口腔生化学③ 結合組織の生化学 結合組織を構成するコラーゲンやプロテオグリカンの構造と特徴	宇田川信之	
4	9月24日(金) 1時限	口腔生化学④ 免疫 異物の体内への侵入を防ぐために作用する各種免疫担当細胞の種類と役割	宇田川信之	
5	10月29日(金) 2時限	口腔生化学⑤ 唾液の生化学 唾液の分泌メカニズムと唾液の各種成分とそれぞれの生理的役割	宇田川信之	

口腔微生物学

第5学年

【担当者】

教授：吉田明弘

【授業概要】

医科細菌学・感染症学の復習を行う。
ウイルス性新興・再興感染症、原虫感染症について講義する。

【教科書・参考書】

[教科書] 川端重忠他編：「口腔微生物学・免疫学（第4版）」（医歯薬出版）
全国歯科衛生士教育協議会監修：「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」（医歯薬出版）
[参考書] 寺尾豊著：「歯科国試パーフェクトマスター 口腔微生物学・免疫学」（医歯薬出版）
石原和幸他編：「口腔微生物学（第6版）」（学建書院）

【フィードバック方法】

定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。

【注意事項】

受講前の予習を前提として講義を進める。医科細菌学・感染症学を体系的に学習する最後の機会なので休まず受講すること。
教科書・ノート・カラーペンを持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書等で予習を行うこと。（45分）

復習：講義ノート、配付資料を用いて復習し、教科書等を利用して各自知識を整理する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 16:30～17:30

本館5階東棟 口腔微生物学講座研究室

要予約（akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）

【授業日程】

口腔微生物学				第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者	
1	4月9日(金) 2時限	感染症学総論	吉田 明弘	
2	6月11日(金) 1時限	化学療法薬と多剤耐性菌 (院内感染上問題となる微生物を含む)	吉田 明弘	
3	7月30日(金) 4時限	細菌感染症各論① サルモネラ症 腸チフス、パラチフス コレラ 腸炎ビブリオ	吉田 明弘	
4	9月24日(金) 2時限	細菌感染症各論② 百日咳 レジオネラ肺炎 カンピロバクター感染症 芽胞形成菌感染症	吉田 明弘	
5	10月29日(金) 3時限	細菌感染症各論③ 非定型細菌感染症	吉田 明弘	

口腔病理学

第5学年

【担当者】

准教授：村上 聡

【授業概要】

1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症および腫瘍総論を復習する。
2. 病理診断の基礎的知識を復習する。
3. 代表的な歯の硬組織疾患、口腔領域の炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患を復習する。
4. 口腔に症状をあらわす代表的な全身疾患を復習する。

【教科書・参考書】

- [教科書] 下野 正基編：「スタンダード病理学（第1版）」（学建書院）
長谷川博雅・井上孝編：「第2版病理総論にもとづく口腔病理学」（永末書店）
- [参考書] 下野 正基・高田 隆編：「第2版新口腔病理学」（医歯薬出版）
森 亘・桶田 理喜監訳：「ロビンス基礎病理学（第8版）」（丸善）
高木 實編：「口腔病変アトラス（第2版）」（文光堂）

【フィードバック方法】

Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。

【注意事項】

1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。
 - ①無断退出など
2. 講義に持参するもの
 - ①講義ノート、②講義資料（含：レジュメ）

【準備学習時間（予習・復習）】

120分

予 習：講義内容に該当する国試過去問題を演習する。（60分）

復 習：講義で復習した知識をもとに再確認する。さらに疾患の名称、病態、病理組織像などを再確認して理解する。（60分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時 メールでの予約が望ましい。

本館5階東棟 口腔病理学講座医局

村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

【授業日程】

口 腔 病 理 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	4 月 2 日(金) 4 時 限	病理診断の基礎知識 ・ 菌原性腫瘍	村上	聡
2	6 月 11 日(金) 2 時 限	病理診断の基礎知識 ・ 唾液腺疾患	村上	聡
3	8 月 20 日(金) 1 時 限	病理診断の基礎知識 ・ 顎骨の非菌原性腫瘍	村上	聡
4	9 月 24 日(金) 3 時 限	病理診断の基礎知識 ・ 口腔領域の嚢胞性疾患	村上	聡
5	10 月 29 日(金) 4 時 限	病理診断の基礎知識 ・ 口腔の粘膜疾患と粘膜腫瘍	村上	聡

歯科薬理学

第5学年

【担当者】

教授：十川紀夫

【授業概要】

1. 種々の方法で適用された薬物の生体内運命（薬物動態）を理解する。
2. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序）を理解する。
3. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。
4. 薬物の副作用・有害作用の種類に関する基本的事項を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 大谷啓一監修、鈴木邦明・戸荆彰史・青木和弘・兼松隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 渡邊裕司監訳：「ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学 原書3版」（丸善出版）

大浦清・兼松隆・戸荆彰史・二藤彰編集：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学（第2版）」（永末書店）

【フィードバック方法】

定期試験や演習課題実施後、正解率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。

【注意事項】

薬物の適応症、禁忌症などの理由（メカニズム）が重要。

具体的な薬物名は各自で覚えるようにすること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。（15分）

- 1) 各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。

復習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

- 1) 授業の理解を図るため、必ず復習すること。
- 2) ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。

【オフィスアワー】

随時

実習館3階 歯科薬理学講座教室

【授業日程】

歯科薬理学			
			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	4月9日(金) 1時限	臨床歯科薬理学総論・各論(1) 自律神経作用薬および局所麻酔薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十川 紀夫
2	6月11日(金) 3時限	臨床歯科薬理学総論・各論(2) 抗菌薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十川 紀夫
3	8月20日(金) 2時限	臨床歯科薬理学総論・各論(3) 抗ウイルス薬・抗真菌薬を中心に、臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十川 紀夫
4	9月24日(金) 4時限	臨床歯科薬理学総論・各論(4) 酸性非ステロイド性抗炎症薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十川 紀夫
5	11月5日(金) 1時限	臨床歯科薬理学総論・各論(5) ステロイド性抗炎症薬、解熱鎮痛薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十川 紀夫

歯科理工学

第5学年

【担当者】

教授：黒岩昭弘

准教授：洞澤功子

【授業概要】

臨床で使用する各材料の特徴と使用方法について再確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕中野裕・西山典宏・宮崎隆・米山隆之他：「スタンダード歯科理工学第6版」（学建書院）

〔参考書〕2年次ノート

【フィードバック方法】

各試験によって得られた結果から、理解度の低い問題について講義中にフィードバックする。
また、問題によっては学生イントラで掲示する。

【注意事項】

教科書は最新版のものを用意すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して講義内容について不明確な点を整理し確認すること。(30分)

復習：配付資料を復習し、確実に理解すること。(30分)

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時

実習館1階 歯科理工学医局

日時について事前にE-mailで予約を入れること。

E-mail：akihiro.kuroiwa@mdu.ac.jp（黒岩）

noriko.horasawa@mdu.ac.jp（洞澤）

【授業日程】

歯 科 理 工 学			
			第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者
1	4月2日(金) 3時限	印象・模型材料 印象、模型材料の種類と、その特徴および使い分け。	黒岩 昭弘 洞澤 功子
2	6月11日(金) 4時限	合着用材料 合着用材料の種類と、その特徴および使い分け。	洞澤 功子
3	8月20日(金) 3時限	レジン系材料 充填用材料、前装用材料の使用法	洞澤 功子
4	10月8日(金) 3時限	金属材料 金属材料の種類と、その特徴および使用法	洞澤 功子
5	11月5日(金) 2時限	セラミック材料 前装用陶材、ニューセラミックス	洞澤 功子

公衆衛生学

第5学年

【担当者】

教授：山賀孝之
助教：定岡 直
特任教授：牧 茂

【授業概要】

国家試験の過去問題の内容を解析し、齲蝕、歯周疾患その他の歯科疾患予防と「衛生学・公衆衛生学」の範囲も含めて解説する。また、予防歯科の地域保健および国際保健における展開を理解する。

歯科医師として、医療現場での適切な歯科保健・医療・福祉を実践するために、患者の人権と医の倫理、関連法規、診療記録等についての知識を養う。

【教科書・参考書】

【教科書】安井利一他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版）
【参考書】矢ヶ崎雅・牧茂・富田美穂子：「社会歯科学 第2版」（MDU出版）
荒川浩久他編：「口腔保健学（第2版）」（学建書院）
末高武彦他編：「新口腔保健学」（医歯薬出版）
末高武彦他編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院）
石井拓男他編：「スタンダード社会歯科学第7版」（学建書院）
厚生労働省ホームページ
国民福祉の動向（財団法人厚生統計協会）

【フィードバック方法】

試験の正答、評価への疑問や質問は担当教員へ申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。(30分)

復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。(60分)

【オフィスアワー】

月曜～金曜日

随 時

本館1階東棟 公衆衛生学講座研究室

【授業日程】

公衆衛生学			
			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	4月23日(金) 3時限	公衆衛生学① 予防と健康管理・増進 歯科疾患の予防	山賀 孝之 定岡 直
2	7月2日(金) 3時限	公衆衛生学② 齲蝕、歯周疾患のリスクと管理	山賀 孝之 定岡 直
3	8月20日(金) 4時限	公衆衛生学③ 患者の人権・医の倫理インフォームドコンセント等の患者の権利 研究倫理	牧 茂
4	10月8日(金) 4時限	公衆衛生学④ 医療関連法規 地域社会における保健国際協力と交流	牧 茂
5	10月22日(金) 2時限	公衆衛生学⑤ 介護保険行政関連事業	牧 茂
6	11月5日(金) 3時限	公衆衛生学⑥ 感染症対策、食品保健・食育 感染症対策、食品保健・食育に関する国家試験の過去問題を解析し、内容を理解しながら必要項目を暗記する。	山賀 孝之 定岡 直
7	11月26日(金) 3時限	公衆衛生学⑦ 医療統計、歯科疾患の疫学 医療統計、歯科疾患の疫学、EBMについての国家試験の過去問題を解析する。 また、最新の医療統計データについての重要項目を解説する。	山賀 孝之 定岡 直

保存修復学

第5学年

【担当者】

教授：亀山敦史

【授業概要】

歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態に関する知識、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する高度な知識を修得する。

【教科書・参考書】

- [教科書] 千田 彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版）
田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「保存修復学21（第5版）」（永末書店）
日本歯科保存学会編：「う蝕治療ガイドライン（第2版 詳細版）」（永末書店）
(http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2015.pdf からダウンロード可)
日本歯科保存学会編：「う蝕治療ガイドライン（第3版）」
(http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2020.pdf からダウンロード可)
- [参考書] 千田彰・寺下正道・寺中敏夫・宮崎真至編：「保存修復学（第6版）」（医歯薬出版）
千田彰・田上順次・寺下正道・片山直編集：「保存修復学クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

- ・理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。
- ・メールでの質問も受け付けます（atsushi.kameyama@mdu.ac.jp）。
- ・Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。

【注意事項】

- ・講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。
- ・教科書を必ず持参すること。
- ・講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。
- ・講義の撮影・録画は認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスで講義内容を確認する。(30分)

復 習：関連する国家試験過去問題をチェックする。(30分)

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日（原則講義を行った日）17時30分以降
本館3階東棟 歯科保存学講座 教授室

【授業日程】

保存修復学			
			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	4月16日(金) 2時限	日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版」の概要① 1. エナメル質の初期う蝕への非切削での対応 2. 初発う蝕に対する検査・診断と切削介入の決定 3. 中等度の深さの象牙質う蝕におけるう蝕の除去範囲 4. 深在性う蝕における歯髄保護	亀山 敦史
2	5月7日(金) 4時限	接着歯学① 直接修復の接着法とそのメカニズム	亀山 敦史
3	6月25日(金) 2時限	接着歯学② 間接修復の接着法とそのメカニズム	亀山 敦史
4	8月27日(金) 4時限	窩洞①	亀山 敦史
5	10月1日(金) 3時限	窩洞②	亀山 敦史
6	11月5日(金) 4時限	協同学修 ・問題演習 ・グループ演習	亀山 敦史

歯 周 病 学

第5学年

【担当者】

教授：吉成伸夫
助教：尾崎友輝、中村 卓
非常勤講師：二宮雅美

【授業概要】

1. 歯周組織検査、診断、治療計画
2. 歯周基本治療
3. 口臭
4. 咬合性外傷
5. 歯周外科療法

【教科書・参考書】

〔教科書〕 吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基喆編：「臨床歯周病学（第2版）」（医歯薬出版株式会社、2013）
野口俊英編：「最新の歯周外科手術を基本からマスターしよう—基本から高度症例への応用まで—」（第1歯科出版、2010）
〔参考書〕 吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション、2018）

【フィードバック方法】

疑問がある場合にはオフィスアワーを利用し質問に来ること。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認し、事前に講義概容について教科書・参考書等で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義内容を復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（45分）

【オフィスアワー】

月～金曜日 18：00～19：00

本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

歯 周 病 学				第 5 学年
回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	4月16日(金) 4時限	歯周病学① 歯周病の分類、検査項目について	中村 卓	
2	5月14日(金) 4時限	歯周病学② 歯周疾患の治療計画 歯周病治療の流れ 1. 医療面接、インフォームド・コンセント 2.モチベーション 3. 歯周基本治療 4. 再評価検査 5. 歯周外科療法 6. 口腔機能回復療法 7. 歯周維持療法 (SPT) 8. メインテナンス	尾崎 友輝	
3	6月25日(金) 4時限	歯周病学③ 歯周基本治療の種類、目的、適応、方法について	尾崎 友輝	
4	8月27日(金) 3時限	歯周病学④ 歯周外科治療(1) 切除療法、組織付着療法、歯周組織再生療法について	二宮 雅美	
5	10月8日(金) 1時限	歯周病学⑤ 歯周外科治療(2) 歯周形成外科手術の目的、適応、術式について	二宮 雅美	
6	11月12日(金) 4時限	歯周病学⑥ 口臭の原因、診断、治療について 咬合性外傷とその治療法について	中村 卓	

歯内治療学

第5学年

【担当者】

教授：増田宜子

【授業概要】

講義・基礎実習で修得した知識・技能をどのように臨床実習に生かして、水準1・2レベルの自験ケースに対応するかについて教授する。また、一連の治療に関する動画を供覧する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 勝海一郎他：「歯内治療学（第5版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 興地隆史他編：「第5版エンドドンティクス」（永末書店）

須田英明他編：「エンドドンティクス21 改訂版」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）

【フィードバック方法】

定期試験については解説時間、Weekly Test については講義のはじめに前回の解答と解説を行う。

【注意事項】

すでに学習した内容ではあるが、臨床実習中に気付いたことや疑問を中心に講義後の復習を十分行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：3年後期、4年前期の講義と4年後期の基礎実習で学習した教科書・ノートを復習する。臨床実習での疑問点を質問できるようまとめる。（15分）

復習：臨床実習に生かせるよう、教科書・講義プリントを見直し学習する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日 18:00～19:00

本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

歯内治療学				第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者	
1	4月16日(金) 3時限	臨床講義の進め方、定期試験について 1. 歯髄疾患 2. 歯髄保存療法 3. 歯髄除去療法 (高齢者への対応含む)	増田 宜子	
2	5月14日(金) 3時限	1. 根尖性歯周疾患 2. 根尖性歯周疾患の治療 (高齢者への対応含む)	増田 宜子	
3	6月25日(金) 3時限	歯内-歯周疾患 緊急処置 偶発症と安全対策	増田 宜子	
4	8月27日(金) 2時限	根管処置 (髄室開拓、根管形成 手用 Ni-Ti) 根管処置 (化学的清掃、根管貼薬、仮封)	増田 宜子	
5	10月1日(金) 4時限	根管充填 (側方加圧、垂直加圧)	増田 宜子	
6	11月12日(金) 3時限	まとめ	増田 宜子	

全部床義歯補綴学

第5学年

【担当者】

教授：樋口大輔、黒岩昭弘

講師：吉田裕哉、藤井政樹

【授業概要】

全部床義歯学、部分床義歯学の総復習を行う。同時に行われる臨床実習により得られる実践的な知識も加えて、出題された国家試験の内容をキーワード抽出により意識し、補綴診療のポイントを確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無歯顎補綴学」（学建書院）

黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）

細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 細井紀雄他編「無歯顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版）

山下秀一郎編：有床義歯補綴学（永末書店）

藍 稔：補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識（学研書院）

【フィードバック方法】

講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）

復 習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了時から当日18：30まで

樋口大輔、吉田裕哉、藤井政樹：本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

黒岩昭弘：本館4階西棟 歯科理工学講座教授室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

全部床義歯補綴学			
			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	4月23日(金) 1時限	全部床義歯補綴学① 人体の正常構造と機能、咬合・咀嚼 主要症候、検査、治療、高齢者の歯科診療 全部床義歯の要件と構成、診査と診断 治療計画・前処置、印象、模型、咬合床	樋口 大輔 黒岩 昭弘
2	5月14日(金) 1時限	全部床義歯補綴学② 咬合採得、咬合器	黒岩 昭弘
3	7月2日(金) 1時限	全部床義歯補綴学③ 人工歯排列、歯肉形成、試適 埋没、重合、削合、研磨	吉田 裕哉
4	8月27日(金) 1時限	全部床義歯補綴学④ 装着、調整、術後管理・患者教育	藤井 政樹
5	10月8日(金) 2時限	全部床義歯補綴学⑤ 混合問題	吉田 裕哉
6	11月12日(金) 1時限	全部床義歯補綴学⑥ 混合問題	吉田 裕哉

部分床義歯補綴学

第5学年

【担当者】

教授：樋口大輔

講師：笠原隼男、富士岳志

【授業概要】

全部床義歯学、部分床義歯学の総復習を行う。同時に行われる臨床実習により得られる実践的な知識も加えて、出題された国家試験の内容をキーワード抽出により意識し、補綴診療のポイントを確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 山縣健佑・黒岩昭弘：「図説無歯顎補綴学」（学建書院）

黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）

藍稔他編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）

歯科医師国家試験対策研究会：「セレクト部分床義歯」（学建書院）

赤川安正他編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）

細井紀雄他編：「無歯顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版）

細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）

五十嵐順正他編：「パーシャルデンチャーテクニック（第5版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 黒岩昭弘：「全部床義歯学 サイドリーダー（第5版）」（学建書院）

市川哲雄他編：「無歯顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）

復習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了時から当日18：30まで

本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

部分床義歯補綴学				第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者	
1	4月23日(金) 2時限	部分床義歯補綴学① 総論、クラスプ、その他の構成装置、連結装置	樋口 大輔 笠原 隼男	
2	5月14日(金) 2時限	部分床義歯補綴学② 診査・診断、前処置 印象採得	笠原 隼男	
3	7月2日(金) 2時限	部分床義歯補綴学③ 設計、咬合採得	笠原 隼男	
4	9月3日(金) 1時限	部分床義歯補綴学④ 口腔内装着・試適・調整、術後管理	笠原 隼男	
5	10月1日(金) 1時限	部分床義歯補綴学⑤ 特殊な義歯、その他 睡眠歯科医学	富士 岳志	
6	11月12日(金) 2時限	部分床義歯補綴学⑥ 部分床義歯治療のまとめ	笠原 隼男	

クラウンブリッジ補綴学

第5学年

【担当者】

教授：樋口大輔
講師：山口葉子
特任教授：倉澤郁文

【授業概要】

臨床実習にて習得する知識、技術、態度の中でクラウンブリッジ補綴学の臨床を行う上で必要となる知識領域の理解を4年次よりさらに深化させるべく、実習期間中に遭遇できる症例、あるいはそれ以外の症例を含めた一口腔単位の治療の流れを中心とした治療計画、方法、術式等についてより具体的に解説する。

【教科書・参考書】

【教科書】 會田雅啓ほか編「冠橋義歯補綴学テキスト」（永末書店）
矢谷博文・三浦宏之・細川隆司・小川匠編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版）
赤川安正・松浦正朗・矢谷博文・渡邊文彦編：「よくわかるインプラント学」（医歯薬出版）
古谷野潔・前田芳信・松村英雄・矢谷博文編：「プロトンデンティクス第1巻」（永末書店）

【参考書】 冠・架工義歯学 4年次講義資料
冠・架工義歯学実習（4年次）実習帳
日本補綴歯科学会編：「歯科補綴学専門用語集」（医歯薬出版）
菅沼岳史：「クラウン・ブリッジ補綴学サイドリーダー」（学建書院）

【フィードバック方法】

講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：事前にシラバスに該当する内容を教科書で確認し、授業の目的を理解しておくこと。（15分）

復習：講義終了後は講義内容についてノート、教科書、講義資料を復習し、理解できていないところがないか再確認すること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了時から当日18：30まで

山口葉子：本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

倉澤郁文：本館4階西棟 共同教授室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

本館4階東棟 共同教授室

【授業日程】

クラウンブリッジ補綴学			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	4月16日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学① クラウン・ブリッジの要件、支台装置、ブリッジの種類、ボンティック、連結部	樋口 大輔 倉澤 郁文
2	5月21日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学② 診査と診断、治療計画、前処理、支台菌形成、診査と診断、治療計画、前処理、支台築造、支台菌形成、テンポラリークラウン・ブリッジ、印象、咬合採得	倉澤 郁文
3	6月25日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学③ 診査と診断、治療計画、前処理、支台菌形成、診査と診断、治療計画、前処理、支台築造、支台菌形成、テンポラリークラウン・ブリッジ、印象、咬合採得	倉澤 郁文
4	9月3日(金) 2時限	クラウンブリッジ補綴学④ 作業用模型、咬合器付着、蝟型形成、埋没、鑄造、ろう付け、研磨、試適、装着、術後管理	倉澤 郁文
5	10月1日(金) 2時限	クラウンブリッジ補綴学⑤ ①～④の内容を踏まえ座学では分かりにくい臨床判断について説明する。	倉澤 郁文
6	11月19日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学⑥ インプラントの概論	山口 葉子

口腔外科学

第5学年

【担当者】

講師：中山洋子

【授業概要】

第3、4学年の講義で学んだ基礎知識の中で、特に臨床現場で必要とされる知識を中心に学習する。

【教科書・参考書】

- 〔教科書〕 白砂 兼光・古郷 幹彦：「口腔外科学 第4版」(医歯薬出版)
榎本 昭二・道 健一・天笠 光雄他：「最新口腔外科学 (第5版)」(医歯薬出版)
山根 源之他編：「口腔内科学」(永末書店)
- 〔参考書〕 道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」(永末書店)
栗田 賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療 (第5版)」(永末書店)

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は担当教員に確認すること。

【注意事項】

- 実際の医療に携わることを念頭においた知識の習得に励むこと。
自らが診療するつもりで、正しい診察、検査が行えるよう確実な知識を身に着けること。
不明な点はまず自分自身で調べて、理解するように努力すること。主体的に学習する能力を習得すること。

【準備学習時間 (予習・復習)】

60分

- 予 習：事前に第3、4学年の講義資料および教科書、参考書を用いて、該当する部分を予習する。(15分)
復 習：講義終了後は講義資料を用いて復習する。不明な点があれば、担当教員に質問し、確実に理解する。(45分)

【オフィスアワー】

- 月曜日・水曜日 17:30~18:30
本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室、医局
オフィスアワー以外で質問等ある場合は事前に日程を確認すること

【授業日程】

口腔外科学 第5学年			
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	4月23日(金) 4時限	口腔外科における診察と診断診断に必要な医療面接と診察について 1. 主訴、現病歴を細かく聞き取る。 2. 全身疾患を理解する。 3. 全身的症候を読み取る。 4. 局所的症候を読み取る。	中山 洋子
2	5月21日(金) 3時限	口腔外科疾患の診断に必要とされる検査法・画像診断 ・エックス線写真 ・CT ・MRI・超音波 ・シンチグラフィ ・PET - CT 血液検査 病理組織検査 細胞診	中山 洋子
3	7月2日(金) 4時限	口腔外科小手術外来で行われる口腔外科手術とその手技について ・外科基本手技 消毒、局所麻酔、切開、剥離、止血、縫合 ・拔牙術 ・歯根端切除術 ・歯牙移植術	中山 洋子
4	9月3日(金) 3時限	損傷・軟組織損傷 損傷の種類 ・歯牙の損傷 歯の脱臼 歯の破折 ・顎骨骨折 歯槽骨骨折 上顎骨骨折 下顎骨骨折 頬骨骨折 吹き抜け骨折 鼻骨骨折	中山 洋子
5	10月15日(金) 1時限	顎変形症 ・顎変形症の手術 嚢胞 ・嚢胞の治療法	中山 洋子
6	11月19日(金) 3時限	腫瘍 ・良性腫瘍の治療法 ・悪性腫瘍の治療法 切除術 頸部郭清術 再建術 化学療法 放射線療法	中山 洋子

歯科矯正学

第5学年

【担当者】

教授：岡藤範正

准教授：川原良美

【授業概要】

臨床実習の理解を深めるために乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療の特徴を理解し、適切な治療方針、治療装置を選択する。

矯正歯科材料、矯正装置の特性を適応症を的確に理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 相馬邦道・飯田順一郎・山本照子・葛西一貴・後藤滋巳編：「歯科矯正学 第6版」（医歯薬出版）

清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」（医歯薬出版）

「歯科矯正学基礎実習マニュアル」

「歯科矯正学臨床実習マニュアル」

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に掲示するので確認すること

【注意事項】

講義で配付した資料と教科書を持参する。

【準備学習時間（予習・復習）】

120分

予 習：事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておく。(60分)

復 習：講義後は、配付資料、臨床実習内容を復習すること。(60分)

【オフィスアワー】

授業日（18：00～20：00）本館2階東棟 歯科矯正学講座医局、教授室

オフィスアワー以外の時間帯でも在室時は随時可能

連絡先 E-mail：岡藤範正：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

【授業日程】

歯科矯正学 第5学年			
回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担当者
1	4月30日(金) 1時限	歯科矯正学① 顔面頭蓋の成長発育 正常咬合 不正咬合	岡藤 範正
2	5月21日(金) 2時限	歯科矯正学② 側面頭部エックス線規格写真分析法について 模型分析 矯正力 顎整形力	岡藤 範正
3	7月9日(金) 1時限	歯科矯正学③ 不正咬合の種類 適応に応じた矯正治療法 歯科矯正材料 矯正治療装置	岡藤 範正
4	9月3日(金) 4時限	歯科矯正学④ 乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療	岡藤 範正
5	10月15日(金) 2時限	歯科矯正学⑤ 顎変形症の矯正歯科治療 保定の意義とその種類	岡藤 範正
6	11月19日(金) 2時限	歯科矯正学⑥ 総まとめ	岡藤 範正 川原 良美

歯科放射線学

第5学年

【担当者】

教授：田口 明

講師：黒岩博子、杉野紀幸

【授業概要】

歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断について十分な知識を習得するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法ならび放射線治療の基礎について理解し習得する。

【教科書・参考書】

〔参考書〕金田隆編：「Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義」（学建書院）

【フィードバック方法】

試験において正解率が特に低い問題について詳細な説明を行う。

【注意事項】

講義内容の不明点は、積極的に質問し解決すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

金曜日 18：00～19：00

本館5階西棟 歯科放射線学講座研究室

【授業日程】

歯科放射線学				第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者	
1	4月30日(金) 3時限	画像読影・画像検査法	杉野 紀幸	
2	5月21日(金) 4時限	画像診断（顎骨・口腔隣接領域）	黒岩 博子	
3	7月9日(金) 3時限	放射線治療	田口 明	
4	9月10日(金) 3時限	特殊検査画像の実際	田口 明	
5	10月15日(金) 3時限	特殊検査画像の実際(2)	田口 明	
6	11月19日(金) 4時限	放射線の影響と防護	黒岩 博子	

小児歯科学

第5学年

【担当者】

教授：大須賀直人

准教授：正村正仁、中村浩志

講師：中山 聡、森山敬太

【授業概要】

小児期から成人に至る口腔機能を維持、増進することを目的に全身と口腔領域の正常な成長発育、口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法ならびに口腔健康管理を改めて理解し習得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学研書院）

〔参考書〕大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）

大須賀直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版）

大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）

大須賀直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU 出版会）

大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【注意事項】

5学年であることを自覚し、言語、行動や身だしなみに気をつけること。

教科書は必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日

15：30～18：30

本館2階東棟 小児歯科学講座医局

【授業日程】

小児歯科学			
			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	4月30日(金) 2時限	小児の齲蝕予防と進行抑制、乳歯および幼若永久歯の歯冠修復 乳歯および幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順	森山 敬太
2	5月28日(金) 1時限	小児の歯内療法 小児の歯周疾患 乳歯、幼若永久歯の齲蝕、歯髄炎の診察、検査と診断、治療法 小児の歯周疾患および口腔粘膜疾患の種類、原因、診察、検査、診断、および処置	中村 浩志
3	7月9日(金) 2時限	小児の歯の外傷 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後 小児の外科的処置	大須賀直人
4	9月10日(金) 1時限	咬合誘導成長発育期の不正咬合予防と静的および動的咬合誘導	正村 正仁
5	10月15日(金) 4時限	留意すべき小児疾患	中山 聡
6	11月26日(金) 1時限	小児歯科臨床	中村 浩志

障がい者歯科学

第5学年

【担当者】

教授：靛島弘之

講師：望月慎恭、富士岳志

【授業概要】

障がい者の歯科治療について概説する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕日本障害者歯科学会編：「スペシャルニーズ デンティストリー（初版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Weekly Test 結果を確認し、次回講義で補足する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：あらかじめキーワードを調べ把握しておくこと。（20分）

復習：講義内容をまとめる。（40分）。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

障がい者歯科学				第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者	
1	4月30日(金) 4時限	障がい者歯科総論	望月 慎恭	
2	5月28日(金) 2時限	高齢者歯科総論	富士 岳志	
3	7月9日(金) 4時限	行動調整法まとめ	配島 弘之	
4	9月10日(金) 2時限	リスクマネジメント・クライシスマネジメント 緊急時の対応	望月 慎恭	

摂食嚥下療法学

第5学年

【担当者】

教授：靛島弘之

【授業概要】

臨床実習で経験する摂食嚥下リハビリテーションについて概説する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 向井美恵・山田好秋：「歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Test 結果を確認し、次回講義で補足する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：あらかじめキーワードを調べ把握しておくこと。（20分）

復 習：講義内容をまとめる。（40分）。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

摂食嚥下療法学				第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者	
1	5月7日(金) 1時限	摂食嚥下リハビリテーションの流れと概要	靱島 弘之	
2	7月16日(金) 1時限	摂食嚥下障害を引き起こす疾患	靱島 弘之	
3	11月26日(金) 4時限	摂食嚥下リハビリテーションの基本的対応	靱島 弘之	

歯科麻酔学

第5学年

【担当者】

教授：澁谷 徹

講師：谷山貴一

【授業概要】

歯科治療時の全身管理および精神鎮静法について修得する。

歯科治療時の全身偶発症と救急処置について修得する。

口腔顎顔面領域の疼痛治療について修得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕丹羽 均・入船 正浩・小長谷 光・澁谷 徹・深山 治久編：「第5版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）

〔参考書〕嶋田 昌彦・相山 加綱・深山 治久・丹羽 均編：「わかる！できる！歯科麻酔実践ガイド」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。

【注意事項】

講義内容の不明な点は、積極的に質問して解決すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスの講義内容につき、教科書および参考書を用いて予習を行うこと。（30分）

復 習：講義資料や講義ノートを用いて復習すること。（30分）

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16：30～17：30

本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局

他の曜日、時間も予約をすれば対応可能

【授業日程】

歯科麻酔学			
			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	5月7日(金) 2時限	救急処置 1. 一次救命処置 2. 二次救命処置	谷山 貴一
2	5月28日(金) 3時限	全身状態評価法 1. 診察 2. バイタルサイン 3. 手術危険度評価 全身管理上問題となる疾患 1. 循環器系疾患 2. 呼吸器系疾患 3. その他の疾患	谷山 貴一
3	7月16日(金) 2時限	歯科治療時の全身的偶発症 1. 血管迷走神経反射 2. 過換気症候群 3. アナフィラキシーショック 4. 異物の誤飲・誤嚥	澁谷 徹
4	9月10日(金) 4時限	歯科治療時の全身的偶発症 5. 内科的基礎疾患の増悪 ①異常血圧上昇 ②不整脈 ③心筋虚血 ④喘息発作 ⑤その他の偶発症	澁谷 徹
5	10月22日(金) 1時限	疼痛治療 1. 三叉神経痛 2. 非菌原性菌痛 3. 星状神経節ブロック 4. 癌性疼痛治療法	澁谷 徹
6	11月26日(金) 2時限	歯科治療時の全身管理 1. モニタリング 2. 精神鎮静法	澁谷 徹

医療面接学

第5学年

【担当者】

准教授：森 啓

【授業概要】

医療倫理

プロフェッショナルリズム

医療面接

1. 医療面接の意義と目的
2. 病歴聴取と臨床推論
3. 症状に基づいた医療面接
4. 行動変容に必要な媒体とスキル

コミュニケーションの基本

1. 非言語コミュニケーション

診療の基本

1. 電子カルテの仕組と電子カルテ入力の注意
2. セカンドオピニオン
3. チーム医療
4. 診療器具と診療チェア使用の基本
5. 総合診療計画の立案

【教科書・参考書】

- [参考書] 伊藤孝訓：第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス（シエン社）
伊藤孝訓・寺中敏夫：「歯科医療面接の実際」（クインテッセンス出版）
斉藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）

【フィードバック方法】

臨床実習において個別に指導する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

- 予 習：シラバス内容を確認し、講義内容をしっかり把握すること。(30分)
復 習：講義の内容について、教科書・参考書を利用し、理解する。(30分)

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30以降

本館2階北棟 病院共同教員室

【授業日程】

医療面接学			
			第5学年
回数	授業日 時間	項目・講義内容	担当者
1	5月7日(金) 3時限	臨床実習における医療面接とプロフェッショナリズムを説明できる。 口腔内診査の方法と治療計画の基本を説明できる。	森 啓
2	5月28日(金) 4時限	医療面接における患者に必要なコミュニケーションスキルを説明できる。 患者の心理状態を把握できる。	森 啓
3	7月16日(金) 3時限	医療面接における臨床推論を説明できる。 患者のインフォームド・コンセントと行動変容の技法を説明できる。 医療面接の実際の技法について説明できる。	森 啓
4	9月17日(金) 1時限	医療面接において収集した内容を診療録に記載できる。 問題志向型診療システムを説明できる。	森 啓

臨床実習 (D5500)

社会的使命の正しい理解に裏付けられた確固たる倫理観に基づき、歯学に関連した社会的使命を有効に遂行しうる人材を養成することを目的とした、歯学部教育の最終段階が病院での臨床実習である。

この実習にあたっては歯科医学生としての立場をよく理解し、医療人として患者に奉仕する姿勢を忘れず、常に自己を律し、患者の信頼に十分応えることが出来るよう、実習指導者の指示に従わなくてはならない。

臨床実習の内容は、精巧なマネキンを使ってのシュミレーション実習、学生相互による診療行為、医局員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為の実施である。

【臨床実習心得】

臨床実習は、歯科医師になるために医療人としての心得えと診療に必要な技術に実際に修得するもので、歯科大学における教育の総括である。既修の教育ならびに専門課程（基礎科目、臨床科目）にわたる日頃の勉学の成果を十分に生かし、教員の適切な指導のもと、本大学及び大学病院の諸規定と、この実習心得を基として積極的な姿勢をもって望まなくてはならない。また、対象となる患者は肉体的苦痛と精神的負担とを負っているため、常に親切を旨とし、誠意ある言動で接しなくてはならない。

【登院に際しての一般的心得】

A. 服装・身だしなみ等……………臨床実習期間中は、下記の事項を厳守すること。

不適切な服装・身だしなみの者は、臨床実習を行うことはできず、欠席扱いとする。

1. 本学指定の診療衣、名札を着用する。
2. 診療中は原則としてマスクとゴム手袋を着用する。
3. 病院内では指定の上履きを使用する。（革製、白色）
4. 整髪、手指の爪を切る等、身体は勿論服装も常に清潔に保つ。
5. 茶髪・ひげ・装身具（ピアス等）・香水・オーデコロン等の類は禁止する。
6. 診療衣のまま学外へ出ることは禁止する。
7. 診療室をはじめ病院内各所の実習場所は絶えず清潔を保つよう努める。
8. 指定の喫煙所を除き、病院内はすべて禁煙である。
9. 病院内では静粛を旨とし、みだりに談笑等をしない。
10. 病院内での携帯電話の使用を禁止する。

B. 患者に対する態度と取扱い

1. 患者に対しては懇切丁寧を旨とし、不親切、不勉強または怠慢により迷惑をかけないように注意する。
2. 診療上知り得た個人の秘密に関する事項は他人に絶対漏らさず、その病名、症状に関しても理由なく公開してはならない。
3. 診療記録（カルテ、プロトコル、画像等）の閲覧は許可を得て行う。
4. 各科により多少異なるところがあるので、詳細は各科実習指導者の指示に従うこと。

C. 履修期、実習時間、出欠席

1. 全期を、第1、第2クールに期間を分けて実施する。
2. 出欠席、遅刻、早退については各科で取り扱っているため、各科実習指導者の指示に従うこと。

D. 機械、器具及び材料の扱い

1. 病院備え付けの機器類は慎重に取り扱い、破損、紛失することのないようにする。
2. 所要の個人器機を有しない者は臨床実習を行うことができない。
3. 各自が使用する器機の欠損、故障は直ちに補充、修理し、常に整備しておくこと。
4. 学生相互間における器機及び材料の交換または賃借を禁ずる。
5. 備え付けの器機は使用場所より持ち出さず、各自の機器は所定の場所に保管する。

【臨床実習実施上の規定要項】

すべての臨床実習は、各科実習指導者の指示監督のもと、本大学病院内で、病院の諸規定に準じて行われる。

臨床実習の実施に関する具体的総括は病院長の責任下におく。

A. 実習時間及び日程

1. すべての実習は、規定された時間内に行うこと。特別の事由がある場合は、指導教員の許可を受け、その立ち会

いのもとに時間外にこれを行い得る。

2. 臨床実習は各々定められた日程表により行われる。

B. その他

如何なる理由があっても、病院外で診断、診療に類する一切の行為をしてはならない。

(たとえ歯科医師の監督のもとでも退学などの嚴重な処分となる。)

C. その他実習期間中の留意点

以上連記した臨床実習心得に著しく違反し、臨床実習学生の本分に反した行為があると認められた者は訓告、実習停止、停学または退学処分に附せられることがある。

保存修復学

第5学年

【担当者】

教授：亀山敦史、山本昭夫、安西正明
講師：小町谷美帆
助教：小松佐保、甲田訓子、中村圭吾
非常勤講師：石井敏裕

【一般目標（GIO）】

個々の患者に適した齲蝕治療および非齲蝕性硬組織疾患の歯科医療を提供するために、より高度な保存修復学に関する知識、技能および態度を修得する。

【行動目標（SBOs）】

【審美歯科ベーシックコースⅠ・Ⅱ】

1. 変色菌の対応について、その方法と各々の侵襲度を説明できる。(想起・解釈)
2. 各々の変色菌の対応法について、適応症を選択できる。(問題解決)
3. 歯のホワイトニングのメカニズムを説明できる。(想起)
4. 歯のホワイトニングに必要な準備を実践できる。(技能)
5. 歯のホワイトニングに用いるカスタムトレーを製作できる。(技能)
6. 歯のホワイトニングを実践できる。(技能)
7. 歯のホワイトニングについて、患者に説明すべき事項を列挙できる。(想起)
8. 歯の再石灰化療法を列挙できる。(想起)
9. 歯の再石灰化療法に使用する材料とその使用方法を説明できる。(想起)
10. 歯の再石灰化療法を実践できる。(想起)
11. ベニア修復を分類できる。(想起)
12. コンポジットレジンダイレクトベニア修復に用いる器材を選択できる。(問題解決)
13. コンポジットレジンダイレクトベニア修復をマネキン上で実践できる。(技能)
14. 患者の苦痛や痛み配慮できる。(態度)
15. 医療安全に配慮できる。(態度)
16. 清潔に配慮できる。(態度)

【臨床実地問題作成演習】

1. 臨床実地問題の構成を説明できる。(想起)
2. 視覚素材に提示された情報を分析できる。(解釈)
3. 提示された情報を基に問題を作成できる。(問題解決)
4. 与えられた課題をグループ討論できる。(技能)
5. 討論に積極参加できる。(態度)
6. 出題のねらいを推測できる。(解釈)
7. 出題のねらいをプレゼンテーションできる。(技能)

【保存修復学早朝ミニレクチャー】

1. 歯科用バキュームの使用目的とその方法を説明できる。(想起)
2. 治療部位に応じたバキュームの挿入部位を説明できる。(想起)
3. バキュームの挿入禁忌部位を列挙できる。(想起)
4. 齲蝕病巣の構造を図示し、それぞれの層の特徴を説明できる。(想起)
5. 根面齲蝕の特徴とその臨床的対応を説明できる。(想起)
6. 各種歯科用レーザーの特徴を説明できる。(想起)
7. レーザーの安全な使用法を説明できる。(想起)
8. 各種レーザーの適応症について説明できる。(想起)

9. Tooth wear の臨床的特徴とその対応を説明できる。(想起)
10. 修復前準備を列挙し、その方法を説明できる。(想起)
11. 各種修復前準備に用いる使用器具を選択できる。(解釈)
12. 象牙質・歯髄複合体の保護法を分類し、各々の適応と臨床的対応を具体的に説明できる。(想起)
13. グラスアイオノマーセメントの使用用途を列挙できる。(想起)
14. 用途に応じたグラスアイオノマーセメントを選択できる。(解釈)
15. 修復物に応じた被着面処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起)

【臨床実習】

1. Standard precautions を実施できる。(技能)
2. 清潔に配慮できる。(態度)
3. 手指、器具および技工物などの消毒・滅菌を実施できる。(技能)
4. 医療廃棄物を適切に処理できる。(技能)
5. 感染予防対策マニュアルに沿って対応できる。(態度)
6. 安全性に配慮できる。(態度)
7. 危機管理マニュアルに沿って対応できる。(態度)
8. バキュームを操作できる。(技能)
9. 医療従事者として好ましい態度で患者とその家族に対応できる。(態度)
10. 患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景に配慮できる。(態度)
11. 患者情報を収集できる。(技能)
12. プライバシーに配慮できる。(態度)
13. 得られた患者情報を分析できる。(解釈)
14. 歯の硬組織疾患の診断に必要な器材を選択できる。(問題解決)
15. 歯の硬組織疾患の診断に必要な器材を使用できる。(技能)
16. 各々の症例について、問題点の重要性和緊急性を判定できる。(解釈)
17. 診断名を推定できる。(解釈)
18. 診断理由を説明できる。(解釈)
19. 齲蝕性および非齲蝕性硬組織疾患の治療法を、主観的・客観的所見に応じて選択できる。(問題解決)
20. SOAP 形式で診療録を作成できる。(技能)
21. 齲蝕、その他歯の硬組織疾患の簡単な処置を実施できる。(技能)
22. 象牙質知覚過敏症に対する処置を実施できる。(技能)
23. 指導医の指示に従うことができる。(態度)
24. 実施した処置を自己評価できる。(解釈)

【教科書】千田彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・齋藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版）

田上順次・奈良陽一郎・山本一世・齋藤隆史監修：「保存修復学21（第5版）」（永末書店）

【参考書】千田彰・寺下正道・田上順次・奈良陽一郎・宮崎真至・片山直編：「保存修復学臨床ガイド（第2版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

【受動的方法】

1. 早朝ミニレクチャー
2. 実習前講義、実習後講義（審美歯科ベーシックコースⅠ、Ⅱ）

・媒体（受動的方法）：

1. PC、パワーポイント、プロジェクター
2. プリント類、教科書
3. 器材パンフレット、添付文書類

【能動的方法】

1. 模型実習（審美歯科ベーシックコースⅡ：ダイレクトベニア実習）
2. 相互実習（審美歯科ベーシックコースⅠ：ホワイトニング疑似体験実習）
3. 自験

4. 協同学習（臨床実地問題作成演習）

・媒体（能動的方法）

審美歯科ベーシックコースⅠ：

1. 硬石膏、アルジネート印象材（教員側で準備）
2. 印象用トレー（学生が各自所有のもの）
3. 金冠ばさみ（学生が各自所有のもの）

審美歯科ベーシックコースⅡ：

1. 実習用顎模型（4年保存修復学実習で用いたもの）、
2. 矮小歯人工歯（新規購入器材）
3. コンポジットレジン充填器（4年保存修復学実習で用いたもの）
4. その他コンポジットレジンなど実習器材一式（教員側で準備）

協同学修（臨床実地問題作成演習）

1. PC、パワーポイント（学生が用意）
2. 視覚素材（教員側で準備）
3. 歯科医師国家試験出題基準（学生が各自ダウンロード）

【フィードバック方法】

疑問点はそのままにせず、できる限りその日のうちに解決すること。

調べても分からない事項は積極的に教員に質問すること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 口頭試問（保存修復学全般）
2. 症例に対するレポート（自験ケース／見学・診療補助ケース）
3. 自己評価シート（審美歯科ベーシックコース・臨床実地問題作成演習）

【注意事項】

1. 実習時間中は自発的かつ積極的に実習に臨むこと。
2. 何らかの理由で実習時間中に保存科（修復）診療室から離れる場合には、事前に担当インストラクターに許可を取ること。
3. 欠席する場合は必ず電話連絡すること。
4. 診療室内では医療安全や感染予防対策などに配慮し、指導者の指示に従って行動すること。
5. 医療人としてふさわしい、清潔感のある身だしなみに心がけること。
6. 病院内で知りえた個人情報を漏洩してはならない。また、診療室外での言動も含め、注意を払うこと。
7. 実習時には実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受けることができるようにしておくこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。（10分）

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。（20分）

【オフィスアワー】

随時 17：30以後

山本 保存修復学 本館東棟3階 教授室

安西 保存修復学 本館東棟3階 インストラクター室

亀山 保存修復学 本館東棟3階 教授室

補綴学（有床義歯学）

第5学年

【担当者】

教授：樋口大輔
講師：笠原隼男、富士岳志、藤井政樹、山口葉子、吉田裕哉
助教：霜野良介
助手：平井博一郎、吉野旭宏
特任教授：倉澤郁文

【一般目標（GIO）】

全部床義歯学、部分床義歯学に関する系統講義や模型実習を履修した学生が、実際に将来行われるべき補綴診療に関する治療計画立案や基本的な有床義歯による補綴診療を実施するために、必要な知識、態度および技能を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 補綴診療の流れを理解する。
2. 補綴診療に必要な一般的な診査を行う。
3. 補綴診療に特徴的な検査（フェイスボウトランスファー、ゴシックアーチ描記、チェックバイト法）を理解する。
4. 各診療操作の目的を理解する。
5. 各診療操作の方法を理解する。
6. 診療操作を相互実習として実施する。（概形印象採得、最終印象採得、咬合採得）
7. 各技工操作の目的を理解する。
8. 各技工操作の内容を理解する。
9. 技工操作を相互実習として実施する。（研究用模型製作、個人トレー製作、作業模型製作、模型装着、咬合器の顎路調整）
10. 欠損補綴の病態を理解する。
11. 欠損補綴の診断を行う。
12. 診断に基づき合理的な治療計画を立案する。
13. 顎口腔機能の回復に必要な他科との連携を理解する。
14. 高齢者の内科的疾患や社会的立場を把握し、適切に配慮する。
15. 有床義歯装着後に生じる問題の原因と対処法を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕山縣健佑・黒岩昭弘共著：「図説無菌顎補綴学」（学建書院）
藍稔他編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学」（学建書院）
黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）
歯科医師国家試験対策研究会編：「セレクト部分床義歯学」（学建書院）
細井紀雄他編：「無菌顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬）
赤川安正他編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 相互実習（製作物）
2. 各自の理解度、経験に応じてチーム診療の一員としての役割を担う

【フィードバック方法】

臨床実習手帳に基づき個別指導を行う。

【評価方法（Evaluation）】

以下により総合的に評価する。

1. 知識：実力試験、レポート

2. 技能：相互実習、技能試験
3. 態度：出席状態および診療見学を含む実習への取り組み

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(20分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(40分)

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～18：30

本館4階東棟 歯科補綴学講座

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

補綴学（クラウンブリッジ補綴学）

第5学年

【担当者】

教授：樋口大輔
講師：笠原隼男、富士岳志、藤井政樹、山口葉子、吉田裕哉
助教：霜野良介
助手：平井博一郎、吉野旭宏
特任教授：倉澤郁文

【一般目標（GIO）】

クラウンブリッジ義歯学に関する系統講義や模型実習を履修した学生が、実際に将来行われるべき補綴診療に関する治療計画立案や基本的なクラウンブリッジによる補綴診療を実施するために、必要な知識、態度および技能を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. クラウン・ブリッジ補綴治療に対する臨床的意義を説明できる。
2. 歯科補綴材料とクラウン・ブリッジ補綴治療法の種類、特徴および適応を説明できる。
3. 前処置について説明できる。
4. 築造窩洞形成の方法を理解する。
5. 適切な補綴方法の選択、設計が行える。
6. クラウン・ブリッジ補綴治療に必要な基本的な各種手技、操作が行える。
7. クラウン・ブリッジ補綴治療後の術後管理の目的と方法を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 石橋寛二他編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版）
石橋寛二他編：「クラウンブリッジテクニク」（医歯薬出版）
赤川安正他編：「よくわかる口腔インプラント学」（医歯薬出版）
〔参考書〕 藍稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学建書院）
クラウン・ブリッジ補綴学（冠・架工義歯学）（4年次講義）配付のプリント
クラウン・ブリッジ補綴学（冠・架工義歯学）実習（4年次）実習書
日本補綴歯科学会編：「歯科補綴学専門用語集」（医歯薬出版）
菅沼岳史：「クラウン・ブリッジ補綴学サイドリーダー（第3版）」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

1. マネキンを使用し、支台歯形成を行う。
2. 各自の理解度、経験に応じてチーム診療の一員としての役割を担う。

【フィードバック方法】

臨床実習手帳に基づき個別指導を行う。

【評価方法（Evaluation）】

- 以下により総合的に評価する。
1. 知識：実力試験、レポート
 2. 技能：相互実習、技能試験
 3. 態度：出席状態および診療見学を含む実習への取り組み

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(20分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(40分)

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～18：30

本館4階東棟 歯科補綴学講座

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

医療面接学

第5学年

【担当者】

教授：内田啓一

准教授：森 啓

助教：大木絵美、高谷達也、喜多村洋幸、岩崎由紀子

助手：伊能利之、堀内竜太郎、加藤華子

【一般目標（GIO）】

適切な診療を行うために、初診時の円滑な医療面接と総合診療計画立案に必要な知識・態度・技能を習得できる。

【行動目標（SBOs）】

1. 初診患者に対して安全かつ円滑な医療面接環境を整備できる。
2. 患者中心の医療のために十分に精神的・倫理的・社会的背景に配慮できる。
3. 初診時医療面接時に必要なインフォームドコンセントを行うことができる。
4. 主訴、病歴の聴取ができる。
5. 適切な口腔内診査項目を説明できる。
6. 適切な診断法を説明し、立案できる。
7. 記載すべき内容を的確に理解し、診療録を作成できる。
8. 総合診療計画を説明でき、立案を行える。
9. 口臭の原因を説明できる。
10. 口臭の測定ができる。

【教科書・参考書】

【参考書】伊藤孝訓・寺中敏夫編：「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」（クインテッセンス出版）

斎藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）

伊藤孝訓：「第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）

【教育（学習）方略（LS）】

一口腔単位の歯科治療を行うために患者情報の収集・分析、診断、治療計画、記録についての知識・技能及び態度を修得し、患者との良好な関係を構築できる。

診断、歯科治療に必要な検査を実施できる知識、技能、態度が修得できる。

1. ロールプレイによる医療面接
2. シミュレーションの症例を用いて必要な検査・診察・治療方針の立案できる。
3. 初診患者に対する医療面接ができる。（自験ケース）
4. 医療面接、検査、診察、結果より診療録記載、治療方針立案できる。
5. 口臭の測定ができる。（相互実習）

【フィードバック方法】

1. 臨床実習手帳に基づき個別指導を行う。
2. プレ・テスト、ポスト・テストの結果により個別を行う。

【評価方法（Evaluation）】

1. 臨床実習手帳を用い、行動目標に準じる項目について点数（score）を付与する。
2. プレ・テスト、ポスト・テストを実施し知識の修得状況を確認する。
2. 医療面接評価シートによる評価
3. 診療録・総合診療計画書の評価
4. 個人評価点には概略評定（出欠席を含む）を勘案する。

【注意事項】

臨床に参加することを理解し、医療人として相応しい態度で積極的に臨床実習に臨むこと。
身だしなみに留意し、時間を厳守すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(20分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容、質問事項を復習する。(40分)

【オフィスアワー】

月曜～金曜日 18：00～

本館2階北棟病院共同教員室

口腔外科学

第5学年

【担当者】

教授：芳澤享子、各務秀明、植田章夫

講師：中山洋子

助教：佐藤 工、齋藤安奈

【一般目標 (GIO)】

講義で学んだ知識を基盤として、実際の口腔外科診療に必要な知識と手技の基本を習得する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 医療面接が行える。
2. 患者の現症の把握ができる。
3. 診断手順を理解する。
4. 臨床検査の評価ができる。
5. 診断内容を理解する。
6. 治療方法を理解する。
7. 治療薬の薬理作用が説明できる。
8. 器械・器具の使用法を習得する。
9. 外科手技の基本を習得する。
10. 治療の合併症を理解する。
11. 手術法を理解する。
12. 術後の経過を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】白砂 兼光・古郷 幹彦監：「口腔外科学（第4版）」（医歯薬出版）

榎本 昭二・道 健一・天竺 光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版）

山根 源之他編：「口腔内科学」（永末書店）

【参考書】道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店）

栗田 賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店）

【教育（学習）方略 (LS)】

外来診療では抜歯、小手術を中心とした観血的治療を、手術室や病棟では手術手技や入院患者の管理を見学、介助、実践し、それらに関する討議をすることによって知識の確認がなされ、目標の到達をはかる。外来・病棟を問わず、積極的に多くの症例に接することによって、疾患とその治療法を系統立てて理解するとともに、基本的な外科器具の使用法および手技を習得する。

【フィードバック方法】

ポートフォリオやレポート提出時に解説を行う。不明な点、疑問点については担当教員に確認すること。

【評価方法 (Evaluation)】

1. 出席日数および臨床実習手帳による評価が基準をみたすこと。
 2. 実地試験が期日内に終了していること。
- 以上の2項目を達成した場合に合格とする。

出席はポートフォリオの検印にて判定する。ポートフォリオの検印は、当日担当となったインストラクターが午前、午後それぞれにチェックを行う。出席印と記載の完了印両方が押されていることが出席判定の条件である。（インストラクターが会議等で終了時不在の場合には、他のインストラクターから評価を受けること）。原則として実習当日以外の評価は認めない。

【注意事項】

1. 患者と接し医療に携わる自覚を持って、身だしなみや行動に留意すること。
2. 将来医療に携わるに十分な能力を養うために努力し、日頃から学習すること。
3. 診療室をやむを得ない事情で退出する時は理由を説明し、インストラクターの許可を取ること。無断退出は当日の単位を認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

45分

予 習：事前に当日の診療内容について、教科書・参考書で予習を行うこと（15分）

復 習：当日の診療内容を教科書・参考書を中心に整理すること（30分）

【オフィスアワー】

火曜日・木曜日 17：00～18：00

本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教室および医局

歯科矯正学

第5学年

【担当者】

教授：岡藤範正
准教授：影山 徹、川原良美
講師：村岡理奈
助教：西村恵子
助手：深沢香菜子、中根 隆、植本達也、丸山歩美、平岡敬太
非常勤講師：荒井 敦、津村智信、三原正志、徳田吉彦、宮本剛至

【一般目標 (GIO)】

1. 患者と良好な関係を築き、プロフェッショナリズムを理解するために、医療人としての基本的な知識、態度および技能を修得する。
2. 矯正歯科治療計画を立案するために、検査・診断・治療における基本的な知識・技能を修得する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 生涯学習を意識し、臨床技能研鑽を継続する。(態)
2. 歯科医師の社会的役割を意識し、熱意をもって毎日の臨床実習に臨む。(態)
3. 臨床実習に適した身だしなみを整える。(態)
4. チーム医療を意識し、患者、医療関係者と適切なコミュニケーションを実施する。(態)
5. 実際の外来と同様に、医師と患者間の信頼関係の構築や、治療的意義を得るためのマナーを体得する。(態)
6. 遅刻・やむを得ない場合以外の欠席なく、時間を厳守して実習に取り組むことができる。(態)
7. 治療内容を理解した上で、見学レポートを書く。(知、態)
8. 診断を積極的に見学し、内容を理解したうえで、見学レポートを書く。(知、態)
9. 矯正治療に対する理解を深め、積極的に見学・介助する。(知、技、態)
10. 正面・側面セファロの分析ができる。(知、技)
11. 模型計測・分析ができる (知、技)
12. 矯正診断結果や治療計画、矯正装置についてわかりやすく説明することができる (知、技)
13. マルチブラケット装置操作時に必要な器具を準備することができる。(態)
14. マルチブラケット装置操作時に適切な診療介助ができる。(知、技)
15. 各矯正装置の適応症例を述べるができる。(知)
16. 各矯正装置の治療効果を説明できる。(知)
17. 症例の分析・診断結果に対して口頭試問において質疑応答ができる。(知)
18. 矯正診断や治療に導入が望まれる先端技術について説明することができる。(知)
19. 治療を積極的に見学し、患者に対する配慮およびをする医療安全に対する配慮をする (技)

【教科書・参考書】

【教科書】相馬邦道・飯田順一郎・山本照子・葛西一貴・後藤滋巳編：「歯科矯正学（第5版）」（医歯薬出版）
【参考書】清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター 歯科矯正学」（医歯薬出版）
歯科矯正学基礎実習マニュアル（4年時配布）
矯正歯科臨床実習マニュアル（5年時配布）
歯科矯正学（講義）配布プリント

【教育（学習）方略 (LS)】

学生実習、外来患者に対する診療実習の2つより成る。講義において説明された学理と基礎実習で習得した技術とを有機的に結びつける。すべてインストラクターの指導下の実習を行い、診療室で職員（歯科衛生士等）から注意を受けた場合は、素直に従うこと。診療行為における勝手な行動は許されない。

- ①診断計画の立案
- ②見学ならびに介助

- ③診療器具の説明
- ④セファロ分析
- ⑤模型計測
- ⑥口頭試問およびレポート作成

【フィードバック方法】

実習の不明点がある場合には、積極的にオフィスアワーを活用すること。

【評価方法 (Evaluation)】

実習態度 (30%)、レポート (20%)、技能 (20%)、患者説明 (10%)、口頭試問 (20%)

【注意事項】

1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨む。なお、欠席する場合は必ず電話連絡をすること。
2. 病院内においては、諸規定を守り、すべて指導者の指示に従って行動する。
3. 病院内においては、常に清潔を重んじ、他人に不快な念を与えない。
4. 身だしなみには特に注意を払い、著しく不適切な髪型、化粧などをしてはならない。
5. 病院内においては、常に言動に注意を払い、真摯な態度で実習に臨む。
6. 実習時に実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受ける。
臨床の現場に参加することに対する明確な自覚を持ち、医療人として身だしなみに十分配慮し、積極的に参加すること。

【準備学習時間 (予習・復習)】

120分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(60分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(60分)

【オフィスアワー】

月曜～金曜 17:00～18:00

本館2階東棟 歯科矯正学講座医局

小児歯科学

第5学年

【担当者】

教授：大須賀直人
准教授：正村正仁、中村浩志
講師：中山 聡、森山敬太
臨床教授：西川康博、紀田晃生

【一般目標（GIO）】

小児歯科臨床実習は、本学小児歯科学カリキュラムにおける最終段階のもので、今までに習得した知識と技術を総合的に集約して、一般歯科医師が小児の初期治療を行う際に必要な診断・検査・治療の知識と技能を患者を通して習得する。

特に、成長過程にある小児の総合的な口腔健康管理と患者への対応を身につける。

【行動目標（SBOs）】

1. 小児患者の来院時から処置完了までの対応と取り扱いを習得する。
2. 診査、検査および分析結果を検討し、1口腔1単位とした的確な診断ができるようにする。
3. 診査結果に基づいて治療計画を立案する。
4. 臨床の場における予防と予防処置について習得する。
5. 小児歯科で用いるフッ化物の応用について理解する。
6. 定期健診の重要性について理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
【参考書】大須賀直人他：「小児歯科基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）
大須賀直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版）
大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）
大須賀直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU 出版会）
大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

実際の臨床現場における小児歯科診療の見学や診療補助、自験を行う事により、これまでに習得した知識と技術を確認し理解を深める。また、各種実習により診療内容を把握する。

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

臨床見学、アシスタントケース、必修ケース、自験ケースや各種実習項目の履修内容により、知識・技能・態度を総合的に評価する。

【注意事項】

「臨床の場」にいることを自覚して、言動・行動・身だしなみに気をつける。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。（20分）

復習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。（40分）

【オフィスアワー】

月曜日

17：00～18：00

本館2階東棟 小児歯科学講座医局

E-mail (info_ped@mdu.ac.jp) で予約をすれば、他の時間でも可能。

歯科放射線学

第5学年

【担当者】

教授：田口 明

講師：黒岩博子、杉野紀幸

助教：長内 秀、山田真一郎、森こず恵

【一般目標 (GIO)】

歯科医師に必要な各種画像検査法と正常解剖学、各種撮影法と画像診断について具体的に習得し、さらに放射線の安全な利用について理解する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 歯・歯周組織エックス線検査法について、臨床見学及び相互実習により、撮影技術とその画像診断および正常解剖学を習得する。
2. 顎・顔面領域のエックス線検査法について、臨床見学及び実習により、撮影技術とその画像診断および正常解剖学を習得する。
3. 特殊画像検査法について、見学及び実習により、撮像原理とその画像診断を習得する。
4. 放射線の影響と健康について、示説などにより理解を深め、その重要性を認識する。
5. 症例ケースについて、発表検討会により各症例についての画像診断の手順と重要性を習得する。

【教科書・参考書】

【参考書】 金田隆編：「Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義」(学健書院)

中山英二・森本泰宏編：「口腔・歯・顎・顔面 ポケット画像解剖」(医学情報社)

【教育 (学習) 方略 (LS)】

患者撮影および画像検査実習と講義を行い、その内容のうち重要な事項について提示して説明する。

【フィードバック方法】

臨床実習内試験および教授試問項目について質問等がある場合は実習終了後一週間以内にメールを送ること。それに対して学生イントラ上で解説する。

【評価方法 (Evaluation)】

相互実習、患者撮影実施、臨床見学、講義の実施項目をすべて終了し、実習記録、症例検討会による評価とともに最終的に教授試問において理解度を評価する。

【注意事項】

4年次の講義資料と指定教科書を持参すること。

パソコンを積極的に使用するので、使用法等について十分に習熟しておくこと。

【準備学習時間 (予習・復習)】

90分

予 習：予定されている臨床実習の内容を十分に教科書および参考書で予習しておくこと。(45分)

復 習：教授試問でできなかったところをフィードバックするので、十分に復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

水曜日又は木曜日の18時から教授室で質問を受けるので、予め予約して時間を調整すること。

連携型口腔診療（障がい者歯科学・高齢者歯科学・摂食機能療法）

第5学年

【担当者】

教授：靛島弘之

講師：望月慎恭、富士岳志

助手：朝比奈伯明、山上祐介、朝比奈滉直、田村瞬至、村上康彦、中川直子、大崎麻未

臨床教授：靛島桂子

非常勤講師：小川浩樹、河瀬聡一郎

【一般目標（GIO）】

スペシャルニーズのある患者の歯科診療に参加することにより基本的知識、態度および臨床技能を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度を修得する。
2. スペシャルニーズのある患者の医療情報から自己指向型学習を実施する。
3. 指導のもとにスペシャルニーズのある患者の口腔保健管理上の問題点を整理し、患者あるいは保護者・介助者に説明する。
4. スペシャルニーズのある患者に適した口腔保健指導を実施する。
5. スペシャルニーズのある患者の口腔診査を実施する。
6. スペシャルニーズのある患者の歯科治療に必要な器具、器材を準備し、歯科医療行為の介助を実施する。

【教科書・参考書】

【教科書】日本障害者歯科学会編：「スペシャルニーズ・デンティストリー」（医歯薬出版）

佐藤裕二編：「よくわかる高齢者歯科学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 個々に実際の患者を担当することにより、障害や疾患の概要はもちろん心理状態をも感じ、コミュニケーション、倫理的態度を学ぶ。
2. 医療福祉との連携を学ぶために訪問診療、医療連携を体験する。
3. チュートリアルを実施する。
4. 要介護者の移乗、障がい者の口腔内診察、障がい者の保健指導を体験する。

【フィードバック方法】

試問にて理解の確認を行い、不足内容を補足説明する。

【評価方法（Evaluation）】

1. 主要な障害と疾患について所定の症例数を見学、診療補助後にレポートを提出し、試問を受ける。
2. 基本的な患者対応法、各種の行動変容法、全身麻酔下集中歯科治療法、低濃度笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法などについても、相互 実習あるいは見学の終了後にレポートを提出し、試問を受ける。
3. 要介護者の移乗、障がい者の口腔内診察、障がい者の保健指導の実地試験を行う。
4. 最終試問により評価する。

【注意事項】

臨床実習書に基づき行動すること。

患者に不快な思いをさせない言動をとること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：来院予定の患者の原疾患について学習する（30分）

復習：見学症例について全身状態を考慮した事項を、その根拠とともにまとめる（30分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1階 地域連携歯科学講座 教授室

連絡先：0263-51-2255

歯科麻酔学・歯科麻酔科

第5学年

【担当者】

教授：澁谷 徹

講師：谷山貴一

助手：上田敬介、友松 薫

非常勤講師：遠藤理香、長江麻帆

【一般目標（GIO）】

歯科治療における全身管理、局所麻酔法、全身麻酔法および精神鎮静法に関する知識、技能を修得する。

救急蘇生法の基本を修得する。

疼痛治療と神経麻痺に関する知識を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 全身状態を評価し、最適な麻酔管理法が選択できる。
2. 浸潤麻酔、伝達麻酔を実施できる。
3. 全身麻酔の目的と、術前・術中・術後管理を理解する。
4. 精神鎮静法の目的、適応および禁忌を理解する。
5. 亜酸化窒素（笑気）吸入鎮静法を実施できる。
6. 安全な歯科治療のための全身管理方法を理解する。
7. 救急薬品投与のための静脈路を確保できる。
8. 一次救命処置を実施できる。
9. 口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺の診断・治療法を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 嶋田 昌彦・相山 加綱・深山 治久・丹羽 均編：「わかる！できる！歯科麻酔実践ガイド」（医歯薬出版）

丹羽 均・入船 正浩・小長谷 光・澁谷 徹・深山 治久編：「第5版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）

〔参考書〕 雨宮 義弘監：「フローチャート式 歯科医のための痛みの診断・治療マニュアル」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

実際の臨床症例を見学することにより、全身麻酔法、精神鎮静法および全身管理法についての理解を深める。

局所麻酔法は、相互実習により手技を修得する。

亜酸化窒素（笑気）吸入鎮静法と静脈路確保は、相互実習により手技を修得する。

救急蘇生法は、蘇生練習用マネキンを用いて手技を修得する。

疼痛治療と神経麻痺に関する臨床講義を行う。

【フィードバック方法】

実習内容、レポート内容につき試問を行い理解度を確認し、必要に応じて補足説明を行う。

【評価方法（Evaluation）】

臨床見学、マネキン実習、相互実習、提出されたレポート課題の評価、試験（口頭試問等）により、知識・技能・態度の項目を総合的に評価する。

【注意事項】

実習はすべて指導教員の指導のもとに行う。

診療室や病室では、歯科医療関係者としての立場を十分にわきまえ、適切な服装、態度、言葉使いをとるように気をつける。

やむを得ない事情で実習を欠席する場合には、事前に担当指導教員に必ず連絡する。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：教科書と参考書を用いて、予定されている実習内容につき予習を行う。(30分)

復 習：臨床実習実施時のノートや資料、並びに教科書を用いて復習する。(30分)

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16：30～17：30

本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局

他の曜日、時間も予約をすれば対応可能

歯内治療学

第5学年

【担当者】

教授：増田宜子

助教：三好弥恵

助手：岩崎拓也、水谷莉紗、森川雅己

【一般目標 (GIO)】

歯内治療学について、講義で学んだ理論と基礎実習で修得した知識、手技を基にして、臨床実習においては診療参加型実習を行い知識と手技を向上する。そして患者とのコミュニケーションを図るとともに態度を修得する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 医療面接の必要性を説明できる (想起)。
2. 医療面接の導入にあたって、環境を整備できる (技能)。
3. 患者の (心理的、社会的、経済的) 背景を聴取できる (技能)。
4. わかりやすい言葉づかいで聞き取りやすく対応できる (態度)。
5. 医療面接の終わりに訴えを要約し再確認できる (技能)。
6. 様々な診査結果からの確に診断できる (解釈)。
7. 診断に基づいて適切な治療計画を立案できる (問題解決)。
8. 口腔内の複数の疾患の治療に対して優先順位を決定できる (問題解決)。
9. 治療計画を患者に説明できる (技能)。
12. 患者にこれから行うことを伝達できる (態度)。
13. 必要な器材を準備できる (技能)。
14. 処置に応じたポジショニングができる (技能)。
15. ラバーダム防湿法の目的を説明できる (解釈)。
16. ラバーダム防湿ができる (技能)。
17. 隔壁形成の目的を説明できる (解釈)。
18. 隔壁を形成できる (技能)。
19. 麻酔抜髄の目的を説明できる (解釈)。
20. 麻酔抜髄の各処置の目的を説明できる (解釈)。
21. 髄腔開拓ができる (技能)。
22. 根管長測定ができる (技能)。
23. 根管形成ができる (技能)。
24. 根管洗浄ができる (技能)。
25. 根管乾燥ができる (技能)。
26. 根管貼薬ができる (技能)。
27. 適切に仮封ができる (技能)。
28. 根管充填ができる (技能)。
29. 根管治療経過不良の原因を説明できる (解釈)。
30. 再根管治療の選択基準を説明できる (解釈)。
31. 再根管治療の術式を説明できる (解釈)。
32. 実体顕微鏡の特徴を説明できる (解釈)。
33. 実体顕微鏡による処置の特徴を説明できる (解釈)。
34. 漂白歯の分類を説明できる (解釈)。
35. 漂白法 (失活歯) を説明できる (解釈)。
36. 漂白の適応と禁忌・偶発症を説明できる (解釈)。
37. 歯内-歯周疾患を説明できる (解釈)。
38. 歯内-歯周疾患の治療法を説明できる (解釈)。
39. 外科的歯内治療の適応症を説明できる (解釈)。

40. 外科的歯内治療の種類を説明できる（解釈）。
41. 外科的歯内の術式を説明できる（解釈）。
42. Ni：Ti ファイルを用いた根管拡大について説明できる（解釈）。
43. Ni：Ti ファイルを用いた根管拡大ができる（技能）。
44. 実体顕微鏡を用いた歯根尖切除法の適応症を説明できる（解釈）。
45. 実体顕微鏡を用いた歯根尖切除法の術式を説明できる（解釈）。
46. 歯髄血管再生療法の適応症を説明できる（解釈）。
47. 歯髄血管再生療法の術式を説明できる（解釈）。
48. 清潔に配慮できる（態度）。
49. 適切に器材を操作できる（技能）。
50. 適切な薬剤を貼薬できる（技能）。
51. 患者の痛みや不快感に配慮できる（態度）。
52. 安全性に配慮できる（態度）。

【教科書】 勝海一郎他編：「歯内治療学 第5版」（医歯薬出版）

【参考書】 興地隆史他編：「第5版エンドドンティックス」（永末書店）

須田英明他編：「エンドドンティックス21 改訂版」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）

河野 哲著：「新歯内療法学サイドリーダー第2版」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

学生間の相互実習およびインストラクターの担当する外来患者に対する診療実習の2つのパートにより構成される。講義において説明された学理と基礎実習で習得した技術とを有機的に結びつける。

すべてインストラクターの監督と指導下に実習を行い、診療室で職員（歯科衛生士等）から注意を受けた場合は、素直に従うこと。診療行為における勝手な行動は許されない。

- ①検査、診断、治療計画の立案
- ②相互実習（口腔内検査、ラバーダム防湿）
- ③見学ならびに介助
- ④診療機器の説明
- ⑤根管処置
- ⑥根管充填
- ⑧ Ni：Ti ファイルを用いた彎曲根管模型の機械的拡大（模型歯）
- ⑨顕微鏡を用いた根管治療（顎模型）
- ⑩顕微鏡を用いた歯根尖切除法（顎模型）

目標の習得ケースについて見学、実習を行い、インストラクターおよび教授試問において理解度を評価する。

【フィードバック方法】

口頭試問の内容についてあらかじめ提示するので良く復習すること。

評価に対する疑問がある場合は担当科目教授へ直接申し出ること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 症例に対するレポート・口頭試問による理解度の評価
2. 教授試問による評価
3. 実習に臨む態度、身だしなみ、出席状況を総合的に評価

【注意事項】

1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨む。なお、欠席する場合は必ず電話連絡をすること。
2. 病院内においては、諸規定を守り、すべて指導者の指示に従って行動する。
3. 病院内においては、常に清潔を重んじ、他人に不快な念を与えない。
4. 身だしなみには特に注意を払い、著しく不適切な髪型、化粧などをしてはならない。
5. 病院内においては、常に言動に注意を払い、真摯な態度で実習に臨む。
6. 実習時に実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受ける。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(10分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(20分)

【オフィスアワー】

随時 17：30以後

増田 菌内治療学 本館西棟4階 教授室

歯 周 病 学

第5学年

【担当者】

教授：吉成伸夫

助教：尾崎友輝、出分菜々衣、中村 卓、石岡康明、宮國 茜

助手：佐故竜介、田井康寛、水谷隆一、上原龍一、原 美音

臨床教授：二宮雅美

【一般目標（GIO）】

歯周病学について、講義で学んだ理論と基礎実習で習得した知識、手技を基にして、臨床実習においては卒業後直ちに一般歯科臨床に携われるまでに、診療参加型実習を行い知識と手技を向上する。そして患者とのコミュニケーションを図るとともに態度を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 手指の消毒を熟練する。
2. 無菌的処置法を熟練する。
3. 口腔内検査ができる。
4. 各種検査法を熟練する。
5. 口腔内の写真撮影ができる。
6. 各種診療機器が操作できる。
7. 症例の見学ができる。
8. 診療の介助ができる。
9. インストラクターと共同で診療行為ができる。
10. 歯周組織検査項目について計測でき、その結果から適切な診断、治療計画を立案できる。
11. プロトコールから患者の治療ステージを理解し、治療を推察できる。
12. プラークコントロールの指導、注意点等を実施、対応できる。
13. スケーリング・ルートプレーニングの基本手技を実施できる。
14. 咬合調整、固定処置の実施、介助ができる。
15. 薬物療法を理解できる。
16. 再評価検査の意義を理解し、検査を実施、その結果を分析できる。
17. 歯周外科処置の見学、介助ができる。
18. 根分岐部病変の治療を見学し、治療法を選択することができる。
19. Supportive Periodontal Therapy（SPT）、メインテナンス治療の実際を理解できる。

【教科書】吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基喆編：「臨床歯周病学（第2版）」（医歯薬出版 2013）

野口俊英編：「最新の歯周外科手術をマスターしよう！—基本から高度症例への応用まで—」（第一出版 2010）

勝海一郎：「歯内治療学（第5版）」（医歯薬出版2018）、興地隆史：「エンドドンティクス（第5版）」（永末書店2018）

【参考書】江澤庸博：「一からわかるクリニカルペリオドントロジー」（医歯薬出版 2001）

【教育（学習）方略（LS）】

学生間の相互実習およびインストラクターの担当する外来患者に対する診療実習の2つのパートにより構成される。講義において説明された学理と基礎実習で習得した技術とを有機的に結びつける。

すべてインストラクターの監督と指導下の実習を行い、診療室で職員（歯科衛生士等）から注意を受けた場合は、素直に従うこと。診療行為における勝手な行動は許されない。

①検査、診断、治療計画の立案

②相互実習（歯周組織検査、プラークコントロール、歯肉縁上スケーリング）

③見学ならびに介助

④診療機器の説明

⑤ PBL

目標の習得ケースについて見学、実習を行い、インストラクターの試問により理解度を評価する。

【フィードバック方法】

第1ケースの試験については解答例を学生イントラへ掲載するので確認すること。

【評価方法 (Evaluation)】

1. 症例に対するレポート・口頭試問による理解度の評価
2. 実習に臨む態度、身だしなみ、出席状況を総合的に評価

【注意事項】

1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨む。なお、欠席する場合は必ず電話連絡をすること。
2. 病院内においては、諸規定を守り、すべて指導者の指示に従って行動する。
3. 病院内においては、常に清潔を重んじ、他人に不快な念を与えない。
4. 身だしなみには特に注意を払い、著しく不適切な髪型、化粧などをしてはならない。
5. 病院内においては、常に言動に注意を払い、真摯な態度で実習に臨む。
6. 実習時に実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受ける。

【準備学習時間 (予習・復習)】

30分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(10分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(20分)

【オフィスアワー】

随時 17:30以後

吉成 菌周病学 本館西棟5階 教授室

第 6 学 年

第 6 学年目次

総	合	講	義		251
	口	腔	解	剖	252
	口	腔	組	織	254
	口	腔	生	理	256
	口	腔	生	化	258
	口	腔	微	生	260
	口	腔	病	理	261
	歯	科	薬	理	263
	歯	科	理	工	265
	公	衆	衛	生	266
	全	部	床	義	269
	部	分	床	義	272
	ク	ラ	ウ	ン	275
	保	存	修	復	277
	歯	内	治	療	283
	歯	周	病	学	285
	小	児	歯	科	287
	歯	科	矯	正	289
	口	腔	外	科	291
	歯	科	麻	酔	294
	歯	科	放	射	297
	障	が	い	者	299
	摂	食	嚥	下	301
	医	療	面	接	302
2021年度 6 学年 日程表					303
2021年度 第 6 学年 年間予定					314

総合講義 (E6010)

第6学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

基礎系・臨床系各講座の教員

【一般目標（GIO）】

临床上必要な歯科医学および口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識および技能を復習・修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 必修の基本的事項に関する知識を修得する。
2. 人体の正常構造と機能を理解する。
3. 発生、成長、発達、加齢に関する知識を修得する。
4. 咬合と咀嚼に関する知識を修得する。
5. 病因、病態に関する知識を修得する。
6. 疫学に関する知識を修得する。
7. 主要症候に関する知識を修得する。
8. 医療面接と診察に関する知識を修得する。
9. 検査に関する知識を修得する。
10. 治療に関する知識を修得する。
11. 予防と健康管理・増進に関する知識を修得する。
12. 社会と保健医療福祉に関する知識を修得する。
13. 歯顎口腔の発育異常・加齢に伴う疾患について理解する。
14. 歯・歯髄・歯周組織の疾患について理解する。
15. 咬合・咀嚼障害について理解する。
16. 顎・口腔領域の疾患について理解する。
17. 歯科疾患の予防・管理について理解する。
18. 歯科材料と生体材料について理解する。

【教科書・参考書】

【教育（学習）方略（LS）】

1. 当日の総合講義内容につき、自学自習を行う。
2. 総合講義に関連した歯科医師国家試験過去問題について復習する。

【フィードバック方法】

定期試験に解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

1. 各期の評価は Weekly Test を30%、定期試験を70%とする。
2. 各期の評価Ⅰ：Ⅱ：Ⅲ：Ⅳ = 1：1：0.6：1.4として算出した総合評価を総合講義の評価とする。

【注意事項】

各教科の注意事項を参照

【準備学習時間（予習・復習）】

各教科の準備学習時間（予習・復習）を参照

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照

口腔解剖学

担当者	教 授：金銅英二
授業概要	頭頸部の骨格系、筋系、脈管系、神経系およびこれらの関連についてと、口腔の形態と構造について講義する。
教科書	伊藤隆：「解剖学講義」（南山堂）
参考書	中塚敏弘：「口腔解剖学サイドリーダー」（学建書院） 矢島俊彦・高野吉郎監訳：「リープゴット 歯科学のための解剖学」（西村書店） 相磯貞和訳：「ネッター解剖学アトラス」（南江堂） 山田英智監訳：「図解 解剖学事典」（医学書院） 小林茂夫等編：「歯科学学生のための解剖学実習」（南江堂） 金銅英二等編：「口腔顔面痛診断と治療ガイドブック」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Daily Test、Weekly Test 理解度をフィードバックする。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：講義の内容をシラバスで確認し、教科書・解剖学図譜を熟読し受講すること。(60分) 復 習：講義内容を整理・確認し復習すること。(30分)
オフィスアワー	水曜日 16：30～17：30まで 本館地階 解剖実習室

【授業日程】

回数	授業日 時間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月30日(火) 3時限	頭頸部骨格系、顎関節	口腔を構成する頭蓋骨を列挙できる。 上顎骨を説明できる。 下顎骨を説明できる。 口蓋骨を説明できる。 蝶形骨を説明できる。 側頭骨を説明できる。 後頭骨を説明できる。 顎関節の形態と構造を説明できる。 顎関節の運動と筋の関係を説明できる。 側頭下窩の範囲と内容を説明できる。	金銅 英二
2	4月7日(休) 3時限	頭頸部の筋系 顎運動、咀嚼運動	頭頸部の筋および顎運動、咀嚼運動に関する詳細で正確な説明ができる。	金銅 英二
3	6月29日(火) 1時限	頭頸部筋系 頭頸部脈管系 頭頸部神経系(1) 頭頸部内臓(1)	頭頸部筋系について説明できる。 頭頸部脈管系の知識を説明できる。 頭頸部の神経について説明できる。 口腔、舌、咽頭、喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
4	6月29日(火) 2時限	頭頸部筋系 頭頸部脈管系 頭頸部神経系(2) 頭頸部内臓(2)	頭頸部筋系について説明できる。 頭頸部脈管系の知識を説明できる。 頭頸部の神経について説明できる。 口腔、舌、咽頭、喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
5	9月24日(金) 3時限	頭頸部神経系(3) 頭頸部内臓(3)	頭頸部の神経について説明できる。 口腔、舌、咽頭、喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
6	10月15日(金) 3時限	口腔 口唇、頬、口蓋、口峽、口腔底、唾液腺、舌 骨折と骨・筋、麻痺と神経、脈拍と動脈、痛みと神経、唾液分泌と神経、味覚と神経、咀嚼と筋・神経、歯の異常、歯の喪失と顎骨の変化	頭頸部の神経について説明できる。 口腔、舌、咽頭、喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	10月27日(水) 3時限	頭蓋骨 頭頸部筋系 頭頸部神経系 頭頸部脈管系 咀嚼筋、表情筋、舌骨上筋、舌骨下筋 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経、自律神経系 外頸動脈、顔面動脈、舌動脈、顎動脈	頭蓋骨とそれらに関連する筋、神経、脈管の説明ができる。 頭頸部の神経について説明できる。	金銅 英二
8	11月17日(水) 3時限	疼痛メカニズム 非菌原性疼痛 脳と情動、記憶	疼痛のメカニズム特に非菌原性疼痛について説明できる。 脳と情動や記憶について説明できる。	金銅 英二
9	12月6日(月) 1時限	総括	8回の講義内容を総括できる。	金銅 英二

口腔組織学

担当者	教授：中村浩彰
授業概要	国家試験対策として組織学および口腔組織学の復習を行う。 1. 組織学 2. 口腔組織・発生学
教科書	牛木辰夫：「入門組織学」（南江堂） 脇田稔他編：「口腔組織学・発生学（第2版）」（医歯薬出版）
参考書	中村浩彰：歯科国試パーフェクトマスター「口腔組織・発生学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	定期試験後に解説を行う。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(30分) 復習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(60分)
オフィスアワー	金曜日 16:30～18:00 本館4階西棟 口腔解剖学講座 医局

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月25日(木) 1時限	歯の構造 1. エナメル質 2. 象牙質 3. 歯髄 4. セメント質	エナメル質、象牙質、歯髄およびセメント質の組織学的特徴を説明できる。	中村 浩彰
2	3月25日(木) 2時限	口腔組織の構造 1. 歯周組織 2. 口腔粘膜 歯の発生	1. 歯周組織の組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。 3. 歯の発生について説明できる。	中村 浩彰
3	6月10日(木) 3時限	顔面の発生 顎関節 唾液腺	1. 鰓弓について説明できる。 2. 口蓋の発生について説明できる。 3. 顎関節の構造について説明できる。 4. 唾液腺の組織学的特徴について説明できる。	中村 浩彰
4	8月30日(月) 3時限	1. 細胞 2. 上皮組織 3. 結合組織 4. 軟骨・骨組織 5. 血液 6. 筋組織 7. 神経組織	1. 上皮を形態学的に分類できる。 2. 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 3. 骨組織の細胞について説明できる。 4. 赤血球、白血球および血小板の形態と機能を説明できる。 5. 筋組織の構造と機能を説明できる。	中村 浩彰
5	9月1日(木) 3時限	組織学各論（消化器系、循環器系、呼吸器系、泌尿器・生殖器系、内分泌系、免疫系）	1. 消化器系の基本構造と機能を説明できる。 2. 内分泌器官の構造、機能およびホルモンについて説明できる。 3. リンパ性器官の構造と機能を説明できる。	中村 浩彰
6	10月12日(火) 2時限	1. 歯の加齢変化 2. 歯周組織の加齢変化 3. 口腔組織の加齢変化	1. エナメル質、象牙質、歯髄およびセメント質の加齢変化を説明できる。 2. 歯周組織の加齢変化を説明できる。 3. 口腔組織の加齢変化について説明できる。	中村 浩彰

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	11月24日(水) 3時限	歯と顔面の発生 1. 神経堤 2. 歯の発生 3. 顔面と口蓋の形成	1. 神経堤について説明できる。 2. 歯の発生について説明できる。 3. 顔面と口蓋の形成について説明できる。	中村 浩彰
8	12月6日(月) 2時限	組織学総論・各論 1. 上皮組織 2. 結合組織 3. 血液と骨髄 4. 内分泌器官	1. 上皮を形態学的に分類できる。 2. 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 3. 赤血球、白血球および血小板の形態と機能を説明できる。 4. 内分泌器官の構造、機能およびホルモンについて説明できる。	中村 浩彰

口腔生理学

担当者	教授：北川純一 講師：海野俊平
授業概要	歯科医師国家試験出題基準にある生理学・口腔生理学関連の項目のうち、重要なもの、理解が難しいものを中心に解説する。
教科書	プリントを配付する。
参考書	和泉 博之・浅沼 直和編：「ビジュアル生理学・口腔生理学（第3版）」（学建書院） 森本 俊文・山田 好秋・二ノ宮 裕三・岩田 幸一編：「基礎歯科生理学（第6版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test、定期試験における正解率の低い問題をくり返し解説する。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(15分) 復習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(45分)
オフィスアワー	随時 18:00～19:00 実習館3階 口腔生理学講座教室

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月23日(火) 1時限	興奮性組織（神経・筋）、末梢神経・中枢神経	静止膜電位と活動電位について説明できる。 神経の興奮伝導について説明できる。 神経線維の分類について説明できる。 シナプスにおける興奮伝達について説明できる。 骨格筋の構造と収縮機序について説明できる。 筋収縮の種類について説明できる。 心筋の特徴について説明できる。 平滑筋の特徴について説明できる。 脳神経と脊髄神経の機能について説明できる。 自律神経の機能について説明できる。 神経伝達物質について説明できる。 中枢神経系各部の主な機能について概説できる。	北川 純一
2	3月23日(火) 2時限	感覚（感覚の一般的性質・痛覚・歯と歯根膜の感覚・口腔粘膜の感覚・味覚・嗅覚）	感覚受容器について説明できる。 痛覚の特徴について説明できる。 歯の感覚について説明できる。 口腔粘膜の感覚について説明できる。 基本味について説明できる。 味細胞と支配神経について説明できる。 嗅覚受容器について説明できる。	北川 純一
3	6月22日(火) 1時限	顎反射、咀嚼、嚥下、吸嚥、嘔吐	下顎の随意運動と反射を説明できる。 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 嘔吐反射と絞扼反射を説明できる。	北川 純一
4	6月22日(火) 2時限	発声と構音	発声に関わる筋の作用について説明できる。 構音機構について説明できる。 母音の特徴について説明できる。 子音の分類について説明できる。	北川 純一
5	9月8日(水) 3時限	唾液	唾液の生成と分泌機構について説明できる。 唾液腺の神経支配について説明できる	海野 俊平

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	10月12日(火) 3時限	循環、呼吸、血液	<p>心筋の性質について説明できる。</p> <p>刺激伝導系と心電図について説明できる。</p> <p>血圧受容器について説明できる。</p> <p>血管の収縮調節について説明できる。</p> <p>血液による酸素と二酸化炭素の運搬について説明できる。</p> <p>呼吸ガス受容器について説明できる。</p> <p>血液の酸塩基平衡について説明できる。</p> <p>肺気量について説明できる。</p> <p>呼吸運動について説明できる。</p> <p>赤血球・白血球・血小板および血漿成分の機能について説明できる。</p> <p>血液凝固過程について説明できる。</p> <p>血液型と血球凝集反応について説明できる。</p>	海野 俊平
7	10月20日(水) 3時限	内分泌、消化吸収	<p>ホルモンの作用機構について説明できる。</p> <p>ホルモンによる糖代謝・体液量・カルシウム代謝の調節について説明できる。</p> <p>糖質・タンパク質・脂質の消化吸収について説明できる。</p> <p>消化液の働きと分泌調節について説明できる。</p> <p>ホルモンによる消化機能の調節について説明できる。</p>	海野 俊平
8	11月9日(火) 3時限	総復習Ⅰ（神経、感覚、口腔機能）	<p>興奮性組織と神経系について復習する。</p> <p>感覚と口腔感覚について復習する。</p> <p>顎反射、嚥下、吸嚥、嘔吐、発声について復習する。</p>	北川 純一
9	12月6日(月) 3時限	総復習Ⅱ（唾液、循環、呼吸、血液、内分泌、消化吸収）	<p>唾液について復習する。</p> <p>循環について復習する。</p> <p>呼吸について復習する。</p> <p>血液について復習する。</p> <p>内分泌について復習する。</p>	海野 俊平

口腔生化学

担当者	教 授：宇田川信之、平岡行博、小林泰浩 准教授：山下照仁、中村美どり 講 師：上原俊介
授業概要	生命現象の分子メカニズムを理解するために、生化学・分子生物学の基礎知識を学ぶ。 1. 生命の単位 2. 細胞の化学成分 3. 生物体の機能とタンパク質 4. 遺伝子とその継承 5. カルシウム代謝ホルモン 6. 齲蝕の生化学
教科書	宇田川信之：「歯科国試パーフェクトマスター口腔生化学」 金森孝雄：「口腔生化学サイドリーダー（第6版）」（学建書院） 宇田川信之他：「口腔生化学（第5版）」（医歯薬出版）
参考書	
フィードバック方法	試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。
注意事項	教科書は必ず持参すること。当日のアシストテストおよび資料類はまとめて保存すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること。(10分) 復 習：当該講義の weekly Test の復習ノートを必ず作成すること。(80分)
オフィスアワー	いつでも OK。要予約。電話：070-5014-3303または E-mail：nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp 実習館2階 総合歯科医学研究所研究室

【授業日程】

回数	授業日 時間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月26日(金) 3時限	酵素、ホルモン、収縮性・輸送タンパク質および遺伝子の種類と役割	各種タンパク質および遺伝子についてその役割を理解する。	宇田川信之
2	4月27日(火) 3時限	受容体タンパク質の特徴とシグナル伝達機構 防御タンパク質の種類と役割および免疫機構とそれによって引き起こされる自己免疫疾患	細胞内のシグナル伝達と免疫調節機構について理解する。	宇田川信之
3	6月24日(木) 1時限	結合組織を構成する構造タンパク質の種類と特徴	結合組織を構成するタンパク質の役割を理解する。	平岡 行博
4	6月24日(木) 2時限	骨の形成と吸収に関与する細胞とその役割	骨形成と骨吸収機構について理解する。	宇田川信之
5	10月5日(火) 3時限	DNA から RNA そしてアミノ酸が合成されタンパク質が産生される機構	セントラルドグマの実体について理解する。	小林 泰浩
6	10月22日(金) 3時限	遺伝子操作技術および遺伝子治療の実際	遺伝子操作技術と遺伝子治療の実際を理解する。	山下 照仁
7	10月25日(月) 3時限	生命現象を支える臓器と栄養素 糖質・脂質・タンパク質の代謝機構	三大栄養素の代謝について理解する。	上原 俊介
8	11月12日(金) 3時限	骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム 血清カルシウム代謝調節ホルモン（副甲状腺ホルモン・ビタミンD・カルシトニン）の作用機序 ビタミン欠乏症の原因と症状	硬組織の形成（石灰化）について理解する。 血清カルシウム濃度の調節機構について理解する。	中村美どり

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
9	12月7日(火) 1時限	齶蝕の生化学 代用糖（非齶蝕性甘味料）の種類とその性質	齶蝕の発症と予防について生化学的に理解する。	宇田川信之

口腔微生物学

担当者	教 授：吉田明弘
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細菌学総論・各論 2. 免疫学（自然免疫・獲得免疫） 3. アレルギー・自己免疫疾患 4. バイオフィルム 5. 口腔細菌学 6. 化学療法 7. 院内感染 8. 滅菌・消毒 9. ウイルス学 10. 真菌学
教科書	川端重忠他編：「口腔微生物学・免疫学（第4版）」（医歯薬出版） 全国歯科衛生士教育協議会監修：「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」（医歯薬出版）
参考書	寺尾豊著：「歯科国試パーフェクトマスター 口腔微生物学・免疫学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。
注意事項	本講義は歯科医師国家試験出題基準に基づいた重要事項のみを取り扱うため、講義で取り扱わない基礎的知識については各自学習を要する。講義は予習を前提に進めるため、講義範囲の予習をして講義に臨むこと。講義には教科書・ノート・ナカテン・カラーペンを持参すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書等で予習を行う。(45分) 復 習：講義ノート、配付資料を用いて復習し、教科書等を利用して各自知識を整理する。(45分)
オフィスアワー	金曜日 16:30~17:30 本館5階東棟 口腔微生物学講座研究室 要予約 (akihiro.yoshida@mdu.ac.jp)

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月22日(月) 3時限	免疫学①	自然免疫と抗原提示について説明できる。	吉田 明弘
2	4月20日(火) 3時限	免疫学②	液性免疫について説明できる。 細胞性免疫について説明できる。 アレルギー・自己免疫疾患について説明できる。	吉田 明弘
3	8月19日(木) 3時限	医科細菌学①	医学上重要な細菌感染症について説明できる。	吉田 明弘
4	10月4日(月) 3時限	医科細菌学②	医学上重要な細菌感染症について説明できる。 薬剤耐性と院内感染について説明できる。	吉田 明弘
5	11月15日(月) 3時限	ウイルス学①	ウイルスおよびウイルス感染症について説明できる。 DNAウイルスおよびウイルス感染症について説明できる。	吉田 明弘
6	11月22日(月) 3時限	ウイルス学②	RNAウイルスおよびウイルス感染症について説明できる。	吉田 明弘
7	11月26日(金) 3時限	口腔細菌学①	口腔バイオフィルム、菌垢について説明できる。 口腔から全身に波及する感染症について説明できる。	吉田 明弘
8	12月7日(火) 2時限	口腔細菌学②	う蝕細菌の特徴と病原性について説明できる。 歯周病細菌の特徴と病原性について説明できる。	吉田 明弘

口腔病理学

担当者	准教授：村上聡
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症、嚢胞および腫瘍などの総論を復習する。 2. 病理組織診断の基礎的知識を復習する。 3. 口腔領域の代表的な炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患の病理学的特徴を復習する。
教科書	賀来亨・山本浩嗣編：「スタンダード口腔病理学」(学建書院) 高木實編：「口腔病理アトラス(第2版)」(文光堂) 下野正基編：「スタンダード病理学」(学建書院)
参考書	Cotran, Kumar & Collins：「Robbins Pathologic Basis of Disease」7th edition (W. B. Saunders Co.) 横山武他編：「現代の病理学、総論・各論」(金原出版) 向井清・真鍋俊明、深山正久編：「外科病理学(第4版)」(文光堂) 鈴木利光・森道夫監訳：「アンダーウッド 病理学」(西村書店) 川原栄・横井豊治監訳：「ルービン カラー基本病理学」(西村書店)
フィードバック方法	Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。 <ol style="list-style-type: none"> ①無断退出など 2. 講義に持参するもの <ol style="list-style-type: none"> ①3年次の授業ノート・資料
準備学習時間 (予習・復習)	120分 予習：講義内容に該当する項目を3年次の講義ノートを利用して復習する。(60分) 復習：講義内容の項目について再整理し、疾患の名称・病態・病理組織像を理解する。(60分)
オフィスアワー	随時 本館東棟5階口腔病理学講座医局 メールでの予約が望ましい 村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標(SBOs)	担当者
1	4月5日(月) 3時限	病因、病態(必修・総論) 1. 循環障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 2. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 3. 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 4. 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる。 5. 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。 6. 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 7. ショックの原因と成因を説明できる 	村上 聡
2	4月19日(月) 3時限	病因、病態(必修・総論・各論) 1. 細胞傷害と修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞傷害と組織傷害について説明できる。 2. 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 3. 壊死とアポトーシスについて説明できる。 4. 萎縮萎縮と仮性肥大を説明できる。 5. 修復と再生について説明できる。 6. 化生を説明できる。 7. 肉芽組織の構成成分と意義を説明できる。 8. 創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 9. 異物の種類と処理反応を説明できる。 10. 器質化を説明できる。 	村上 聡

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
3	5月10日(月) 3時限	病因、病態 (必修・総論) 1. 炎症 2. 感染症	1. 炎症の定義と発生機序を説明できる。 2. 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 3. 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 4. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 5. 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。	村上 聡
4	6月21日(月) 3時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 腫瘍	1. 腫瘍の定義と原因を説明できる。 2. 腫瘍の組織発生を説明できる。 3. 異型性、退形成および分化を説明できる。 4. 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 5. 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 6. 発癌機構を概説できる。	村上 聡
5	6月28日(月) 1時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 口腔の非菌原性腫瘍・腫瘍様病変 2. 病理診断法	1. 前癌病変の組織学的特徴を列挙できる。 2. 口腔癌の組織学的特徴を概説できる。 3. 非菌原性良性腫瘍の組織学的特徴を列挙できる。 4. 腫瘍類似疾患の組織学的特徴を列挙できる。 5. 生検と剖検を概説できる。	村上 聡
6	6月28日(月) 2時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 口腔粘膜疾患	1. 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。	村上 聡
7	10月6日(水) 3時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 免疫異常 2. 移植免疫 3. 嚢胞	1. 自己免疫疾患を列挙できる。 2. 移植にともなう免疫反応を概説できる。 3. 顎骨に発生する菌原性嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。 4. 顎骨に発生する非菌原性嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。 5. 軟組織に発生できる嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。	村上 聡
8	11月19日(金) 3時限	病因、病態 菌原性腫瘍	1. 菌原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 2. エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を説明できる。	村上 聡
9	12月7日(火) 3時限	病因、病態 唾液腺疾患 唾液腺腫瘍	1. 唾液腺腫瘍の組織学的特徴を列挙できる。 2. 唾液腺の非腫瘍性疾患の特徴を説明できる。	村上 聡

歯科薬理学

担当者	教授：十川紀夫
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物に関する法律や規定を理解する。 2. 種々の方法で適用された薬物の生体内運命（薬物動態）を理解する。 3. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序）を理解する。 4. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。 5. 薬物の副作用・有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。
教科書	大谷啓一監修、鈴木邦明・戸刈彰史・青木和弘・兼松隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」（医歯薬出版） 大浦清・兼松隆・戸刈彰史・二藤彰 編集：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学（第2版）」（永末書店）
参考書	渡邊裕司監訳：「ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学 原書3版」（丸善出版）
フィードバック方法	定期試験実施後、正答率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。
注意事項	薬物と薬物、薬理学と他の科目、基礎と臨床など、薬物に関する「繋がり」を意識しながら勉強すること。
準備学習時間 (予習・復習)	120分 予習：シラバスを確認し、当該講義範囲の内容について教科書で確認しておくこと。(30分) 復習：当該講義範囲の内容について、講義資料、教科書、歯科医師国家試験過去問題集などを用いて、関連事項を含め総合的に復習すること。(90分)
オフィスアワー	随時 時間があればできる限り対応します。 実習館3階 歯科薬理学講座教授室

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月6日(火) 1時限	薬物の作用機序・薬理作用	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理作用の基本形式と分類を理解する。 2. 薬物の作用機序を理解する。 3. 薬理作用を規定する要因（用量と反応）を理解する。 4. 薬物の併用（協力作用、拮抗作用）を理解する。 	十川 紀夫
2	4月6日(火) 2時限	薬物の作用機序・薬理作用	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理作用の基本形式と分類を理解する。 2. 薬物の作用機序を理解する。 3. 薬理作用を規定する要因（用量と反応）を理解する。 4. 薬物の併用（協力作用、拮抗作用）を理解する。 	十川 紀夫
3	5月6日(木) 3時限	薬物の適用と薬物動態	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物の適用方法の種類と特徴を理解する。 2. 薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）を理解する。 	十川 紀夫
4	6月28日(月) 3時限	薬理作用を規定する要因	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理作用を規定する要因（感受性）を理解する。 2. 薬物の連用の影響（薬物耐性、蓄積および薬物依存）を理解する。 3. 加齢、病態による薬物動態の変化を理解する。 	十川 紀夫
5	7月27日(火) 3時限	薬物相互作用	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬力学的薬物相互作用を理解する。 2. 薬物動態学的薬物相互作用を理解する。 	十川 紀夫
6	9月21日(火) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物相互作用薬物の副作用 2. 有害作用と医薬品開発 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物の副作用、有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。 2. 医薬品開発を理解する。 	十川 紀夫

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	10月26日(火) 3時限	医薬品関連法令	1. 医薬品の分類を理解する。 2. 薬物の表示と保管を理解する。 3. 日本薬局方を理解する。	十川 紀夫
8	11月2日(火) 3時限	各論および必修該当事項の復習(1)	各論および必修項目に該当する内容を理解する。	十川 紀夫
9	11月16日(火) 3時限	各論および必修該当事項の復習(2)	各論および必修項目に該当する内容を理解する。	十川 紀夫
10	12月8日(水) 1時限	各論および必修該当事項の復習(3)	各論および必修項目に該当する内容を理解する。	十川 紀夫

歯科理工学

担当者	准教授：洞澤功子
授業概要	各項目の基礎知識の再確認と専門用語の意味の理解度を再確認する。
教科書	中髙裕・西山典宏・宮崎隆・米山隆之他：「スタンダード歯科理工学第7版」(学建書院)
参考書	2年次のノート
フィードバック方法	各確認テストで行なわれた設問について理解度の低い項目について講義・解説においてフィードバックを行う。
注意事項	教科書は必ず最新版を持参すること。 新たなノートを作製すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスの学習項目を確認し、教科書および2年次ノートの目を通しておくこと。(20分) 復習：講義内容についてノート、教科書をもとに復習し、理解できていないところがないか再確認すること。(40分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 実習館1階 歯科理工学医局 日時については事前にE-mailで予約を入れること。E-mail：noriko.horasawa@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月25日(木) 3時限	生体材料の科学	材料の性質を説明する。	洞澤 功子
2	4月21日(水) 1時限	高分子材料 (レジン)	高分子材料について、取扱いと性質について理解する。	洞澤 功子
3	4月21日(水) 2時限	高分子材料 (レジン)	高分子材料について、取扱いと性質について理解する。	洞澤 功子
4	6月24日(木) 3時限	接着処理・技術 装着用材料	歯質接着処理・歯科材料接着処理料について理解する。	洞澤 功子
5	6月25日(金) 1時限	金属・鋳造・接合・熱処理技術	金属とその成形技術について理解する。	洞澤 功子
6	6月25日(金) 2時限	金属・鋳造・接合・熱処理技術	金属とその成形技術について理解する。	洞澤 功子
7	7月8日(木) 3時限	印象・模型材料	印象、模型について理解する。	洞澤 功子
8	9月6日(月) 3時限	陶材	陶材、陶材の焼成・焼成、陶材と金属との接合を理解する	洞澤 功子
9	10月13日(水) 3時限	インプラント・歯科矯正用材料	インプラント・歯科矯正用材料を理解する。	横井由紀子
10	10月21日(木) 3時限	診療用器械・研磨	診療用器械・研磨を理解する。	横井由紀子
11	11月8日(月) 3時限	総括①	歯科材料を説明する	洞澤 功子
12	12月8日(水) 2時限	総括②	歯科材料を説明する	洞澤 功子

公衆衛生学

担当者	教授：山賀孝之 助教：定岡直 特任教授：牧茂
授業概要	近年の我が国における歯科保健の向上には著しいものがあるが、超高齢化社会に際し、より一層の向上が求められる。そこで保健意識を高めるのに必要な手法、科学的根拠をまとめると共に最近の疫学調査の動向についても補足する。 歯科医師として適切な歯科保健・医療・福祉を実践するために、社会と歯科医学との関係についての知識を習得する。
教科書	安井利一他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版） 末高武彦他編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院） 石井拓男他編：「スタンダード社会歯科学」（学建書院） 社会歯科学研究会編著「歯科五法コンメンタール 第3版」（ヒョーロン）
参考書	末高武彦他編：「新口腔保健学」（医歯薬出版、2009年） 荒川浩久他編：「スタンダード口腔保健学－健康科学として考える（第2版）」（学建書院、2008年） 国民福祉の動向（財団法人厚生統計協会） 厚生労働省ホームページ 世界保健機関（WHO）ホームページ
フィードバック方法	試験実施後の正答、評価への疑問や質問は試験後3日以内に担当教員にその旨申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	2、3、4年次の授業資料に内容を追加記録するか、ノートを作成すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習すること。(30分) 復習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(30分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 本館1階東棟 公衆衛生学講座医局

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月15日(月) 2時限	健康の概念、健康増進、健康日本21 健康増進と疾病予防 地域保健	健康の概念を説明できる。 疾病予防について説明できる。 地域保健の概要を説明できる。	山賀 孝之
2	4月9日(金) 1時限	疾病の予防 健康の保持増進 健康の定義と概念	1. 疾病予防の概念について説明できる。 2. 生活習慣と健康について説明できる。 3. 健康保持増進対策について説明できる。 4. 国民の保健医療対策について説明できる。	山賀 孝之
3	4月9日(金) 2時限	感染症予防	感染症の分類、感染経路、感染予防について説明できる。	山賀 孝之
4	4月19日(月) 1時限	院内感染予防 医薬品の安全性 臨床試験	1. 院内感染について説明できる。 2. 医薬品の安全性を理解する。 3. 院内感染について説明できる。 4. 薬機法のGCPを説明できる。	定岡 直
5	4月19日(月) 2時限	チーム医療 地域連携 医療連携 廃棄物	1. チーム歯科医療、地域の保健・医療と歯科医療機関について説明できる。 2. かかりつけ歯科医師の業務を理解する。 3. 廃棄物処理が理解できる。	定岡 直
6	4月27日(火) 1時限	医療関係法規 歯科医療機関の管理	1. 医療法、薬事法、薬剤師法について説明できる。 2. 医師法、歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法について説明できる。	牧 茂

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	4月27日(火) 2時限	医療関係法 歯科医療機関の管理	1. 医療法、薬事法、薬剤師法について説明できる。 2. 医師法、歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法について説明できる。	牧 茂
8	5月11日(火) 1時限	医療事故・医療裁判 社会と歯科医療	1. 医療事故と医療過誤について説明できる。 2. 社会的問題について説明できる。	牧 茂
9	5月11日(火) 2時限	医療事故・医療裁判 社会と歯科医療	1. 医療事故と医療過誤について説明できる。 2. 社会的問題について説明できる。	牧 茂
10	5月26日(水) 3時限	医療制度、学校保健行政、労働衛生、 環境保全、歯科保健医療	1. 保健・医療制度の特徴、保健・医療・福祉の組織との連携、保健行政、歯科保健医療の情報について説明できる。 2. 地域保健法が説明できる。 3. 保健の業務等が理解できる。	牧 茂
11	6月11日(金) 3時限	統計学の基本 スクリーニング検査	調査方法と統計的分析法を説明できる。 疫学研究法を説明できる。 歯科領域のスクリーニング調査について説明できる。	定岡 直
12	6月15日(火) 3時限	人口統計	人口動向、人口問題を説明できる。	定岡 直
13	6月22日(火) 3時限	保健統計	主な保健医療統計を説明できる。	定岡 直
14	6月30日(水) 1時限	母子保健・母子歯科保健	ライフステージにおける予防を説明できる。 集団レベルの予防と健康管理(母子歯科保健)を説明できる。	牧 茂
15	6月30日(水) 2時限	学校保健・学校歯科保健	ライフステージにおける予防を説明できる。 集団レベルの予防と健康管理(学校歯科保健)を説明できる。	牧 茂
16	7月9日(金) 1時限	産業保健、産業歯科保健 成人・高齢者保健、成人・高齢者歯科 保健	産業保健について説明できる。 成人・高齢者保健を説明できる。	牧 茂
17	7月9日(金) 2時限	産業保健、産業歯科保健 成人・高齢者保健、成人・高齢者歯科 保健	産業保健について説明できる。 成人・高齢者保健を説明できる。	牧 茂
18	8月20日(金) 3時限	精神保健	1. 精神保健について説明できる。 2. 発育段階別の精神保健について説明できる。 3. 精神保健医療福祉制度について説明できる。	牧 茂
19	9月13日(月) 1時限	社会保障制度 保健・医療・福祉の仕組みと関係法規	1. 社会保障制度について説明できる。 2. 医療機関の開設と管理について説明できる。	牧 茂
20	9月13日(月) 2時限	社会保障制度 保健・医療・福祉の仕組みと関係法規	1. 社会保障制度について説明できる。 2. 医療機関の開設と管理について説明できる。	牧 茂
21	9月21日(火) 1時限	保健・医療・福祉の仕組み 介護保険制度	1. 介護保険制度について説明できる。 2. 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂
22	9月21日(火) 2時限	保健・医療・福祉の仕組み 介護保険制度	1. 介護保険制度について説明できる。 2. 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂
23	10月15日(金) 1時限	口腔疾患の疫学	口腔疾患の統計的特徴を説明できる。	山賀 孝之
24	10月15日(金) 2時限	口腔疾患の疫学	口腔疾患の統計的特徴を説明できる。	山賀 孝之

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
25	10月22日(金) 1時限	生活習慣と口腔の健康 口腔清掃 ブラークコントロール	口腔疾患の予防と健康管理を理解する。 生活習慣に関して適切に指導できる。 口腔と全身との関連を説明できる。 口腔清掃について説明できる。	山賀 孝之
26	10月22日(金) 2時限	生活習慣と口腔の健康 口腔清掃 ブラークコントロール	口腔疾患の予防と健康管理を理解する。 生活習慣に関して適切に指導できる。 口腔と全身との関連を説明できる。 口腔清掃について説明できる。	山賀 孝之
27	10月27日(水) 1時限	齲蝕の予防・管理	齲蝕の予防、保健指導について説明できる。	山賀 孝之
28	10月27日(水) 2時限	齲蝕のリスク管理・保健指導	齲蝕の予防、リスク管理、保健指導について説明できる。	山賀 孝之
29	11月1日(月) 3時限	環境保健	環境による健康への影響を説明できる。 環境基準と環境汚染を説明できる。	定岡 直
30	11月10日(水) 3時限	食品保健、食中毒	国民栄養の現状について説明できる。 日本人の食事摂取基準について説明できる。	定岡 直
31	12月8日(水) 3時限	まとめ		山賀 孝之

全部床義歯補綴学

担当者	教授：樋口大輔 講師：笠原隼男、吉田裕哉、藤井政樹
授業概要	全部床における基礎的な知識の確認・応用的な臨床の手技について理解する。
教科書	山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無菌顎補綴学」(学建書院) 市川哲雄他編：「無菌顎補綴治療学 (第3版)」(医歯薬出版) 黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー (第5版)」(学建書院) 細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニック 第6版」(医歯薬出版)
参考書	麻布デンタルアカデミー：「実践2021⑦ 全部床義歯学」
フィードバック方法	講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	欠席しないように。 科目としては全部床義歯補綴学であるが、部分床義歯補綴学・クラウンブリッジ補綴学の内容も取り扱うことがあるのでスケジュールを確認すること
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日18:30まで 樋口大輔、笠原隼男、藤井政樹、吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座医局 黒岩昭弘：本館4階西棟 歯科理工学講座教授室 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月22日(月) 1時限	分野の重要事項1 歯科補綴学総論・全部床義歯補綴学の114回歯科医師国家試験問題解説	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	樋口 大輔
2	3月22日(月) 2時限	分野の重要事項2 クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学の114回歯科医師国家試験問題解説	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	樋口 大輔
3	3月29日(月) 3時限	分野の重要事項3 部分床義歯補綴学の114回歯科医師国家試験問題解説	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	笠原 隼男
4	4月7日(水) 1時限	全部床義歯補綴学1 無菌顎の解剖学的特徴 印象採得	口腔内の解剖学的ランドマークを列挙し、その意義を説明できる。(知) 全部床義歯の製作手順を説明できる。(知) 印象材の特徴と使用方法について説明できる。(知) 有床義歯の概形印象と精密印象を説明できる。(知) 有床義歯の個人トレーの特徴と辺縁形成法を説明できる。(知)	樋口 大輔
5	4月7日(水) 2時限	全部床義歯補綴学2 無菌顎の顎間関係記録	全部床義歯の製作過程の概略を説明できる。(知) 全部床義歯の咬合床について説明できる。(知) 垂直的顎間関係記録法と水平的顎間関係記録法を列挙し、説明できる。(知)	樋口 大輔

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	6月25日(金) 3時限	全部床義歯補綴学3 人工歯選択と排列の基本 全部床義歯の咬合 歯肉形成 ろう義歯試適	全部床義歯の製作過程の概略を説明できる。(知) 人工歯の種類を列挙し、各人工歯の特徴について説明できる。(知) 有床義歯の人工歯の選択法および排列法について説明できる。(知) クリステンセン現象とその防止法について説明できる。(知)	樋口 大輔
7	7月1日(木) 3時限	歯科補綴学総論2 咬合器 フェイスボウトランスファー チェックバイト 顎路調節	基準点と各種基準平面を説明できる。(知) 調節性咬合器と非調節性咬合器について説明できる。(知) 作業用模型の咬合器への装着法について説明できる。(知) フェイスボウを用いた調節性咬合器への咬合器装着法について説明できる。(知)	樋口 大輔
8	7月27日(火) 1時限	有床義歯の技工2 咬合器再装着 咬合調整・削合 研磨	レジン重合後の作業用模型の咬合器再装着の意義について説明できる。(知) 選択削合および自動削合の手順について説明できる。(知)	樋口 大輔
9	7月27日(火) 2時限	全部床義歯補綴学4 義歯の装着と患者指導	義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。(知) 装着後の管理について説明できる。(知)	樋口 大輔
10	9月9日(木) 1時限	臨床実地対策 臨床推論	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。(知)	藤井 政樹
11	9月9日(木) 2時限	臨床実地対策 臨床推論	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。(知)	藤井 政樹
12	10月7日(木) 2時限	臨床実地対策 製作過程	全部床義歯の製作手順を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。(知)	藤井 政樹
13	10月8日(金) 2時限	臨床実地対策 製作過程	全部床義歯の製作手順を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。(知)	藤井 政樹
14	10月20日(水) 1時限	臨床実地対策 全部床義歯の術後管理1 短期予後	装着後の管理について説明できる。(知) リライン、リベースおよび修理について説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
15	10月20日(水) 2時限	臨床実地対策 全部床義歯の術後管理2 長期予後	装着後の管理について説明できる。(知) リライン、リベースおよび修理について説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
16	10月25日(月) 1時限	臨床実地対策 部分床義歯の術後管理1 部分床義歯の予後	装着後の管理について説明できる。(知) リライン、リベースおよび修理について説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
17	10月25日(月) 2時限	臨床実地対策 部分床義歯の術後管理2 義歯修理	装着後の管理について説明できる。(知) リライン、リベースおよび修理について説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
18	12月10日(金) 1時限	弱点分野・頻出問題補強 問題演習と解説	全部床義歯の製作過程の概略を説明できる。(知) 義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
19	12月16日(木) 3時限	弱点分野・頻出問題補強 問題演習と解説	全部床義歯の製作過程の概略を説明できる。(知) 義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
20	12月23日(木) 2時限	全部床義歯補綴学総まとめ	全部床義歯の製作過程の概略を説明できる。(知) 義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉

部分床義歯補綴学

担当者	教授：樋口大輔 講師：笠原隼男、富士岳志、吉田裕哉
授業概要	部分床義歯における基礎的な知識の確認・応用的な臨床の手技について理解する。
教科書	藍稔他編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院） 歯科医師国家試験対策研究会編：「セレクト部分床義歯 縮刷版」（学建書院） 赤川安正他編：「歯科学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版） 五十嵐順正編：「パーシャルデンチャーテクニック（第5版）」（医歯薬出版）
参考書	麻布デンタルアカデミー：「実践2021⑧ 部分床義歯学」
フィードバック方法	講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	欠席は特別な理由がない限り認めない。 科目としては部分床義歯補綴学であるが、全部床義歯補綴学・クラウンブリッジ補綴学の内容を取り扱うことがあるのでスケジュールを確認すること
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日18：30まで 樋口大輔、笠原隼男、吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座医局 黒岩昭弘：本館4階西棟 歯科理工学講座教授室 富士岳志：本館1階東棟 地域連携歯科学講座医局 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	5月24日(月) 1時限	部分床義歯補綴学1 部分床義歯の構成要素と支持・把持・維持	部分床義歯の構成要素を列挙し、その役割を説明できる。(知) 有床義歯の支持、把持および維持機構を説明できる。(知)	樋口 大輔 笠原 隼男
2	5月24日(月) 2時限	部分床義歯補綴学2 印象採得と前処置	部分床義歯の支持機構を担うレスト並びに義歯床の役割について説明できる。(知) 有床義歯の広義の前処置と狭義の前処置を説明できる。(知) 有床義歯の概形印象と精密印象を説明できる。(知)	笠原 隼男 富士 岳志
3	5月28日(金) 1時限	部分床義歯補綴学3 部分床義歯の設計 サベイング	サベイングの目的と方法およびサベイヤの付属品について説明できる。(知) 部分床義歯設計の基本原則と手順を説明できる。(知) 部分床義歯の設計について説明できる。(知)	笠原 隼男
4	5月28日(金) 2時限	部分床義歯補綴学4 部分床義歯の顎間関係記録 部分床義歯の咬合	部分床義歯の咬合採得法と下顎位について説明できる。(知) 垂直的顎間関係記録法と水平的顎間関係記録法を列挙し、説明できる。(知)	笠原 隼男
5	6月2日(水) 3時限	部分床義歯補綴学5 フレームワーク	金属床フレームワークの製作手順について説明できる。(知)	笠原 隼男
6	6月29日(火) 3時限	歯科補綴学総論1 人体の正常構造と機能 下顎位・下顎運動 咬合・咀嚼	中心位と中心咬合位について理解する。(知) 咬頭嵌合位と偏心位について理解する。(知) 下顎安静位について理解する。(知) 下顎限界運動・機能運動を理解する。(知) 切歯点と顎頭点における下顎運動の軌跡を理解する。(知)	樋口 大輔

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	7月26日(月) 3時限	有床義歯の技工1 埋没・重合	部分床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。(知) 各種フラスク埋没法について説明できる。(知)	樋口 大輔
8	8月20日(金) 1時限	部分床義歯補綴学6 義歯の目的別分類	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知)	吉田 裕哉
9	8月20日(金) 2時限	部分床義歯補綴学7 特殊な義歯：アタッチメント・オーバーデンチャー	アタッチメントの種類を列挙し、それぞれの特徴および適応症を説明できる。(知)	吉田 裕哉
10	9月7日(火) 3時限	歯科補綴学総論3 欠損歯列の病態 有床義歯に用いる材料	欠損様式の分類と意義について説明できる。(知) 義歯用材料の種類とその特徴について説明できる。(知)	樋口 大輔
11	10月5日(火) 1時限	臨床実地対策 臨床推論	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	笠原 隼男
12	10月5日(火) 2時限	臨床実地対策 製作過程	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) 有床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	笠原 隼男
13	11月2日(火) 1時限	弱点分野・類出問題補強 問題演習と解説	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) 有床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
14	11月2日(火) 2時限	弱点分野・類出問題補強 問題演習と解説	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) 有床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
15	11月12日(金) 1時限	弱点分野・類出問題補強 義歯設計	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) 有床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
16	11月12日(金) 2時限	弱点分野・類出問題補強 義歯設計	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) 有床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
17	12月10日(金) 2時限	弱点分野・類出問題補強 問題演習と解説	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) 有床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
18	12月17日(金) 1時限	弱点分野・頻出問題補強 問題演習と解説	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) 有床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
19	12月23日(木) 3時限	部分床義歯補綴学総まとめ	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。(知) 有床義歯製作の臨床実技と技工操作の一連のステップの概略を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉

クラウンブリッジ補綴学

担当者	教授：樋口大輔 講師：富士岳志、山口葉子、吉田裕哉、藤井政樹 客員教授：馬場一美
授業概要	4年次のクラウンブリッジ補綴学（冠・架工義歯学）および同実習、5年次の臨床講義、臨床実習で得られた知識の関連性について理解を深める。また専門的な補綴装置の適応・設計・手技について理解する。
教科書	矢谷博文他編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版） 會田雅啓他編：「冠橋義歯補綴学テキスト」（永末書店） 石橋寛二他編：「クラウンブリッジテクニク」（医歯薬出版） 赤川安正他編：「よくわかる口腔インプラント学」（医歯薬出版）
参考書	古谷野潔他編：「プロトドンティクス（第1巻）」（永末書店） クラウンブリッジ補綴学（4年次講義）配付のプリント クラウンブリッジ補綴学実習（4年次）実習書 日本補綴歯科学会編：「歯科補綴学専門用語集」（医歯薬出版） 菅沼岳史：「クラウン・ブリッジ補綴学サイドリーダー（第3版）」（学建書院） 麻布デンタルアカデミー：「実践2021 冠橋義歯学」
フィードバック方法	講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	欠席は特別な理由がない限り認めない。 科目としてはクラウンブリッジ補綴学であるが、全部床義歯補綴学・部分床義歯補綴学の内容を取り扱うことがあるのでスケジュールを確認すること
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予習：実習内容について事前に把握しておくこと。（30分） 復習：十分に理解できない点については、参考書などを利用して能動的に学習すること。（30分）
オフィスアワー	講義終了時から当日18：30まで 樋口大輔、山口葉子、吉田裕哉、藤井政樹、馬場一美：本館4階東棟 歯科補綴学講座医局 富士岳志：本館1階東棟 地域連携歯科学講座医局 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月26日(月) 3時限	クラウンブリッジ補綴学1 歯冠補綴装置の分類 クラウンブリッジの要件 補綴歯科治療の評価 QOL	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知) 歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応について説明できる。(知) 補綴治療の評価と口腔関連 QoL について説明できる。(知)	樋口 大輔
2	5月7日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学2 前処置 支台築造 支台歯形成	クラウンブリッジの治療に際し必要な前処置を列挙し説明できる。(知) 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。(知) 支台歯形成の意義と方法を説明できる。(知)	樋口 大輔
3	5月7日(金) 2時限	クラウンブリッジ補綴学3 印象採得 プロビジョナルレストレーション 顎間関係記録	クラウンブリッジ製作のための印象材の種類、特徴および印象方法を説明できる。(知) プロビジョナルレストレーションの臨床的意義と製作法を説明できる。(知) 補綴治療に必要な下顎の基本運動と下顎位について説明できる。(知) 咬合採得の材料、特徴および方法を説明できる。(知)	樋口 大輔

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
4	5月27日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学4 クラウンブリッジの技工操作 クラウンの適合・咬合・カントウア	クラウンブリッジの蠟型形成法を説明できる。(知) 埋没、鑄造および研磨について説明できる。(知)	樋口 大輔
5	5月27日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学5 クラウンブリッジの装着	歯冠補綴装置の試適、調整および装着について説明できる。(知)	樋口 大輔
6	6月4日(金) 3時限	クラウンブリッジ補綴学6 クラウンブリッジの術後管理	クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明できる。(知)	樋口 大輔
7	6月30日(水) 3時限	クラウンブリッジ補綴学7 ブリッジの設計と要件 ポンティックの要件 ろう着	ブリッジの臨床的意義と構成を説明できる。(知) ブリッジの種類と特徴を説明できる。(知) ブリッジの治療と製作に必要な材料の特性と各基本操作を説明できる。(知)	樋口 大輔
8	7月16日(金) 3時限	クラウンブリッジ補綴学8 接着ブリッジ オールセラミッククラウン	ブリッジの種類と特徴を説明できる。(知) 歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応について説明できる。(知)	樋口 大輔
9	8月27日(金) 3時限	クラウンブリッジ補綴学9 レジン前装冠 陶材焼付冠	歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応について説明できる。(知)	樋口 大輔
10	9月1日(水) 1時限	口腔インプラント学1 一般問題対策	口腔インプラントの基本構造種類について説明できる。(知) 口腔インプラント治療の手順について説明できる。(知)	山口 葉子
11	9月1日(水) 2時限	口腔インプラント学2 臨床実地対策	口腔インプラントの基本構造種類について説明できる。(知) 口腔インプラント治療の手順について説明できる。(知)	藤井 政樹
12	9月17日(金) 3時限	クラウンブリッジ補綴学10 特別講義 デジタルデンティストリー	歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応について説明できる。(知)	馬場 一美
13	10月4日(月) 1時限	臨床実地対策 臨床推論 クラウンブリッジの診査・診断	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	樋口 大輔
14	10月4日(月) 2時限	臨床実地対策 製作過程	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	樋口 大輔
15	11月18日(木) 3時限	弱点分野・頻出問題補強 睡眠歯科医学	睡眠時ブラキシズムについて説明できる。(知) 睡眠時無呼吸症候群について説明できる。(知) 睡眠中の補綴装置の管理について説明できる。(知)	富士 岳志
16	12月10日(金) 3時限	弱点分野・頻出問題補強 問題演習と解説	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	吉田 裕哉
17	12月17日(金) 2時限	弱点分野・頻出問題補強 問題演習と対策	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	樋口 大輔
18	12月24日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学総まとめ	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。(知) これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。(知)	樋口 大輔

保存修復学

担当者	教授：亀山敦史
授業概要	歯科医師国家試験に合格するために必要な保存修復領域の必修事項、総論、各論項目に関する知識、および臨床実地問題に対応できる臨床推論能力を修得する。
教科書	千田彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版） 田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「保存修復学21（第5版）」（永末書店） 日本歯科保存学会編：「う蝕治療ガイドライン（第2版 詳細版）」（永末書店） (http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2015.pdf からダウンロード可) 日本歯科保存学会編：「う蝕治療ガイドライン（第3版）」 (http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2020.pdf からダウンロード可)
参考書	千田彰・田上順次・寺下正道・片山直編集：「保存修復クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> 理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。 メールでの質問も受け付けます（atsushi.kameyama@mdu.ac.jp）。 Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 教科書を必ず持参すること。 講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。 講義の撮影・録画は認めない。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：シラバスで講義内容を確認し、関連する国家試験過去問題をチェックする。(30分) 復習：講義内容に関連する教科書記載ページに目を通し、関連する国家試験過去問題すべてに目を通す。(60分)
オフィスアワー	平日（基本的には講義を行った日）17：30以降 本館3階 歯科保存学講座 教授室

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月12日(月) 1時限	日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版」の概要① 1. エナメル質の初期う蝕への非切削での対応 2. 初発う蝕に対する検査・診断と切削介入の決定 3. 中等度の深さの象牙質う蝕におけるう蝕の除去範囲 4. 深在性う蝕における歯髄保護	<ol style="list-style-type: none"> う蝕治療ガイドラインで明記されているクリニカルクエストに対する学会での推奨項目を説明できる。(想起) 永久歯エナメル質初期齲蝕に対するフッ化物塗布の有効性を説明できる。(想起) 永久歯エナメル質初期齲蝕に対する高フッ化物徐放性グラスアイオノマーセメント塗布の有効性を説明できる。(想起) 永久歯エナメル質初期齲蝕に対するレジン系材料による封鎖の有効性を説明できる。(想起) 咬合面齲蝕の診断に有効な検査法を列挙できる。(想起) 隣接面齲蝕の診断に有効な検査法を列挙できる。(想起) 切削の対象となる齲蝕の進行程度を説明できる。(想起) 除去すべきう蝕象牙質の診断基準を説明できる。(想起) 齲蝕検知液の有効性とその使用法を説明できる。(想起) コンポジットレジン修復時における象牙質・歯髄複合体の保護の必要性について説明できる。(想起) 	亀山 敦史

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
2	4月12日(月) 2時限	日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版」の概要② 5. 露髄の可能性の高い深在性う蝕への対応 6. 臼歯部におけるコンポジットレジン修復の有用性 7. 補修(再研磨、シーラント、補修修復)の有用性 8. 根面う蝕への対応	1. 歯髄温存療法による露髄回避について、その有効性と適応、手順および使用薬剤を説明できる。(想起) 2. 臼歯咬合面(1級窩洞、2級窩洞)における直接法コンポジットレジン修復とメタルインレー修復の臨床成績について説明できる。 3. 臼歯コンポジットレジン修復窩洞に必要な窩洞形態について説明できる。(想起) 4. 根管治療後の臼歯部修復におけるコンポジットレジンの有効性を説明できる。(想起) 5. 辺縁着色、辺縁不適合および辺縁性二次齲蝕に対する補修(再研磨、シーラント、補修修復)の有用性について説明できる。(想起) 6. 初期根面齲蝕に対するフッ化物を用いた非侵襲的治療の有効性について説明できる。(想起) 7. 根面齲蝕の修復処置における使用材料を選択できる。(問題解決) 8. フッ化ジアンミン銀による根面齲蝕の進行抑制について、その機序と有効性、短所を説明できる。(想起)	亀山 敦史
3	5月6日(木) 1時限	歯の硬組織疾患 歯の症候 齲蝕の病因と病態	1. 歯の硬組織疾患を分類できる。(想起) 2. 硬組織疾患について、それぞれを説明できる。(想起) 3. 齲蝕の好発年齢と性、好発部位を説明できる。(想起) 4. tooth wear を分類し、説明できる。(想起) 5. 発育異常に伴う歯の硬組織疾患を列挙し説明できる。(想起) 6. 齲蝕の発症機構を説明できる。(想起) 7. 齲蝕の発症要因を列挙し、その関連性を説明できる。(想起) 8. 齲蝕のリスクファクターを列挙できる。(想起) 9. 齲蝕活動性試験を説明できる。(想起) 10. ブラークコントロールを説明できる。(想起) 11. 齲蝕の病態と病巣の構造、および進行を説明できる。(想起) 12. 齲蝕を分類できる。(想起) 13. ICDAS における齲蝕の判定基準を説明できる。(想起)	亀山 敦史
4	5月6日(木) 2時限	齲蝕の処置 1. エナメル質齲蝕の処置 2. 象牙質齲蝕の処置 3. 根面齲蝕の処置	1. 齲蝕病巣の構造を図示し説明できる。(想起) 2. 初期エナメル質齲蝕に対する再石灰化療法を説明できる。(想起) 3. エナメル質齲蝕の諸層を分類し、各層の特徴を説明できる。(想起) 4. エナメル質齲蝕に対する処置法を説明できる。(想起) 5. 急性齲蝕と慢性齲蝕の臨床的特徴を説明できる。(想起) 6. 象牙質齲蝕の諸層を分類し、各層の特徴を説明できる。(想起) 7. 象牙質齲蝕の処置法と除去法を説明できる。(想起) 8. 根面齲蝕の特徴を説明できる。(想起) 9. 根面齲蝕の処置法を説明できる。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
5	6月3日(木) 3時限	窩洞 ・窩洞の分類 ・窩洞の構成と各部の名称 ・接着性修復窩洞と非接着性修復窩洞 窩洞に具備すべき諸条件① ・窩洞外形 ・保持形態	1. 窩洞を分類し、説明できる。(想起) 2. 窩洞の構成および名称を説明できる。(想起) 3. 窩洞に具備すべき諸条件を列挙できる。(想起) 4. 窩洞外形に影響を与える因子を列挙し、説明できる。(想起) 5. 修復物の脱落因子を列挙し、説明できる。(想起) 6. 窩洞に具備すべき各条件(窩洞外形、保持形態、抵抗形態、便宜形態、窩縁形態、無菌的な窩洞)を説明できる。(想起)	亀山 敦史
6	6月4日(金) 1時限	窩洞に具備すべき諸条件② ・抵抗形態 ・便宜形態 ・窩縁形態 ・窩洞の清掃	1. 窩洞に具備すべき各条件(窩洞外形、保持形態、抵抗形態、便宜形態、窩縁形態、無菌的な窩洞)を説明できる。(想起)	亀山 敦史
7	6月4日(金) 2時限	象牙質・歯髄複合体の保護法	1. 象牙質・歯髄複合体の保護の目的を説明できる。(想起) 2. 歯髄傷害の原因を列挙できる。(想起) 3. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(想起) 4. 象牙質・歯髄複合体の保護法を列挙し、説明できる。(想起) 5. 象牙質・歯髄複合体保護の目的と適応症を説明できる。(想起) 6. 象牙質・歯髄複合体の保護に用いる使用材料・薬剤を説明できる。(想起)	亀山 敦史
8	7月19日(月) 1時限	コンポジットレジン修復① ・レジン接着システム ・前歯コンポジットレジン修復 (3級、4級、5級、くさび状欠損)	1. 接着性材料を分類できる。(想起) 2. レジン接着システムを分類し、各々を説明できる。(想起) 3. レジン接着システムと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 4. レジン接着システムと修復材料への接着機構を説明できる。(想起) 5. コンポジットレジン修復の特徴を列挙し説明できる。(想起) 6. コンポジットレジンの組成を説明できる。(想起) 7. コンポジットレジン进行分类できる。(想起) 8. 光照射器を分類し、説明できる。(想起) 9. 前歯に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 10. 修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 11. コンポジットレジン修復窩洞の特徴を説明できる。(想起)	亀山 敦史
9	7月19日(月) 2時限	コンポジットレジン修復② ・白歯コンポジットレジン修復 (1級、2級) 修復治療の術後管理① ・保全(メンテナンス) ・患者指導 ・補修修復 ・再研磨	1. 白歯に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 2. 白歯部コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 3. C-factorの概念を説明できる。(想起) 4. 修復治療の術後管理を概説できる。(想起) 5. 補修修復の適応とその術式を説明できる。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
10	9月9日(木) 3時限	メタルインレー修復 修復治療の術後管理② ・メタルインレーの再装着 ・補修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. メタルインレー修復の特徴を説明できる。(想起) 2. メタルインレー用歯科用金属の種類と組成を説明できる。(想起) 3. メタルインレー修復の適応症と窩洞形態を説明できる。(想起) 4. メタルインレー修復の製作手順を説明できる。(想起) 5. メタルインレー修復の製作に用いる材料とその使用方法を説明できる。(想起) 6. メタルインレー合着時における誤飲・誤嚥対策を説明できる。(想起) 7. 修復物脱落時の対応を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
11	9月17日(金) 1時限	コンポジットレジンインレー修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンポジットレジンインレー修復の長所・短所を列挙できる。(想起) 2. コンポジットレジンインレー修復の適応症を説明できる。(想起) 3. コンポジットレジンインレー修復窩洞の特徴を他の修復窩洞と比較し説明できる。(想起) 4. コンポジットレジンインレー修復の手順を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
12	9月17日(金) 2時限	セラミックインレー修復 ベニア修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. セラミックインレー修復の適応症を説明できる。(想起) 2. セラミックインレー修復窩洞の特徴を他の修復窩洞と比較し説明できる。(想起) 3. セラミックインレー修復の手順を説明できる。(想起) 4. CAD/CAM装置を用いた修復の長所・短所を説明できる。(想起) 5. CAD/CAM修復に使用する装置や材料について概説できる。(想起) 6. ベニア修復を分類し、各々について説明できる。(想起) 7. ベニア修復の術式を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
13	10月13日(水) 1時限	間接修復の接着	<ol style="list-style-type: none"> 1. 間接修復における合着と接着の違いと各々のメカニズムを説明できる。(想起) 2. 合着・接着材料の種類を列挙できる。(想起) 3. 合着・接着材料の所要性質を列挙できる。(想起) 4. 各々の合着・接着材料の組成と特徴を説明できる。(想起) 5. 間接修復物の合着・接着時における窩洞形成面の表面処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起) 6. 間接修復物の合着・接着時における修復物への処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起) 	亀山 敦史

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
14	10月13日(水) 2時限	グラスアイオノマーセメント修復 アマルガム修復の除去法 象牙質知覚過敏の処置	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラスアイオノマーセメントの特徴を説明できる。(想起) 2. グラスアイオノマーセメントの硬化機構を説明できる。(想起) 3. グラスアイオノマーセメントと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 4. グラスアイオノマーセメント修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 5. ART 法を説明できる。(想起) 6. アマルガムに含有される水銀が人体と環境に及ぼす影響を説明できる。(想起) 7. アマルガムの撤去・除去時における注意点を列挙できる。(想起) 8. 象牙質知覚過敏症のメカニズムを説明できる。(想起) 9. 象牙質知覚過敏症の原因を説明できる。(想起) 10. 象牙質知覚過敏症の処置法を列挙し説明できる。(想起) 11. 象牙質知覚過敏症の処置方針を説明できる。(想起) 12. 象牙質知覚過敏処置の基本術式を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
15	10月21日(木) 1時限	変色歯への対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 変色の原因を説明できる。(想起) 2. 変色歯の処置法を説明できる。(想起) 3. 漂白法の分類を説明できる。(想起) 4. 歯科用漂白剤の種類を列挙し説明できる。(想起) 5. 漂白のメカニズムを説明できる。(想起) 	亀山 敦史
16	10月21日(木) 2時限	歯の切削 歯科用レーザー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 切削器具および工具を列挙できる。(想起) 2. 各々の切削器具および工具の用途を説明できる。(想起) 3. 各々の切削器具および工具の使用方を説明できる。(想起) 4. 歯科用レーザーの種類について説明できる。(想起) 5. レーザーの安全な使用法について説明できる。(想起) 6. レーザーの適応症について説明できる。(想起) 	亀山 敦史
17	12月9日(木) 1時限	修復物の技工	<ol style="list-style-type: none"> 1. メタルインレー修復における技工操作の手順とその目的を説明できる。(想起) 2. 技工に用いる材料の種類と所要性質を説明できる。(想起) 3. メタルインレーの鋳造法を説明できる。(想起) 4. 鋳造収縮とその補償法を説明できる。(想起) 5. 鋳造欠陥の成因とその対策を列挙し説明できる。(想起) 6. コンポジットレジンインレーの製作法を説明できる。(想起) 7. コンポジットレジンインレーの製作に必要な器材を列挙できる。(想起) 8. セラミックインレーの各種製作法を説明できる。(想起) 9. セラミックインレーの製作に必要な器材を列挙できる。(想起) 	亀山 敦史

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
18	12月15日(水) 3時限	演習問題および解説	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提示された課題の問題点を抽出できる。(分析) 2. 問題点の原因分析に必要な診断法を列挙できる。(問題解決) 3. 誤りを修正できる。(問題解決) 4. 分析結果をもとに適切な問題解決手法を選択できる。(問題解決) 5. グループ討論で積極的に自分の意見を伝えることができる。(態度) 6. 自分のウイークポイントを発見できる。(解釈) 	亀山 敦史
19	12月22日(水) 2時限	歯科医師国家試験に向けての総復習		亀山 敦史

歯内治療学

担当者	教授：増田宜子
授業概要	3年、4年次の「歯内治療学」「歯内治療学実習」、5年次「臨床実習」「臨床講義」で学んだことを基本的に総復習し、様々な歯内疾患の症候、病態、を体系的に理解できるよう学習し、検査法、診断および治療法が選択できる能力を養う。症例写真を多く供覧し、臨床における応用力を身につける。
教科書	勝海一郎他：「歯内治療学（第5版）」（医歯薬出版）
参考書	「歯科医師国家試験問題集実践」 「歯科国試 KEY WORDS」 興地隆史他編：「第5版エンドドンティクス」（永末書店） 須田英明他編：「エンドドンティクス21 改訂版」（永末書店） S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby） 河野 哲著：「新歯内治療学サイドリーダー第2版」（学建書院）
フィードバック方法	定期試験については解説時間、Weekly Test、Daily Test については当日のオフィスアワーにて個別に解説を行う。
注意事項	実施されるテストの解答を暗記するのではなく、解答に結びつく理屈・機序を理解し、応用力を養うよう心がける。授業に集中してまとめノートを作成すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：講義内容について教科書・試験問題集で復習する。(15分) 復習：講義プリントを参考に講義内容を復習し、疑問点を担当者に質問する。(45分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 18:00～20:00 本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月12日(月) 3時限	歯髄疾患	1. 歯髄疾患について説明できる。 2. 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎について説明できる。	増田 宜子
2	4月23日(金) 1時限	根尖性歯周疾患(1)	1. 根尖性歯周組織疾患の原因について説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の急性炎と慢性炎について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類と臨床症状を説明できる。	増田 宜子
3	4月23日(金) 2時限	根尖性歯周疾患(2)	1. 根尖性歯周組織疾患の原因について説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の急性炎と慢性炎について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類と臨床症状を説明できる。	増田 宜子
4	5月13日(木) 1時限	歯内-歯周疾患 歯の外傷	1. 歯内-歯周疾患を病態にしたがって分類・診断し治療法について説明できる。 2. 外傷歯の診断と処置について説明できる。 3. 外傷歯の治療法について説明できる。	増田 宜子
5	5月13日(木) 2時限	1. 内部吸収 2. 外部吸収 3. 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響	1. 歯の病的吸収の原因、種類、診断および治療法について説明できる。 2. 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響について説明できる。	増田 宜子

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	6月8日(火) 3時限	根管処置(1)	1. 髓室開拓について説明できる。 2. 根管形成について説明できる。 3. 根管の化学的清掃について説明できる。 4. 根管の消毒について説明できる。 5. 仮封について説明できる。	増田 宜子
7	6月10日(木) 1時限	根管処置(2)	1. 髓室開拓について説明できる。 2. 根管形成について説明できる。 3. 根管の化学的清掃について説明できる。 4. 根管の消毒について説明できる。 5. 仮封について説明できる。	増田 宜子
8	6月10日(木) 2時限	根管充填	1. 根管充填の時期について説明できる。 2. 根管充填材の所要性質について説明できる。 3. 根管充填の術式について説明できる。	増田 宜子
9	8月27日(金) 1時限	歯髄保存療法	歯髄保存療法について説明できる。	増田 宜子
10	8月27日(金) 2時限	1. 歯髄除去療法 2. 根未完成歯の治療	1. 歯髄除去療法について説明できる。 2. 根未完成歯に対する治療法について説明できる。	増田 宜子
11	8月31日(火) 3時限	根尖性歯周疾患の治療	根尖性歯周組織疾患に対する治療法を説明できる。	増田 宜子
12	9月16日(木) 3時限	偶発症と安全対策	歯内療法における偶発症とその対応を説明できる。	増田 宜子
13	10月6日(水) 1時限	外科的歯内療法	1. 外科的歯内療法の意義を説明できる。 2. 外科的歯内療法の種類、適応症、および禁忌症を説明できる。	増田 宜子
14	11月8日(月) 1時限	1. 歯の変色 2. 歯の漂白	歯の変色の原因、適応症、治療法および留意点について説明できる。	増田 宜子
15	11月8日(月) 2時限	1. 高齢者の歯髄疾患と治療 2. 高齢者の根尖性歯周疾患と治療	1. 象牙質・歯髄複合体の老化による変化を説明できる 2. 高齢者に対する歯内療法について説明できる。	増田 宜子
16	11月15日(月) 1時限	歯髄疾患	1. 歯髄疾患について説明できる。 2. 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎について説明できる。	増田 宜子
17	11月15日(月) 2時限	根尖性歯周疾患	1. 根尖性歯周組織疾患の原因について説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の急性炎と慢性炎について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類と臨床症状を説明できる。	増田 宜子
18	12月9日(木) 2時限	まとめ①	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子
19	12月16日(木) 1時限	まとめ②	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子
20	12月22日(水) 3時限	まとめ③	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子

歯周病学

担当者	教授：吉成伸夫 助教：尾崎友輝、中村卓
授業概要	第95回から第114回までの歯科医師国家試験の問題を分析し、第115回歯科医師国家試験に向けての傾向と対策を行う。
教科書	吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基詰編：「臨床歯周病学 Clinical Periodontology（第2版）」（医歯薬出版） 吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション、2018）
参考書	「歯科医師国家試験問題集 実践2022 1、必須」（麻布デンタルアカデミー） 「歯科医師国家試験問題集 実践2022 6、歯周病学」（麻布デンタルアカデミー）
フィードバック方法	疑問がある場合は講義日のQ&Aにて質問すること。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。(15分) 復習：講義内容を復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。(45分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 18:00～19:00 本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

回数	授業日時 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月13日(火) 3時限	歯周病の治療計画、治療の流れ	治療計画の意義を理解する。 検査、診断に基づく治療計画の立案、順序を理解する。	吉成 伸夫
2	4月22日(木) 1時限	歯周病の検査（歯周組織検査項目の内容、測定意義）	正常な歯周組織の構造、機能を理解する。 歯周組織の構造、病因をふまえた検査を理解する。 根分岐部病変の検査を理解する。 歯周組織検査項目（現症）の内容を理解する。 歯周病検査の測定意義、相互関係を理解する。 歯周病の病態読影を理解する。	吉成 伸夫
3	4月22日(木) 2時限	歯周病の検査（各種検査器具の使用法、結果判定）	エックス線写真検査の意義、方法を理解する。 細菌、免疫検査の意義、方法を理解する。 咬合検査の意義、方法を理解する。 口臭検査の意義、方法を理解する。 歯周病の疫学、指数を理解する。	吉成 伸夫
4	5月12日(水) 1時限	歯周病の分類（試験に出題されやすい病名を中心に）	日本歯周病学会による歯周病分類システム（2006）の内容について理解する。	尾崎 友輝
5	5月12日(水) 2時限	特殊な歯周病、口臭	特殊な歯周病の種類、特徴、治療法を理解する。 口臭の分類と対応を理解する。	中村 卓
6	5月27日(木) 3時限	歯周基本治療（ブラークコントロール）	病因（細菌）から考えるブラークコントロールの目的、意義を理解する。 ラポールとアドヒアランスを理解する。 ブラークコントロールの分類（機械的、化学的）を理解する。 ブラッシング法の種類（毛先を使った方法、わき腹を使った方法）を理解する。	吉成 伸夫
7	5月31日(月) 3時限	歯周基本治療（スケーリング・ルートプレーニング：SRP）	SRPの目的、意義を理解する。 SRPの治療形態を理解する。 スケーラーの種類、構造、適応、術式を理解する。 スケーラーのシャープニングを理解する。	吉成 伸夫

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
8	6月7日(月) 1時限	歯周基本治療 (咬合性外傷、咬合調整、暫間固定)	病因 (外傷) としての咬合性外傷、ブラキシズム、食片圧入を理解する。 咬合調整の目的、意義、方法、順序を理解する。 暫間固定の目的、意義、種類を理解する。 歯内歯周病変への対応を理解する。 ブラークリテンションファクターの除去を理解する。	中村 卓
9	6月7日(月) 2時限	歯周病の薬物療法 レーザーによる歯周病治療	歯周病の病因 (細菌) から考える薬物療法の種類と適応を理解する。 歯周病治療における歯科用レーザーの用途を理解する。	中村 卓
10	8月26日(木) 1時限	再評価検査	再評価検査の意義、目的を理解する。 歯周病治療後の不快事象とその対応を理解する。	吉成 伸夫
11	8月26日(木) 2時限	歯周外科治療 (歯周外科の基礎)	歯周外科の目的を理解する。	吉成 伸夫
12	9月8日(水) 1時限	歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法)	切除療法の種類とその適応、術式を理解する。 歯肉弁根尖側移動術 (生物学的幅径) を理解する。 組織付着療法の種類とその適応、術式を理解する。 歯肉弁、歯槽骨の種類を理解する。	吉成 伸夫
13	9月8日(水) 2時限	歯周外科治療 (歯周組織再生療法)	骨移植の種類、方法を理解する。 GTR法、エナメルマトリックスプロテイン、FGF-2を応用した方法の適応、術式を理解する。 ティッシュエンジニアリングを理解する。	吉成 伸夫
14	9月24日(金) 1時限	歯周外科治療 (歯周形成外科)	歯周形成外科の目的と分類を理解する。 歯周形成外科の種類とその適応、術式を理解する。 付着歯肉と根面被覆の違いを理解する。	吉成 伸夫
15	9月24日(金) 2時限	歯周外科治療 (根分歧部病変に対して)	根分歧部病変に対する外科処置の種類とその適応、術式を理解する。 他の術式との併用法を理解する。	吉成 伸夫
16	11月11日(木) 3時限	歯周外科治療 (総括)	臨床的に重要度、頻度の高い術式について理解する。 類似した術式の違いについて理解する。 歯周組織の治癒形態を理解する。	尾崎 友輝
17	11月24日(水) 1時限	口腔機能回復治療	口腔機能回復治療の目的、種類を理解する。 歯周補綴処置を理解する。 矯正治療を理解する。 インプラントを理解する。	吉成 伸夫
18	11月24日(水) 2時限	メンテナンス、SPTと予防	メンテナンスとSPTの目的、意義、基準を理解する。 メンテナンスの意義を理解する。 歯周病予防の方法 (1次予防～3次予防) を理解する。	吉成 伸夫
19	12月9日(木) 3時限	病因から見直す歯周病治療	歯周病の病因因子 (細菌、宿主、環境) の種類とその対応を理解する。	吉成 伸夫
20	12月16日(木) 2時限	全身疾患と歯周病の関係	歯周病に影響する全身疾患を理解する。 歯周病が影響を与える全身疾患を理解する。 ペリオドンタルメディシンを理解する。 病因 (宿主) から見た全身疾患を理解する。	吉成 伸夫
21	12月23日(木) 1時限	高齢者の歯周病治療	高齢者の特徴を理解する。 歯周組織の加齢変化を理解する。 高齢者に対する歯周病治療の留意点を理解する。	吉成 伸夫

小児歯科学

担当者	教授：大須賀直人 准教授：正村正仁、中村浩志 講師：中山聡、森山敬太
授業概要	小児期から成人期に至る口腔機能の健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長発育を理解するとともに、発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法および治療法ならびに口腔健康管理について理解、修得する。
教科書	大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
参考書	大須賀直人他：「小児歯科基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版） 大須賀直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版） 大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版） 大須賀直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU 出版会） 大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（医歯薬出版）
フィードバック方法	配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。
注意事項	教科書は必ず持参すること。 板書内容や説明内容を記載すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書等で予習をおこなうこと。(30分) 復習：講義ノート・配付された資料等を復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(30分)
オフィスアワー	月～金曜日 17：30～18：30 本館2階東棟 小児歯科学講座医局

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月23日(火) 3時限	人体の正常構造と機能 人体の発生、成長・発育、加齢	小児の身体の発育、精神の発達を理解する。	中村 浩志
2	3月26日(金) 1時限	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育(1) 加齢・歯の喪失による変化(1) 病因・病態(1)	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育について理解する。 加齢・歯の喪失による変化について理解する。 小児歯科領域の疾患の病因・病態について理解する。	中村 浩志
3	3月26日(金) 2時限	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育(2) 加齢・歯の喪失による変化(2) 病因・病態(2)	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育について理解する。 加齢・歯の喪失による変化について理解する。 小児歯科領域の疾患の病因・病態について理解する。	中村 浩志
4	4月22日(木) 3時限	乳歯・幼若永久歯の特徴 小児の齲蝕	乳歯・幼若永久歯の特徴について理解する。 小児齲蝕の特徴について理解する。	中村 浩志
5	5月31日(月) 1時限	小児の歯周組織と疾患	小児歯周組織と疾患の予防と処置について理解する。	正村 正仁
6	5月31日(月) 2時限	小児の歯科診療	小児患者の診査・診断・歯科的対応法について理解する。	正村 正仁
7	6月3日(木) 1時限	小児齲蝕の予防法・進行抑制法・保健指導	小児齲蝕の予防法・進行抑制法・保健指導について理解する。	正村 正仁
8	6月3日(木) 2時限	小児の歯冠修復	乳歯および幼若永久歯の歯冠修復について理解する。	中山 聡

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
9	6月9日(木) 1時限	小児の歯内療法(1)	乳歯および幼若永久歯の歯内療法について理解する。	中山 聡
10	6月9日(木) 2時限	小児の歯内療法(2)	乳歯および幼若永久歯の歯内療法について理解する。	中山 聡
11	6月11日(金) 1時限	外科的処置	小児歯科領域の外科的処置について理解する。	大須賀直人
12	6月11日(金) 2時限	歯の外傷	小児の歯の外傷と処置について理解する。	大須賀直人
13	9月7日(火) 1時限	児童虐待 小児の顎口腔疾患(1)	児童虐待について理解する。 小児歯科領域の顎口腔疾患について理解する。	中山 聡
14	9月7日(火) 2時限	小児の顎口腔疾患(2)	小児歯科領域の顎口腔疾患について理解する。	中山 聡
15	10月7日(木) 1時限	咬合誘導	咬合誘導咬合誘導概論、保険と保険装置、咬合誘導法について理解する。	大須賀直人
16	10月8日(金) 1時限	治療時に留意すべき小児疾患(1)	小児歯科治療時に留意すべき疾患について理解する。	森山 敬太
17	11月1日(月) 1時限	治療時に留意すべき小児疾患(2)	小児歯科治療時に留意すべき疾患について理解する。	森山 敬太
18	11月1日(月) 2時限	まとめ(1) 成長発育	成長発育関連の内容について理解する。	正村 正仁
19	11月11日(木) 1時限	まとめ(2) 成長発育	成長発育関連の内容について理解する。	正村 正仁
20	11月11日(木) 2時限	まとめ(3) 齶蝕と歯内療法および歯周疾患	齶蝕と歯内療法および歯周疾患の内容について理解する。	正村 正仁
21	12月14日(火) 2時限	まとめ(4) 齶蝕と歯内療法および歯周疾患	齶蝕と歯内療法および歯周疾患の内容について理解する。	森山 敬太
22	12月21日(火) 1時限	まとめ(5) 外科的処置・口腔粘膜疾患	外科的処置・口腔粘膜疾患関連の内容について理解する。	森山 敬太

歯科矯正学

担当者	教授：岡藤範正 准教授：川原良美
授業概要	歯科矯正学の知識について総復習を行い、更なる知識を深める。
教科書	相馬邦道・後藤滋巳・葛西一貴・山本照子・飯田順一郎編：「歯科矯正学（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」（医歯薬出版） 歯科矯正学基礎実習 臨床実習マニュアル 歯科矯正学（講義）配付プリント
フィードバック方法	定期試験、Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に掲示するので確認すること
注意事項	医療人となることを踏まえて行動する。全ての授業に出席すること
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：教科書・参考書で知識の再確認を行うこと（30分） 復習：授業プリント、講義ノートを復習し、十分に理解できなかった点については積極的に理解する様に能動的に学習に努めること（30分）
オフィスアワー	授業日（18：00～20：00）本館2階東棟 歯科矯正学講座医局、教授室 オフィスアワー以外の時間帯でも在室時は随時可能 連絡先 E-mail：岡藤範正：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月24日(水) 3時限	咬合、成長発育の原則 歯科矯正学総論と咬合（正常咬合・不正咬合）	1. 咬合、成長発育の原理を理解し、説明できる。	岡藤 範正
2	4月23日(金) 3時限	セファログラム、模型分析を用い、診断をたてることができる。	セファロ分析、模型分析ができる。	岡藤 範正
3	5月10日(月) 1時限	矯正治療の抜歯の基準、矯正治療と装置の適応について(1)	1. エックス線分析について説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 各種不正咬合の治療を説明できる。	岡藤 範正
4	5月10日(月) 2時限	矯正治療の抜歯の基準、矯正治療と装置の適応について(2)	1. エックス線分析について説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 各種不正咬合の治療を説明できる。	岡藤 範正
5	5月11日(火) 3時限	矯正歯科治療によって起こる生体の反応	Tooth size ratio、エックス線分析について説明できる。	岡藤 範正
6	5月26日(水) 1時限	混合歯列と永久歯列の矯正治療	混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
7	5月26日(水) 2時限	混合歯列と永久歯列の矯正治療	混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
8	6月21日(月) 1時限	顎変形症と保定	顎変形症の治療を説明できる。 保定を説明できる。	川原 良美
9	6月21日(月) 2時限	顎変形症と保定	顎変形症の治療を説明できる。 保定を説明できる。	川原 良美
10	7月26日(月) 1時限	成長発育、検査、診断、模型分析、A.L.D、Tooth size ratio、エックス線分析(1)	成長発育、セファログラム、模型分析を用い、診断をたてることができる。	岡藤 範正

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	7月26日(月) 2時限	成長発育、検査、診断、模型分析、A.L.D、Tooth size ratio、エックス線分析(2)	成長発育、セファログラム、模型分析を用い、診断をたてることができる。	岡藤 範正
12	8月25日(水) 3時限	矯正治療と歯の移動	1. 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。 2. 矯正治療の抜歯の基準を説明できる。	岡藤 範正
13	9月10日(金) 1時限	Tooth size ratio、エックス線分析(1)	Tooth size ratio、エックス線分析を説明できる。	岡藤 範正
14	9月10日(金) 2時限	矯正治療と装置の適応について(2) 混合歯列と永久歯列の矯正治療(2)	1. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 2. 各種不正咬合の治療を説明できる。 3. 混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
15	10月7日(木) 3時限	矯正治療と装置の適応について(1) 混合歯列と永久歯列の矯正治療(1)	1. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 2. 各種不正咬合の治療を説明できる。 3. 混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
16	10月8日(金) 3時限	矯正治療と装置の適応について(2) 混合歯列と永久歯列の矯正治療(2)	1. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 2. 各種不正咬合の治療を説明できる。 3. 混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
17	11月10日(水) 1時限	復習 1 成長発育、検査、診断	成長発育、模型分析を用い、診断をたてることができる。	岡藤 範正
18	11月10日(水) 2時限	復習 2 成長発育、検査、診断	成長発育、模型分析を用い、診断をたてることができる。	岡藤 範正
19	11月17日(水) 1時限	復習 3 矯正治療と歯の移動	1. 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。 2. 矯正治療の抜歯の基準を説明できる。	岡藤 範正
20	11月17日(水) 2時限	復習 4 エックス線分析	エックス線分析を説明できる。	岡藤 範正
21	12月13日(月) 2時限	復習 5 矯正治療と装置の適応について 混合歯列と永久歯列の矯正治療	1. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 2. 各種不正咬合の治療を説明できる。 3. 混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
22	12月20日(月) 1時限	復習 6 顎変形症保定	1. 顎変形症の治療を説明できる。 2. 不正咬合の後戻りの原因、予防法を理解できる。	岡藤 範正 川原 良美

口腔外科学

担当者	教授：各務秀明
授業概要	1. 口腔外科学総論（全身的症候、局所的症候、主要症候） 2. 口腔外科学総論（検査） 3. 口腔外科学総論（治療・手術） 4. 先天異常・発育異常 5. 顎関節疾患 6. 損傷・口腔粘膜疾患 7. 炎症・感染症・アレルギー性疾患 8. 嚢胞・腫瘍および類似疾患 9. 症候性疾患 10. 唾液腺疾患 11. 口腔領域の神経疾患 12. 血液疾患・出血性素因 13. 有病者の歯科、口腔外科治療
教科書	白砂兼光・古郷幹彦：「口腔外科学（第4版）」（医歯薬出版） 山根源之他編：「口腔内科学」（永末書店） 実践（麻布デンタルアカデミー）
参考書	道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店） 栗田賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店） 榎本昭二他監修：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版株式会社）
フィードバック方法	Weekly Test、定期テスト、模試にて正答率の低い問題については講義にて解説を行う。
注意事項	歯科医師として必要とされる口腔外科の知識を確実なものとする。こと。 国家試験の出題傾向を理解すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：当日の講義内容をレジュメ、テキストで確認しておくこと。(15分) 復 習：当日の講義内容をレジュメを中心に復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理すること。 (45分)
オフィスアワー	月～金曜日 17：00～18：00 本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室 不在の場合もあるので、できるだけ事前に電話にて予約をしてください。電話0263-51-2065

【授業日程】

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担 当 者
1	3月16日(火) 1時限	口腔外科診断学（全身的症候、局所症候、主要症候）と検査	口腔外科疾患の診断に必要な診断手順と症状を理解する。口腔外科治療口腔外科疾患の診断に必要な検査を理解する。	各務 秀明
2	3月16日(火) 2時限	有病者の歯科・口腔外科治療	有病者や全身状態に配慮が必要な患者に対する知識と対応を習得する。	各務 秀明
3	3月24日(水) 1時限	治療・手術法	手術の基礎となる消毒と滅菌および基本的な手技を理解する。代表的な手術法について理解する。	各務 秀明
4	3月24日(水) 2時限	症候性疾患	口腔に症状を現す全身疾患について理解する。	各務 秀明
5	3月30日(火) 1時限	炎症	炎症の診断、治療法について理解する。	各務 秀明
6	3月30日(火) 2時限	自己免疫・アレルギー性疾患	自己免疫疾患およびアレルギー性疾患について理解する。	各務 秀明

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	4月5日(月) 1時限	損傷(1)総論、軟組織損傷	損傷について理解する。軟組織損傷の治療について理解する。	各務 秀明
8	4月5日(月) 2時限	損傷(2)歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折	歯の外傷および歯槽骨骨折の診断、治療について理解する。顎骨骨折の診断、治療について理解する。	各務 秀明
9	4月6日(火) 3時限	粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と特徴、診断法について理解する。 それぞれの疾患の臨床所見から鑑別診断ができる。 確定診断のための検査法が選択できる。 それぞれの疾患の治療法が説明できる。	各務 秀明
10	4月13日(火) 1時限	顎関節疾患(1)総論、各論1	顎関節疾患について理解する。	各務 秀明
11	4月13日(火) 2時限	顎関節疾患(2)各論2	顎関節症について理解する。	各務 秀明
12	4月26日(月) 1時限	唾液腺疾患(1)総論、各論1	唾液腺疾患について理解する。	各務 秀明
13	4月26日(月) 2時限	唾液腺疾患(2)各論2	唾液腺腫瘍、唾液腺嚢胞について理解する。	各務 秀明
14	5月7日(金) 3時限	先天異常	遺伝性疾患、症候群について理解する。	各務 秀明
15	5月25日(火) 1時限	唇顎口蓋裂	唇顎口蓋裂の診断および治療について理解する。	各務 秀明
16	5月25日(火) 2時限	インプラント治療、 骨再生治療	インプラント治療について理解する。 口腔外科領域で行われている骨再生治療の種類について理解する。 それぞれの骨再生法の術式と特徴について理解する。	各務 秀明
17	6月1日(火) 3時限	口腔領域の神経疾患(1)心因性病態、神経痛と類似疾患	心因性病態、精神神経疾患、三叉神経痛、帯状疱疹痛、舌咽神経痛、非菌原性疼痛、茎状突起過長症を理解する。	各務 秀明
18	6月15日(火) 1時限	口腔領域の神経疾患(2)顔面神経麻痺、味覚異常、顔面神経痙攣	顔面神経麻痺、三叉神経麻痺、舌咽神経麻痺、舌下神経麻痺、味覚異常、顔面痙攣、三叉神経痙攣を理解する。	各務 秀明
19	6月15日(火) 2時限	血液疾患(1)	血液疾患の基礎、貧血、白血病、骨髄異形成症候群、白血球減少症を理解する。	各務 秀明
20	6月23日(水) 1時限	血液疾患(2)出血性素因	出血性素因(止血機構、出血傾向の検査、血管壁の異常、血小板の異常、凝固因子の異常、線溶系の異常)を理解する。	各務 秀明
21	6月23日(水) 2時限	顎変形症の診断と治療	顎変形症の中で、外科的矯正が必要な症例を診断できる。 外科的矯正の治療の流れを理解できる。 症例に応じて、適切な外科的矯正の治療法を選択できる。	各務 秀明
22	7月1日(木) 1時限	顎変形症の手術	顎変形症の手術方法と、それぞれの長所、短所を説明できる。	各務 秀明
23	7月1日(木) 2時限	顎・口腔の腫瘍(1)非菌原性腫瘍、腫瘍類似疾患1	口腔領域の良性腫瘍、特に非菌原性腫瘍の診断、治療法について理解する。	各務 秀明
24	7月9日(金) 3時限	顎・口腔の腫瘍(2)非菌原性腫瘍、腫瘍類似疾患2	口腔領域の非菌原性良性腫瘍および腫瘍類似疾患の診断、治療について理解する。	各務 秀明

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
25	7月15日(木) 3時限	顎・口腔の腫瘍(3)菌原性腫瘍	口腔領域の良性腫瘍、特に菌原性腫瘍の診断、治療法について理解する。	各務 秀明
26	7月19日(月) 3時限	顎・口腔の腫瘍(4)悪性腫瘍 1	口腔領域の悪性腫瘍の診断、分類について理解する。非上皮性悪性腫瘍について理解する。	各務 秀明
27	8月19日(木) 1時限	顎・口腔の腫瘍(5)悪性腫瘍 2	口腔領域の悪性腫瘍の治療法について理解する。	各務 秀明
28	8月19日(木) 2時限	顎・口腔の腫瘍(6)悪性腫瘍 3	口腔領域の悪性腫瘍切除後の再建法について理解する。	各務 秀明
29	8月25日(水) 1時限	嚢胞(1)総論、各論 1：顎嚢胞	顎嚢胞の診断、治療法を理解する。	各務 秀明
30	8月25日(水) 2時限	嚢胞(2)各論 2：顎嚢胞、軟組織嚢胞	顎骨部に発生する嚢胞性病変の診断、治療法を理解する。軟組織部に発生する嚢胞の診断、治療法を理解する。	各務 秀明
31	9月6日(月) 1時限	国試口腔外科の総合演習(1)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
32	9月6日(月) 2時限	国試口腔外科の総合演習(2)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
33	9月16日(木) 1時限	国試口腔外科の総合演習(3)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
34	9月16日(木) 2時限	国試口腔外科の総合演習(4)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
35	9月22日(水) 1時限	国試口腔外科の総合演習(5)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
36	9月22日(水) 2時限	国試口腔外科の総合演習(6)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
37	10月12日(火) 1時限	国試口腔外科の総合演習(7)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
38	11月9日(火) 1時限	国試口腔外科の総合演習(8)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
39	11月9日(火) 2時限	国試口腔外科の総合演習(9)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
40	11月16日(火) 1時限	国試口腔外科の総合演習(10)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
41	11月16日(火) 2時限	国試口腔外科の総合演習(11)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
42	11月25日(木) 1時限	国試口腔外科の総合演習(12)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
43	11月25日(木) 2時限	国試口腔外科の総合演習(13)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
44	12月14日(火) 1時限	国試対策講義(1)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
45	12月20日(月) 3時限	国試対策講義(2)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
46	12月24日(金) 3時限	国試対策講義(3)	国家試験の出題傾向を理解する。関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明

歯科麻酔学

担当者	教授：澁谷徹 講師：谷山貴一
授業概要	1. 全身管理 2. 局所麻酔 3. 精神鎮静法 4. 全身麻酔 5. 全身の偶発症 6. 救急処置 7. 疼痛治療
教科書	丹羽 均・入船正浩・小長谷光・澁谷 徹・深山治久編：「第5版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）
参考書	嶋田昌彦・梶山加綱・深山治久・丹羽均編：「わかる！できる！歯科麻酔実践ガイド」（医歯薬出版） 福島和昭監修・一戸 達也他編：「歯科麻酔学（第8版）」（医歯薬出版） 今井 裕・岩淵博史監修・石垣佳希他編：「有病者歯科学」（永末書店）
フィードバック方法	Daily Test、Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。
注意事項	講義内容を正しく理解し、知識を着実に積み重なっていくこと。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスの講義内容について予習する。(30分) 復 習：教科書、講義資料および講義ノートをもとに復習を行う。(30分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16：30～17：30 本館5階西棟 歯科麻酔学講座教授室、医局

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月20日(火) 1時限	歯科治療時に留意すべき全身疾患・状態(1) 高血圧、虚血性心疾患 先天性心疾患、心臓弁膜症	心臓循環器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。	谷山 貴一
2	4月20日(火) 2時限	歯科治療時に留意すべき全身疾患・状態(2) 気管支喘息 糖尿病、甲状腺機能亢進症、 副腎皮質機能低下症 妊娠	呼吸器疾患患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 内分泌・代謝性疾患患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 妊娠患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。	澁谷 徹
3	5月28日(金) 3時限	バイタルサイン モニター 血液検査 全身状態評価	バイタルサインを列挙し、説明できる。 意識障害を評価できる。 血圧・脈拍数を測定し、評価できる。 モニター機器について説明できる。 血液検査での異常値を判別できる。 全身状態を評価できる。	澁谷 徹
4	6月2日(水) 1時限	局所麻酔法 局所的合併症	局所麻酔法について説明できる。 局所麻酔時の局所的合併症について説明できる。	澁谷 徹
5	6月2日(水) 2時限	局所麻酔薬 血管収縮薬	局所麻酔薬の作用機序と作用に影響する因子について説明できる。 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。	谷山 貴一

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	6月8日(火) 1時限	歯科治療時の全身的偶発症(1) 血管迷走神経反射 過換気症候群 局所麻酔薬中毒 アナフィラキシーショック 血管収縮薬による反応 メトヘモグロビン血症	歯科治療時に生じる全身的偶発症の原因・症状・処置・予防について説明できる。	澁谷 徹
7	6月8日(火) 2時限	歯科治療時の全身的偶発症(2) 誤飲・誤嚥 全身疾患の増悪	歯科治療時に生じる全身的偶発症の原因・症状・処置・予防について説明できる。	谷山 貴一
8	7月15日(木) 1時限	救急蘇生法 成人・小児・乳児に対する一次救命処置	救急蘇生法について説明できる。 救急薬品について説明できる。	谷山 貴一
9	7月15日(木) 2時限	精神鎮静法 基本手技 心電図	精神鎮静法について説明できる。 基本手技(注射法、採血法)について説明できる。 心電図の基本を説明できる。 不整脈を診断できる。 心筋虚血による心電図変化を説明できる。	澁谷 徹
10	8月31日(火) 1時限	全身麻酔(1) 全身麻酔法 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、 筋弛緩薬 麻酔前投薬	全身麻酔に使用する薬剤人と器具について説明できる。 麻酔前投薬について説明できる。	澁谷 徹
11	8月31日(火) 2時限	全身麻酔(2) 日帰り全身麻酔 全身麻酔時の合併症	日帰り全身麻酔について説明できる。 全身麻酔時の合併症・偶発症について説明できる。	谷山 貴一
12	9月10日(金) 3時限	疼痛治療 三叉神経痛 非歯源性歯痛 顔面神経麻痺 三叉神経麻痺 癌性疼痛	慢性痛について説明できる。 神経麻痺について説明できる。 癌性疼痛の治療法について説明できる。	澁谷 徹
13	10月26日(火) 1時限	全身疾患 循環器系疾患、 呼吸器系疾患、その他の疾患 全身状態評価	歯科治療時に留意すべき全身疾患について説明できる。 全身状態を適切に評価できる。	澁谷 徹
14	10月26日(火) 2時限	全身的偶発症 血管迷走神経反射 過換気症候群 アナフィラキシーショック 異物の誤飲・誤嚥	歯科治療時に起こりうる全身偶発症について説明できる。	谷山 貴一
15	11月18日(木) 1時限	救急蘇生法 救急薬品	救急蘇生法について説明できる。 救急薬品について説明できる。	谷山 貴一
16	11月18日(木) 2時限	疼痛治療 星状神経節ブロック 局所麻酔薬 血管収縮薬	口腔顎顔面領域の慢性痛に対する治療を説明できる。 星状神経節ブロックについて説明できる。 局所麻酔薬について説明できる。 血管収縮薬について説明できる。	澁谷 徹
17	12月13日(月) 3時限	全身状態評価 歯科治療時に留意すべき全身疾患	全身状態を評価できる。 心臓循環器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。 呼吸器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。	澁谷 徹

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
18	12月20日(月) 2時限	救急蘇生法 心電図	救急蘇生法について説明できる。 不整脈を診断できる。	澁谷 徹

歯科放射線学

担当者	教授：田口明
授業概要	歯科放射線学の基礎的事項および重要事項について、特に視覚的素材を中心に理解を深めることのできるように試験と解説を交えて講義する。
教科書	田口 明編：歯科放射線学第6学年総合講義2021年度版
参考書	勝又明敏・浅海淳一・田口 明・森本泰宏編集主幹：「解説と例題でわかる歯科放射線テキスト」（永末書店）
フィードバック方法	試験において正解率が低い問題について詳細な説明を行う。
注意事項	テキストの復習を必ず行うこと。 国家試験の出題傾向を理解すること。
準備学習時間 (予習・復習)	120分 予 習：事前にシラバスを確認し、講義内容について理解しておくこと。(60分) 復 習：講義内容をしっかり読みかえし、内容を理解すること。(60分)
オフィスアワー	金曜日 17:30~19:00 本館5階西棟 歯科放射線学講座教授室

【授業日程】

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月15日(月) 3時限	電離放射線の種類、エックス線の発生とエックス線装置の基本的構造	電離の意味と電離放射線の種類を説明できる。 口内法撮影の種類と適応および利点について説明できる。	田口 明
2	3月29日(月) 1時限	エックス線写真の画質、電離放射線の基本と人体への影響、電離放射線の単位、放射性同位元素	コントラストを説明できる。 電離放射線の単位の基本を説明できる。 電離放射線の人体への影響を分類して説明できる。 放射線同位元素の概念について説明できる。	田口 明
3	3月29日(月) 2時限	パノラマエックス線撮影の原理 造影剤とCTの基本的概念	パノラマエックス線撮影の原理を説明できる。 CTの構造とCT値および撮影の基本的概念を説明できる。	田口 明
4	5月12日(水) 3時限	エックス線画像形成 各種画像診断装置	エックス線画像形成に関与する因子と画像形成の基本について説明できる。 各種画像装置の適応について説明できる。	田口 明
5	5月25日(火) 3時限	放射線防護 電離放射線の影響	放射線防護の基本原則について説明できる。 電離放射線の人体への影響を説明できる。	田口 明
6	6月7日(月) 3時限	画像情報管理システム 口内法正常解剖	画像情報管理システムについて説明できる。 口内法の正常解剖を説明できる。	田口 明
7	6月23日(水) 3時限	パノラマエックス線写真正常解剖 画像検査法の選択	パノラマエックス線写真の正常解剖を説明できる。 病変に適した画像検査法を選択できる。	田口 明
8	7月8日(木) 1時限	口腔顎顔面領域の診断 特殊画像検査	診断の考え方の基本を身につける。 特殊画像検査法の特徴を説明できる。	田口 明
9	7月8日(木) 2時限	口腔顎顔面領域の放射線治療	口腔顎顔面領域の放射線治療について説明できる。 放射線治療の副作用を述べることができる。	田口 明
10	8月30日(月) 1時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(1)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	田口 明
11	8月30日(月) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(2)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	田口 明

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	10月6日(水) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(3)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	田口 明
13	11月22日(月) 1時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(4)	顎口腔領域の疾患における画像診断ができる。 顎口腔領域の疾患に関連する胸部エックス線所見が理解できる。	田口 明
14	11月22日(月) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(5)	顎口腔領域の疾患における画像診断ができる。 顎口腔領域の疾患に関連する胸部エックス線所見が理解できる。	田口 明
15	12月13日(月) 1時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(6)	口腔顎顔面領域の疾患（隣接疾患）についての画像診断ができる。	田口 明
16	12月17日(金) 3時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(7)	口腔顎顔面領域の疾患（隣接疾患）についての画像診断ができる。	田口 明
17	12月24日(金) 2時限	歯科医療における最新放射線医学	歯科医療の領域で用いられる最新放射線医学について理解できる。	田口 明

障がい者歯科学・高齢者歯科学

担当者	教授：葩島弘之 講師：望月慎恭、富士岳志
授業概要	スペシャルニーズのある患者の対応を学ぶ。 1. 院内感染 2. 症候群の特徴 3. 障害特性 4. 全身と局所に加齢変化 5. 高齢者によくみられる疾患
教科書	障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版） よくわかる高齢者歯科学（医歯薬出版）
参考書	森崎市治郎編：「障害者歯科ガイドブック（第1版）」（医歯薬出版） 渡辺誠監修：「高齢者歯科学（第1版）」（永末書店）
フィードバック方法	Weekly Testの結果を確認し、次回の講義で補足する。
注意事項	時間を有効に活用すること。 疑問はその場で質問すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：あらかじめキーワードとその定義を単語帳に記載しておくこと。(30分) 復習：講義内容をまとめること。(60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17:30～19:00 本館1階 地域連携歯科学講座教授室 連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月21日(水) 3時限	障害	障がい者と保護者の心理（Drotarの保護者の心理、Cohnの段階理論、死の受容のプロセス）を説明する。 緩和ケアと全人的苦痛を説明する。 脳性まひ、Down症の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。	葩島 弘之
2	5月24日(月) 3時限	院内感染	スタンダードプリコーションを説明する。 衛生的手洗いを説明する。 抗菌薬の適正使用について説明する。 適切な滅菌・消毒を説明する。 適切な医療廃棄物処理について説明する。	望月 慎恭
3	6月1日(火) 1時限	症候群(1)	1. 反対咬合を呈する症候群を説明する。 2. 小下顎症の症候群を説明する。 3. 第1・2鰓弓症候群を説明する。 4. 骨形成不全症の症候群を説明する。 5. エナメル質形成不全の症候群を説明する。 6. 歯の脱落を起こす症候群を説明する。	望月 慎恭
4	6月1日(火) 2時限	症候群(2)	7. 過成長の症候群を説明する。 8. 常染色体異常の症候群を説明する。 9. 性染色体異常の症候群を説明する。 10. 神経・皮膚症候群を説明する。 11. 色素沈着の症候群を説明する。	葩島 弘之

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
5	7月16日(金) 1時限	身体障害	身体障害者福祉法を説明する。 脳性まひの概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 筋ジストロフィーの概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 ALSの概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 Parkinson病の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 脳血管疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。	龍島 弘之
6	7月16日(金) 2時限	精神障害	精神障害を説明する。 双極性障害、認知症、統合失調症、てんかん、発達障害の概要と歯科治療上の配慮すべき事項を説明する。	龍島 弘之
7	8月26日(木) 3時限	呼吸器疾患・睡眠時無呼吸に対する 歯科の対応	呼吸器疾患、脳・神経疾患の概要と対応を説明する。 拘束性換気障害 閉塞性換気障害 OSAS	富士 岳志
8	9月22日(水) 3時限	高齢者によくみられる疾患(1)	循環器疾患、脳・神経疾患の概要と対応を説明する。	龍島 弘之
9	11月26日(金) 1時限	高齢者によくみられる疾患(2)	高齢者によくみられる代謝性疾患、腎・肝疾患呼吸器疾患、内分泌疾患の概要と対応を説明する。	望月 慎恭
10	11月26日(金) 2時限	障がい者歯科における行動調整	精神発達の評価を説明する。 基本的行動調整を説明できる。 行動療法を説明できる。 笑気吸入鎮静法を説明できる。 全身麻酔下歯科治療を説明できる。	龍島 弘之
11	12月14日(火) 3時限	チーム医療・多職種連携	医療連携、チーム医療、訪問診療を説明する。 要介護高齢者と障がい者における口腔ケアの役割を説明する。	龍島 弘之
12	12月21日(火) 2時限	高齢者歯科 全身状態の評価・認知症	高齢者の特性と全身の加齢変化を説明する。 高齢者の全身状態の評価を説明する。	望月 慎恭

摂食嚥下療法学

担当者	教授：靛島弘之 講師：望月慎恭、富士岳志
授業概要	スペシャルニーズのある患者の対応を学ぶ。 1. 摂食・嚥下リハビリテーション
教科書	向井美恵他編：「歯科学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」
参考書	障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Testの結果を確認し、次回の講義で補足する。
注意事項	時間を有効に活用すること。 疑問はその場で質問すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：あらかじめキーワードとその定義を単語帳に記載しておくこと。(30分) 復習：講義内容をまとめること。(60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17:30～19:00 本館1階 地域連携歯科学講座教授室 連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	5月13日(木) 3時限	摂食嚥下療法(1)	嚥下障害の所見を説明する。 嚥下障害への検査を説明する。 嚥下障害の診断を説明する。	靛島 弘之
2	6月9日(水) 3時限	摂食嚥下療法(2)	摂食・嚥下障害の解剖と生理を説明する。	靛島 弘之
3	9月13日(月) 3時限	摂食嚥下療法(3)	摂食嚥下機能のスクリーニングを説明する	望月 慎恭
4	11月19日(金) 1時限	摂食嚥下療法(4)	摂食嚥下機能の精密検査を説明する	靛島 弘之
5	11月19日(金) 2時限	摂食嚥下療法(5)	摂食嚥下調整食を説明する。 摂食嚥下障害患者の栄養管理を説明する。 構音発語障害の病態を説明する。 舌接触補助床を説明する。 食事介助を説明する。	富士 岳志
6	12月15日(水) 1時限	摂食嚥下療法(6)	嚥下障害を合併する疾患と経過を説明する。	靛島 弘之
7	12月21日(火) 3時限	摂食嚥下療法(7)	摂食嚥下障害への対応を説明する。	靛島 弘之

医療面接学

担当者	准教授：森啓
授業概要	医療倫理を説明できる。 一般歯科診療の流れを説明できる。 医療面接法の基本的流れを説明できる。 コミュニケーションの技法を説明できる。 インフォームド・コンセントを説明できる。 チーム医療を説明できる。 診療記録記載方法を説明できる。
教科書	なし
参考書	斎藤清二：「はじめての医療面接」(医学書院) 伊藤孝訓：「第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス」(シエン社)
フィードバック方法	各テストの理解が不十分な点について資料を配布する。 必要があれば事前に資料配付する。
注意事項	必要な資料は配付する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：講義内容についてしっかり調べておくこと。(30分) 復 習：資料を調べる際にはノートや教科書・参考書を利用してしっかり内容を理解すること。(30分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17:30以降～ 本館2階北棟病院共同教員室

【授業日程】

回数	授業日 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月16日(火) 3時限	プロフェッショナリズム (医の倫理と生命倫理、患者中心の視点) 診療技能と患者ケア	1. 歯科医師に必要な倫理的行動と規範を説明できる。 2. 患者中心の医療とセカンドオピニオンを説明できる。 3. 医療面接に必要なプロセスと技能と臨床推論を説明できる。	森 啓
2	11月25日(木) 3時限	チーム医療の実践 (医療面接) 一般歯科診療の基本 (記録) 医療英語 コミュニケーション能力	1. 歯科診療に必要な態度と基本的技能を説明できる。 2. カルテ入力方法 (POMR) を説明できる。 3. チーム医療の内容 (多職種連携)、病院連携を説明できる。 4. 歯科診療に必要な英語表現を説明できる。	森 啓
3	12月15日(水) 2時限	医療面接	1. 医療面接の意義を説明できる。 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接に必要なスキルを説明できる。	森 啓
4	12月22日(水) 1時限	臨床推論	1. 口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案説明できる。 2. 臨床推論について説明できる。	森 啓

2021年度 6 学年 日程表

曜		月	火	水	木	金	土	日	
		3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	
1	1	9:00～ 10:30	オリエンテーション	口腔外科学-1・2	演習 I	演習 I	演習 I 解説	春分の日	
	2	10:40～ 12:10	公衆衛生学-1						
	3	13:10～ 14:40	歯科放射線学-1						医療面接学-1
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)						総合講義演習 (14:50～17:00)
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)						Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)

		3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28
2	1	9:00～ 10:30	全部床義歯補綴学 -1・2	口腔生理学-1・2	口腔外科学-3・4	口腔組織学-1・2	小児歯科学-2・3	Weekly test-1 補講・自習
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	口腔微生物学-1	小児歯科学-1	歯科矯正学-1	歯科理工学-1	口腔生化学-1	
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	

		3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	
3	1	9:00～ 10:30	歯科放射線学 -2・3	口腔外科学-5・6	連携講義 - 1・2・3 (MDUゼミ・宇 佐美・全部床)	連携講義 - 4・5・6 (MDUゼミ・宇 佐美・全部床)	連携講義 - 7・8・9 (MDUゼミ・宇 佐美・全部床)		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	全部床義歯補綴学 -3						口腔解剖学-1
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)						総合講義演習 (14:50～17:00)
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)						Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)

		4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
4	1	9:00～ 10:30	口腔外科学-7・8	歯科薬理学-1・2	全部床義歯補綴学 -4・5	入学式	公衆衛生学-2・3	Weekly test-2 補講・自習
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	口腔病理学-1	口腔外科学-9	口腔解剖学-2	健康診断		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

		4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18
5	1	9:00～ 10:30	保存修復学-1・2	口腔外科学-10・ 11	連携講義 - 10・11・12 (MDUゼミ・宇 佐美・部分床)	連携講義 - 13・14・15 (MDUゼミ・宇 佐美・部分床)	連携講義 - 16・17・18 (MDUゼミ・宇 佐美・部分床)	
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	歯内治療学-1	歯周病学-1				
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)				
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)				

曜		月	火	水	木	金	土	日
		4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25
6	1	9:00~10:30	公衆衛生学-4・5	歯科麻酔学-1・2	歯科理工学-2・3	歯周病学-2・3	歯内治療学-2・3	Weekly test-3 補講・自習
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40	口腔病理学-2	口腔微生物学-2	障がい者歯科学・高齢者歯科学-1	小児歯科学-4	歯科矯正学-2	
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	

		4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2
7	1	9:00~10:30	口腔外科学-12・13	公衆衛生学-6・7	昭和の日	連携講義-22・23・24 (MDUゼミ・宇佐美・保存修復)	連携講義-25・26・27 (MDUゼミ・宇佐美・保存修復)	
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40	クラウンブリッジ補綴学-1	口腔生化学-2				
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)				
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)				

		5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9		
8	1	9:00~10:30	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	保存修復学-3・4 クラウンブリッジ補綴学-2・3	Weekly test-4 補講・自習			
	2	10:40~12:10								
	3	13:10~14:40								
	4	14:50~16:20							総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)
	5	16:30~18:00							Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)

		5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16				
9	1	9:00~10:30	歯科矯正学-3・4	公衆衛生学-8・9	歯周病学-4・5	歯内治療学-4・5	Weekly test-5 連携講義-28・29・30 (MDUゼミ・宇佐美・歯周病)	連携講義-31・32・33 (MDUゼミ・宇佐美・歯周病)				
	2	10:40~12:10										
	3	13:10~14:40							口腔病理学-3	歯科矯正学-5	歯科放射線学-4	摂食嚥下療法学-1
	4	14:50~16:20							総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)
	5	16:30~18:00							Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)

		5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23
10	1	9:00~10:30	授業なし	I期試験	I期試験解説	連携講義-34・35・36 (MDUゼミ・宇佐美・歯内療法)	連携講義-37・38・39 (MDUゼミ・宇佐美・歯内療法)	連携講義-40・41・42 (MDUゼミ・宇佐美・歯内療法)
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40						
	4	14:50~16:20						
	5	16:30~18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日
		5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30
11	1	9:00~10:30	部分床義歯補綴学 -1・2	口腔外科学 - 15・16	歯科矯正学 -6・7	クラウンブリッジ 補綴学 -4・5	部分床義歯補綴学 -3・4	Weekly test-6 補講・自習
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40	障がい者歯科学・ 高齢者歯科学-2	歯科放射線学 -5	公衆衛生学 -10	歯周病学 -6	歯科麻酔学 -3	
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	

曜		5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6
12	1	9:00~10:30	小児歯科学 -5・6	障がい者歯科学・ 高齢者歯科学 -3・4	歯科麻酔学 -4・5	小児歯科学 -7・8	保存修復学 -6・7	Weekly test-7 模擬試験 (麻布ゼロ)
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40	歯周病学 -7	口腔外科学 -17	部分床義歯補綴学 -5	保存修復学 -5	クラウンブリッジ 補綴学 -6	
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	

曜		6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13
13	1	9:00~10:30	歯周病学 -8・9	歯科麻酔学 -6・7	小児歯科学 - 9・10	歯内治療学 -7・8	小児歯科学 - 11・12	Weekly test-8 模擬試験 (DES プレ)
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40	歯科放射線学 -6	歯内治療学 -6	摂食嚥下療法学 -2	口腔組織学 -3	公衆衛生学 -11	
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	

曜		6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20
14	1	9:00~10:30	口腔外科学 - 18・19	連携講義 - 43・44・45 (MDUゼミ・宇 佐美・クラウン ブリッジ補綴学)	連携講義 - 46・47・48 (MDUゼミ・宇 佐美・クラウン ブリッジ補綴学)	連携講義 - 49・50・51 (MDUゼミ・宇 佐美・クラウン ブリッジ補綴学)	I 期試験追再試	
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40	公衆衛生学 -12					
	4	14:50~16:20	マッチング、医 局、大学院説明会	総合講義演習 (14:50~17:00)				
	5	16:30~18:00		Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)				

曜		6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27
15	1	9:00~10:30	歯科矯正学 -8・9	口腔生理学 -3・4	口腔外科学 - 20・21	口腔生化学 -3・4	歯科理工学 -5・6	Weekly test-9 補講・自習
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40	口腔病理学 -4	公衆衛生学 -13	歯科放射線学 -7	歯科理工学 -4	全部床義歯補綴学 -6	
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	

曜		月	火	水	木	金	土	日
		6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4
16	1	9:00~10:30	口腔病理学-5・6	口腔解剖学-3・4	公衆衛生学-14・15	口腔外科学-22・23	連携講義-52・53・54 (MDUゼミ・宇佐美・インプラント)	Weekly test-10
	2	10:40~12:10						補講・自習
	3	13:10~14:40	歯科薬理学-4	部分床義歯補綴学-6	クラウンブリッジ補綴学-7	全部床義歯補綴学-7		
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)		
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)		

曜		7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11
17	1	9:00~10:30	授業なし	Ⅱ期試験	Ⅱ期試験解説	歯科放射線学-8・9	公衆衛生学-16・17	
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40				歯科理工学-7	口腔外科学-24	
	4	14:50~16:20				総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00				Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	

曜		7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18
18	1	9:00~10:30	連携講義-55・56・57 (DES・中本・内科・口外)	連携講義-58・59・60 (DES・中本・内科・口外)	連携講義-61・62・63 (DES・中本・内科・口外)	歯科麻酔学-8・9	障がい者歯科学・高齢者歯科学-5・6	Weekly test-11
	2	10:40~12:10						補講・自習
	3	13:10~14:40				口腔外科学-25	クラウンブリッジ補綴学-8	
	4	14:50~16:20				総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00				Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	

曜		7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25		
19	1	9:00~10:30	保存修復学-8・9	連携講義-64・65・66 (MDUゼミ・井上・生理学)	連携講義-67・68・69 (MDUゼミ・井上・生理学)	連携講義-70・71・72 (MDUゼミ・小出・社会歯科)	海の日	Ⅱ期試験追再試		
	2	10:40~12:10								スポーツの日
	3	13:10~14:40					口腔外科学-26			
	4	14:50~16:20					総合講義演習 (14:50~17:00)			
	5	16:30~18:00					Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)			

曜		7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1		
20	1	9:00~10:30	全部床義歯補綴学-8・9		連携講義-73・74・75 (MDUゼミ・宇佐美・理工)	連携講義-76・77・78 (MDUゼミ・宇佐美・理工)	連携講義-79・80・81 (MDUゼミ・宇佐美・理工)	Weekly test-12		
	2	10:40~12:10							補講・自習	
	3	13:10~14:40						部分床義歯補綴学-7		歯科薬理学-5
	4	14:50~16:20						総合講義演習 (14:50~17:00)		総合講義演習 (14:50~17:00)
	5	16:30~18:00						Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)		Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)

曜		月	火	水	木	金	土	日	
21		8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	
	1	9:00~10:30	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	山の日 夏季休業
	2	10:40~12:10							
	3	13:10~14:40							
	4	14:50~16:20							
	5	16:30~18:00							

22		8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
	1	9:00~10:30	振替休日 夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40						
	4	14:50~16:20						
	5	16:30~18:00						

23		8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
	1	9:00~10:30	夏季休業	連携講義 - 82・83・84 (DES・三井・矯正・摂食嚥下・高齢者・衛生)	連携講義 - 85・86・87 (DES・三井・矯正・摂食嚥下・高齢者・衛生)	口腔外科学 - 27・28	部分床義歯補綴学 - 8・9	
	2	10:40~12:10				口腔微生物学 - 3	公衆衛生学 - 18	
	3	13:10~14:40				総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	4	14:50~16:20				Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	
	5	16:30~18:00				Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	

24		8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29
	1	9:00~10:30	演習Ⅱ 模擬試験 (DES 1)	演習Ⅱ 模擬試験 (DES 1)	口腔外科学 - 29・30	歯周病学 - 10・11	歯内治療学 - 9・10	Weekly test-13
	2	10:40~12:10			歯科矯正学 - 12	障がい者歯科学・高齢者歯科学 - 7	クラウンブリッジ補綴学 - 9	補講・自習
	3	13:10~14:40			総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	4	14:50~16:20			Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	
	5	16:30~18:00			Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	

25		8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5		
	1	9:00~10:30	歯科放射線学 - 10・11	歯科麻酔学 - 10・11	クラウンブリッジ補綴学 - 10・11	連携講義 - 88・89・90 (MDUゼミ・宇佐美・演習)	連携講義 - 91・92・93 (MDUゼミ・宇佐美・演習)	Weekly test-14		
	2	10:40~12:10	口腔組織学 - 4	歯内治療学 - 11	口腔組織学 - 5			補講・自習		
	3	13:10~14:40								
	4	14:50~16:20							総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)
	5	16:30~18:00							Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)
Daily test 復習 (17:15~18:00)									Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)

曜		月	火	水	木	金	土	日
		9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12
26	1	9:00~10:30	口腔外科学 - 31・32	小児歯科学 - 13・14	歯周病学 -12・13	全部床義歯補綴学 -10・11	歯科矯正学 - 13・14	Weekly test-15
	2	10:40~12:10					連携講義 -94・95・96 (DES・吉川・小児)	
	3	13:10~14:40	歯科理工学 -8	部分床義歯補綴学 -10	口腔生理学 -5	保存修復学 -10		歯科麻酔学 -12
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)		総合講義演習 (14:50~17:00)
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)		Daily test (17:00~17:15)
Daily test 復習 (17:15~18:00)			Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)		

		9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	
27	1	9:00~10:30	公衆衛生学 - 19・20	演習Ⅲ 模擬試験(麻布1)	演習Ⅲ 模擬試験(麻布1)	口腔外科学 - 33・34	保存修復学 - 11・12	Weekly test-16	
	2	10:40~12:10							補講・自習
	3	13:10~14:40	摂食嚥下療法学 -3				歯内治療学 -12	クラウンブリッジ補綴学 -12	
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)				総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15)				Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	
Daily test 復習 (17:15~18:00)				Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)				

		9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26
28	1	9:00~10:30	敬老の日	公衆衛生学 - 21・22	口腔外科学 - 35・36	秋分の日	歯周病学 -14・15	Weekly test-17
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40		歯科薬理学 -6	障がい者歯科学・高齢者歯科学 -8		口腔解剖学 -5	
	4	14:50~16:20		総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)		総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00		Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)		Daily test (17:00~17:15)	
Daily test 復習 (17:15~18:00)			Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)				

		9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3
29	1	9:00~10:30	授業なし	Ⅲ期試験	Ⅲ期試験解説	連携講義 - 97・98・99 (MDUゼミ・宇佐美・演習)	連携講義 - 100・101・102 (MDUゼミ・宇佐美・演習)	
	2	10:40~12:10						
	3	13:10~14:40						
	4	14:50~16:20						
	5	16:30~18:00						

		10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10
30	1	9:00~10:30	クラウンブリッジ補綴学 -13・14	部分床義歯補綴学 -11・12	歯内治療学 -13	小児歯科学 -15	小児歯科学 -16	Weekly test-18
	2	10:40~12:10			歯科放射線学 -12	全部床義歯補綴学 -12	全部床義歯補綴学 -13	
	3	13:10~14:40	口腔微生物学 -4	口腔生化学 -5	口腔病理学 -7	歯科矯正学 -15	歯科矯正学 -16	補講・自習
	4	14:50~16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	
Daily test 復習 (17:15~18:00)			Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)		

曜		月	火	水	木	金	土	日
		10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17
31	1	9:00~10:30	授業なし	口腔外科学-37	保存修復学-13・14	特別講義(内科学)	公衆衛生学-23・24	Weekly test-19 連携講義-103・104・105 (DES・中本・内科・口外)
	2	10:40~12:10		口腔組織学-6				
	3	13:10~14:40		口腔生理学-6	歯科理工学-9	特別講義(法歯学)	口腔解剖学-6	
	4	14:50~16:20		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		総合講義演習(14:50~17:00)	
	5	16:30~18:00		Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)		

曜		10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24
32	1	9:00~10:30	演習Ⅳ 模擬試験 (DES 2)	演習Ⅳ 模擬試験 (DES 2)	全部床義歯補綴学-14・15	保存修復学-15・16	公衆衛生学-25・26	Ⅲ期試験追再試
	2	10:40~12:10			口腔生理学-7	歯科理工学-10	口腔生化学-6	
	3	13:10~14:40						
	4	14:50~16:20			Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	
	5	16:30~18:00						

曜		10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31
33	1	9:00~10:30	全部床義歯補綴学-16・17	歯科麻酔学-13・14	公衆衛生学-27・28	連携講義-106・107・108 (MDUゼミ・宇佐美・演習) 連携講義-109・110・111 (MDUゼミ・宇佐美・演習)	Weekly test-20	補講・自習
	2	10:40~12:10	口腔生化学-7	歯科薬理学-7	口腔解剖学-7			
	3	13:10~14:40					総合講義演習(14:50~17:00)	
	4	14:50~16:20	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)			
	5	16:30~18:00						

曜		11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7
34	1	9:00~10:30	小児歯科学-17・18	部分床義歯補綴学-13・14	文化の日	演習Ⅴ 模擬試験(麻布2)	演習Ⅴ 模擬試験(麻布2)	補講・自習
	2	10:40~12:10	公衆衛生学-29	歯科薬理学-8				
	3	13:10~14:40						
	4	14:50~16:20	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)				
	5	16:30~18:00						

曜		11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14
35	1	9:00~10:30	歯内治療学-14・15	口腔外科学-38・39	歯科矯正学-17・18	小児歯科学-19・20	部分床義歯補綴学-15・16	Weekly test-21
	2	10:40~12:10	歯科理工学-11	口腔生理学-8	公衆衛生学-30	歯周病学-16	口腔生化学-8	
	3	13:10~14:40						総合講義演習(14:50~17:00)
	4	14:50~16:20	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	Daily test(17:00~17:15) Daily test 復習(17:15~18:00)	
	5	16:30~18:00						

曜		月	火	水	木	金	土	日
		11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21
36	1	9:00~ 10:30	歯内治療学 - 16・17	口腔外科学 - 40・41	歯科矯正学 - 19・20	歯科麻酔学 - 15・16	摂食嚥下療法学 -4・5	Weekly test-22 補講・自習
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40	口腔微生物学 -5	歯科薬理学 -9	口腔解剖学 -8	クラウンブリッジ 補綴学 -15	口腔病理学 -8	
	4	14:50~ 16:20	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~ 18:00	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test (17:00~17:15) Daily test 復習 (17:15~18:00)	

		11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28				
37	1	9:00~ 10:30	勤労感謝の日	歯科放射線学 - 13・14	歯科放射線学 - 13・14	歯科放射線学 - 13・14	Weekly test-23	11/28				
	2	10:40~ 12:10							歯科放射線学 - 13・14	歯科放射線学 - 13・14	歯科放射線学 - 13・14	補講・自習
	3	13:10~ 14:40							口腔微生物学 -6	口腔微生物学 -6	口腔微生物学 -6	
	4	14:50~ 16:20							総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	
	5	16:30~ 18:00							Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	
		Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)								
				歯科放射線学 - 17・18	口腔外科学 - 42・43	障がい者歯科学・ 高齢者歯科学 -9・10						
				口腔組織学 -7	医療面接学 -2	口腔微生物学 -7						
				総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)	総合講義演習 (14:50~17:00)						
				Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)	Daily test (17:00~17:15)						
				Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)	Daily test 復習 (17:15~18:00)						

		11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5
38	1	9:00~ 10:30	IV期試験	IV期試験解説	演習VI 模擬試験(麻布3)	演習VI 模擬試験(麻布3)	連携講義 - 112・113・114 (MDUゼミ・宇 佐美・演習)	連携講義 - 115・116・117 (MDUゼミ・宇 佐美・演習)
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12
39	1	9:00~ 10:30	口腔解剖学①	口腔生化学①	歯科薬理学①	保存修復学①	全部床義歯補綴学 ①	IV期試験追再試
	2	10:40~ 12:10	口腔組織学①	口腔微生物学①	歯科理工学①	歯内治療学①	部分床義歯補綴学 ①	
	3	13:10~ 14:40	口腔生理学①	口腔病理学①	公衆衛生学①	歯周病学①	クラウンブリッジ 補綴学①	
	4							
	5							

		12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19
40	1	9:00~ 10:30	歯科放射線学①	口腔外科学①	摂食嚥下療法学①	歯内治療学②	部分床義歯補綴学 ②	
	2	10:40~ 12:10	歯科矯正学①	小児歯科学①	医療面接学①	歯周病学②	クラウンブリッジ 補綴学②	
	3	13:10~ 14:40	歯科麻酔学①	障がい者・高齢者 歯科学①	保存修復学②	全部床義歯補綴学 ②	歯科放射線学②	
	4							
	5							

曜		月	火	水	木	金	土	日	
41		12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	
	1	9:00～ 10:30	歯科矯正学②	小児歯科学②	医療面接学②	歯周病学③	クラウンブリッジ 補綴学③	冬季休業	冬季休業
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学②	障がい者・高齢者 歯科学②	保存修復学③	全部床義歯補綴学 ③	歯科放射線学③		
	3	13:10～ 14:40	口腔外科学②	摂食嚥下療法学②	歯内治療学③	部分床義歯補綴学 ③	口腔外科学③		
	4								
5									

42		12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	
	1	9:00～ 10:30	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	元旦	冬季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
5	16:30～ 18:00								

43		1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	
	1	9:00～ 10:30	冬季休業	冬季休業	卒業試験	卒業試験			
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
5	16:30～ 18:00								

44		1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	
	1	9:00～ 10:30	成人の日		直前講義(麻布)	直前講義(麻布)	ファウンダーズデイ		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
5	16:30～ 18:00								

45		1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23
	1	9:00～ 10:30	卒業追再試験	卒業追再試験	演習Ⅶ 模擬試験 (DES 3)	演習Ⅶ 模擬試験 (DES 3)	直前講義 (DES)	直前講義 (DES)
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
5	16:30～ 18:00							

46		1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30
	1	9:00～ 10:30					創立記念日	
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
5	16:30～ 18:00							

曜		月	火	水	木	金	土	日
		1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6
47	1	9:00~ 10:30					歯科医師国家試験 (予定)	歯科医師国家試験 (予定)
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13
48	1	9:00~ 10:30				卒業式 (予定)	建国記念日	
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

2021年度 第6学年 年間予定

2021年

3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 月		1 木		1 土		1 火		1 木		1 日	夏季休業(～8/16)	1 水	
2 火		2 金		2 日		2 水		2 金		2 月		2 木	
3 水		3 土		3 月	憲法記念日	3 木		3 土	Weekly Test 10	3 火		3 金	
4 木		4 日		4 火	みどりの日	4 金		4 日		4 水		4 土	Weekly Test 14
5 金		5 月		5 水	こどもの日	5 土	Weekly Test 7	5 月	授業なし	5 木		5 日	
6 土		6 火		6 木		6 日		6 火	Ⅱ期試験	6 金		6 月	
7 日		7 水		7 金		7 月		7 水	Ⅱ期試験 解説	7 土		7 火	
8 月		8 木	入学式 文連・体連部活紹介	8 土	Weekly Test 4	8 火		8 木	Ⅲ期開始	8 日	山の日	8 水	
9 火		9 金	健康診断	9 日		9 水		9 金		9 月	振替休日	9 木	
10 水		10 土	Weekly Test 2	10 月		10 木		10 土		10 火		10 金	
11 木		11 日		11 火		11 金		11 日		11 水		11 土	Weekly Test 15
12 金		12 月		12 水		12 土	Weekly Test 8	12 月		12 木		12 日	
13 土		13 火		13 木		13 日		13 火		13 金		13 月	
14 日		14 水	交通安全講習会	14 金		14 月	マッチング・医局・大学院説明会	14 水		14 土		14 火	演習Ⅲ
15 月	オリエンテーション Ⅰ期開始	15 木		15 土	Weekly Test 5	15 火		15 木		15 日		15 水	演習Ⅲ
16 火		16 金		16 日		16 水		16 金		16 月	夏季休業終了	16 木	
17 水	演習Ⅰ	17 土		17 月	授業なし	17 木		17 土	Weekly Test 11	17 火		17 金	
18 木	演習Ⅰ	18 日		18 火	Ⅰ期試験	18 金	Ⅰ期 追・再試験	18 日		18 水		18 土	Weekly Test 16 体育祭
19 金	演習Ⅰ 解説	19 月		19 水	Ⅰ期試験 解説	19 土		19 月		19 木		19 日	
20 土	春分の日	20 火		20 木	Ⅱ期開始	20 日		20 火		20 金		20 月	敬老の日
21 日		21 水		21 金		21 月		21 水		21 土		21 火	
22 月		22 木		22 土		22 火		22 木	海の日	22 日		22 水	
23 火		23 金		23 日		23 水		23 金	スポーツの日	23 月	演習Ⅱ	23 木	秋分の日
24 水		24 土	Weekly Test 3	24 月		24 木		24 土	Ⅱ期 追・再試験	24 火	演習Ⅱ	24 金	
25 木		25 日		25 火		25 金		25 日		25 水		25 土	Weekly Test 17
26 金		26 月		26 水		26 土	Weekly Test 9	26 月		26 木		26 日	
27 土	Weekly Test 1	27 火		27 木		27 日		27 火		27 金		27 月	授業なし
28 日		28 水		28 金		28 月		28 水		28 土	Weekly Test 13	28 火	Ⅲ期試験
29 月		29 木	昭和の日	29 土	Weekly Test 6	29 火		29 木		29 日		29 水	Ⅲ期試験 解説
30 火		30 金		30 日		30 水		30 金		30 月		30 木	Ⅳ期開始
31 水				31 月				31 土	Weekly Test 12	31 火			

2022年

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 金		1 月		1 水	演習VI	1 土	元日	1 火		1 火	
2 土		2 火		2 木	演習VI	2 日		2 水		2 水	
3 日		3 水	文化の日	3 金		3 月		3 木		3 木	
4 月		4 木	演習V	4 土		4 火	冬季休業終了	4 金		4 金	
5 火		5 金	演習V	5 日		5 水	卒業試験	5 土	歯科医師国家試験 (予定)	5 土	
6 水		6 土		6 月		6 木	卒業試験	6 日	歯科医師国家試験 (予定)	6 日	
7 木		7 日		7 火		7 金		7 月		7 月	
8 金		8 月		8 水		8 土		8 火		8 火	
9 土	Weekly Test 18	9 火		9 木		9 日		9 水		9 水	
10 日		10 水		10 金		10 月	成人の日	10 木	卒業式(予定)	10 木	
11 月		11 木		11 土	Ⅳ期 追・再試験	11 火		11 金	建国記念の日	11 金	
12 火		12 金		12 日		12 水		12 土		12 土	
13 水		13 土	Weekly Test 21	13 月		13 木		13 日		13 日	
14 木		14 日		14 火		14 金	ファウンダーズデイ	14 月		14 月	
15 金		15 月		15 水		15 土		15 火		15 火	
16 土	Weekly Test 19	16 火		16 木		16 日		16 水		16 水	
17 日		17 水		17 金		17 月	卒業試験 追・再試験	17 木		17 木	
18 月	演習IV	18 木		18 土		18 火	卒業試験 追・再試験	18 金		18 金	
19 火	演習IV	19 金		19 日		19 水		19 土		19 土	
20 水		20 土	Weekly Test 22	20 月		20 木	演習VII	20 日		20 日	
21 木		21 日		21 火		21 金	演習VII	21 月		21 月	春分の日
22 金		22 月		22 水		22 土		22 火		22 火	
23 土	Ⅲ期 追・再試験	23 火	勤労感謝の日	23 木		23 日		23 水	天皇誕生日	23 水	
24 日		24 水		24 金		24 月		24 木		24 木	
25 月		25 木		25 土		25 火		25 金		25 金	
26 火		26 金		26 日	冬季休業(～1/4)	26 水		26 土		26 土	
27 水		27 土	Weekly Test 23	27 月		27 木		27 日		27 日	
28 木		28 日		28 火		28 金		28 月		28 月	
29 金		29 月	Ⅳ期試験	29 水		29 土	創立記念日			29 火	
30 土	Weekly Test 20	30 火	Ⅳ期試験 解説	30 木		30 日				30 水	
31 日				31 金		31 月				31 木	

病 院 概 要

【病院概要】

病院敷地面積	10,986.5㎡
病院建設延面積	15,843.80㎡（地下1階、地上4階）
病院理念	建学の精神に立脚し患者個人の尊厳を重んじた手厚い医療を行う。教学一致の不断の研鑽と高雅な学識、技法に基づく臨床教育及び生涯教育を行い人間性豊かな知識・技術・態度に優れた医療人を育成する。 真理を追究し、真理に基づいた医療のために幅広く有意義な臨床研究を推進し先進的かつ質の高い医療を提供しつつ優れた医療人を育成し医学の発展と地域社会に貢献する。
基本方針	私たちは「やさしく、安全、親切で、確かな医療」を提供できる病院を目指します。
標榜科	歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、内科、消化器内科、神経内科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科（休診中）、整形外科
受付・診療時間	口腔診療部 初診受付 平日 8:30~11:00/13:00~16:00 土曜日 8:30~11:00 再診受付 平日 8:30~11:30/13:00~16:30 土曜日 8:30~11:30
診療時間	診療時間 平日 9:00~12:00/13:00~17:00 土曜日 9:00~12:00 内科・消化器内科・神経内科・耳鼻いんこう科※・皮膚科（休診中） 初診受付 平日 8:30~11:30/14:00~16:30 再診受付 平日 8:30~11:30/14:00~16:30 診療時間 平日 9:00~12:00/14:00~17:00 ※土曜日は休診となります。 ※耳鼻いんこう科は水曜日手術日、第4金曜日休診となります。 眼科 初診受付 平日 8:30~11:00 再診受付 月・水・木・金 8:30~11:00/13:30~15:30 診療時間 平日 9:00~12:00/13:30~17:00 ※土曜日は休診となります。 ※再診は予約制となります。午後の診療は予約のみとなります。 整形外科 初診受付 平日 8:30~10:30/14:00~16:00 再診受付 平日 8:30~11:30/14:00~16:30 診療時間 平日 9:00~12:00/14:00~17:00 ※土曜日は休診となります。 ※水曜日、金曜日の初診受付は午前中のみとなります。

休診日	日曜、祝日、創立記念日、夏季休業、年末年始休業等
患者数	2019年度1日平均外来 558人（医科を含む） 2019年度1日平均入院 8人（同）
病床数	病床数31床
主な設備	チェアーユニット108台、超音波診断装置、MRI、マルチスライスCTスキャナー、歯科用小型エックス線CT（3DX）、マイクロスコープレーザー治療装置、レーザー溶接機、デンタルキャディムシステム、歯科用シミュレーションシステム、電子カルテシステム、医療用画像管理システム（PACS）

【カルテの閲覧】

2008年4月15日よりカルテは電子化されている。レポート提出等で電子カルテの閲覧が必要になった場合は、担当医の許可を得て指示を仰ぐ。

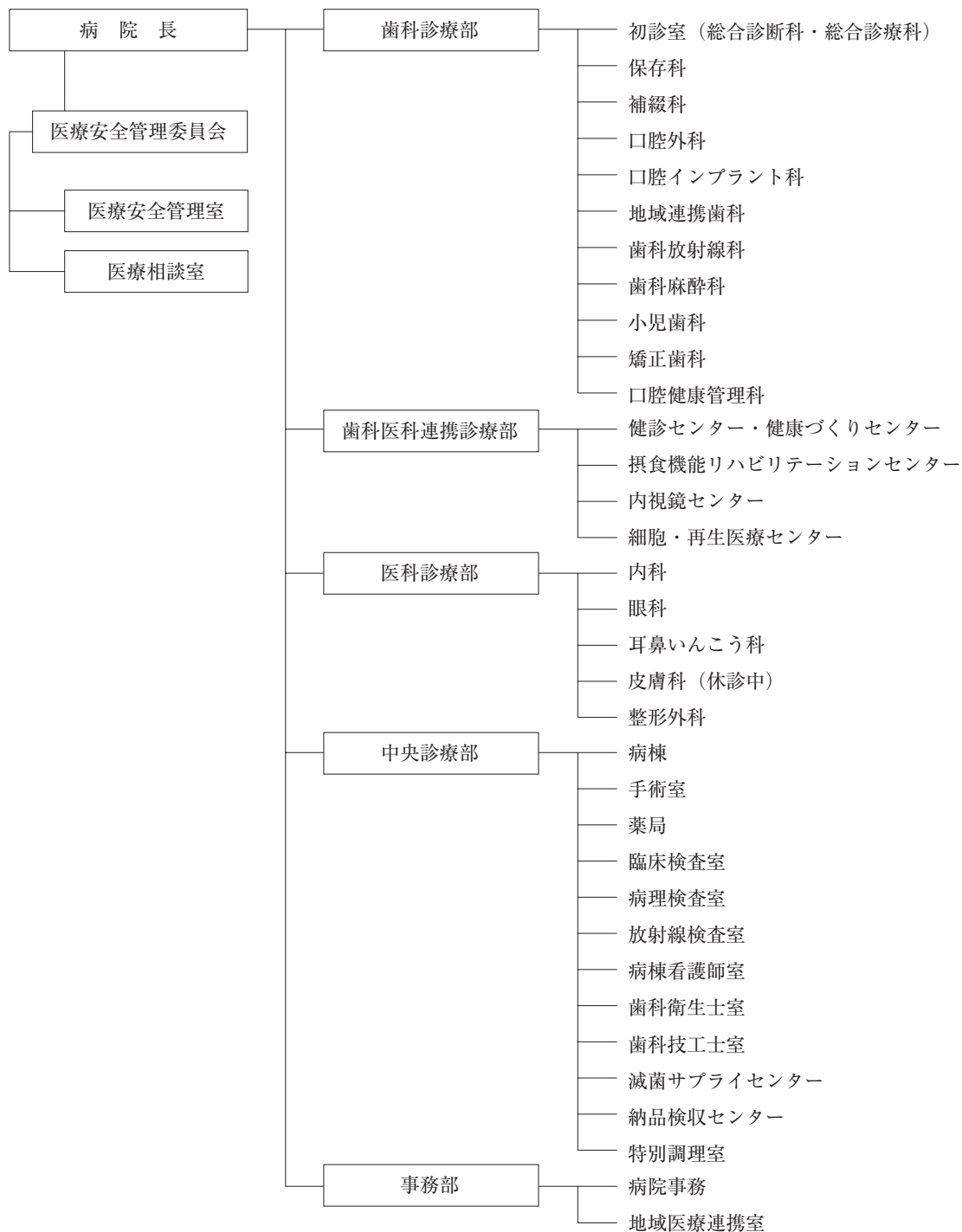
【法令関係】

歯科医業を行っていくためには、種々の法令の制約を受けることになる。歯科医業に関連する法令としては、歯科医師法、薬事法、医療法、健康保険法（国民健康保険法）、保険医療機関及び保険医療養担当規則、歯科点数表の解釈などがある。

歯科医師法	歯科医師の任務、免許、試験、業務等について定めた法律
薬事法	医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療用具に関する事項を規制し、これらの品質、有効性及び安全性を確保することを目的とする法律
医療法	医療を提供する体制の確保を図り、もって国民の健康の保持に寄与することを目的とし、医療施設の計画的な整備、医療施設の人的構成、構造設備、管理体制等の規制、医療法人の規制等を行う法律
健康保険法	医療保険制度の中の1つの保険制度 勤労者（加入者）及びその家族が業務外の事由により病気やけがをしたり、死亡、出産した場合に備えて、被保険者と事業主が保険料を負担して、被保険者及び被扶養者の保険事故に対して保険給付を行い、勤労者やその家族の生活の安定を図ることを目的とした法律
保険医療機関及び保険医療養担当規則	保険医療の原則を定めたものであり、保険医療機関が保険診療を行うにあたっての責務等を定めたものと、保険医が診療を行う際の診療方針等を定めたものの2部から構成されている。
歯科点数表の解釈	保険診療においては個々の医療行為を点数化し、診療報酬明細書（レセプト）として支払機関を通じて保険者に請求する。1点単価は10円であり、歯科点数表は基本診療科、指導管理等、在宅医療、検査、画像診断、投薬、注射、リハビリ、処置、手術、麻酔、放射線治療、歯冠修復及び欠損補綴、歯科矯正の各部から構成されている。歯科点数表は通常2年ごとに改定される。

【組織図】

病院の組織図は以下のようになっている。病院の運営に係る重要事項は、病院長会議及び口腔診療会議、医科診療会議で審議される。臨床実習については、臨床実習運営委員会によりカリキュラムの策定・実習の評価・進級の予備判定等、運営が図られている。



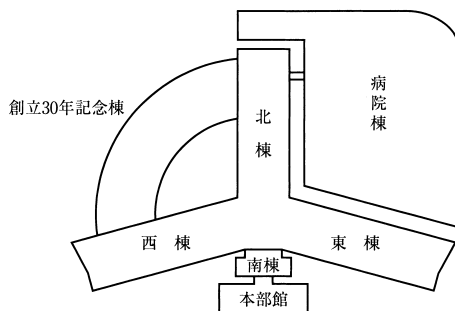
施設概要図



①	大 学 本 館	⑧	陸 上 競 技 場		
②	本 部 館	⑨	野 球 場		
③	体 育 館	⑩	ゴ ル フ 練 習 場		
④	実 習 館	⑪	創 立 30 年 記 念 棟		
⑤	講 義 館	⑫	総 合 歯 科 医 学 研 究 所		
⑥	ハ イ テ ク セ ン タ ー	⑬	CAMPUS INN		
⑦	図 書 会 館	⑭	病 院 棟	⑮	ク ラ ブ ハ ウ ス

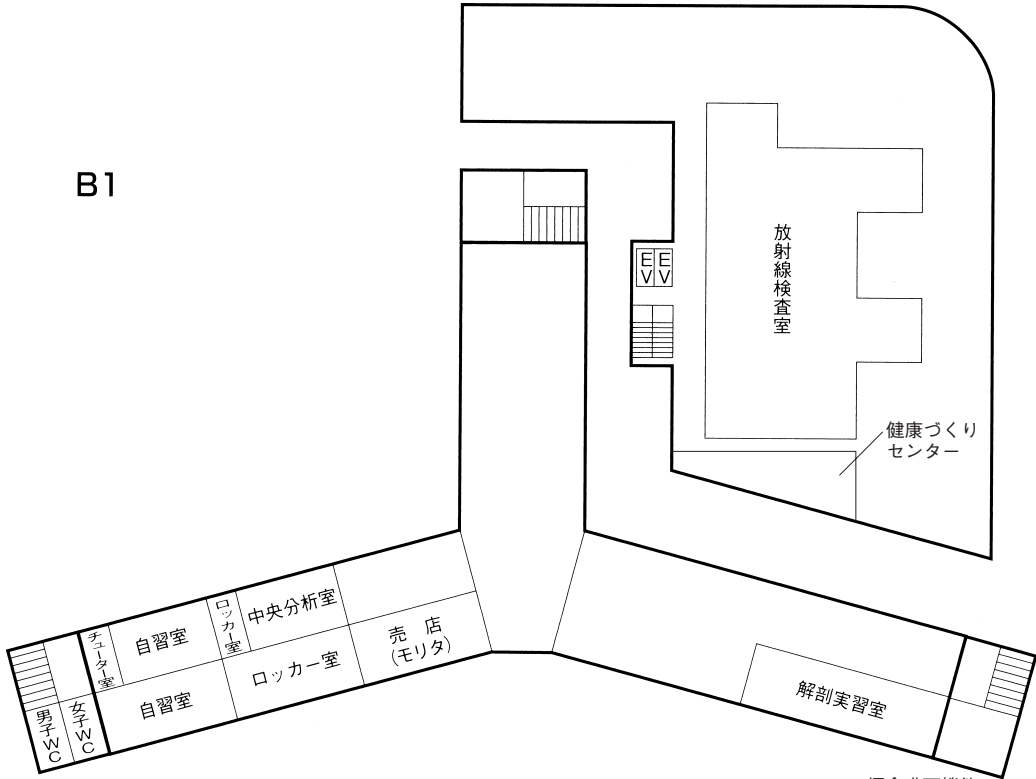
本部館 本院棟

概略

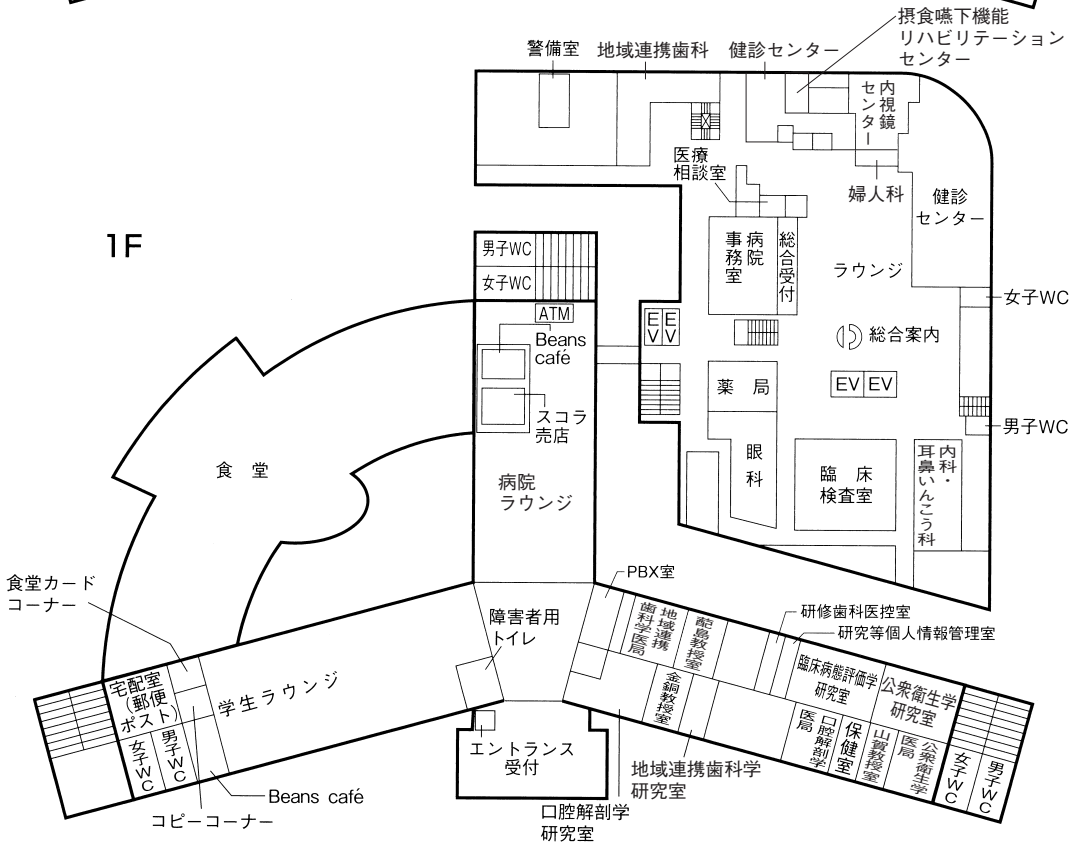


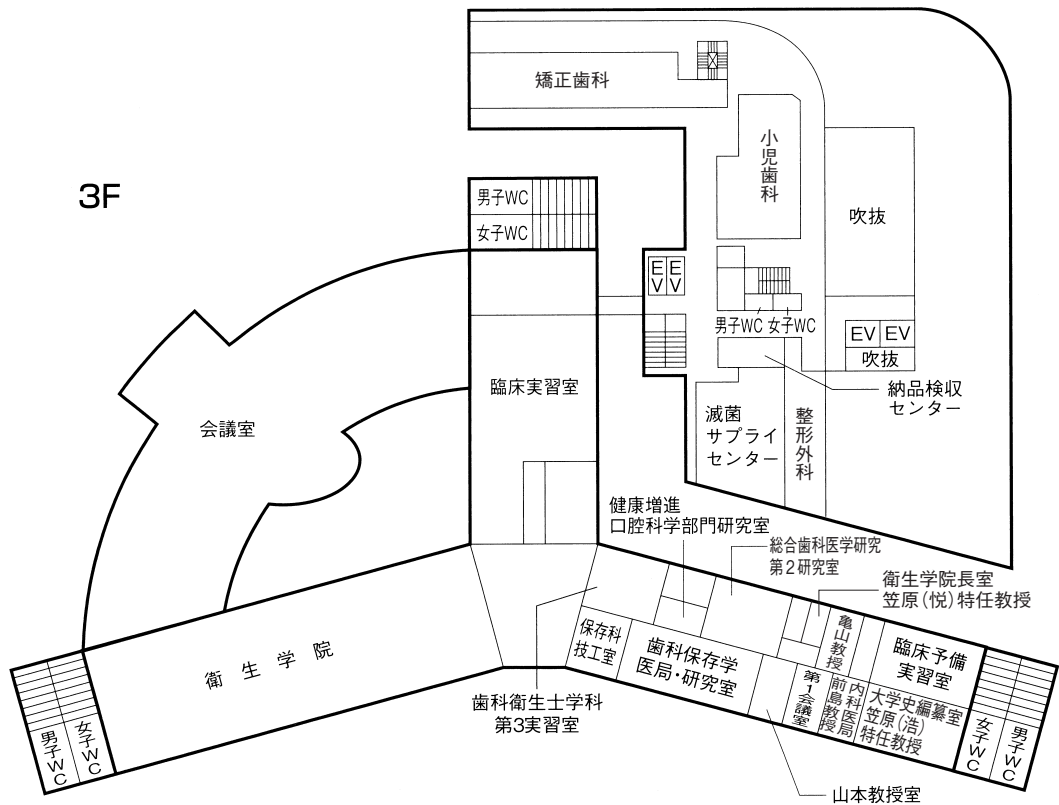
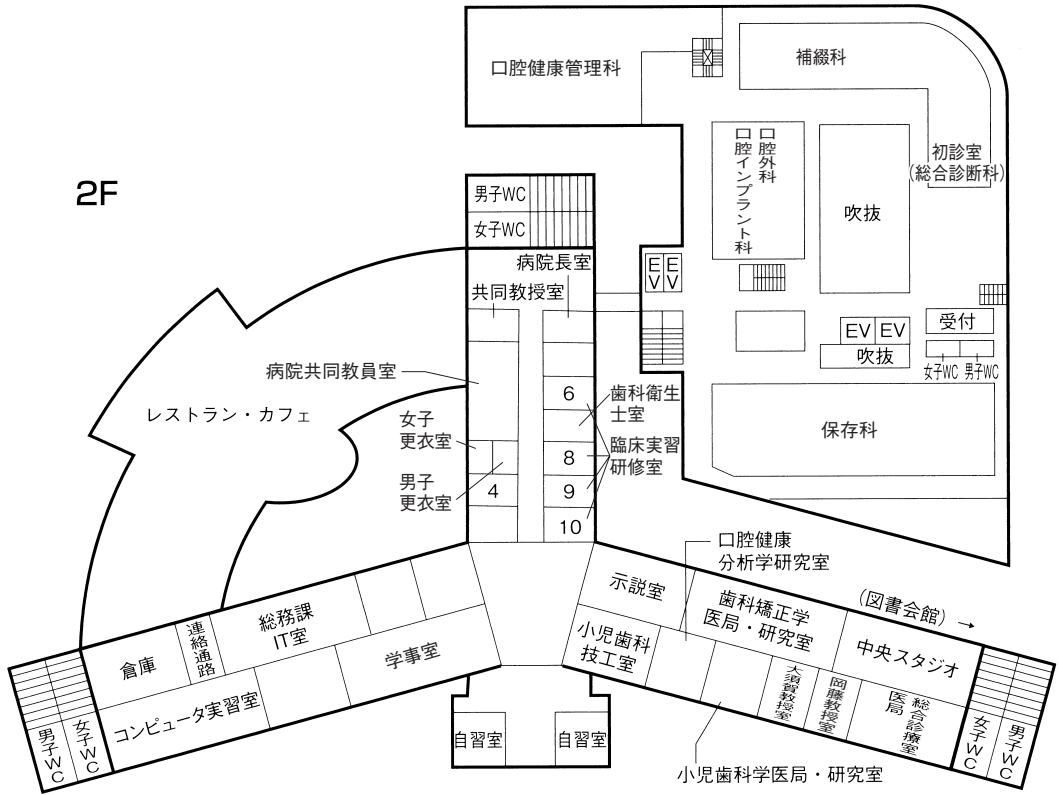
	西棟	北棟	本部館	南棟	東棟	病院棟	創立30年記念棟	
7F	屋上	講堂			屋上			
6F					教室 (601, 602)			
5F	吉成教授 (歯科保存学) 田口教授 (歯科放射線学) 濑谷教授 (歯科麻酔学) 内田教授 (病院総合診療部門) 臨床研修医控室 共同教授室 (川特任教授)	5学年 ロッカ 一室			吉田教授 (口腔細菌学) 芳澤教授 (口腔顎顔面外科学) 各務教授 (硬組織疾患制御再建学部門)			
4F	中村教授 (口腔解剖学) 黒岩教授 (歯科補綴学) 歯科技工士控室 歯科技工士技工室 相馬教授 (耳鼻咽喉科学) 増田教授 (歯科保存学)	多目的 ホール			学生技工自習室 臨床予備自習室 鑄造・研磨室 重合室、石膏室 共同教授室 (倉澤教授、音琴教授、小笠原教授)	病棟 中央手術室 サービスステーション 談話室・相談室		
3F	衛生学院	臨床自習室	役員室 秘書課		山本教授 (病院総合診療部門) 臨床予備自習室 歯科衛生士学科第3実習室 大学史編纂室 衛生学院長室 内科医局 前島教授 (内科学) 亀山教授 (歯科保存学)	小児歯科・矯正歯科 連絡通路 (本館北棟3階) 納品検品センター 滅菌サプライセンター 整形外科	会議室	
2F	コンピュータ実習室 学事室	病院長室 研究科長・ 歯科病院長室 臨床実習・ 研修室 共同教授室 病院共同 教員室 歯科衛生士室	学長室 総務課 経理室	自習室	岡藤教授 (歯科矯正学) 大須賀教授 (小児歯科学) 示説室 中央スタジオ 総合診療室医局	口腔外科・口腔インプラント科 口腔健康管理科 2階総合ホール 連絡通路 (本館北棟2階) 保存科 補綴科 初診室 (総合診断科)	レストラン カフェ	
1F	学生ラウンジ Beans café 宅配室 (郵便ポスト) 食堂カードコーナー コピーコーナー	病院ラウンジ Beans café スコーラ売店 ATM (八十二・ ゆうちょ)	管理課 入試広報室 事務局 総務課	エント ランス 受付	金銅教授 (口腔解剖学) 鷲島教授 保健室 山賀教授 (公衆衛生学)	地域連携歯科 警備室 薬局 眼科 臨床検査室 内科 耳鼻いんこう科 健診センター 内視鏡センター 婦人科	摂食嚥下機能リハビリ テーションセン ター 総合案内 総合受付 自動精算コー ナー 病院事務室 医療相談室 電子カルテ閲覧室 連絡通路 (本館北棟1階)	食堂
B/F	売店 (モリタ) 中央分析室 自習室、ロッカー室				解剖実習室 蓋安室 保存室	放射線検査室 健康づくりセンター		

B1

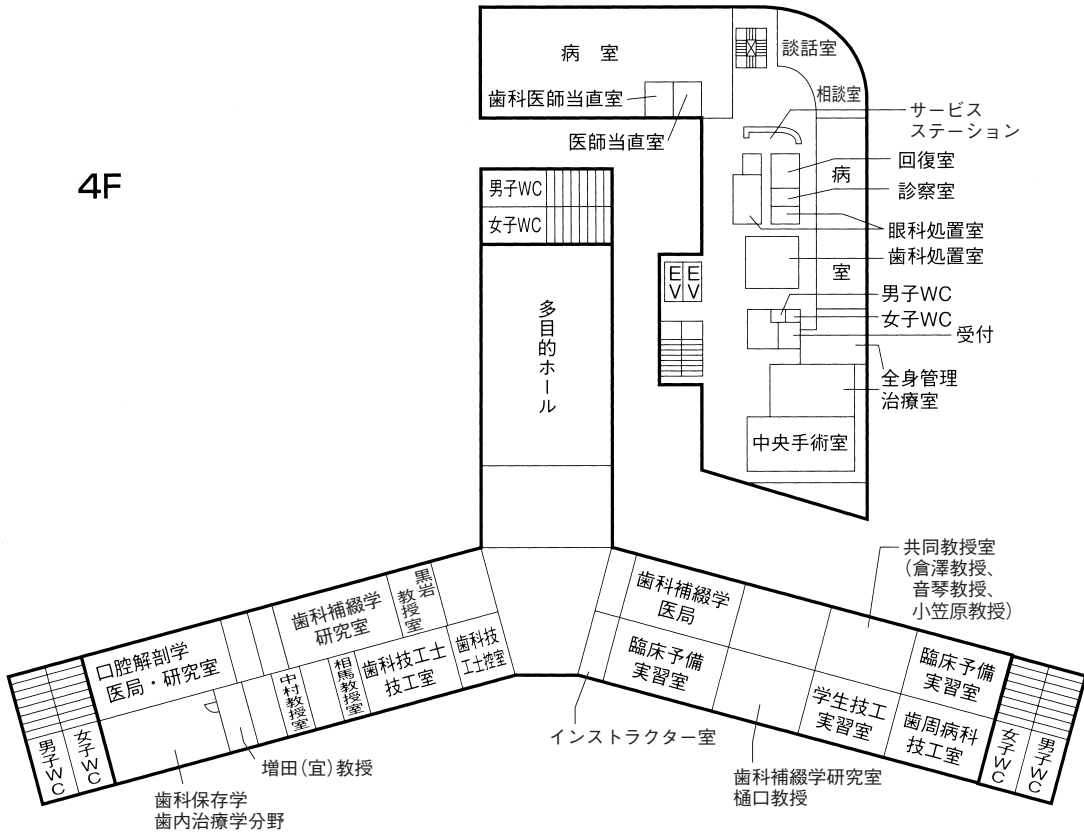


1F

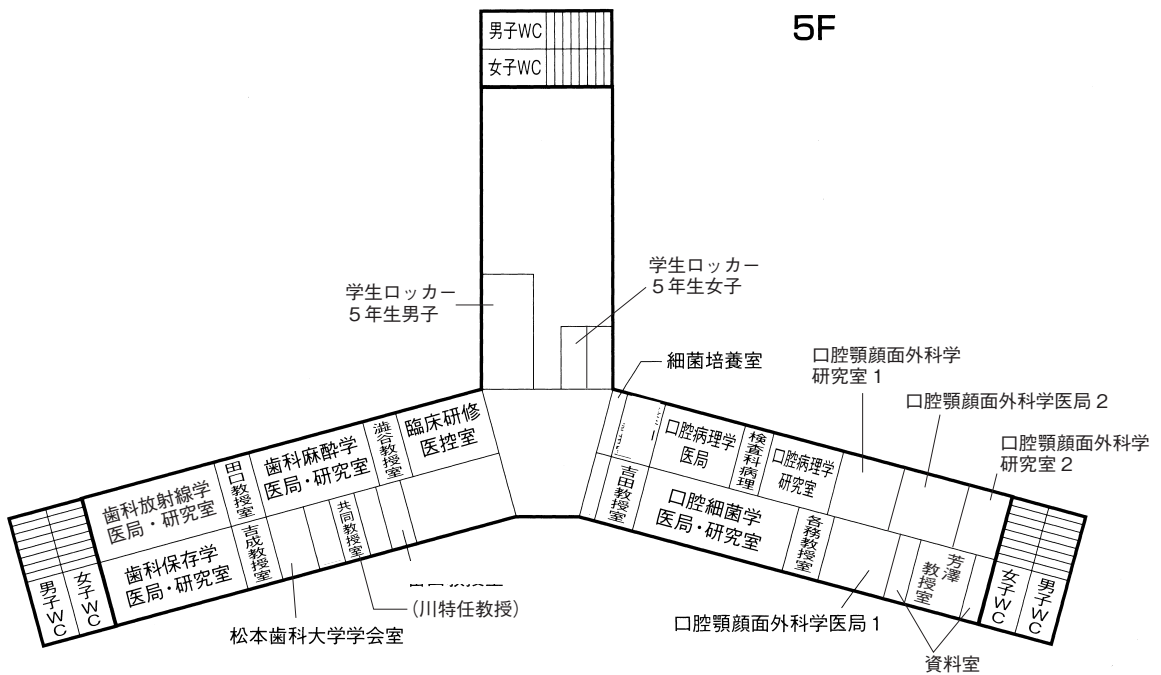


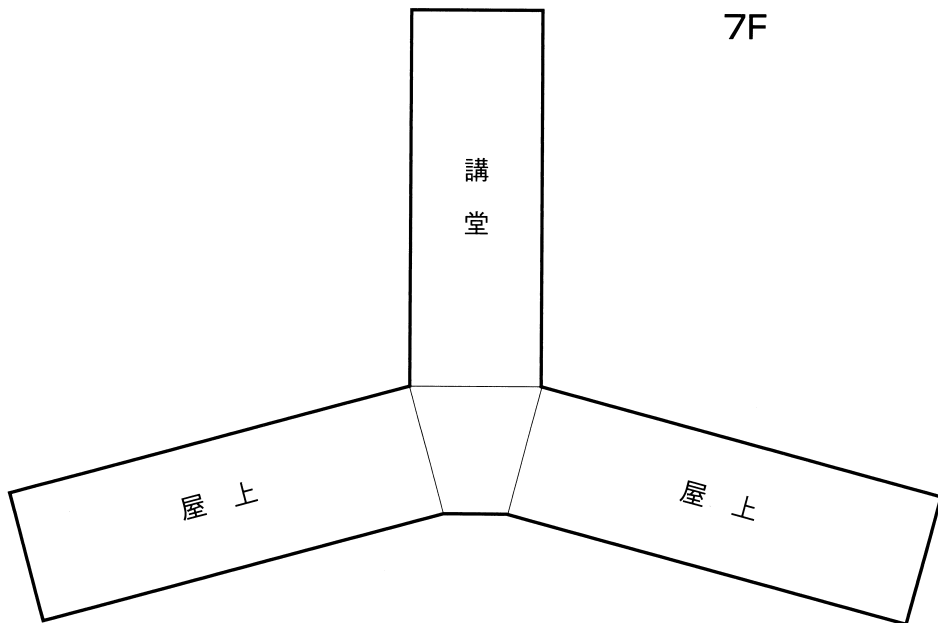
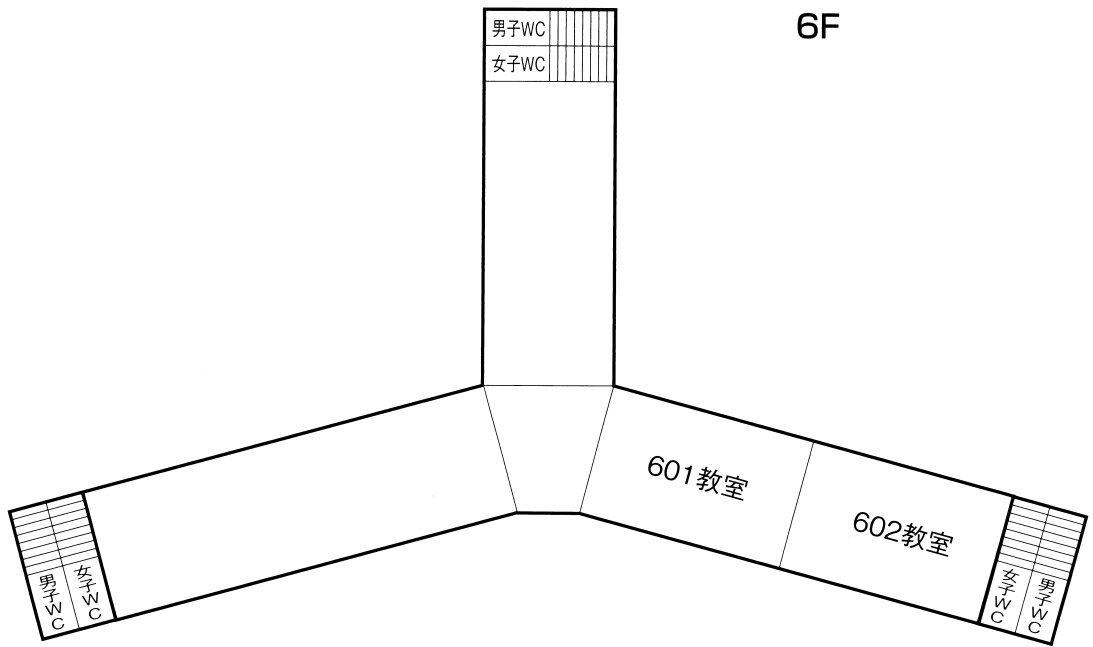


4F



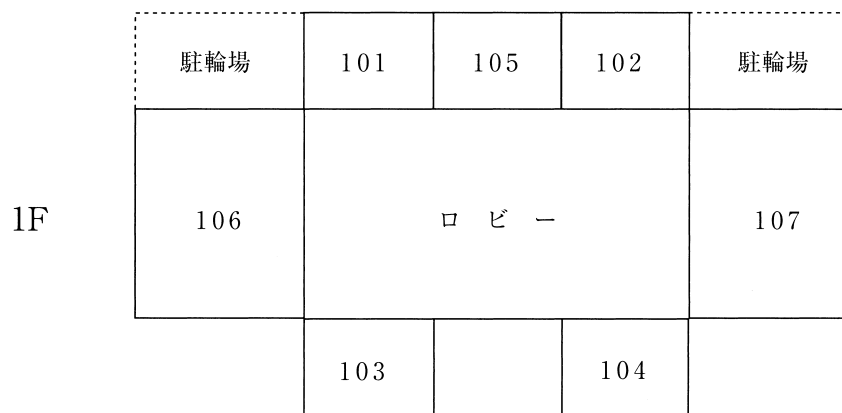
5F



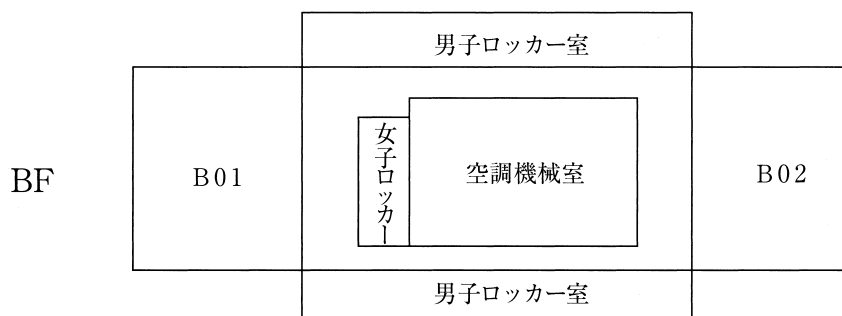


講義館概要

- | | |
|----------|-----------|
| ① | ⑥ |
| ② 共同教授室 | ⑦ |
| ③ 非常勤講師室 | ⑧ 英語非常勤講師 |
| ④ | ⑨ |
| ⑤ | ⑩ |

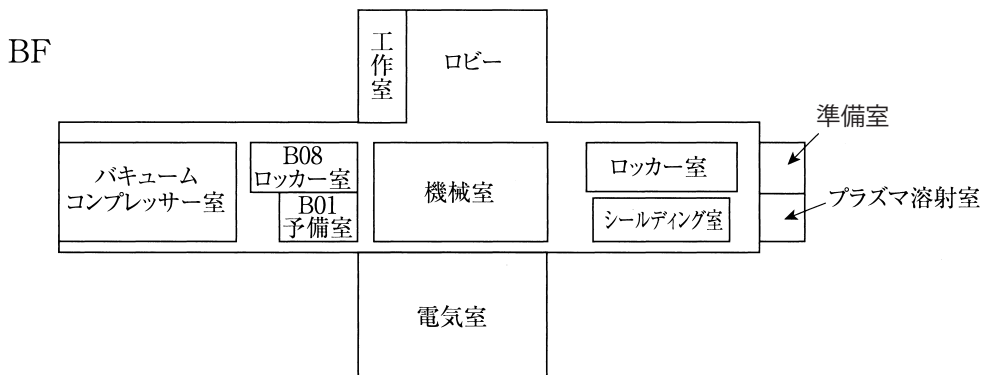


(正面玄関)

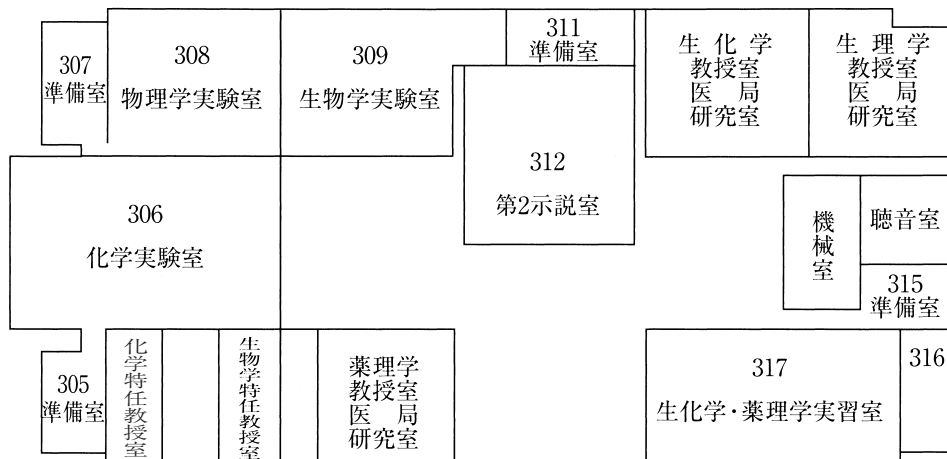


実習館概要

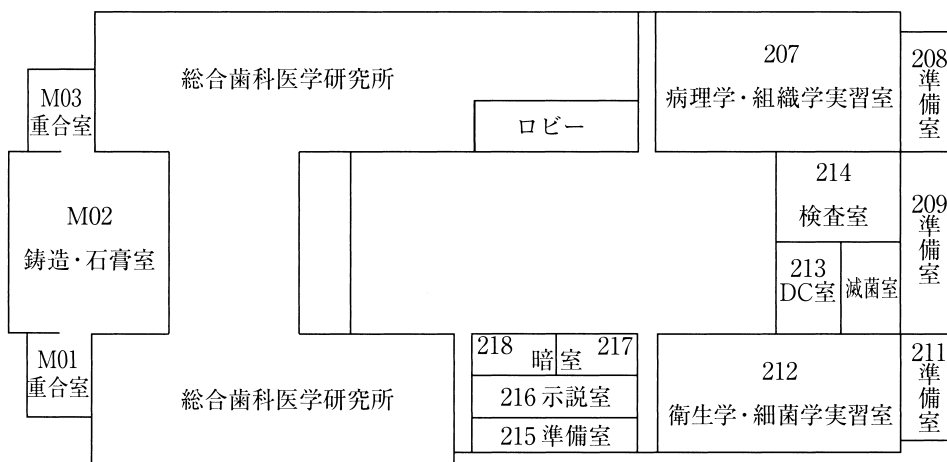
3 F	特任教授（生物学） 北川教授（口腔生理学） 宇田川教授（口腔生化学） 十川教授（歯科薬理学） 教室（312） 実験室（306、308、309） 実習室（317）
2 F	教室（216）、総合歯科医学研究所 実習室（207、212）
1 F	黒岩教授（歯科補綴学） 永澤特任教授（歯科補綴学） 実習室（101、113） 共同教員室 売店（アマービレスコラ）
B F	学生ロッカー室



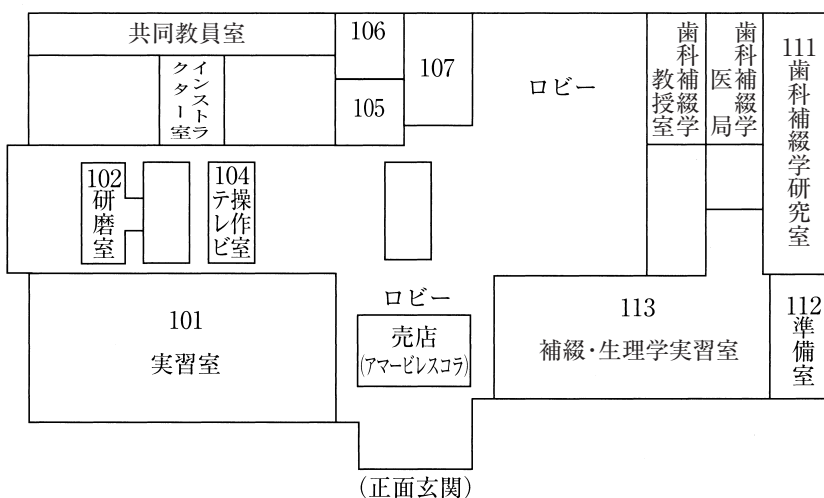
3F



2F

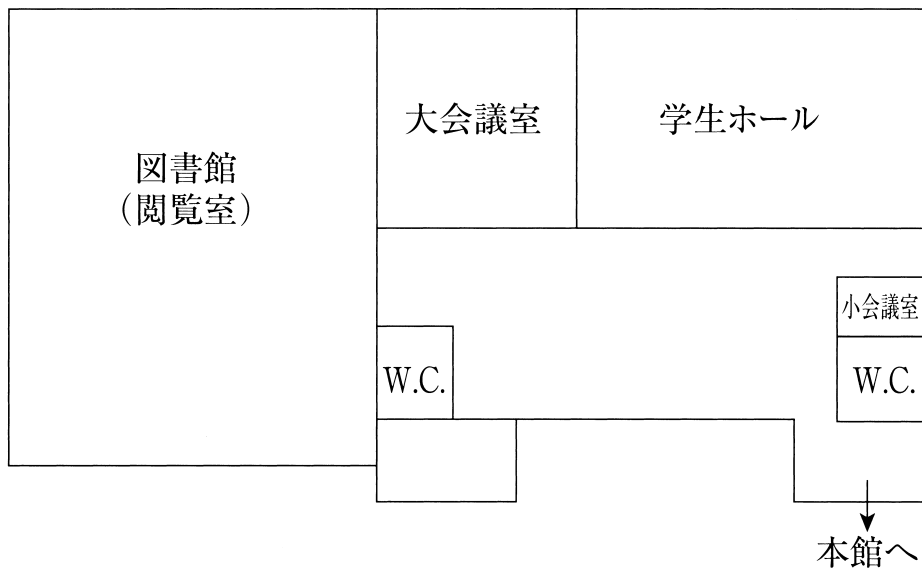


1F

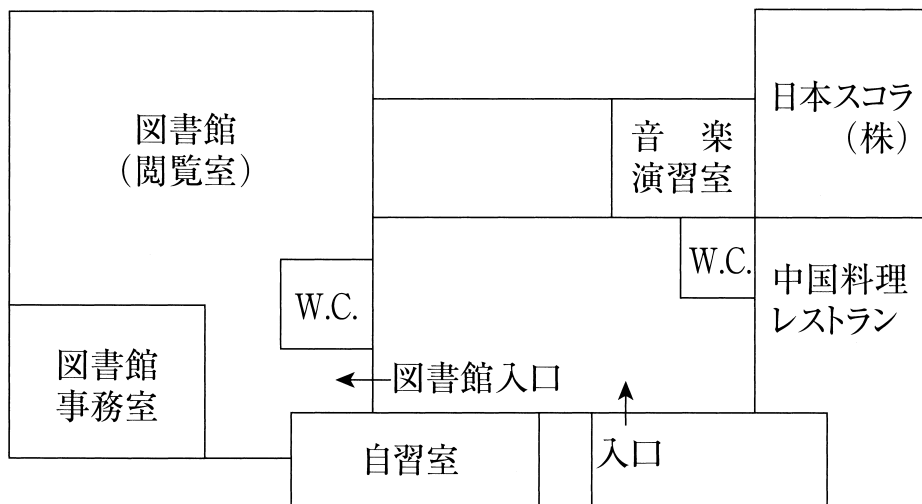


図書会館概要

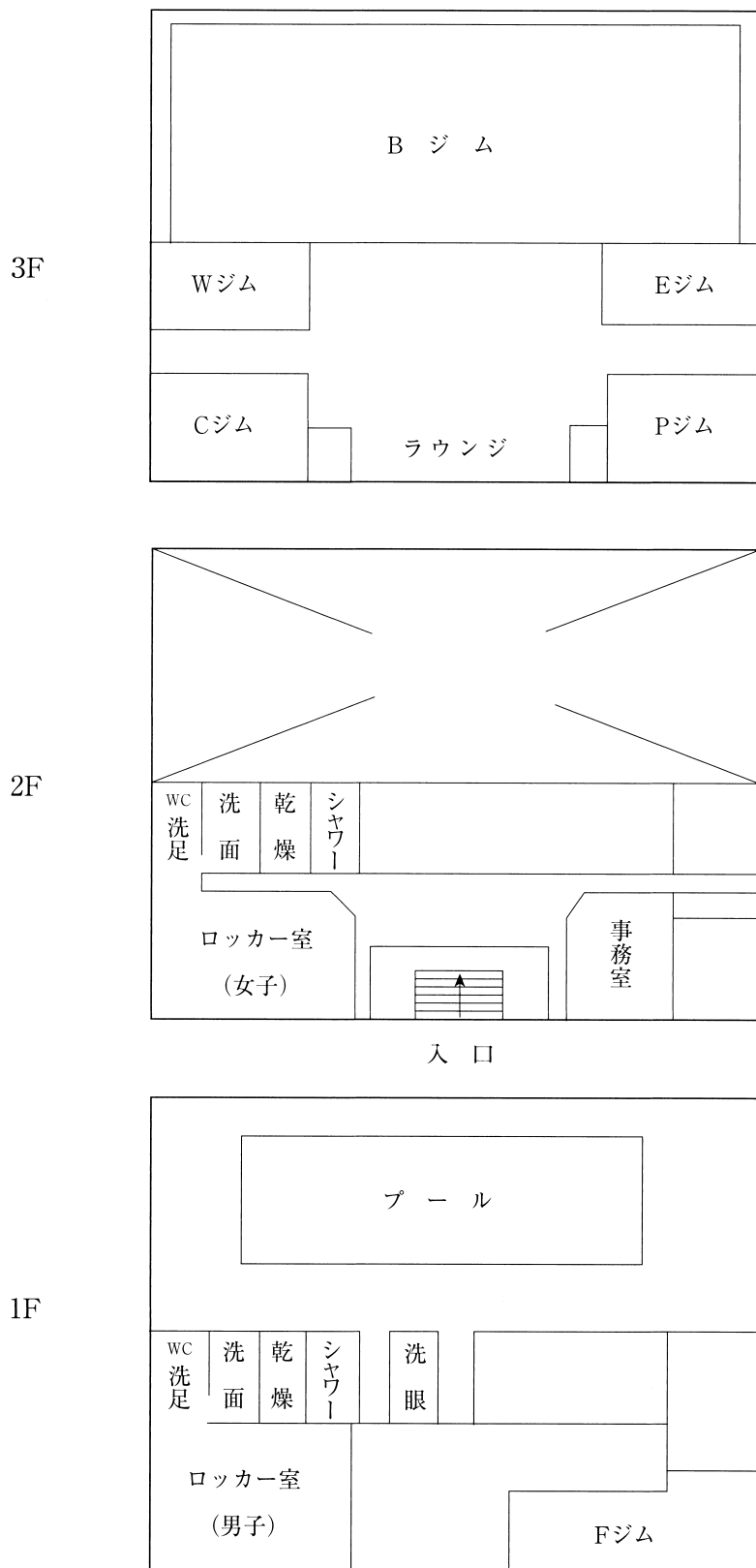
2F



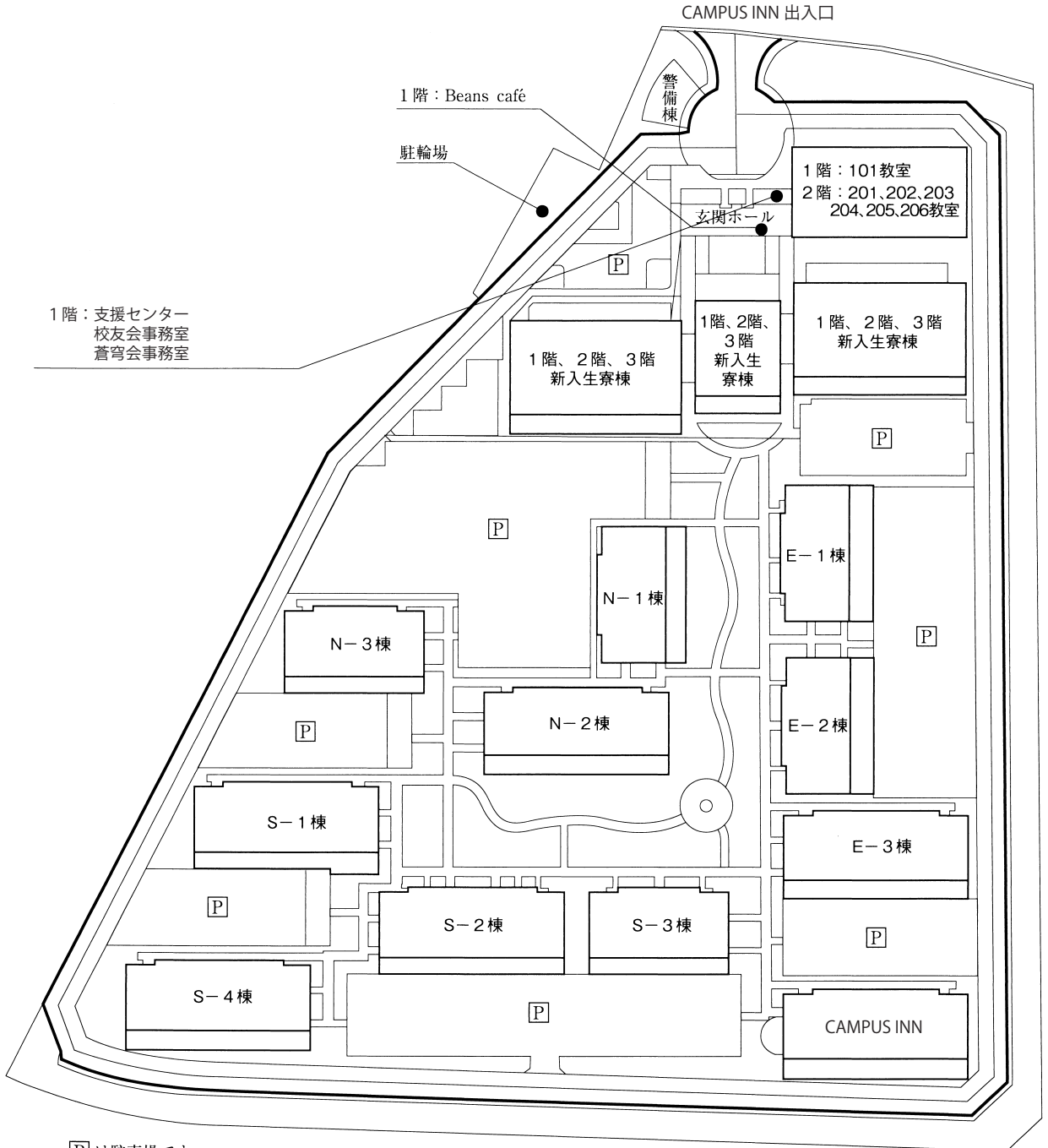
1F



体育館概要



CAMPUS INN 配置図



授業大要（シラバス） 2021年度

発行 2021年4月

松本歯科大学

川原 一祐

印刷 日本ハイコム株式会社